

**令和2年度（2020年度）
高齢福祉・介護保険サービス意向調査
報告書**

**令和2年（2020年）9月
中野区**

はじめに

令和7年（2025年）には、いわゆる団塊の世代のすべての人が後期高齢者（75歳以上）となり、中野区においても高齢化率が上昇することが予想されるため、さらに創意工夫をした高齢者支援のあり方が求められています。

区では、令和2年（2020年）4月に第9期中野区健康福祉審議会を設置して、介護保険事業計画や要支援高齢者を地域で支えるための方策等に関する検討を重ねているところです。

本調査は、平成30年（2018年）3月に策定した中野区健康福祉総合推進計画及び第7期中野区介護保険事業計画が改定時期を迎えるため、高齢者の健康福祉サービスの利用実態や今後の利用意向を把握するために実施したものです。

今回の調査結果につきましては、計画の改定のみならず、今後の健康福祉に関する区の事業や施策の見直し、改善に反映させるなど、活用を図っていきたいと考えております。

最後になりましたが、本調査にご協力いただいた皆様に厚く御礼申し上げます。

令和2年（2020年）9月
中野区健康福祉部
中野区地域支えあい推進部

目次

I 調査の概要	1
1. 調査の目的	3
2. 調査の内容	3
3. 調査の設計	4
4. 報告書を読む際の留意点	4
II 調査結果の分析	5

高齢者調査

1. 回答者の属性	9
1.1. アンケートの回答者	9
1.2. 居住地域	10
1.3. 性別	11
1.4. 年齢	11
1.5. 家族構成	12
1.6. 要支援認定	12
1.7.1. 介護・介助の必要性	13
1.7.2. 介護・介助が必要になった主な原因	14
1.7.3. 介護、介助を行っている人	15
1.8. 世帯の昨年の合計収入	16
1.8.1. 現在の預貯金額	17
1.8.2. 暮らしの状況	21
1.9. 居住形態	23
2. からだを動かすことについて	25
2.1. 機能評価	25
2.1.1. 運動器機能	25
2.1.2. 転倒リスク	26
2.1.3. 閉じこもり傾向	27
2.2. 外出の回数	29
2.2.1. 外出が減っている理由	30
2.3. 外出する際の移動手段	31
3. 食べることについて	32
3.1. 機能評価	32
3.1.1. 低栄養	32
3.1.2. 口腔機能	33
3.2. 歯磨きの状況	35
3.3. 歯の数と入れ歯の利用状況	36

3.3.1. 噛み合わせの状況	37
3.3.2. 毎日入れ歯の手入れをしているか	38
3.4. 食事をとにもする機会	39
4. 毎日の生活について	41
4.1. 機能評価	41
4.1.1. 認知機能	41
4.1.2. IADL（手段的自立度）	43
4.1.3. 知的能動性	45
4.1.4. 社会的役割	47
4.2. 趣味の有無	49
4.3. 生きがいの有無	50
5. 地域での活動について	51
5.1. 会・グループ等への参加頻度	51
5.1.1. 地域活動に参加していない理由	52
5.2. 地域住民の有志による活動に参加者として参加してみたいか	53
5.3. 地域住民の有志による活動に企画・運営（お世話役）として参加してみたいか	54
5.4. 地域のひとから頼りにされているか	55
6. たすけあいについて	56
6.1. 心配事や愚痴を聞いてくれる人	56
6.2. 心配事や愚痴を聞いてあげる人	57
6.3. 看病や世話をしてくれる人	58
6.4. 看病や世話をしてあげる人	59
6.5. 何かあったときに相談する相手	60
6.6. 友人・知人と会う頻度	62
6.7. 1か月間、何人の友人・知人と会ったか	64
6.8. よく会う友人・知人との関係	65
7. 健康について	66
7.1. 健康状態	66
7.2. 幸福度	68
7.3. 毎日の生活に充実感がない	69
7.4. これまで楽しんでやれていたことが楽しめない	70
7.5. 以前は楽にできていたことが今ではおっくうに感じられる	71
7.6. 自分が役に立つ人間だとは思えない	72
7.7. わけもなく疲れたような感じがする	73
7.8. 機能評価	74
7.8.1. うつ傾向	74
7.9. 飲酒の状況	75
7.10. 喫煙の状況	76
7.11. 現在治療中、または後遺症のある病気	77

8. 認知症にかかる相談窓口の把握について	79
8.1. 家族を含めた認知症の症状の有無	79
8.2. 認知症の相談窓口を知っているか	80
9. 成年後見制度について	81
9.1. 成年後見制度の認知度	81
9.1.1. 成年後見制度の利用意向	83
9.1.2. 成年後見制度を利用したくない理由	85
10. その他	88
10.1. 健康福祉行政全体への意見・要望（自由回答）	88

介護サービス利用調査

1. 要支援・要介護認定者本人について	95
1.1. アンケートの回答者	95
1.2. 居住地域	96
1.3. 家族構成	97
1.3.1. 家族の人数	97
1.3.2. 同居家族の内訳	97
1.3.3. 日中、ひとりになることの有無	98
1.4. 性別	99
1.5. 年齢	99
1.6. 要介護度	99
1.6.1. 介護・介助が必要になった原因	100
1.7. 住まいの種類	102
1.7.1. 生活する部屋は2階以上にあるか	104
1.7.2. エレベーターの設置	106
1.8. 介護を受けたい場所	107
1.8.1. 施設等への入所・入居の検討状況	109
1.8.2. 施設等への入所・入居を検討した理由	110
1.9. 現在抱えている傷病	111
1.10. 内容を知らない又はわからない介護保険サービス	113
1.11. 介護保険サービス利用の有無（令和2年4月）	114
1.12. 介護保険サービス	116
1.12.1. 介護保険サービスの利用状況（令和2年4月）	116
1.12.2. ケアプランへの不満	118
1.12.3. 介護保険サービスを利用していない理由	120
1.13. 現在利用している、介護保険サービス以外の支援・サービス	122
1.14. 在宅生活の継続に必要と感じる支援・サービス	124
1.15. 訪問診療の利用の有無	125
1.16. 訪問歯科診療、訪問薬剤師の利用の有無	126

1. 17. 地域包括支援センターへの相談の有無	127
1. 18. 家族・親族からの介護の頻度	128
2. 主な介護者について	130
2. 1. 介護を理由として、過去1年間の間に仕事を辞めた介助者の有無	130
2. 2. 主な介護者	131
2. 3. 主な介護者の性別	131
2. 4. 主な介護者の年齢	132
2. 5. 主な介護者が行っている介護	133
2. 6. 主な介護者が不安に感じる介護	135
2. 7. 主な介護者の現在の勤務形態	136
2. 8. 主な介護者の就労形態の調整	138
2. 9. 仕事と介護の両立に効果がある支援	140
2. 10. 今後の介護の見通し	143

ケアマネジャー調査

1. 回答者の属性	147
1. 1. 所属する事業所の所在地	147
1. 2. 所属する事業所が提供するサービス	147
1. 3. 勤務体系	152
1. 4. ケアマネジャーとしての従事期間	152
1. 5. ケアマネジャー受験資格と当該職種の従事年数	153
1. 6. 過去3年間で、所属事業所を変った回数	155
1. 7. 居宅サービス計画の作成人数	156
1. 8. 作成する居宅サービス計画の件数	157
1. 9. 介護予防サービス計画の受託または作成人数	157
2. ケアプラン・介護予防について	158
2. 1. 作成するケアプランの件数について	158
2. 2. 現行の介護サービスが要介護者等の自立支援に果たす役割	159
2. 3. 地域の自主グループをどのくらい知っているか	160
2. 4. ケアプランに地域資源を盛り込んでいるか	161
2. 5. ケアプランに盛り込んでいる地域資源	162
2. 6. ケアプランに地域資源を盛り込む上での課題（自由回答）	163
2. 7. 供給不足のため、利用者に提供できないサービス	164
2. 8. 供給不足以外に必要なサービスが提供できない場合	167
2. 9. 介護保険サービスが家族の介護負担軽減につながっているか	168
2. 10. 家庭生活を維持するために役立つと思う生活支援事業	169
2. 11. 生活に張りを持ってもらうために効果的なもの	170
2. 12. ケアプランを作る際に工夫していること（自由回答）	171
2. 13. 要介護者等が自宅や地域で暮らし続けるために必要な支援	172

3. 連携について	174
3.1. 地域包括支援センターとの連携	174
3.2. 信頼できる地域包括支援センターの有無	175
3.3. 主治医との連携	176
3.4. 在宅医療を進めるうえで、不足する医療資源	177
3.5. 区の障害者施策の相談窓口とのサービス調整等の連携	178
3.6. サービス担当者会議を開催する上での問題点	179
4. 困難な事例への対応について	180
4.1. ケアプラン作成の際、対応に苦慮するケース	180
4.2. 要介護者や家族からの相談への対応	182
4.3. 相談への対応に苦慮した時の相談先	183
4.4. 高齢者等への虐待が疑われるケースの発見や相談の件数	185
4.5. 高齢者虐待対応について強化すべきこと	186
5. 介護予防について	187
5.1. 充実すべき区の介護予防事業	187
6. 成年後見制度について	189
6.1. 成年後見制度が必要と思われるが使っていない人数	189
6.2. 成年後見制度を活用する上での課題	190
7. 認知症に関する課題について	191
7.1. 「認知症に関する家族介護教室」への参加のすすめ	191
7.2. 認知症高齢者に関して必要な施策	193
8. 在宅介護の可能性の拡大について	195
8.1. 要介護者等が居宅や地域での生活を続けるために充実すべき点	195
9. 業務遂行上の問題について	197
9.1. 業務遂行上の問題について	197
9.2. 小規模多機能型居宅介護サービスの活用しづらさについて	199
10. 介護保険制度に関する意見について（自由回答）	200
Ⅲ 調査票と単純集計	203

I 調査の概要

1. 調査の目的

高齢者、要支援・要介護認定者の健康福祉・介護保険サービスの利用実態や今後の利用意向等及び、ケアマネジャーの実態や業務遂行状況等を把握することを目的とする。

2. 調査の内容

① 高齢者調査

- (1) 回答者の属性
- (2) からだを動かすことについて
- (3) 食べることについて
- (4) 毎日の生活について
- (5) 地域での活動について
- (6) たすけあいについて
- (7) 健康について
- (8) 認知症にかかる相談窓口の把握について
- (9) 成年後見制度について
- (10) 自由回答

② 介護サービス利用調査

- (1) 要支援・要介護認定者本人について
- (2) 主な介護者について

③ ケアマネジャー調査

- (1) 回答者の属性
- (2) ケアプラン・介護予防について
- (3) 連携について
- (4) 困難な事例への対応について
- (5) 介護予防について
- (6) 成年後見制度について
- (7) 認知症に関する課題について
- (8) その他
- (9) 自由回答

3. 調査の設計

調査は、以下の①～③について、郵送による配布・回収の方法で行った。

① 高齢者調査

- ・調査対象：基準日（令和2年4月1日）現在で65歳以上の区民（介護予防・日常生活支援総合事業対象者及び要支援1・2認定者を含む）。ただし、要介護認定者を除く。
- ・調査地域：中野区全域
- ・調査標本数：3,000人
- ・有効回収数：1,925人（回収率64.2%）
- ・抽出方法：無作為抽出
- ・調査期間：令和2年5月8日～5月29日

② 介護サービス利用調査

- ・調査対象：要支援1から要介護5までの認定を受けている区民。ただし、施設入所者を除く。
- ・調査地域：中野区全域
- ・調査標本数：3,000人
- ・有効回収数：1,519人（回収率50.6%）
- ・抽出方法：無作為抽出
- ・調査期間：令和2年5月8日～5月29日

③ ケアマネジャー調査

- ・調査対象：区内及び隣接区の居宅介護支援事業所で区民のケアプランを10件以上扱っている事業所に所属するケアマネジャー
- ・調査地域：中野区全域及び隣接区
- ・調査標本数：250人
- ・有効回収数：142人（回収率56.8%）
- ・抽出方法：無作為抽出
- ・調査期間：令和2年5月8日～5月29日

4. 報告書を読む際の留意点

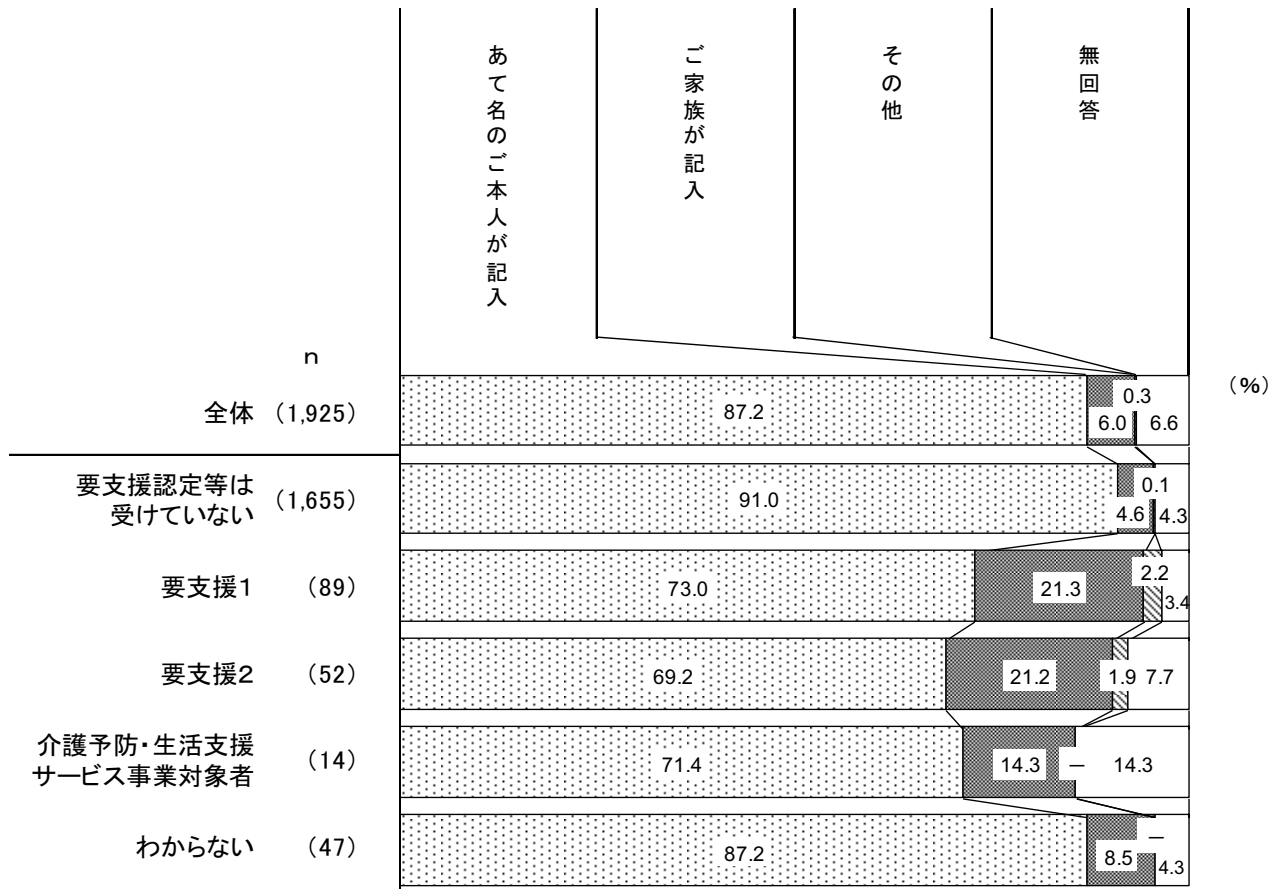
- 調査結果の比率は、その質問の回答者数を基数として、小数第2位を四捨五入して算出している。なお、単数回答形式の場合、四捨五入の関係で合計が100%にならない場合がある。
- 複数回答形式の場合、回答比率の合計は通常100%を超える。
- アンケート選択肢の語句が長い場合、本文や表・グラフ中では省略した表現を用いていることがある。
- グラフ中の「n」とは、その質問への回答者数を表す。
- 分析軸に使用した属性項目は、無回答を除いてあるため、各属性の件数の合計が全体件数と一致しないことがある。

Ⅱ 調査結果の分析

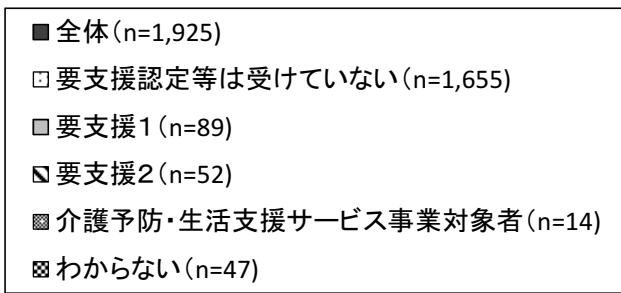
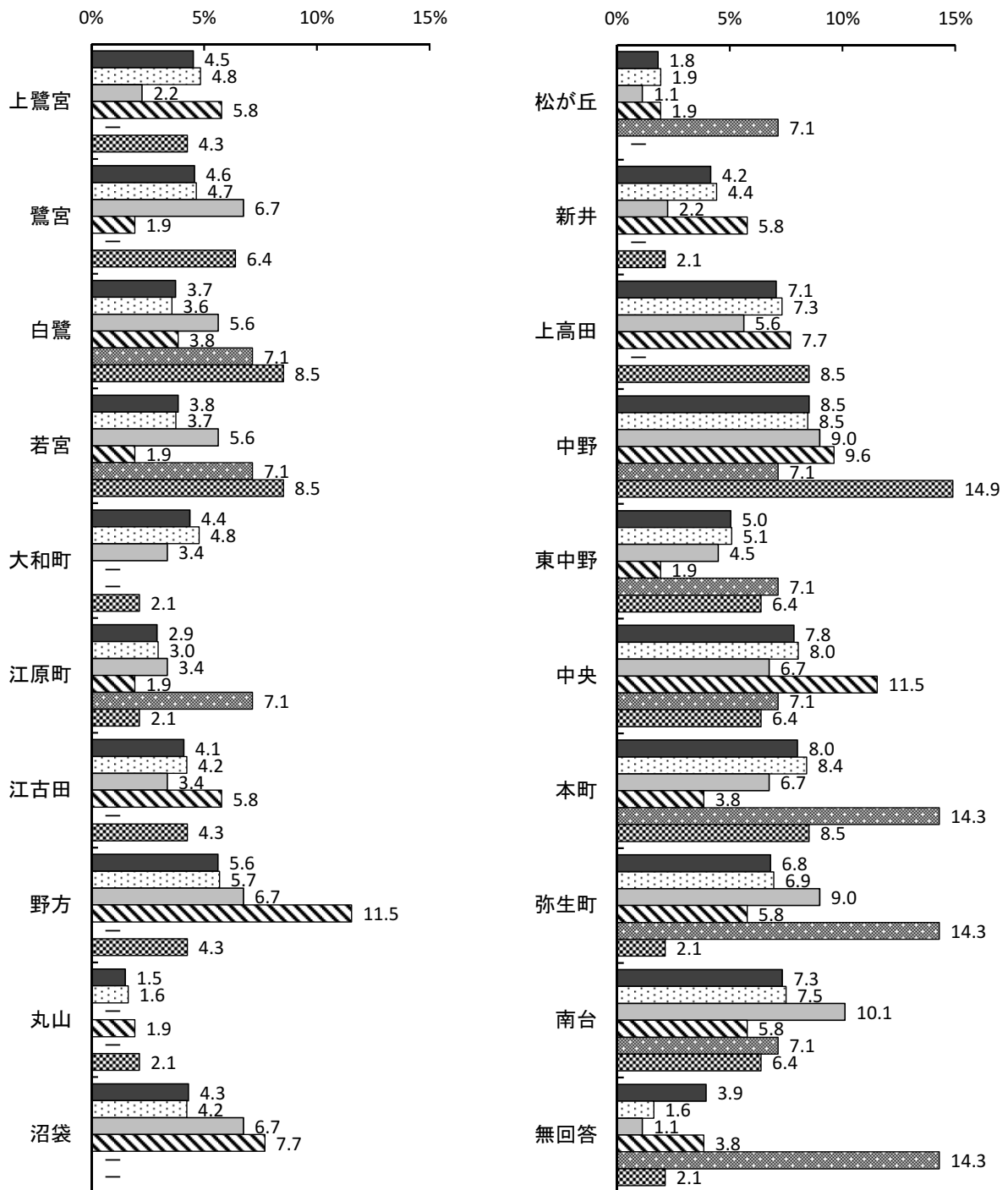
高齡者調査

1. 回答者の属性

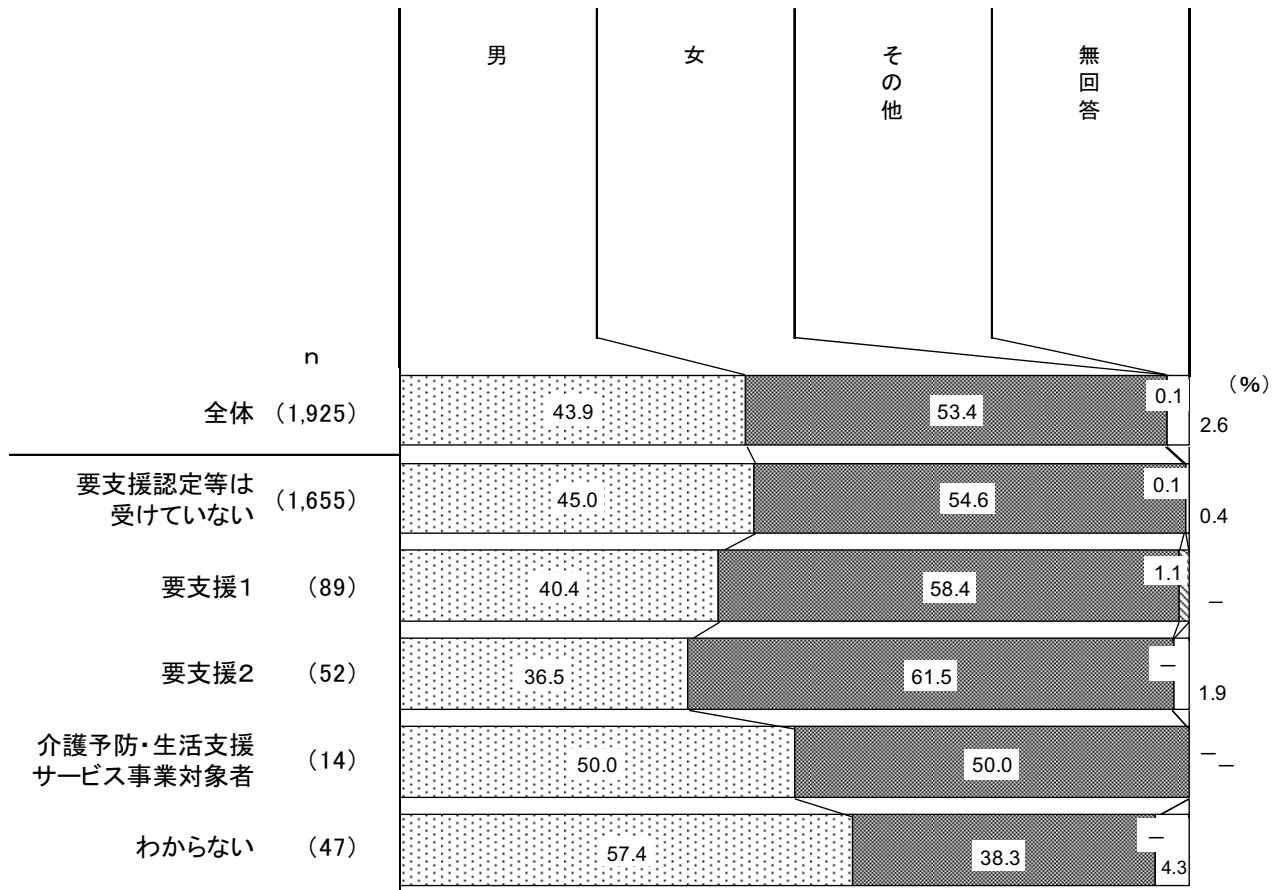
1.1. アンケートの回答者



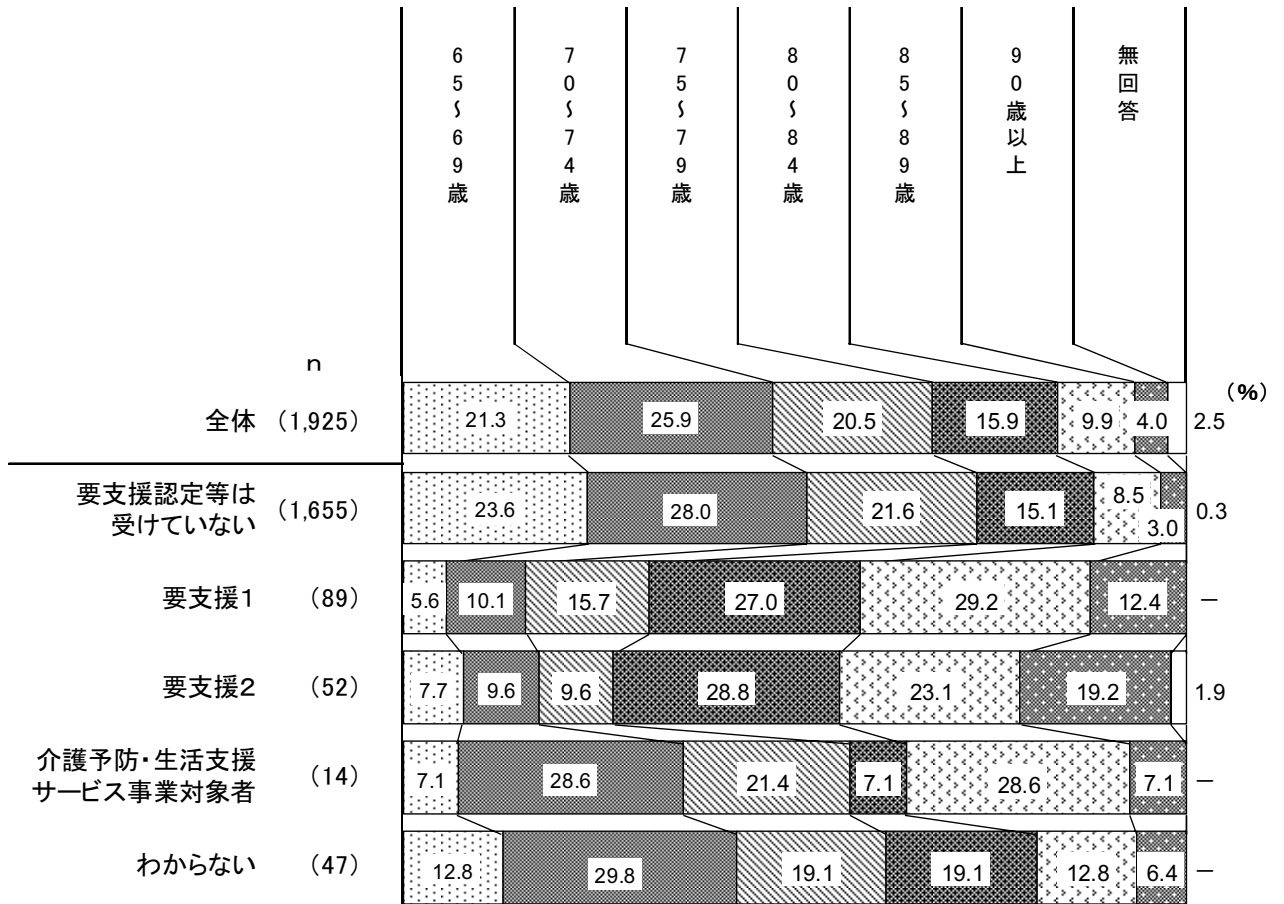
1.2. 居住地



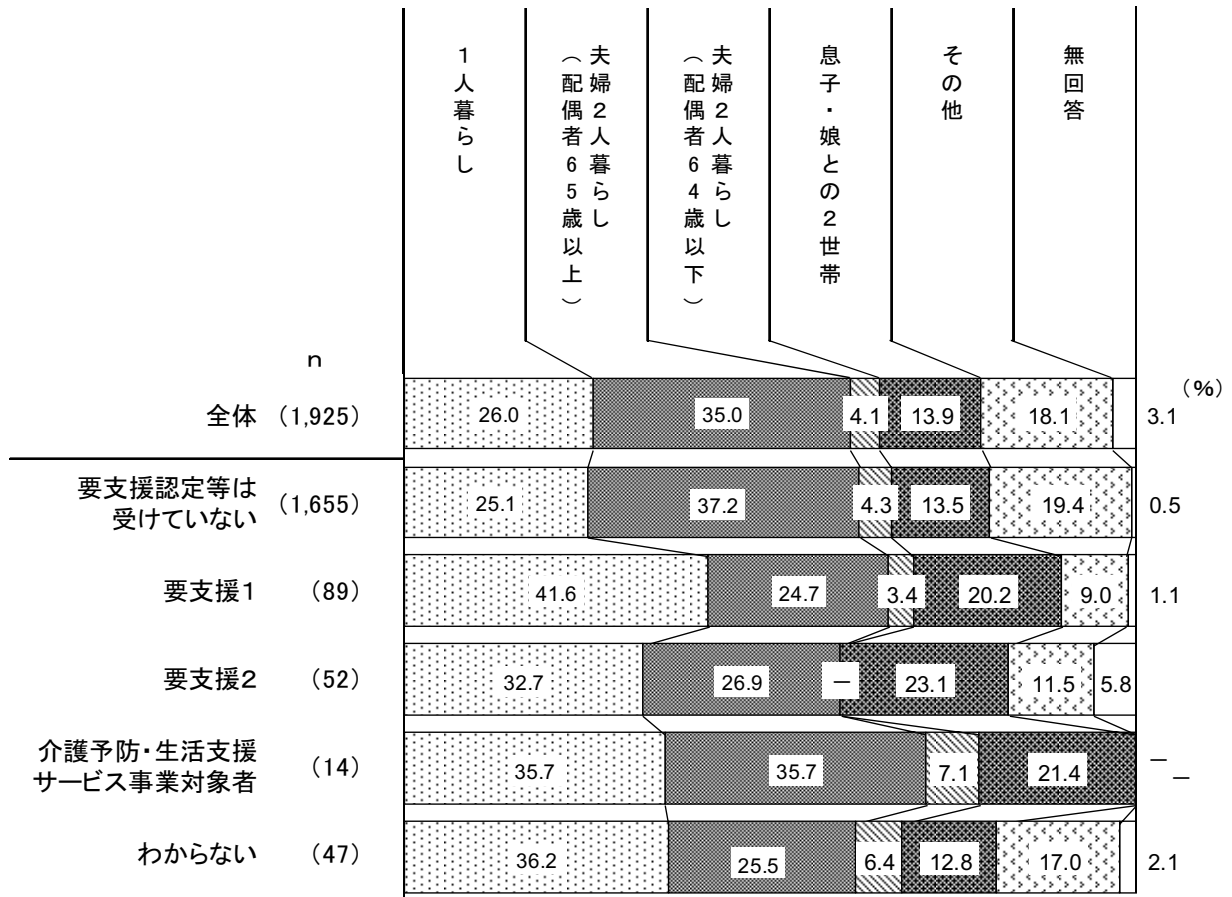
1.3. 性別



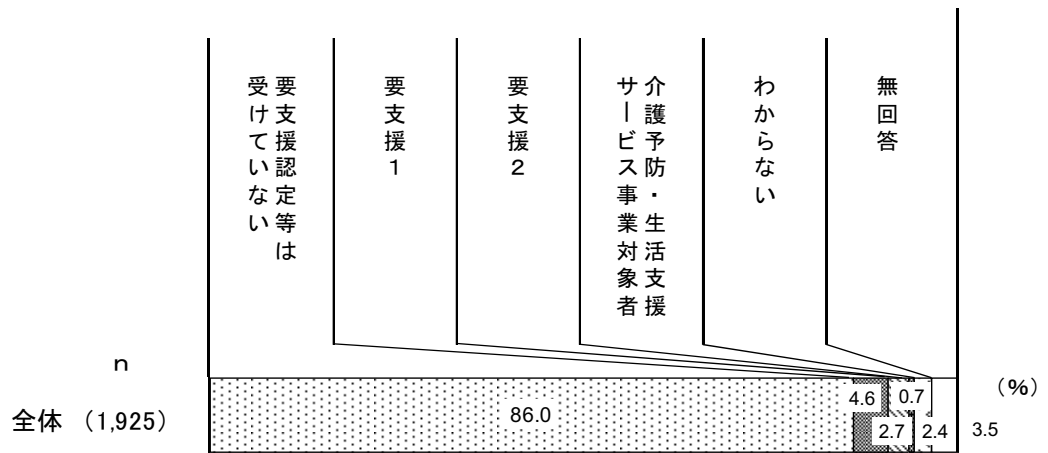
1.4. 年齢



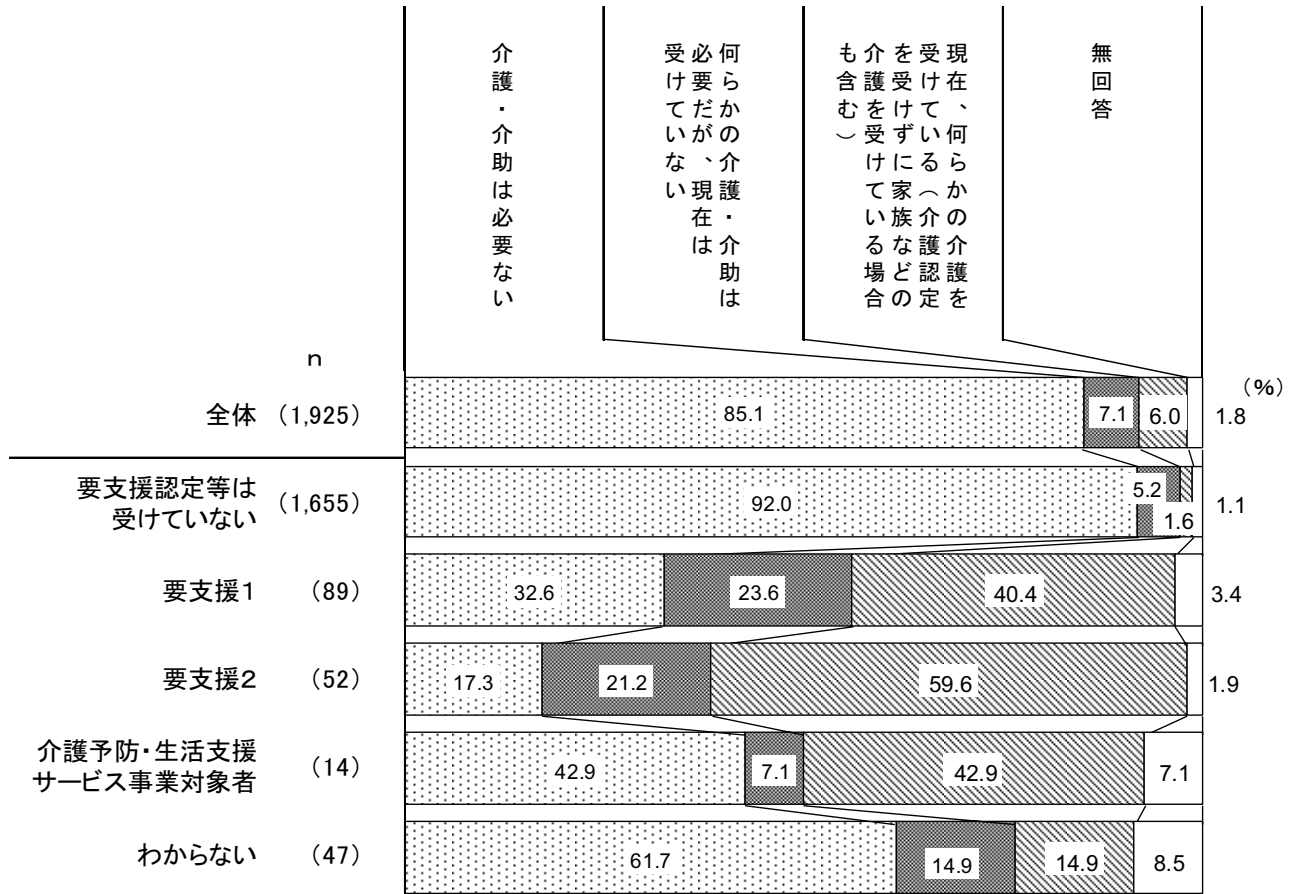
1.5. 家族構成



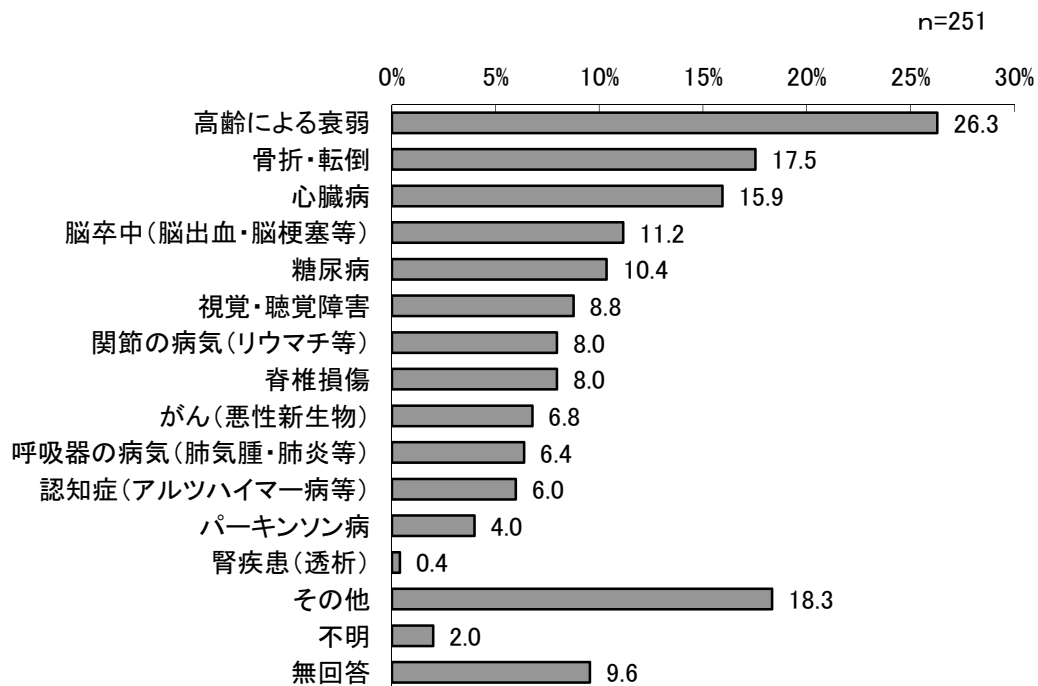
1.6. 要支援認定



1.7.1. 介護・介助の必要性



1.7.2. 介護・介助が必要になった主な原因



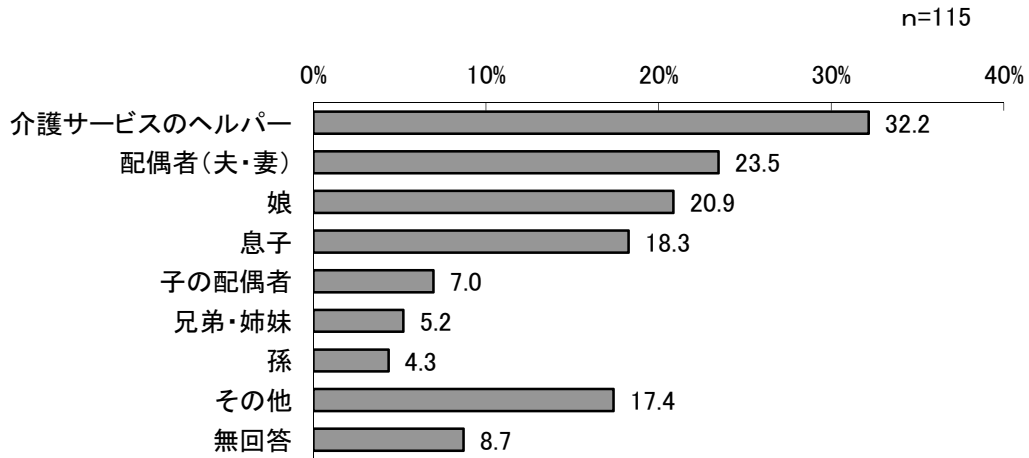
【状態別】介護・介助が必要になった主な原因

単位: %

状態	有効回答数(件)	脳卒中(脳出血・脳梗塞等)	心臓病	がん(悪性新生物)	呼吸器の病気(肺気腫・肺炎等)	関節の病気(リウマチ等)	認知症(アルツハイマー病等)	パーキンソン病	糖尿病
全体	251	11.2	15.9	6.8	6.4	8.0	6.0	4.0	10.4
要支援認定等を受けていない	113	9.7	17.7	5.3	7.1	8.0	6.2	1.8	8
要支援1	57	12.3	15.8	10.5	3.5	3.5	7	7	14
要支援2	42	14.3	19.0	7.1	7.1	16.7	4.8	7.1	9.5
介護予防・生活支援サービス事業対象者	7	28.6	—	—	14.3	—	—	—	—
わからない	14	7.1	7.1	—	—	—	7.1	—	21.4

状態	腎疾患(透析)	視覚・聴覚障害	骨折・転倒	脊椎損傷	高齢による衰弱	その他	不明	無回答
全体	0.4	8.8	17.5	8.0	26.3	18.3	2.0	9.6
要支援認定等を受けていない	—	12.4	12.4	8	32.7	13.3	0.9	13.3
要支援1	—	5.3	19.3	8.8	19.3	28.1	—	5.3
要支援2	2.4	4.8	33.3	9.5	23.8	14.3	—	7.1
介護予防・生活支援サービス事業対象者	—	—	—	14.3	—	28.6	—	28.6
わからない	—	7.1	21.4	—	14.3	21.4	21.4	—

1.7.3. 介護、介助を行っている人

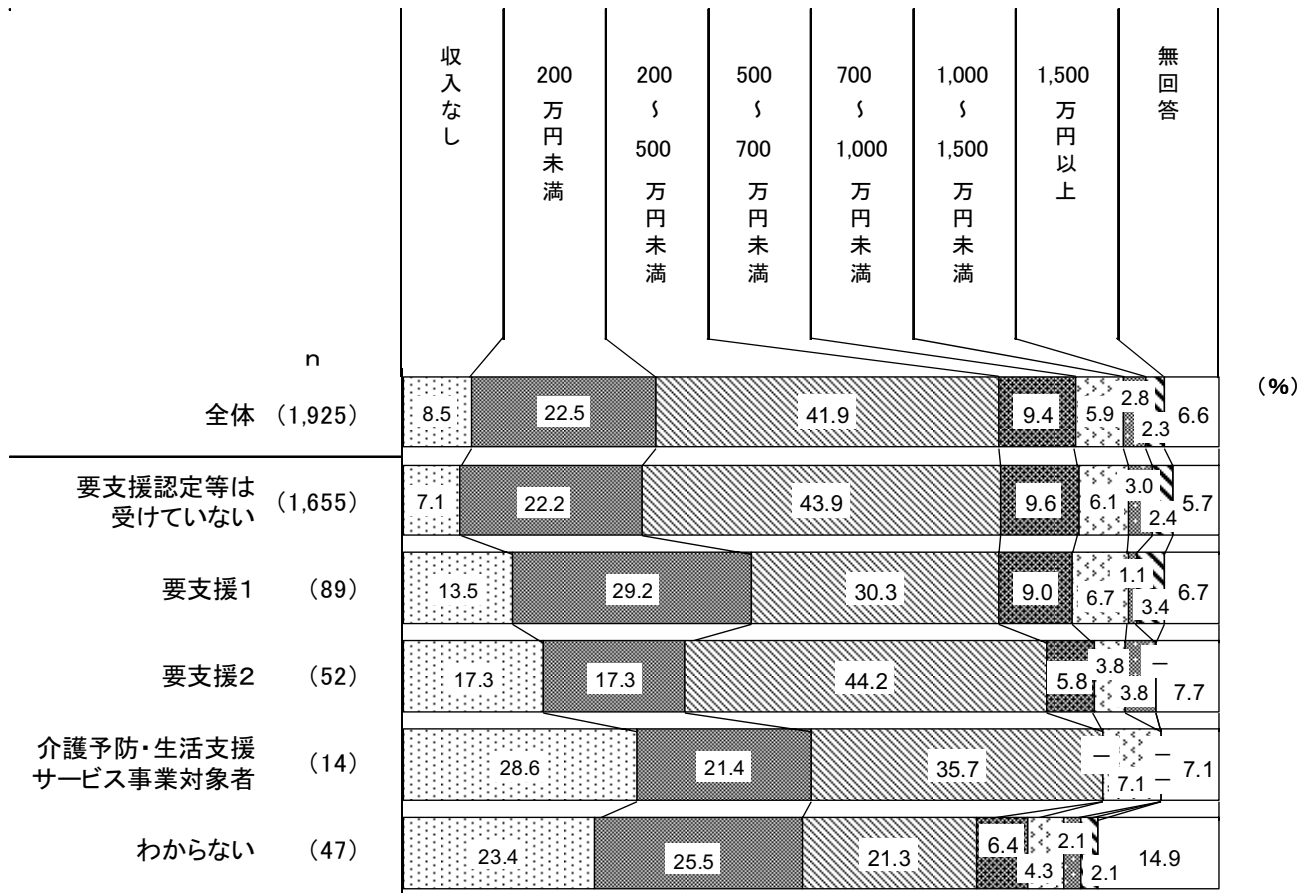


【状態別】介護、介助を行っている人

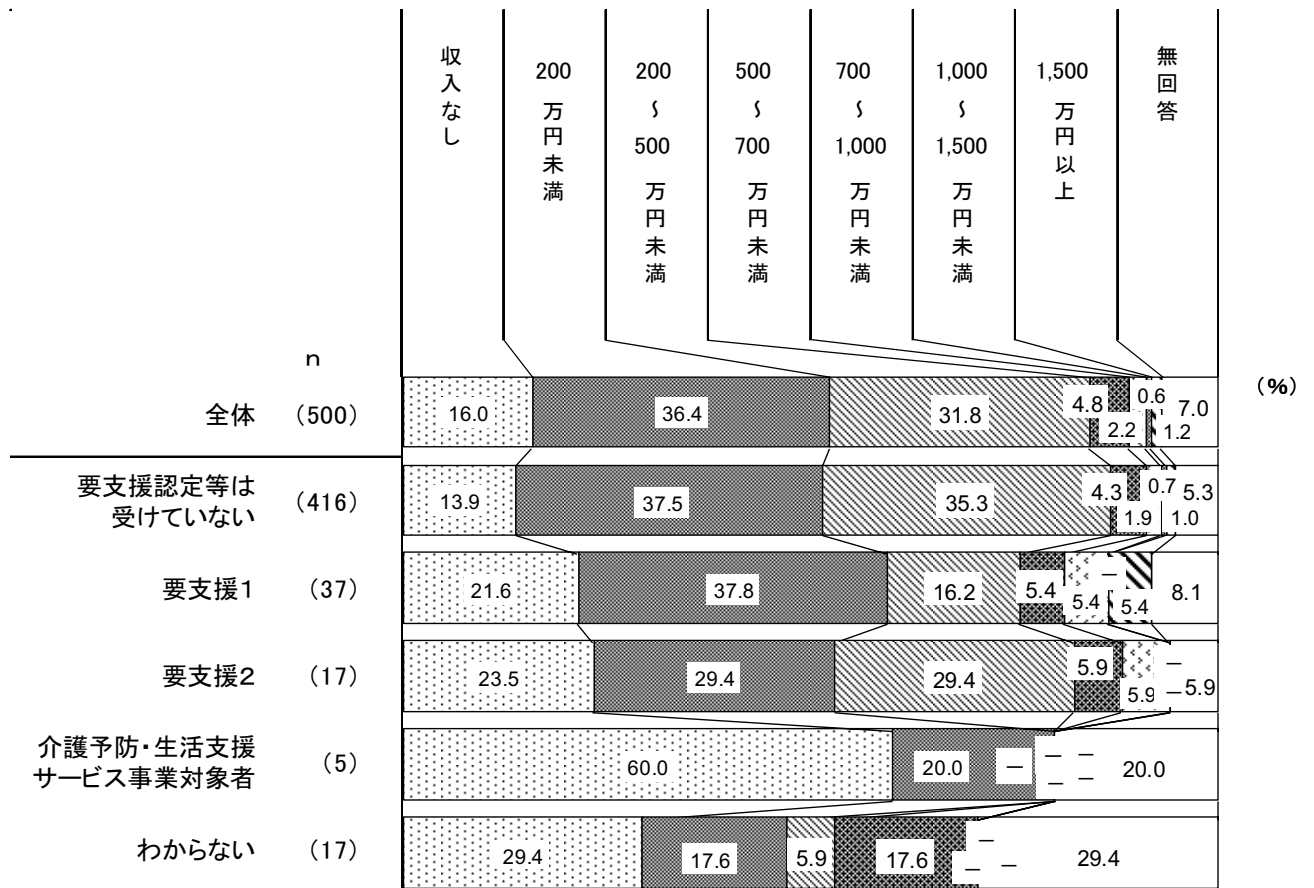
単位: %

状態	有効回答数(件)	配偶者(夫・妻)	息子	娘	子の配偶者	孫	兄弟・姉妹	介護サービスのヘルパー	その他	無回答
全体	115	23.5	18.3	20.9	7.0	4.3	5.2	32.2	17.4	8.7
要支援認定等を受けていない	27	40.7	22.2	33.3	11.1	3.7	—	—	18.5	11.1
要支援1	36	13.9	11.1	16.7	2.8	5.6	5.6	58.3	22.2	8.3
要支援2	31	22.6	16.1	19.4	6.5	6.5	9.7	38.7	3.2	12.9
介護予防・生活支援サービス事業対象者	6	16.7	33.3	—	16.7	—	—	—	50	—
わからない	7	14.3	28.6	14.3	—	—	14.3	14.3	28.6	—

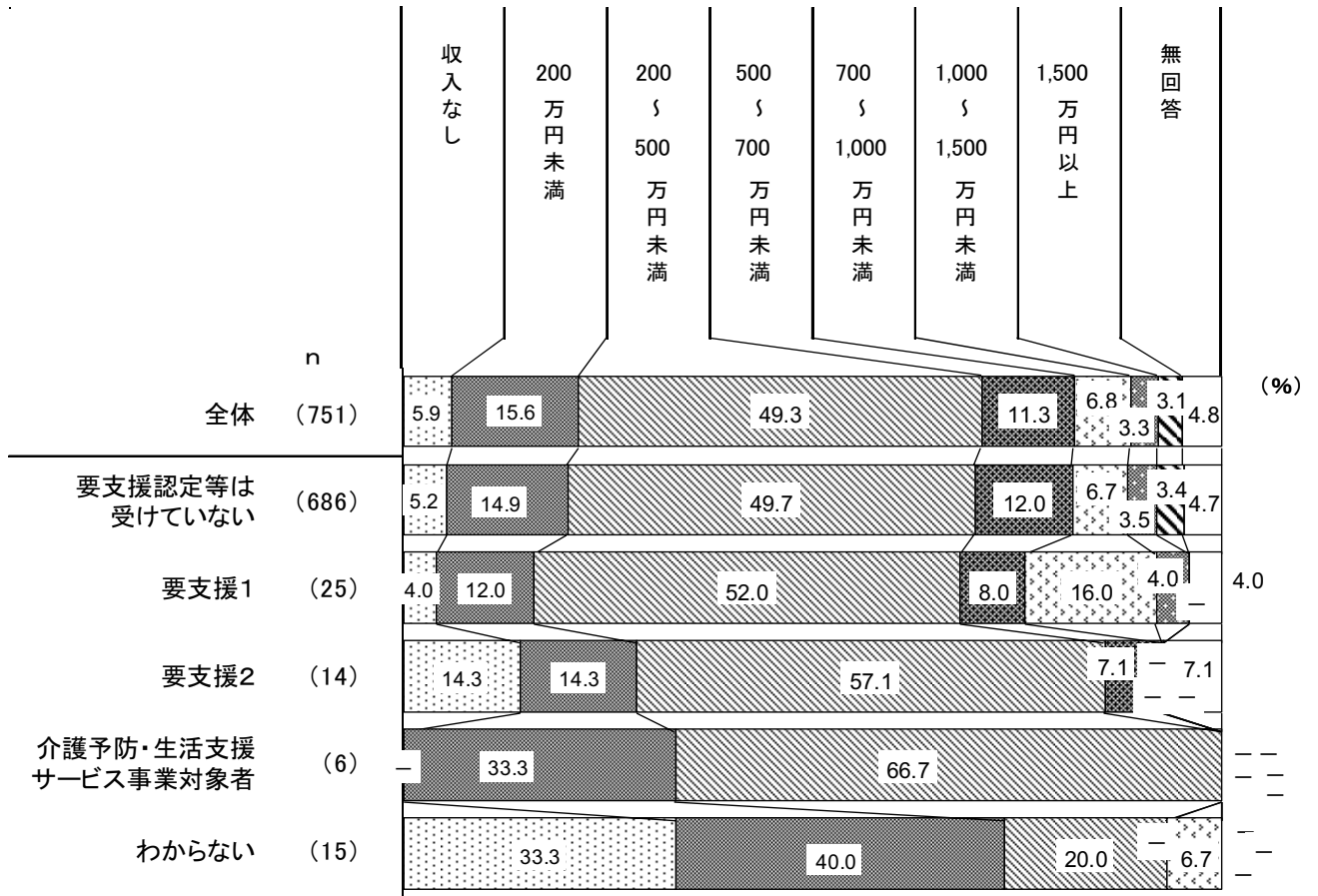
1.8. 世帯の昨年の合計収入



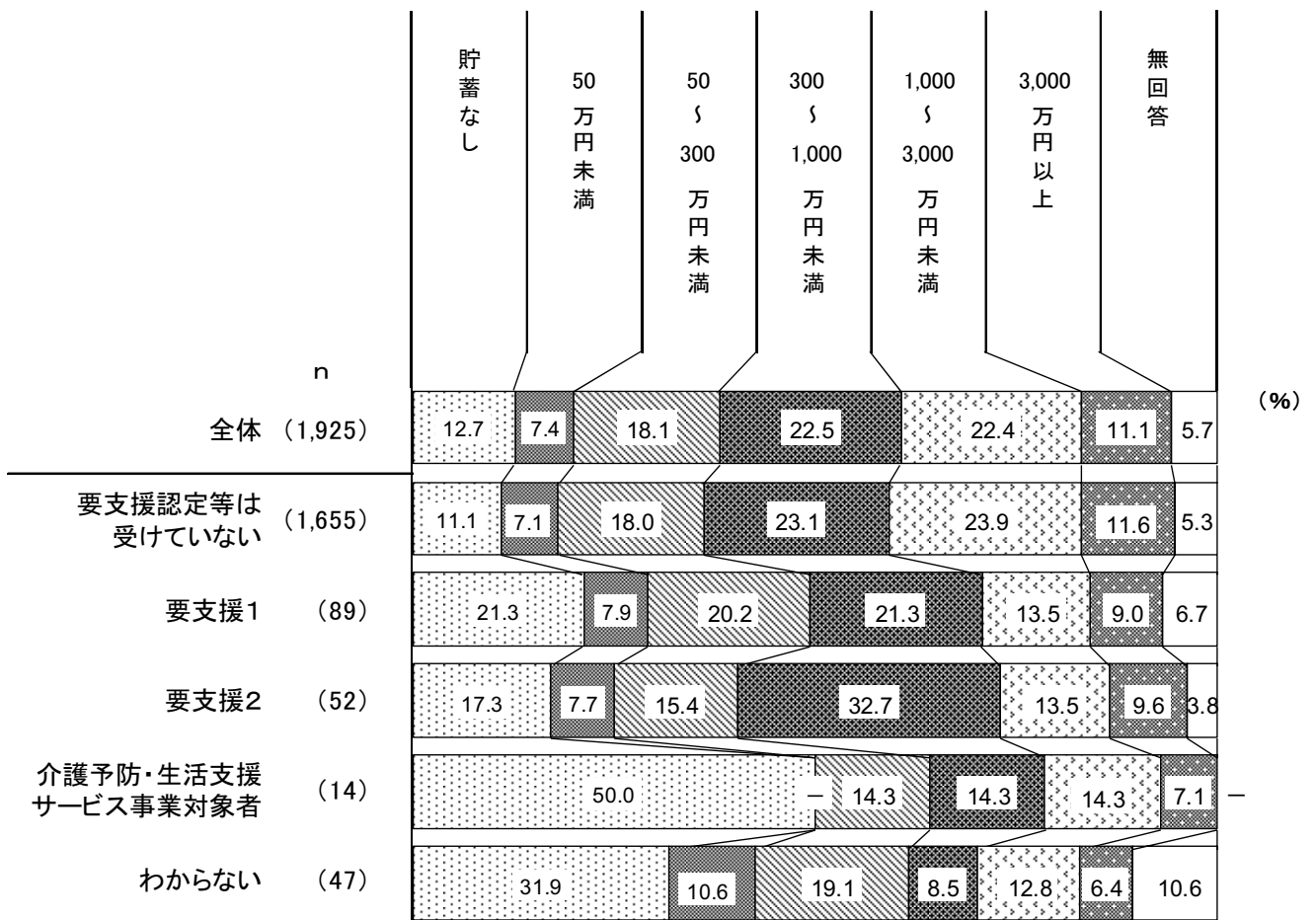
【状態別(1人暮らし)】世帯の昨年の合計収入



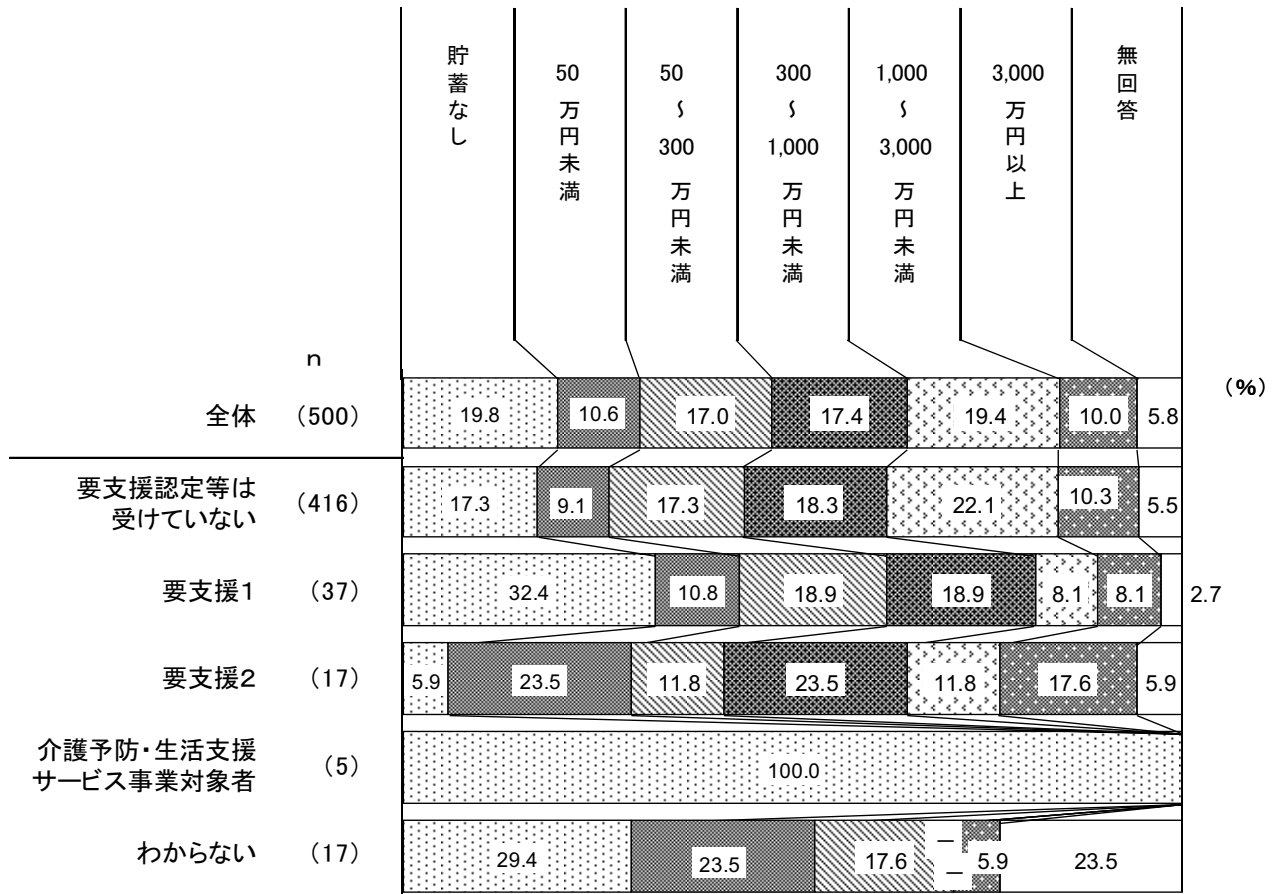
【状態別(夫婦2人暮らし)】世帯の昨年の合計収入



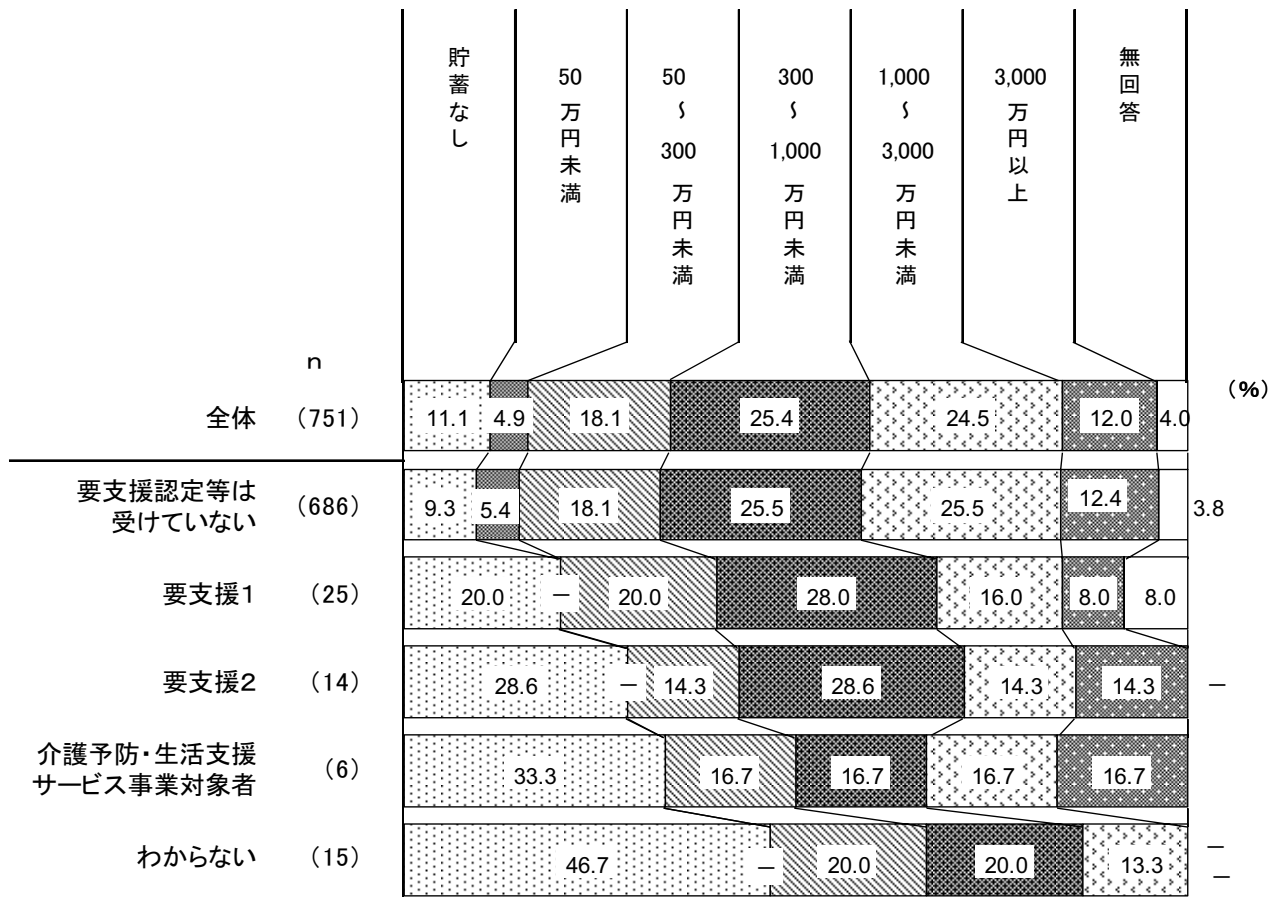
1.8.1. 現在の預貯金額



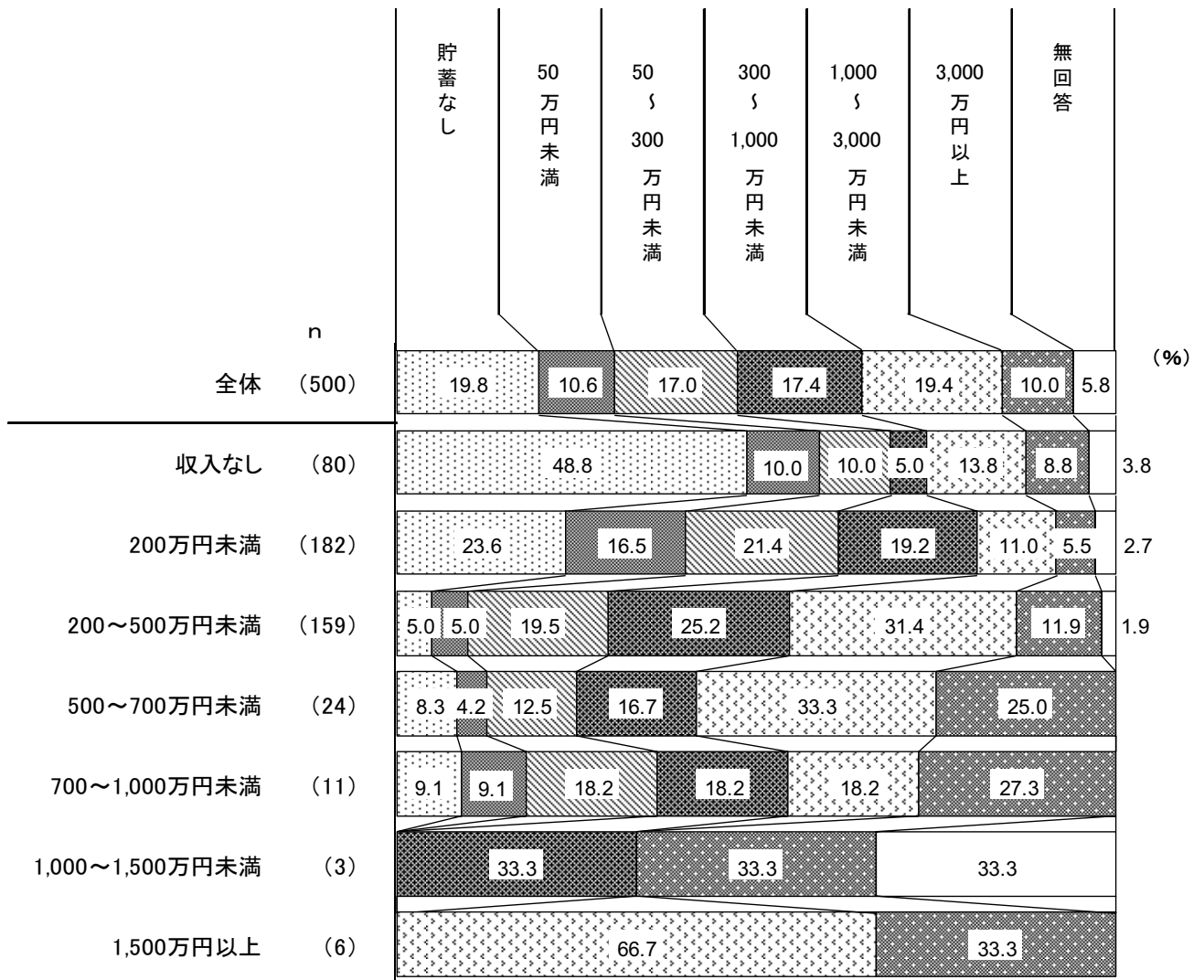
【状態別(1人暮らし)】現在の預貯金額



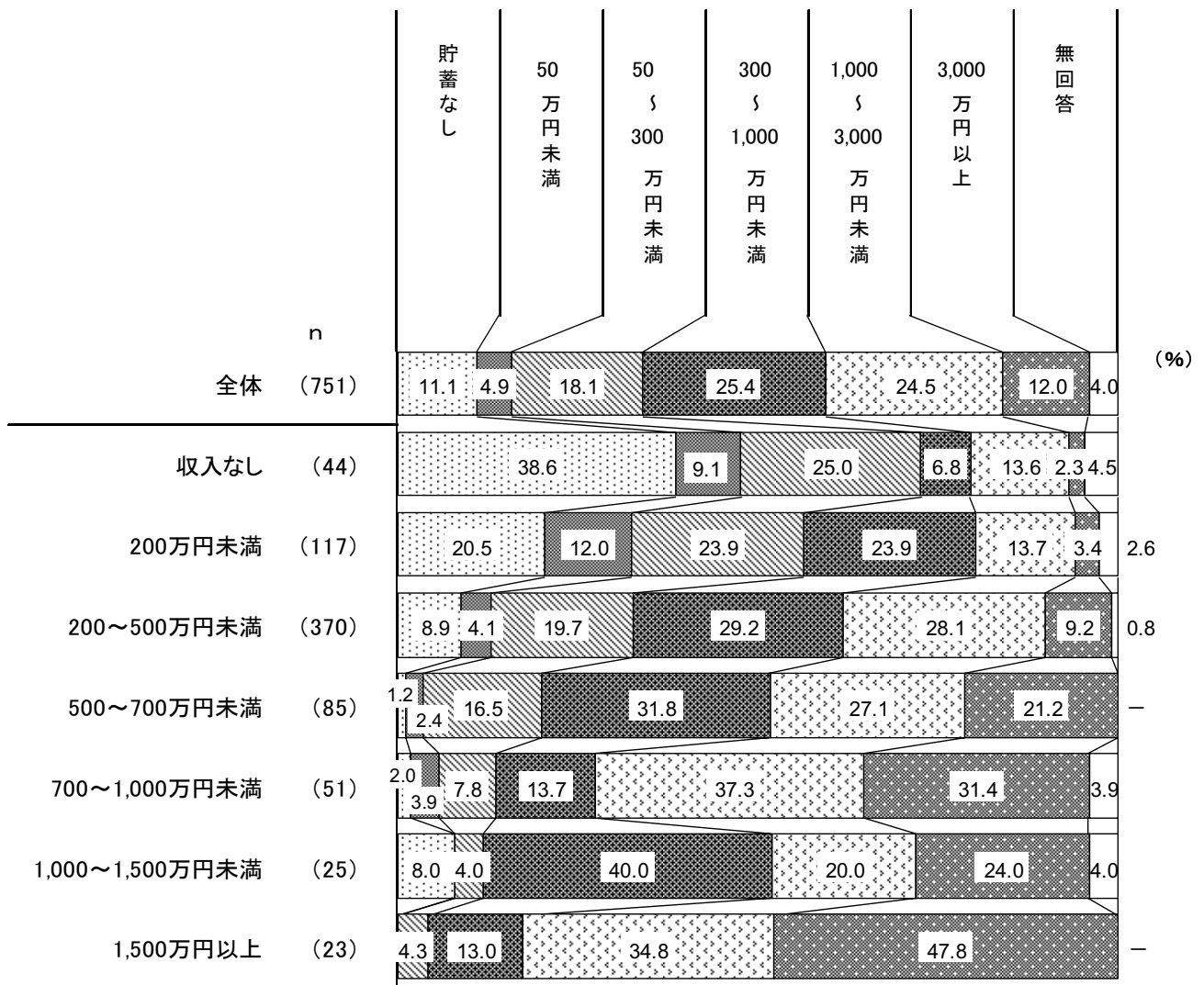
【状態別(夫婦2人暮らし)】現在の預貯金額



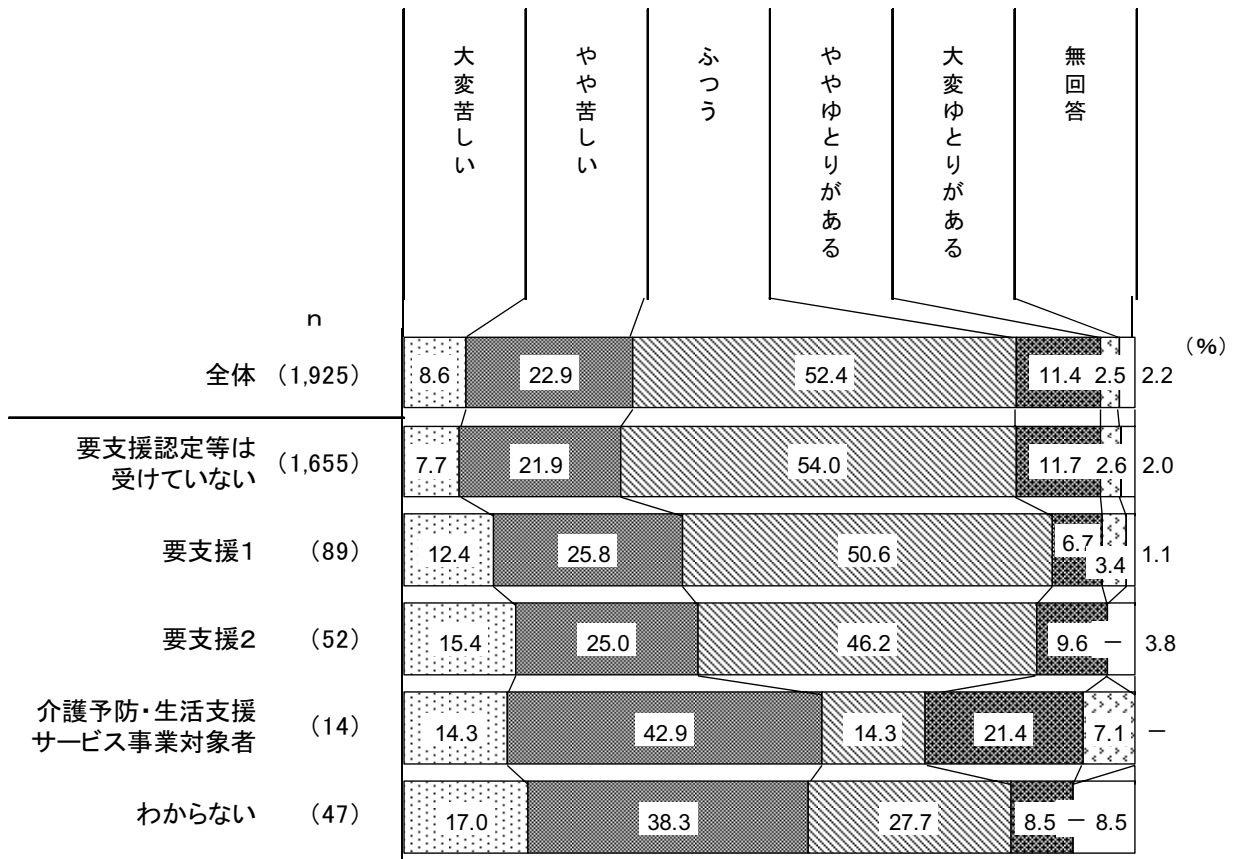
【収入別(1人暮らし)】現在の預貯金額



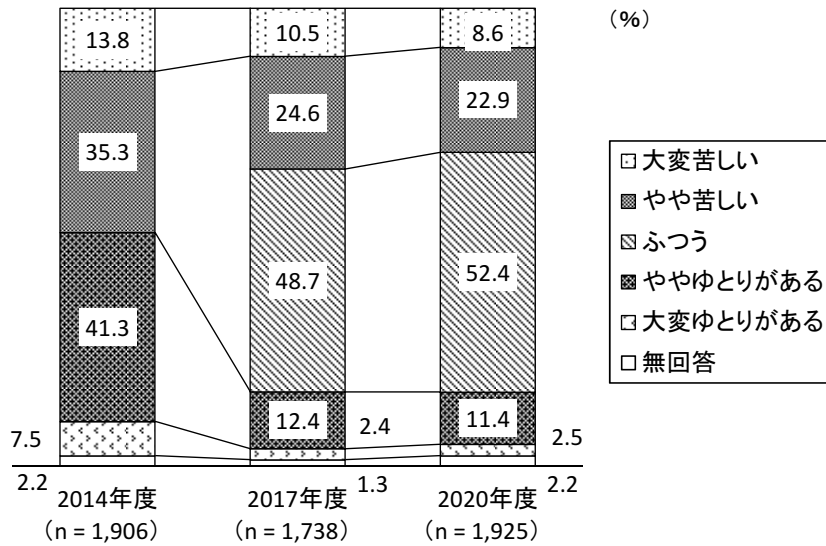
【収入別(夫婦2人暮らし)】現在の預貯金額



1.8.2. 暮らしの状況

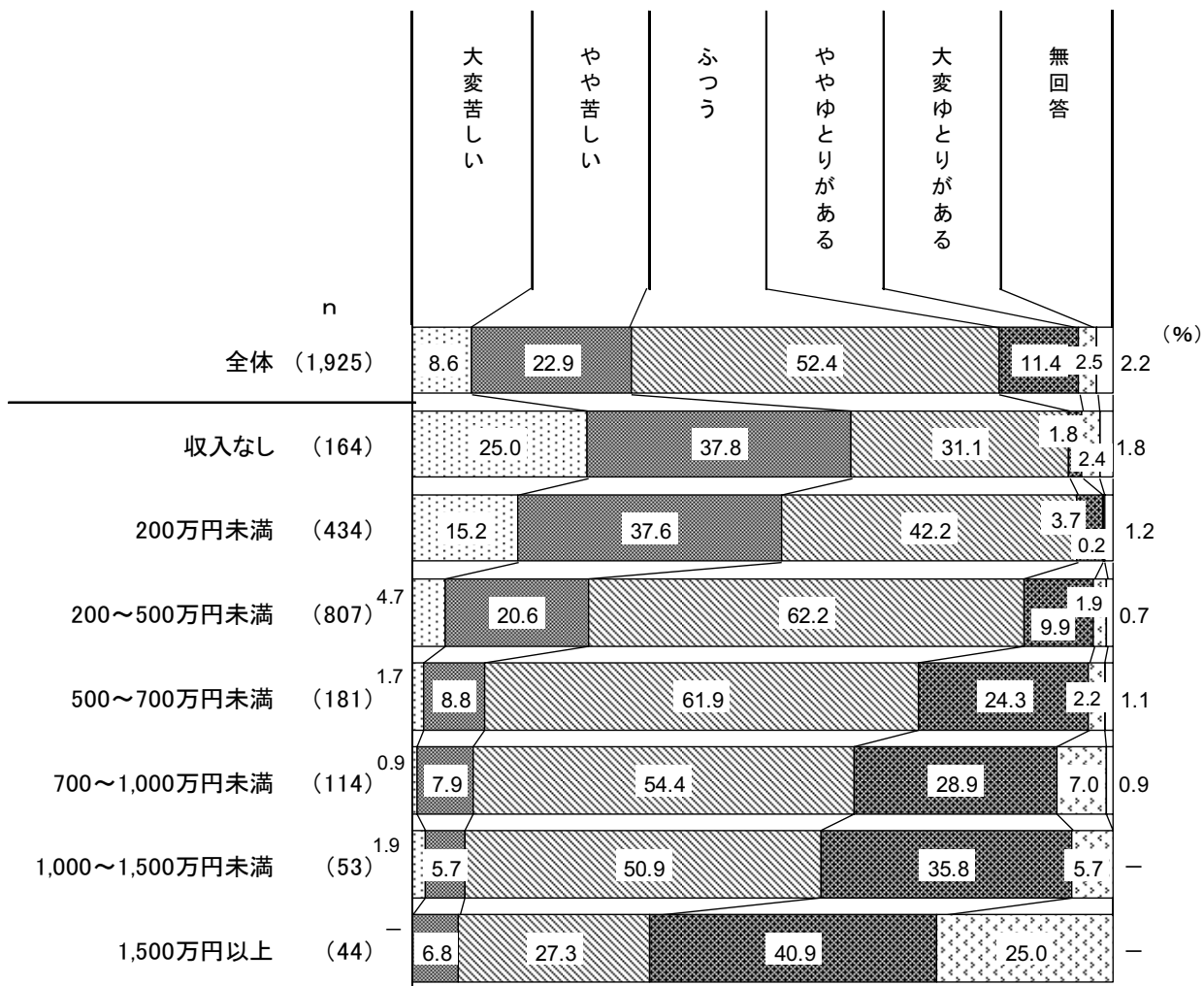


【経年比較】暮らしの状況

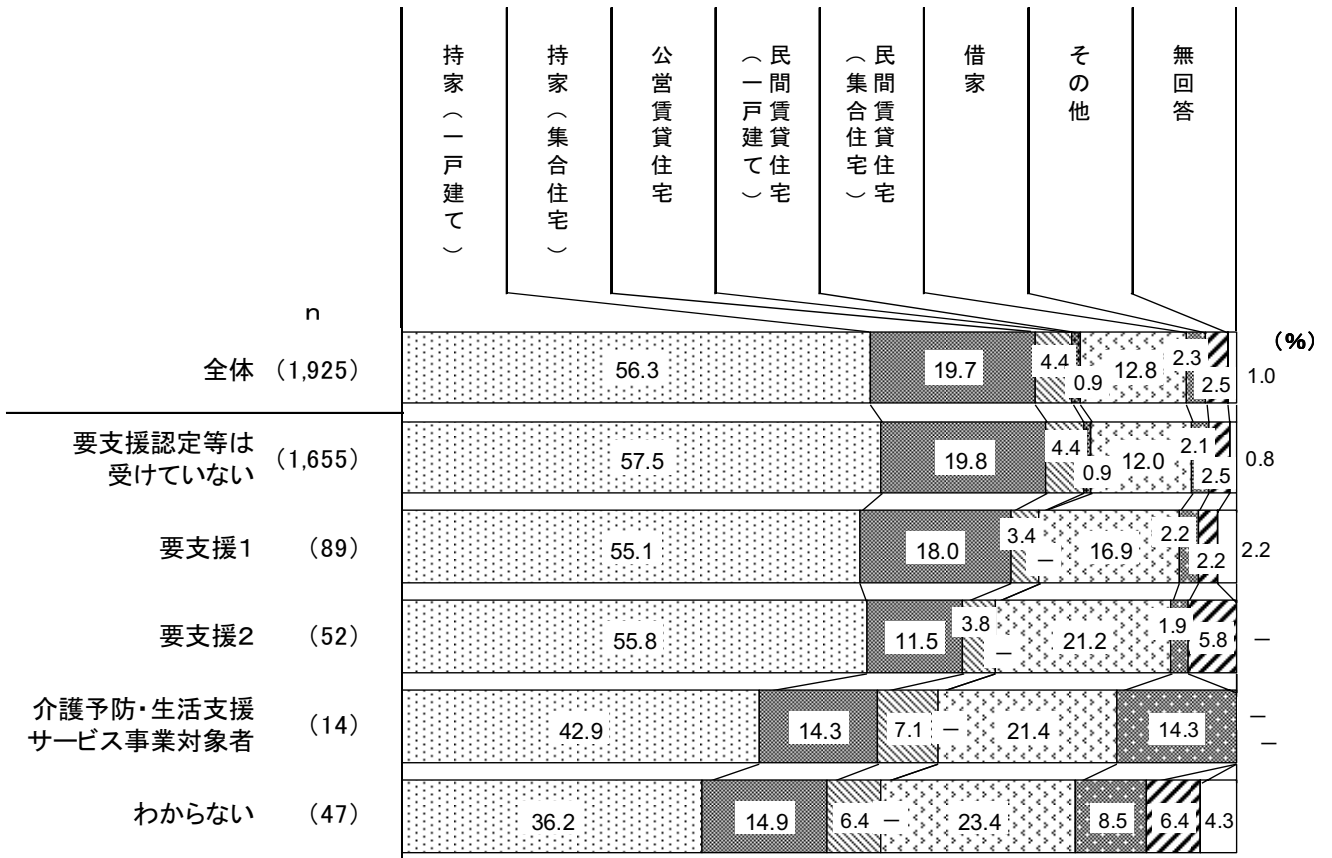


※2014年度は「ふつう」の選択肢はない。

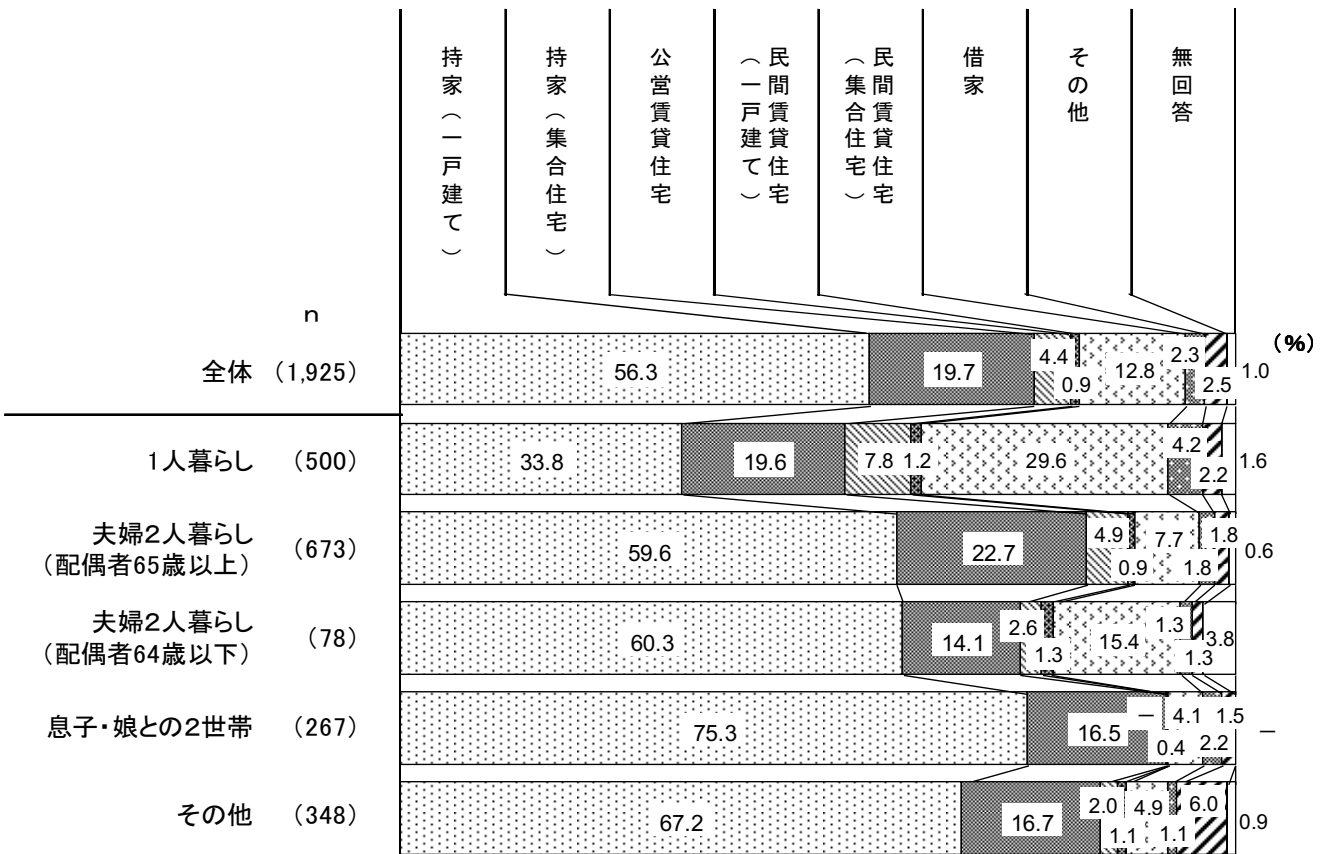
【収入別】暮らしの状況



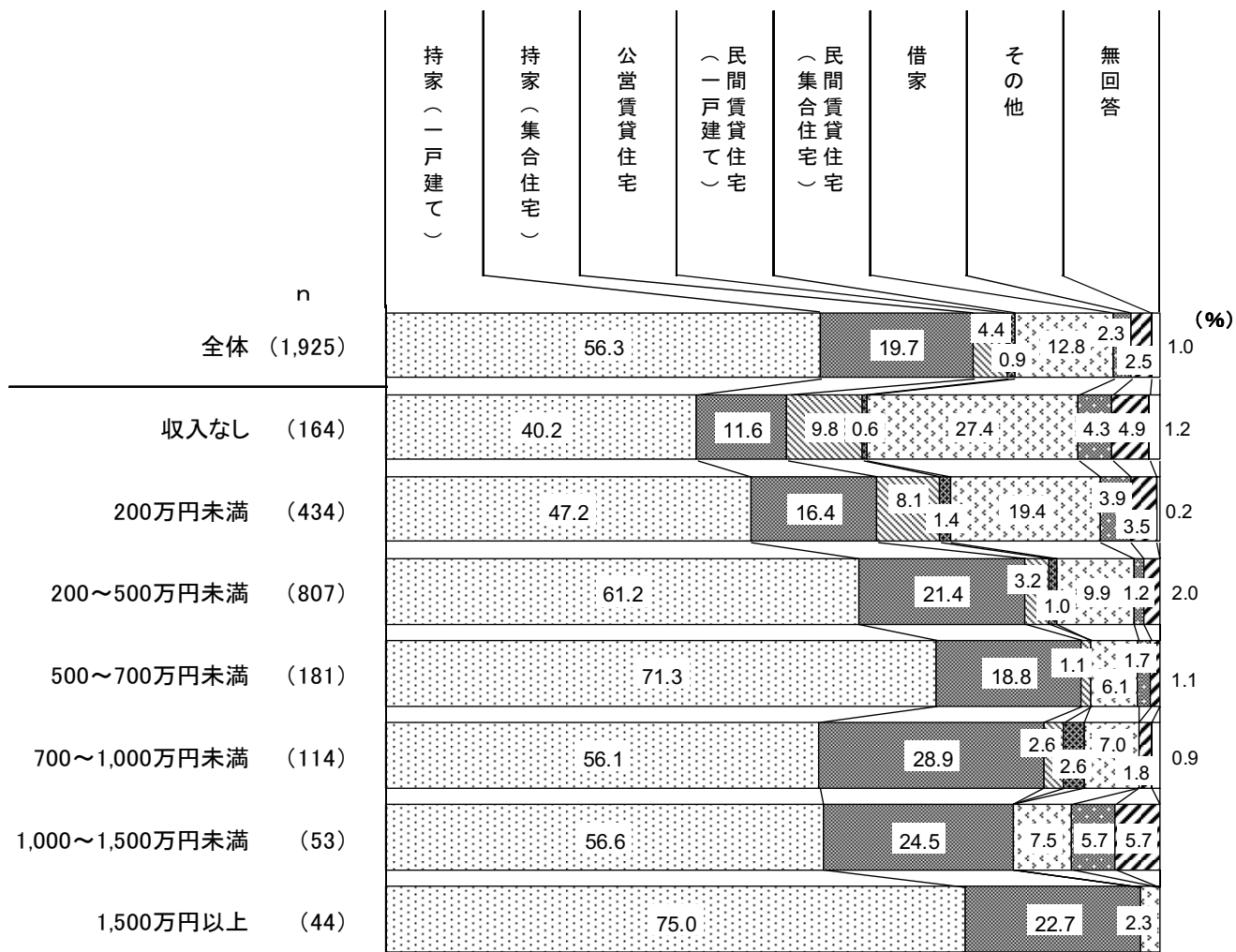
1.9. 居住形態



【家族構成別】居住形態



【収入別】居住形態



2. からだを動かすことについて

2.1. 機能評価

2.1.1. 運動器機能

◇以下の設問を抽出し、5項目のうち3項目以上に該当する人を運動器の機能低下リスク該当者と判定した。

問番号	設問	該当する選択肢
問 11	階段を手すりや壁をつたわずに昇っていますか	3. できない
問 12	椅子に座った状態から何もつかまらずに立ち上がっていますか	3. できない
問 13	15分位続けて歩いていますか	3. できない
問 14	過去1年間に転んだ経験がありますか	1. 何度もある 2. 1度ある
問 15	転倒に対する不安は大きいですか	1. とても不安である 2. やや不安である

◆ 運動器機能の低下リスク該当者は1割台前半

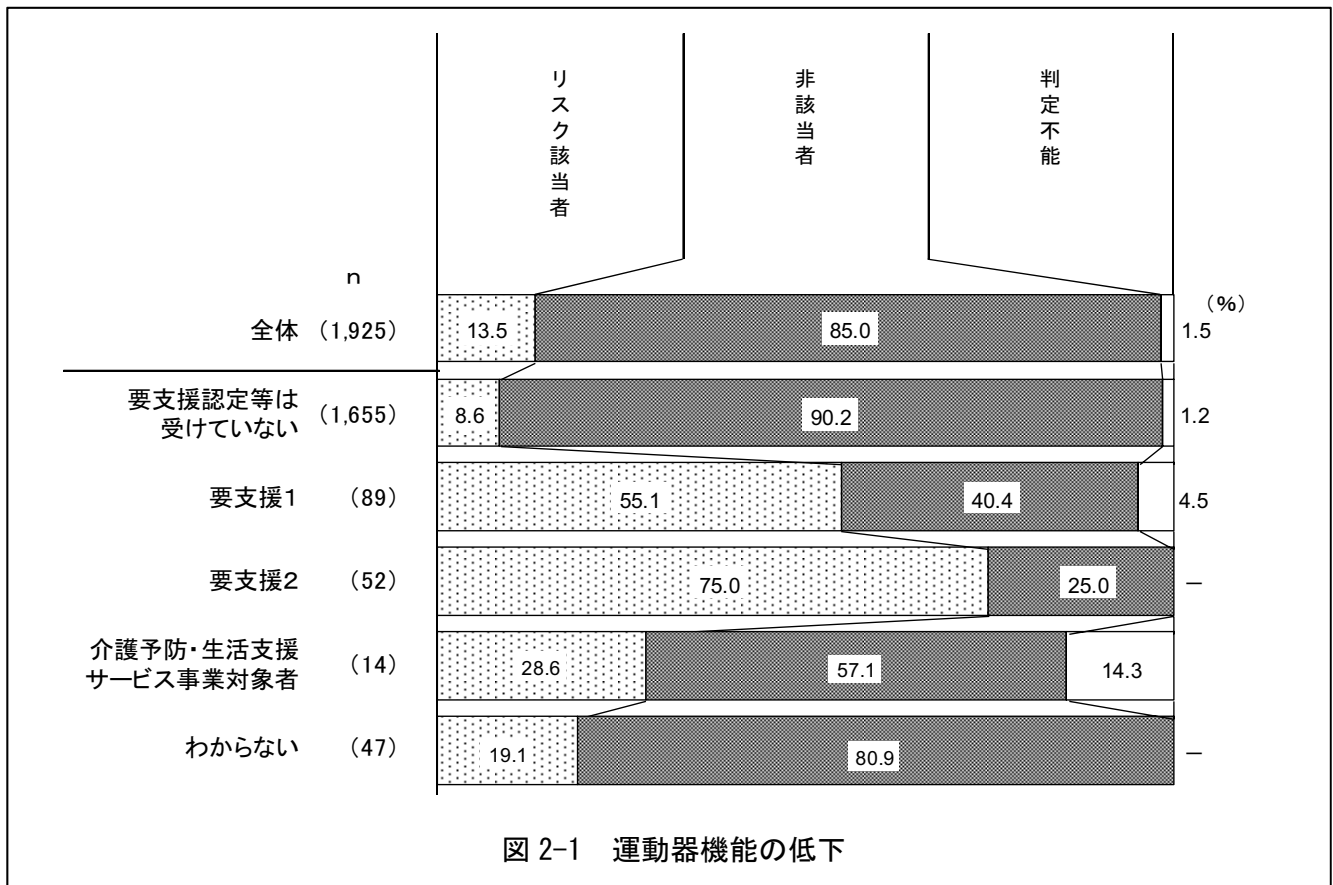


図 2-1 運動器機能の低下

全体では、運動器機能低下のリスク該当者は1割台前半となっている。

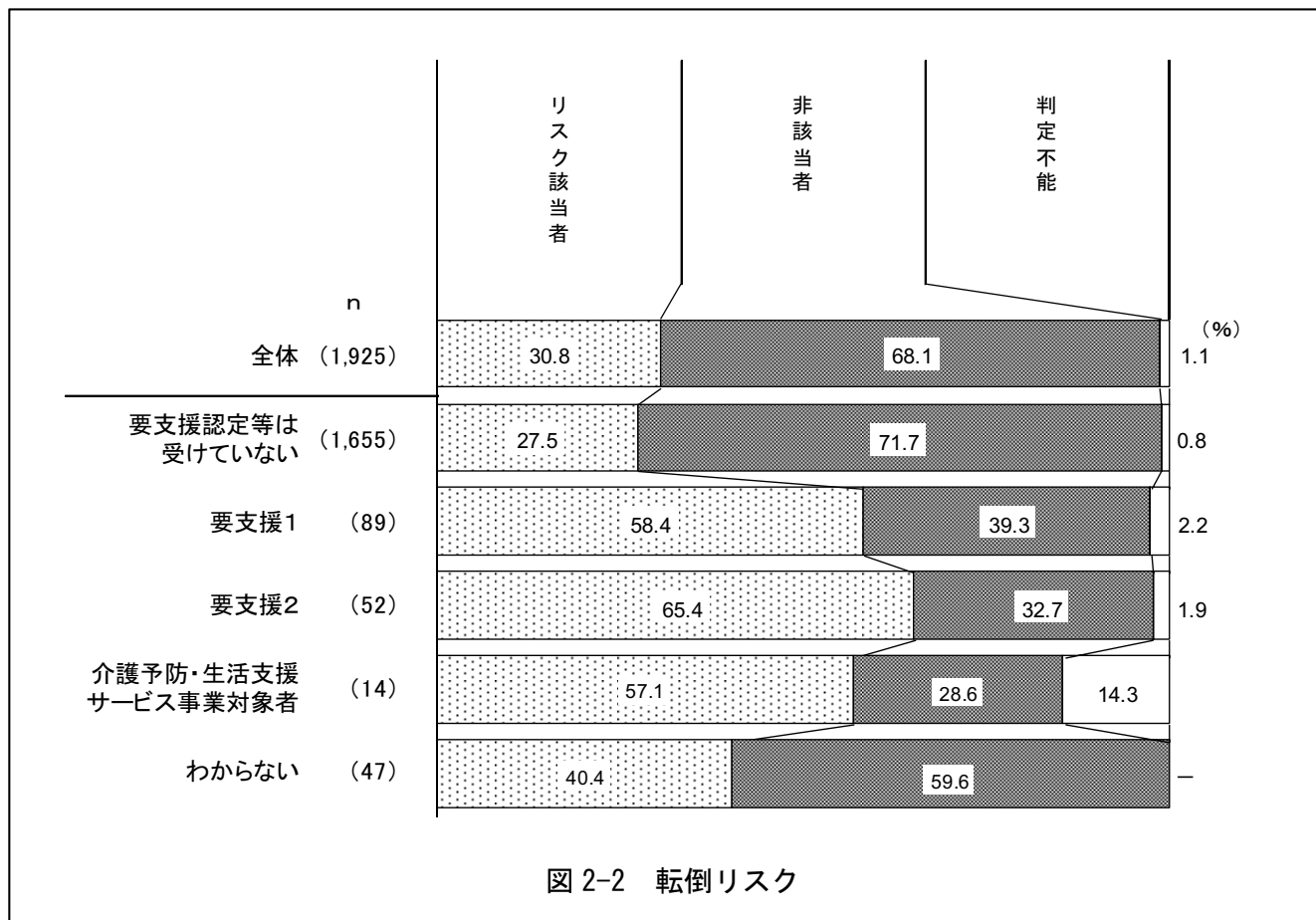
状態別では、リスク該当者の割合は、要支援認定等を受けていない人から要支援2に向かって、段階的に高くなっている。

2.1.2. 転倒リスク

◇以下の設問を抽出し、該当する人を転倒のリスク該当者と判定した。

問番号	設問	該当する選択肢
問 14	過去1年間に転んだ経験がありますか	1. 何度もある 2. 1度ある

◆ 転倒リスク該当者は約3割



全体では、転倒リスクの該当者は約3割となっている。

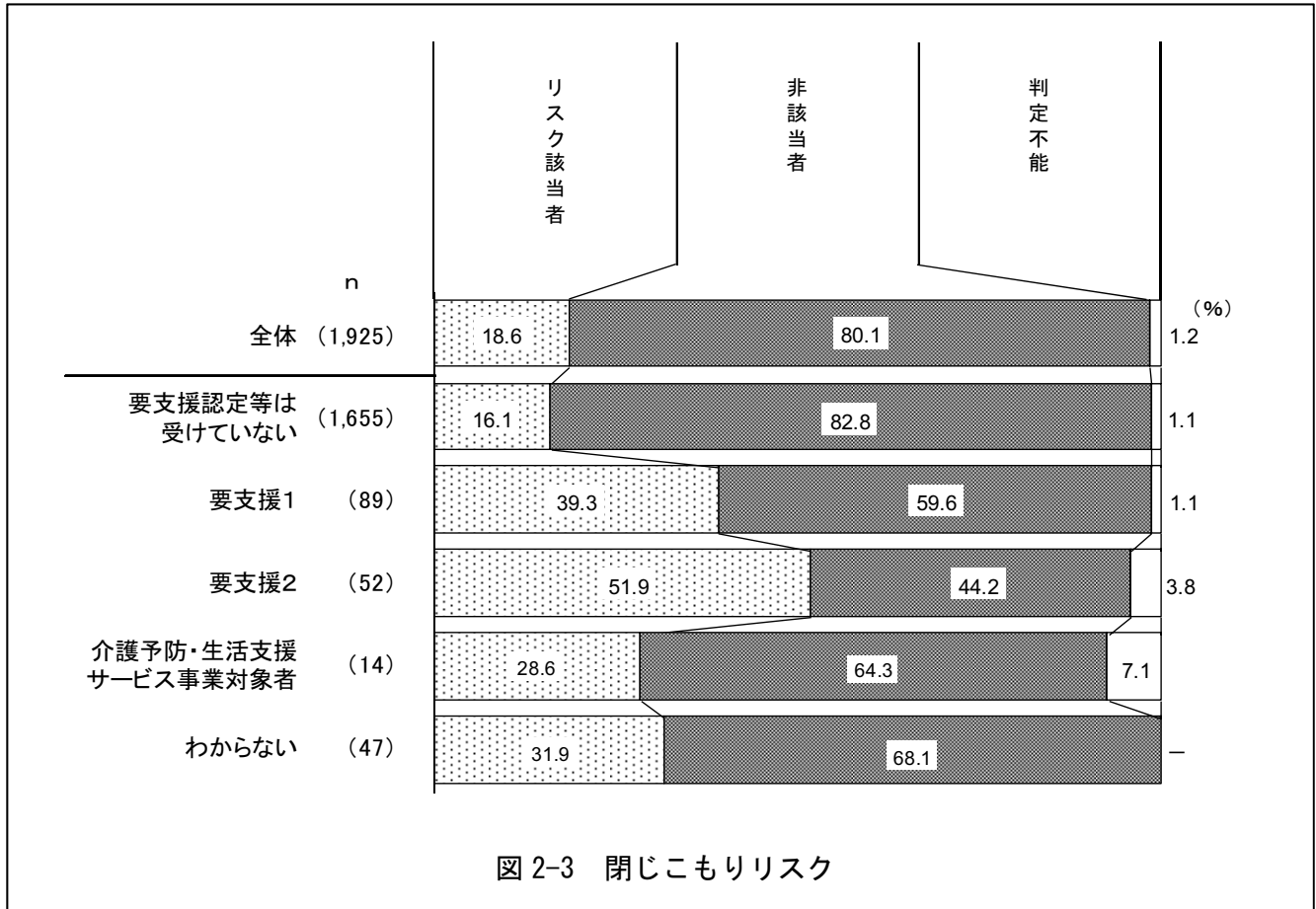
状態別では、リスク該当者の割合は、要支援認定等を受けていない人から要支援2に向かって、段階的に高くなっている。

2.1.3. 閉じこもり傾向

◇以下の設問を抽出し、該当する人を閉じこもりのリスク該当者と判定した。

問番号	設問	該当する選択肢
問 16	週に1回以上は外出していますか	1. ほとんど外出しない 2. 週1回

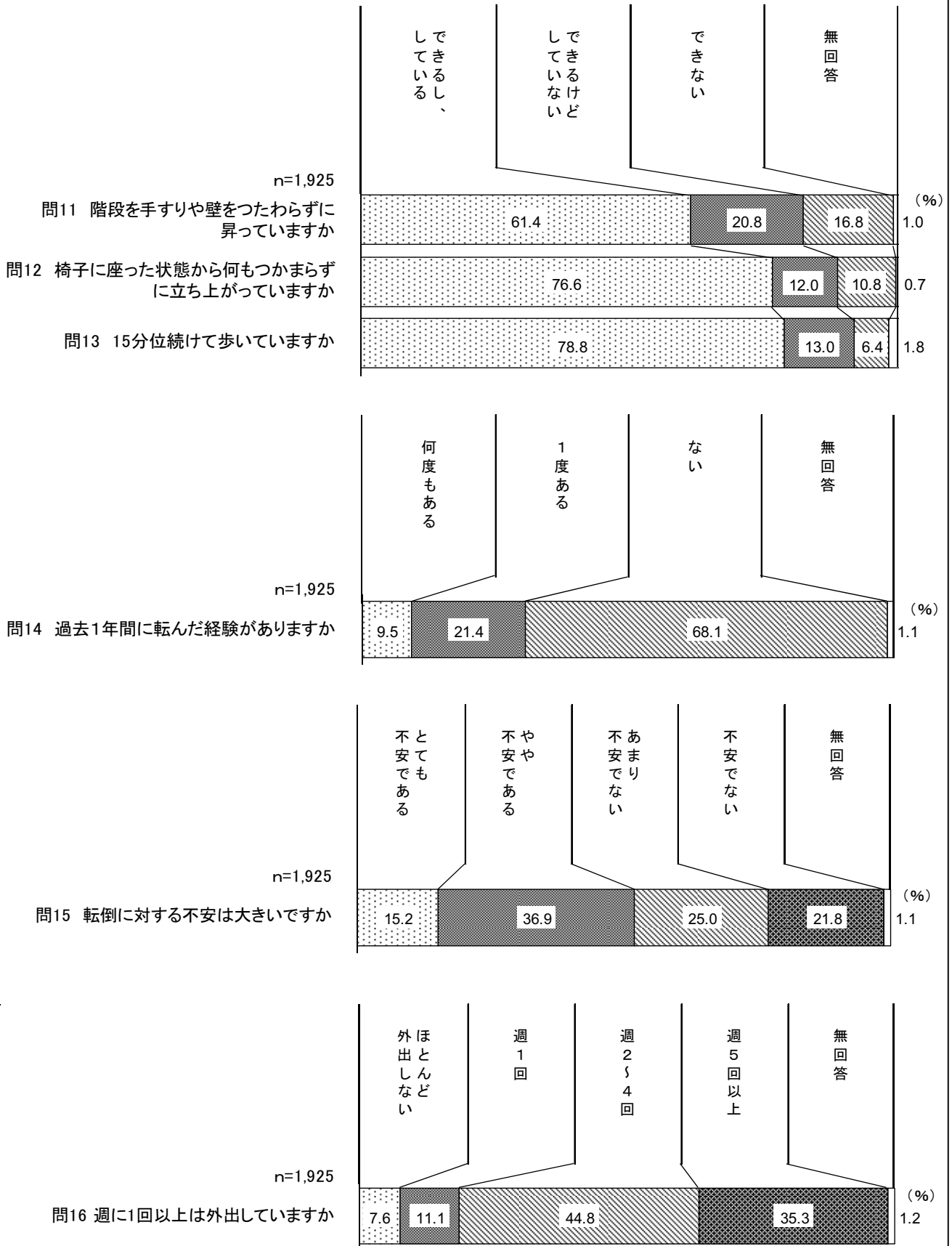
◆ 閉じこもりのリスク該当者は1割台後半



全体では、閉じこもりリスクの該当者は1割台後半となっている。

状態別では、リスク該当者の割合は、要支援認定等を受けていない人から要支援2に向かって、段階的に高くなっている。

※問 11～16 設問ごとの結果



2.2. 外出の回数

◆外出の回数は、「減っている」が3割台前半

問 17 昨年と比べて外出の回数が減っていますか。(○は1つ)

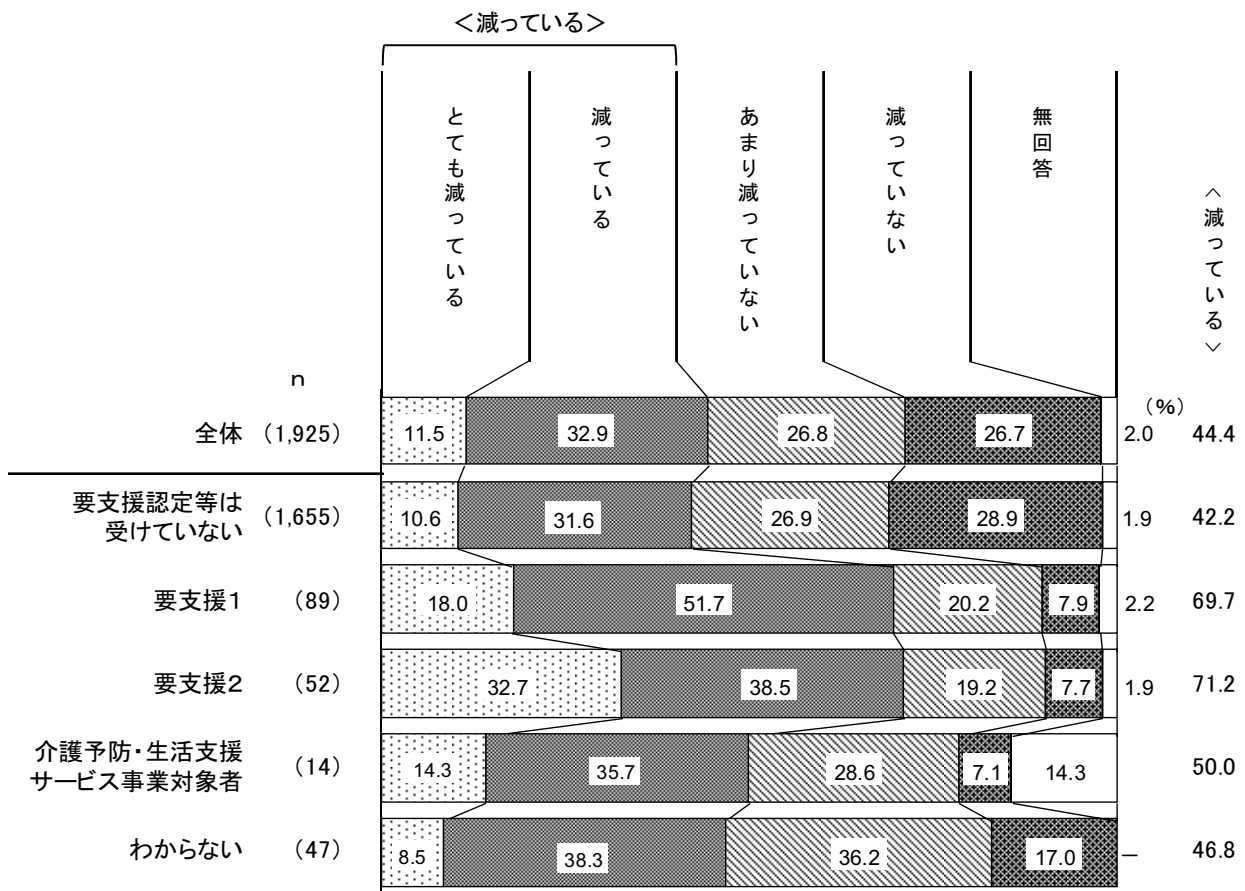


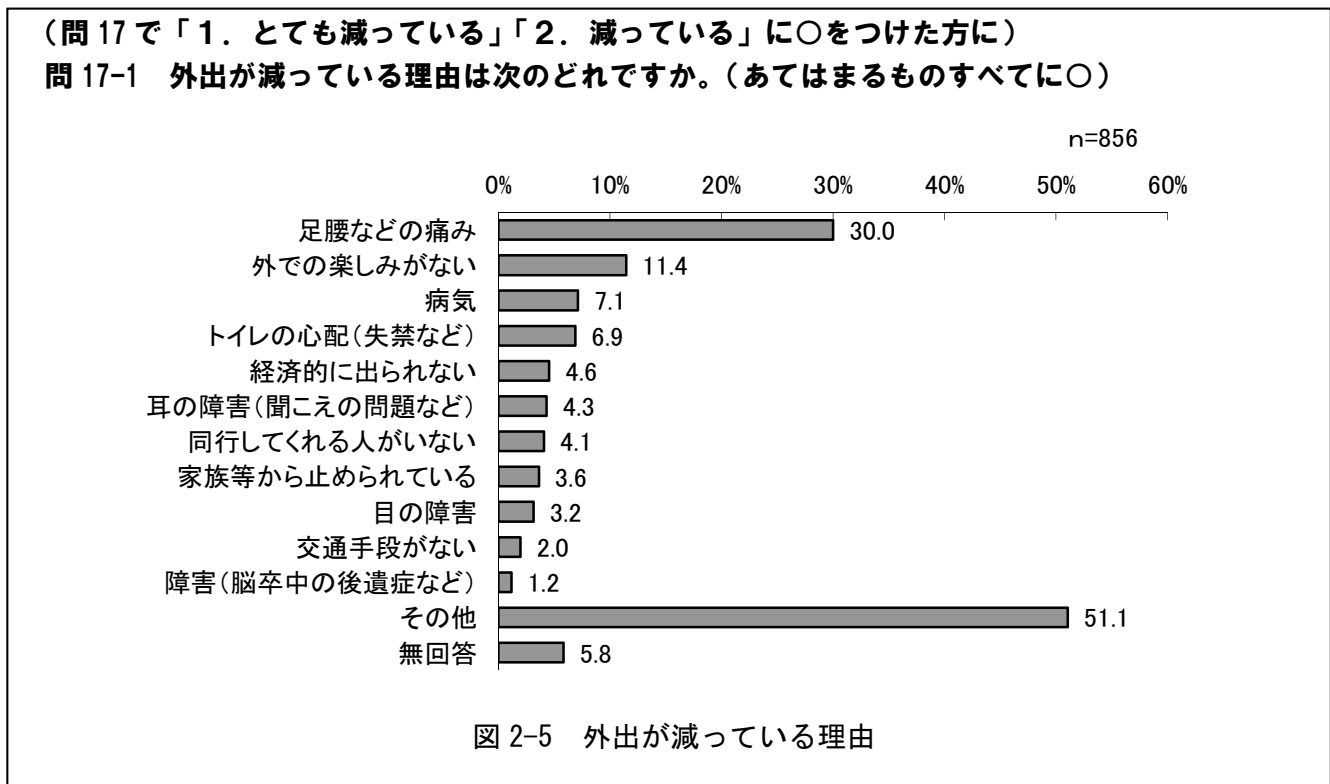
図 2-4 外出の回数

外出の回数は、「減っている」が最も高く、要支援1と要支援2で「とても減っている」と「減っている」を合わせた＜減っている＞が高くなっている。

新型コロナウイルス感染症対策として緊急事態宣言が出されていた期間及び外出自粛を行っていた期間における調査であったため、回答内容にその影響が出ているものと思われる。

2.2.1. 外出が減っている理由

◆外出が減っている理由は、「足腰などの痛み」が3割



外出が減っている理由は、「その他」を除くと「足腰などの痛み」が最も高くなっている。

※「その他」としてあげられた内容の多くは、新型コロナウイルスによる外出自粛。

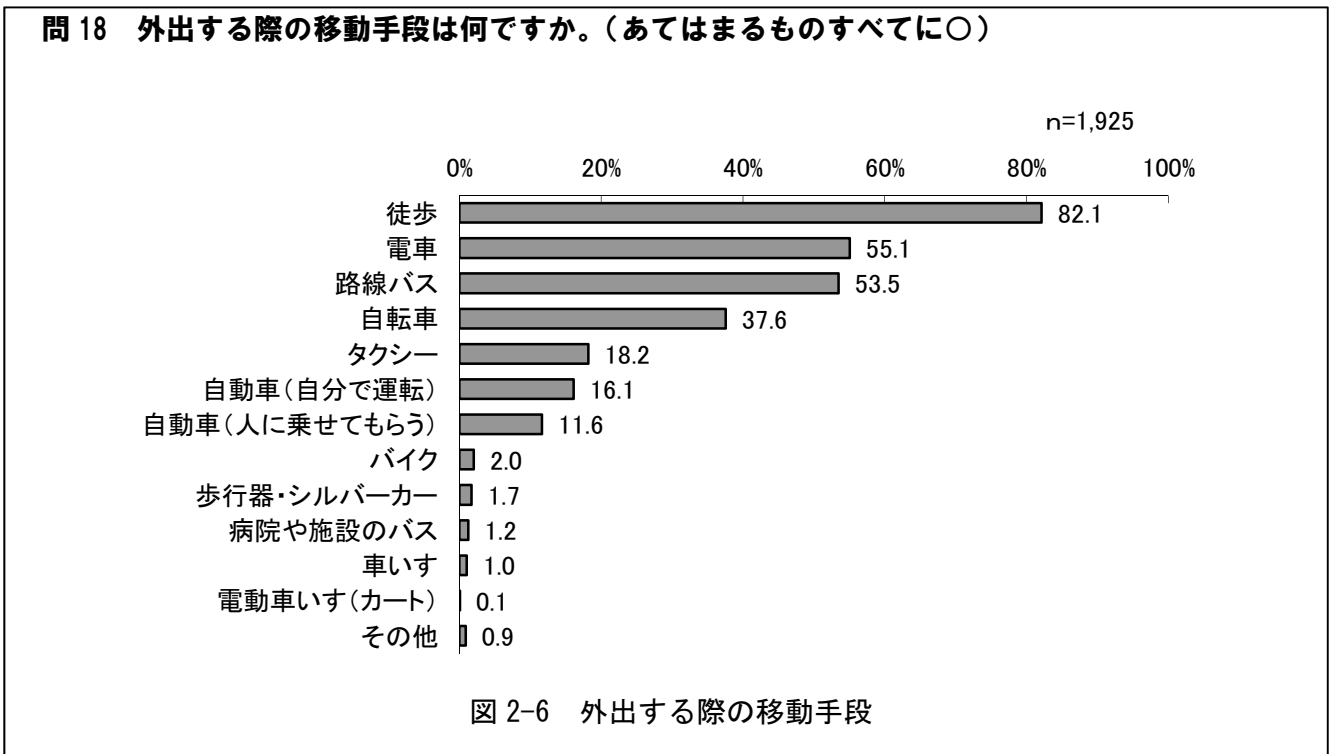
【状態別】外出が減っている理由

単位: %

状態	有効回答数(件)	病気	後遺症(脳卒中)	足腰などの痛み	トイレの心配(失禁など)	耳の障害(聞こえの問題など)	目の障害	外での楽しみがない	経済的に出られない	交通手段がない	同行してくれる人がいない	止められている	その他	無回答
全体	856	7.1	1.2	30.0	6.9	4.3	3.2	11.4	4.6	2.0	4.1	3.6	51.1	5.8
要支援認定等は受けていない	699	5.7	1.4	24.9	5.6	3.3	2.9	10.9	4.1	1.3	2.3	2.6	57.4	6.0
要支援1	62	12.9	0.0	53.2	11.3	12.9	3.2	17.7	11.3	8.1	17.7	9.7	21.0	6.5
要支援2	37	27.0	0.0	62.2	10.8	8.1	8.1	10.8	2.7	5.4	18.9	13.5	27.0	2.7
介護予防・生活支援サービス事業対象者	7	0.0	0.0	57.1	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	42.9	0.0
わからない	22	0.0	0.0	45.5	18.2	9.1	0.0	9.1	0.0	4.5	4.5	4.5	27.3	4.5

2.3. 外出する際の移動手段

◆外出する際の移動手段は、「徒歩」が8割台前半



外出する際の移動手段は、「徒歩」が最も高くなっている。

【状態別】外出する際の移動手段

単位: %

状態	有効回答数(件)	徒歩	自転車	バイク	自動車(自分で運転)	自動車(人に乗せてもらう)	電車	路線バス	病院や施設のバス	車いす	電動車いす(カート)	歩行器・シルバーカー	タクシー	その他	無回答
全体	1,925	82.1	37.6	2.0	16.1	11.6	55.1	53.5	1.2	1.0	0.1	1.7	18.2	0.9	1.3
要支援認定等を受けていない	1,655	84.7	40.4	2.2	17.8	11.6	58.8	55.2	0.7	0.2	0.0	0.5	16.1	0.7	1.0
要支援1	89	73.0	12.4	0.0	1.1	14.6	30.3	50.6	6.7	5.6	0.0	14.6	41.6	3.4	2.2
要支援2	52	50.0	3.8	0.0	3.8	21.2	19.2	30.8	9.6	15.4	1.9	17.3	46.2	0.0	0.0
介護予防・生活支援サービス事業対象者	14	85.7	28.6	0.0	0.0	7.1	42.9	64.3	7.1	0.0	0.0	0.0	7.1	0.0	7.1
わからない	47	63.8	27.7	0.0	10.6	4.3	44.7	44.7	0.0	0.0	0.0	2.1	12.8	6.4	4.3

3. 食べることについて

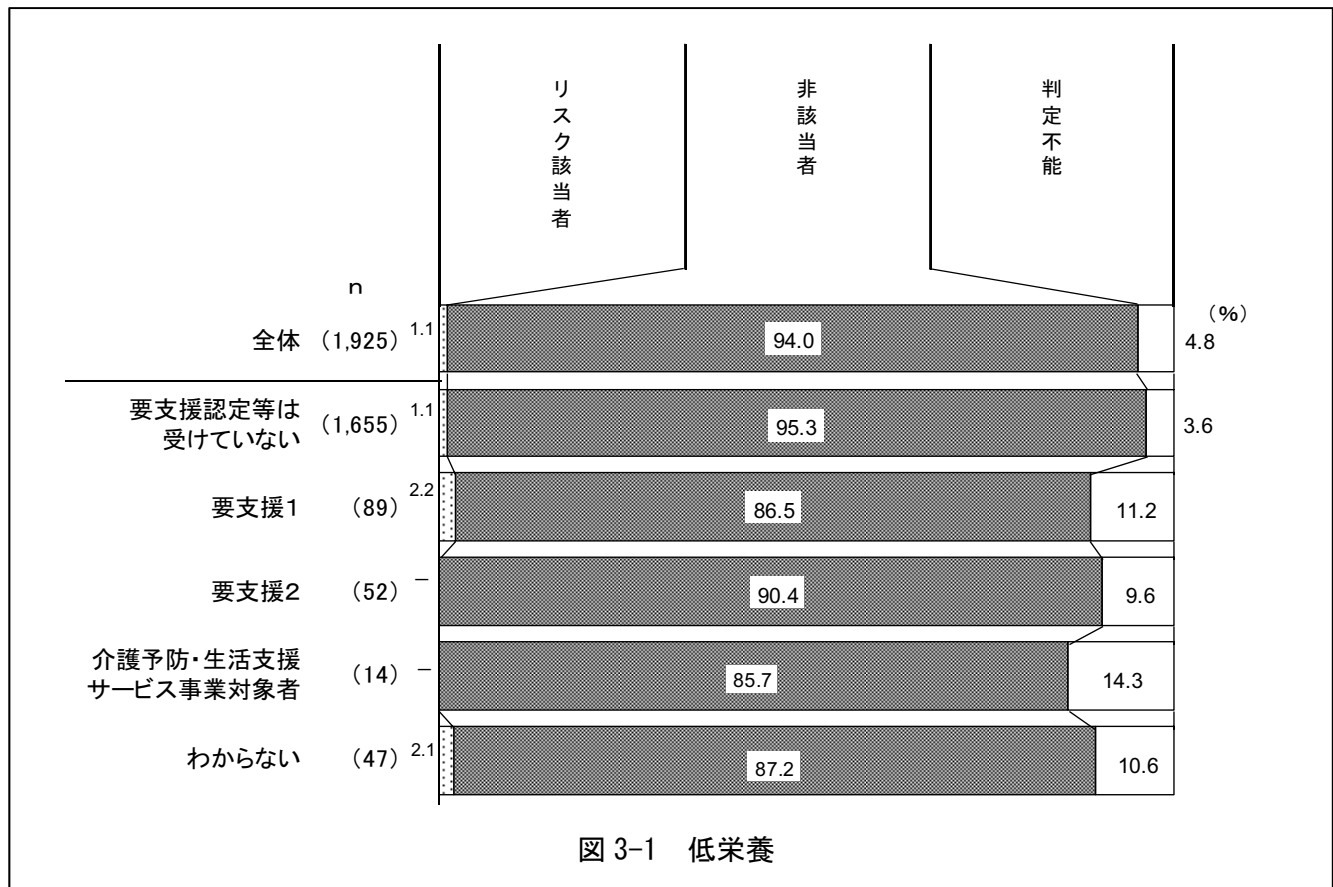
3.1. 機能評価

3.1.1. 低栄養

◇以下の設問を抽出し、2項目の両方に該当する人を低栄養のリスク該当者と判定した。

問番号	設問	該当する状態・選択肢
問 19	身長・体重	BMI 18.5 未満
問 25	6か月間で2～3kg 以上の体重減少がありましたか	1. はい

◆ 低栄養のリスク該当者は約1%



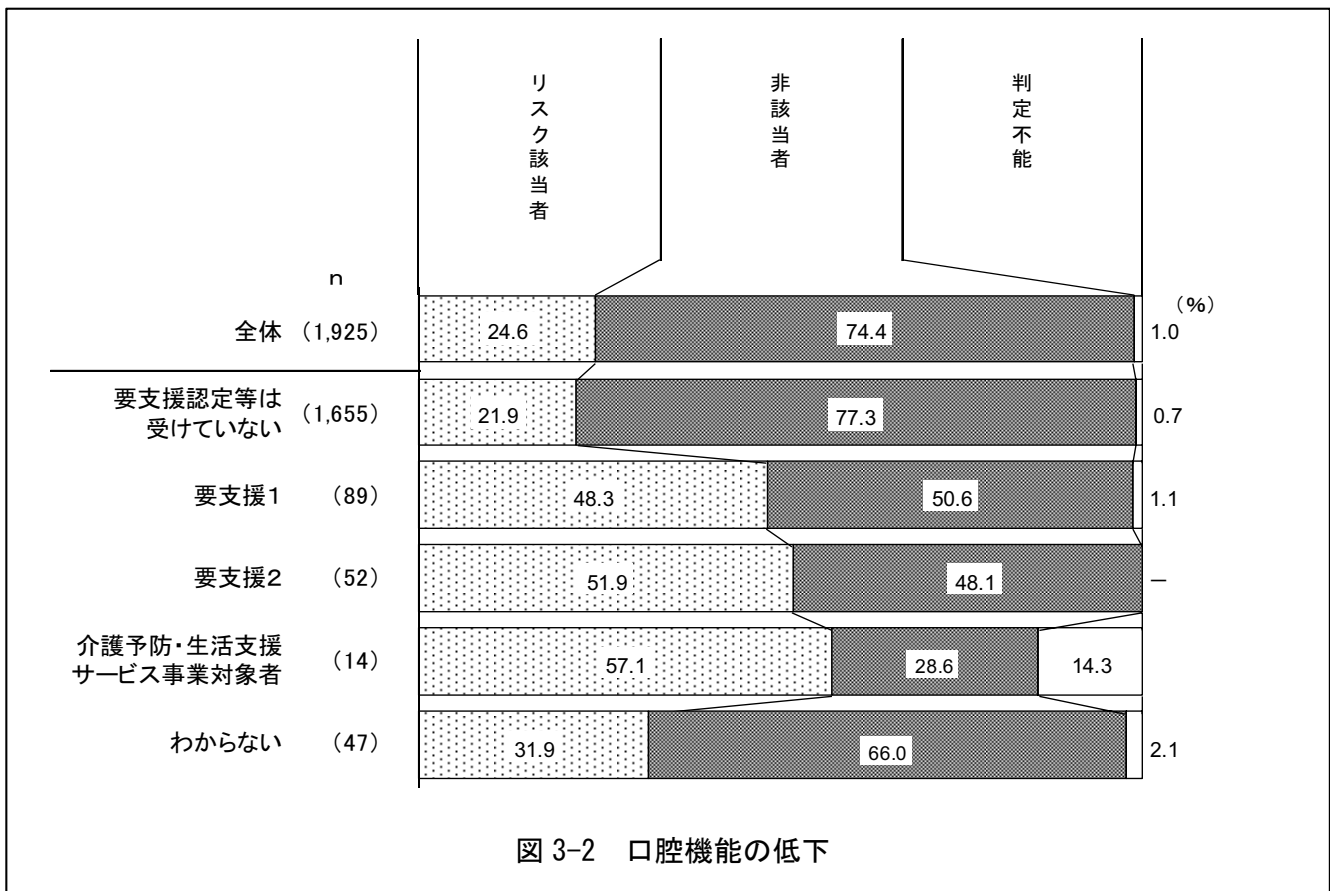
全体では、低栄養のリスク該当者は約1%となっている。
 状態別では、リスク該当者の割合は要支援1でやや高くなっている。

3.1.2. 口腔機能

◇以下の設問を抽出し、3項目のうち2項目以上に該当する人を口腔機能低下のリスク該当者と判定した。

問番号	設問	該当する選択肢
問 20	半年前に比べて固いものが食べにくくなりましたか	1. はい
問 21	お茶や汁物等でむせることがありますか	1. はい
問 22	口の渇きが気になりますか	1. はい

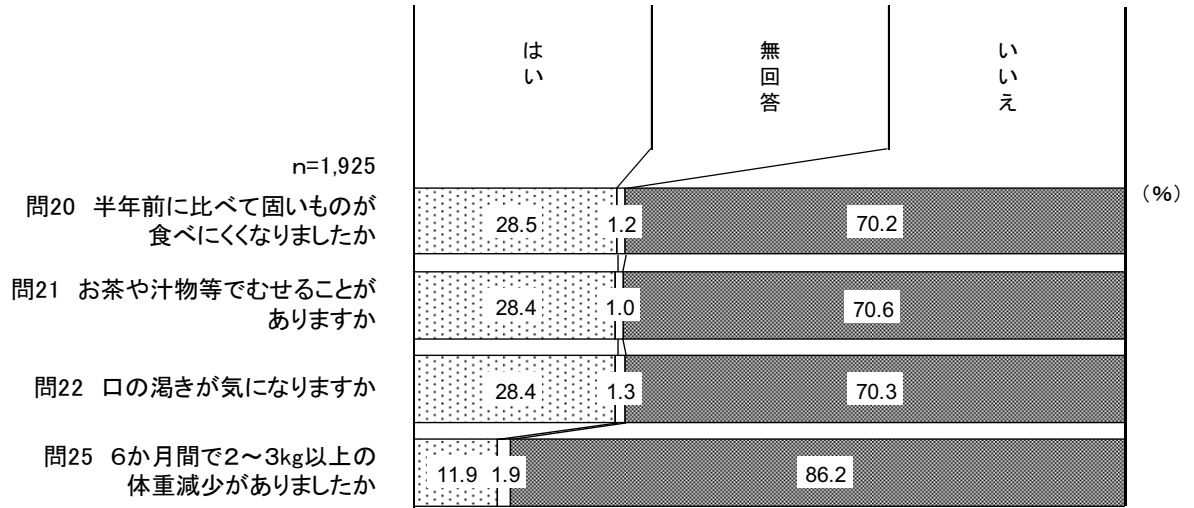
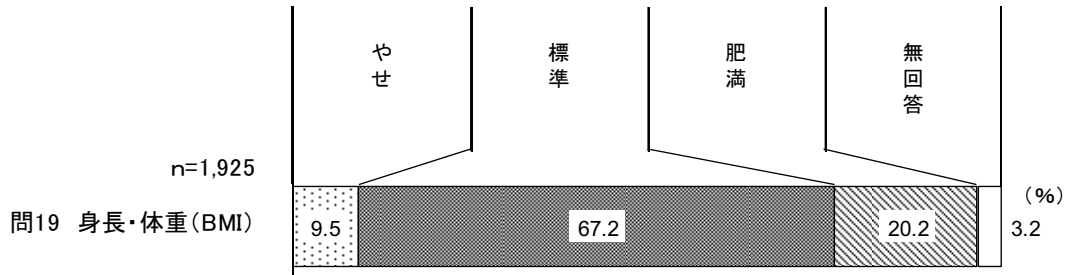
◆ 口腔機能の低下リスク該当者は2割台半ば



全体では、口腔機能低下のリスク該当者は2割台半ばとなっている。

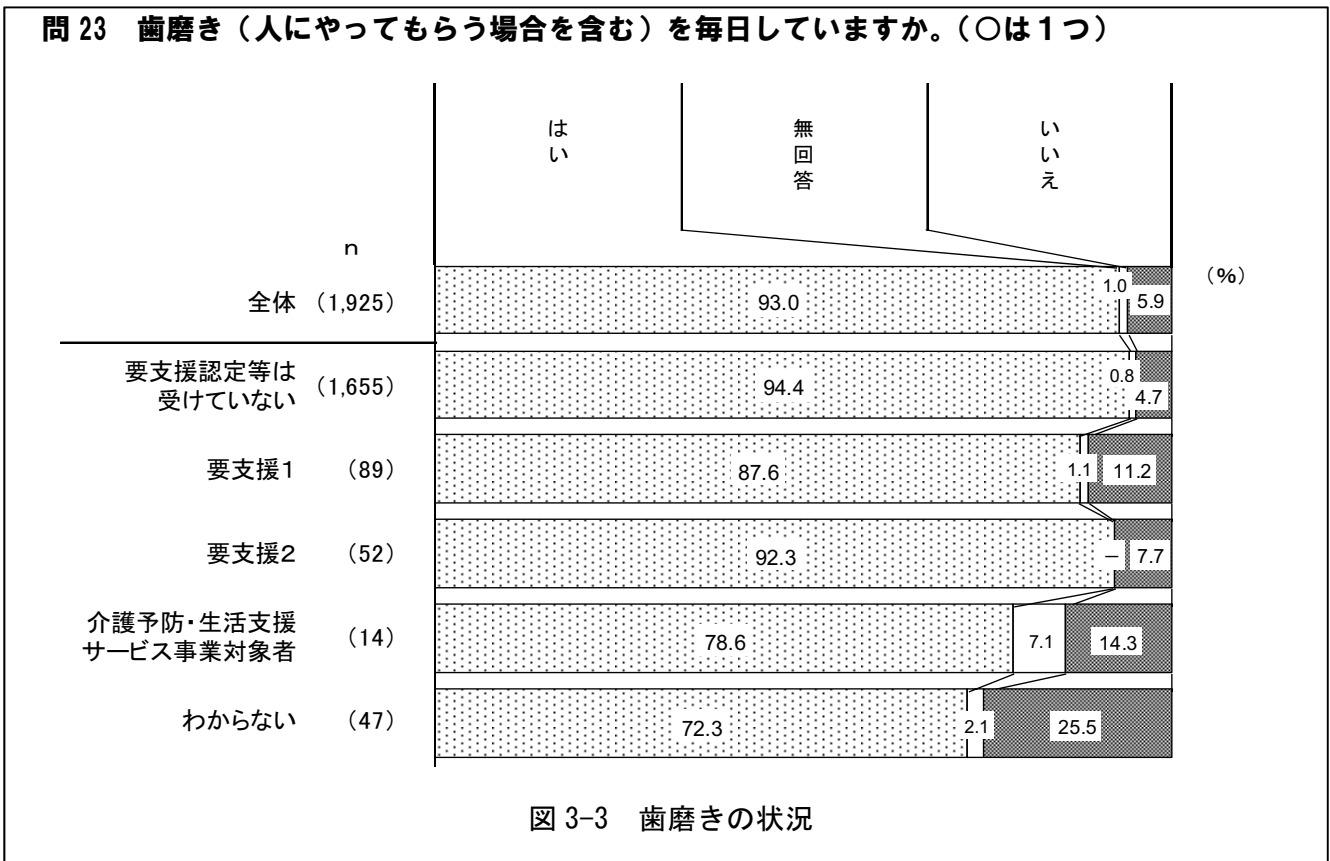
状態別では、リスク該当者の割合は介護予防・生活支援サービス事業対象者で最も高くなっている。

※問 19～問 22、問 25 設問ごとの結果

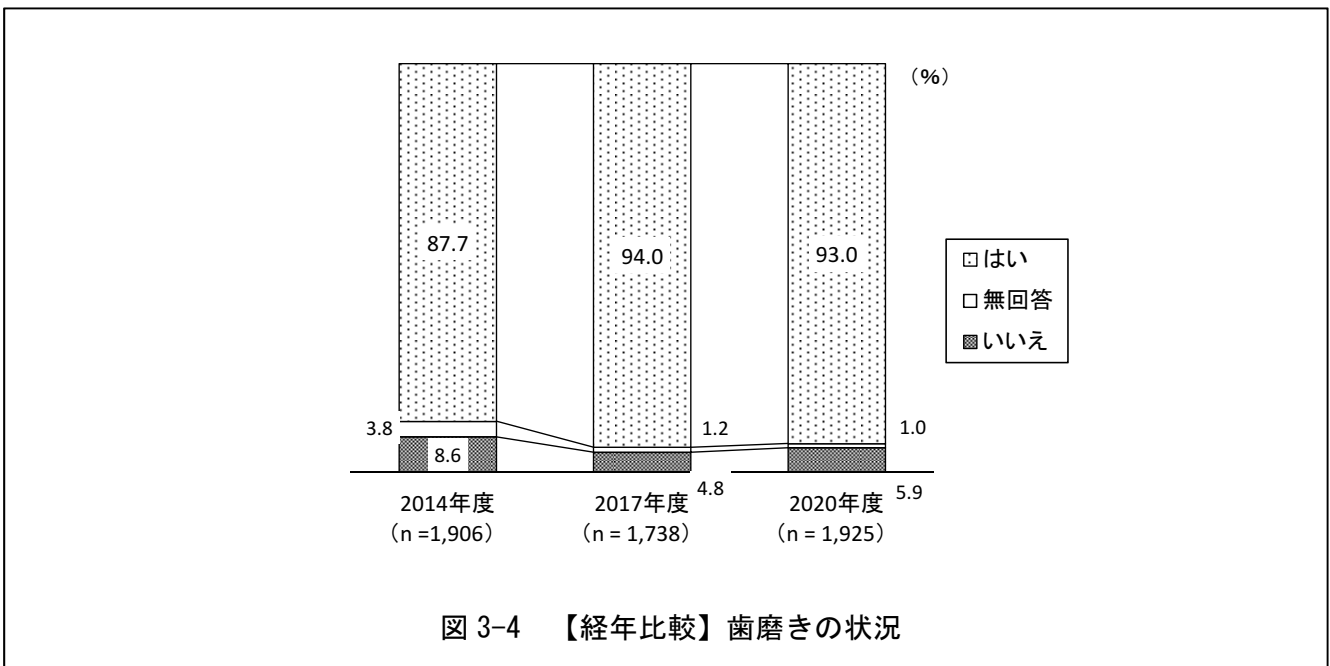


3.2. 歯磨きの状況

◆「はい」が9割台前半



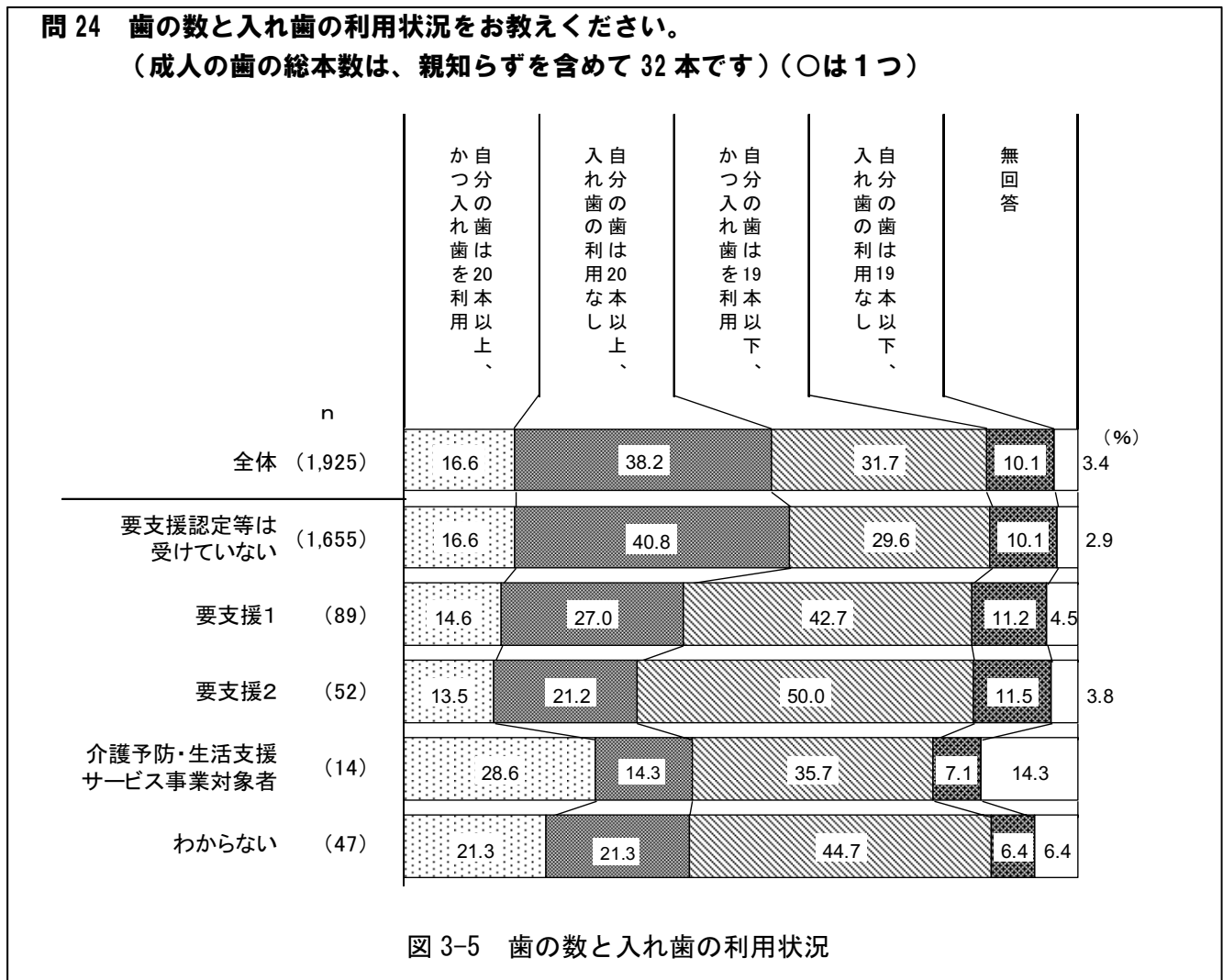
歯磨きを毎日しているかは、「はい」が高くなっている。



経年比較でみると、2014年度に比べ「はい」が5.3ポイント増加している。

3.3. 歯の数と入れ歯の利用状況

◆歯の数と入れ歯の利用状況は、「自分の歯は20本以上、入れ歯の利用なし」が3割台後半

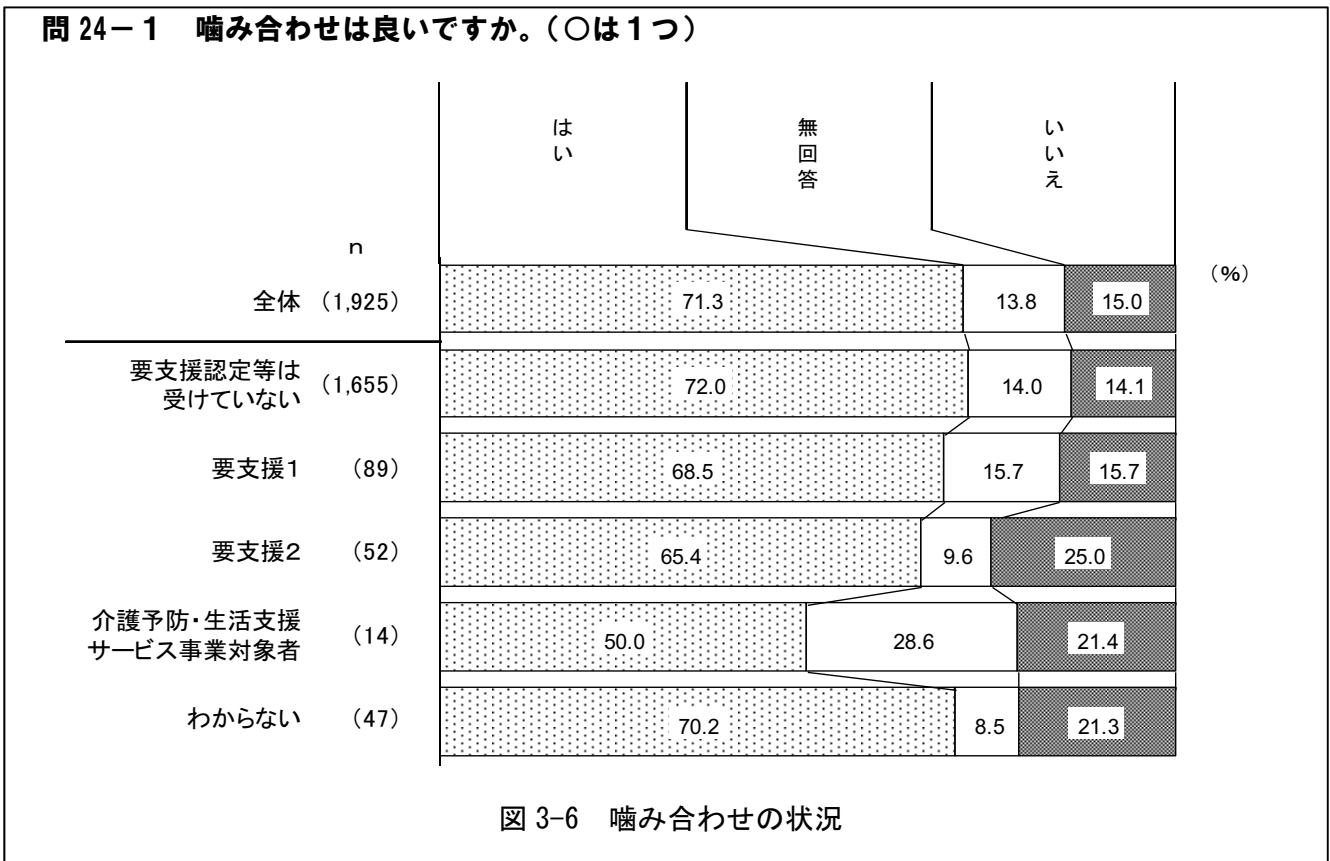


歯の数と入れ歯の利用状況は、「自分の歯は20本以上、入れ歯の利用なし」が3割台後半と最も高くなっている。

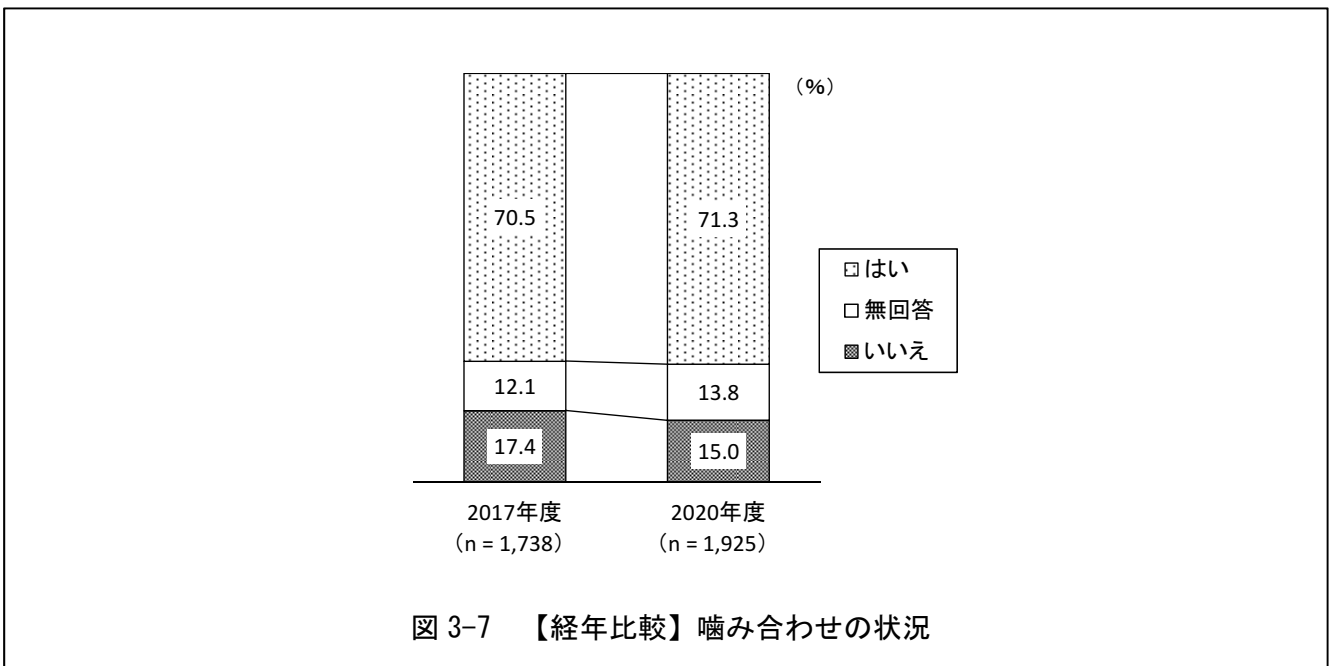
状態別にみると、要支援認定等は受けていないで「自分の歯は20本以上、入れ歯の利用なし」が他と比べて高くなっている。

3.3.1. 噛み合わせの状況

◆「はい」が約7割



全体では、「はい」が約7割と高くなっている。
 状態別では、要支援認定等は受けていないで「はい」が高くなっている。



経年比較でみると、大きな差異はみられない。

3.3.2. 毎日入れ歯の手入れをしているか

◆毎日入れ歯の手入れをしているかについて、「はい」が8割台後半

(問 24で「自分の歯は20本以上、かつ入れ歯を利用」「自分の歯は19本以下、かつ入れ歯を利用」に○をつけた方に)

問 24-2 毎日入れ歯の手入れをしていますか。(○は1つ)

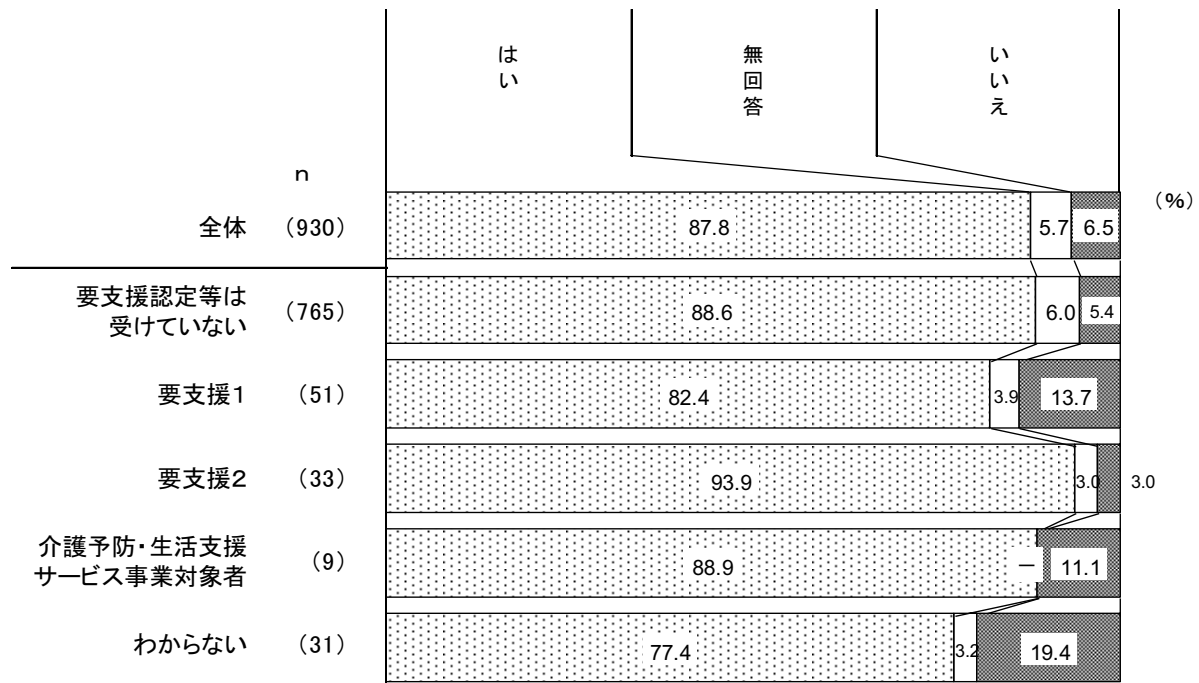


図 3-8 毎日入れ歯の手入れをしているか

全体では、「はい」が8割台後半と高くなっている。
状態別では、要支援2で「はい」が高くなっている。

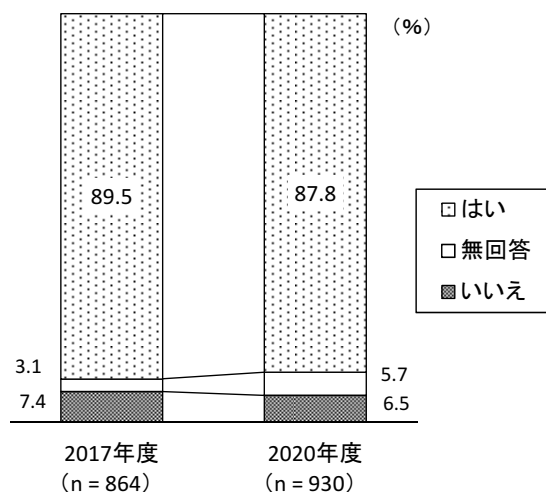


図 3-9 【経年比較】毎日入れ歯の手入れをしているか

経年比較でみると、大きな差異はみられない。

3.4. 食事をとにもする機会

◆食事をとにもする機会は、「毎日ある」が5割台前半

問 26 どなたかと食事をとにもする機会はありますか。(○は1つ)

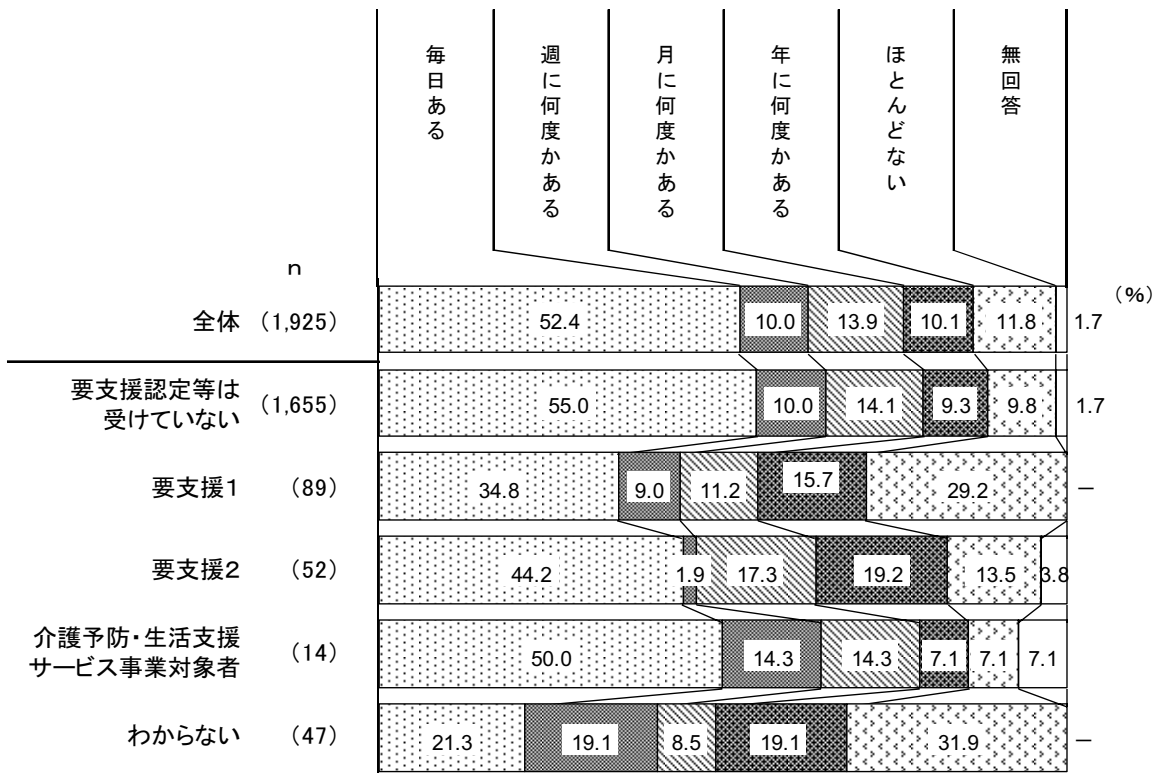


図 3-10 食事をとにもする機会

全体では、「毎日ある」が5割台前半と最も高くなっている。
 状態別では、要支援認定等は受けていないで「毎日ある」が5割を超え高くなっている。

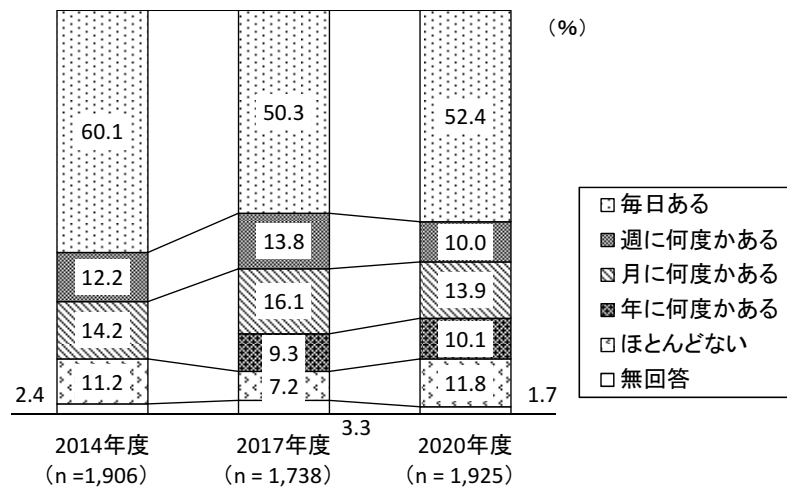
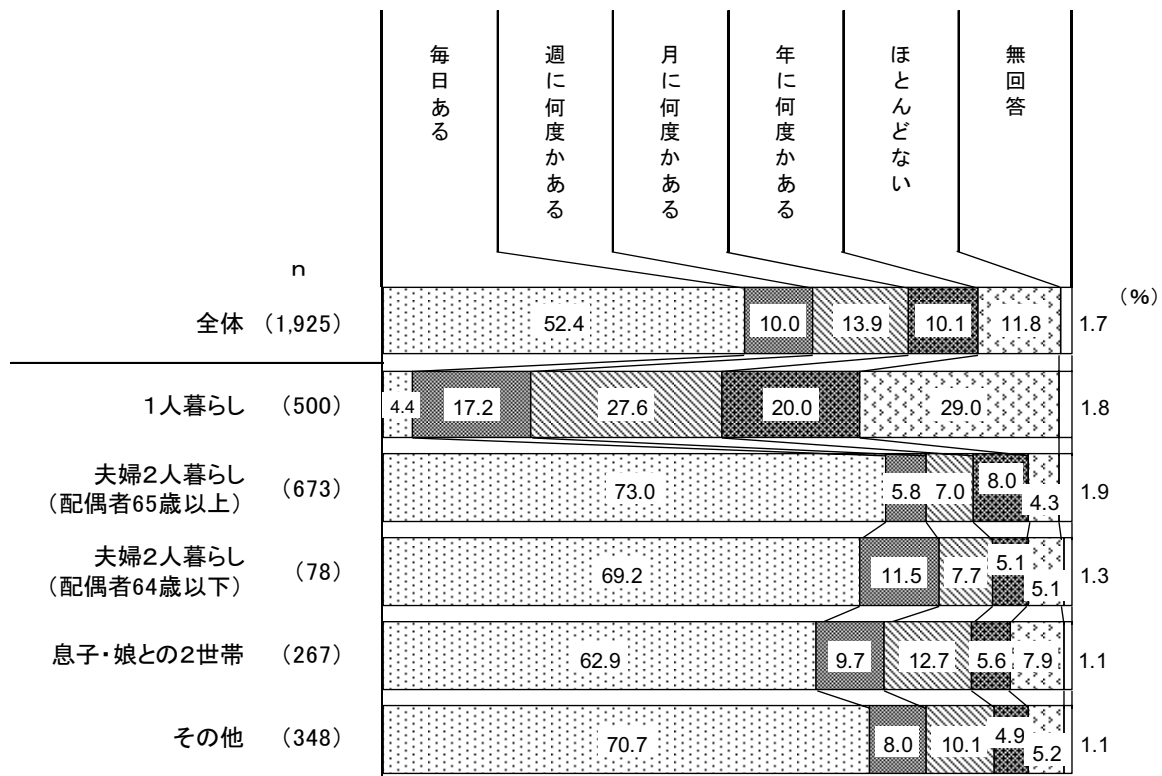


図 3-11 【経年比較】食事をとにもする機会

経年比較でみると、2014年度に比べ「毎日ある」が7.7ポイント減少している。

【家族構成別】食事をとむにする機会



家族構成別にみると、一人暮らしを除いて「毎日ある」が高くなっている。

4. 毎日の生活について

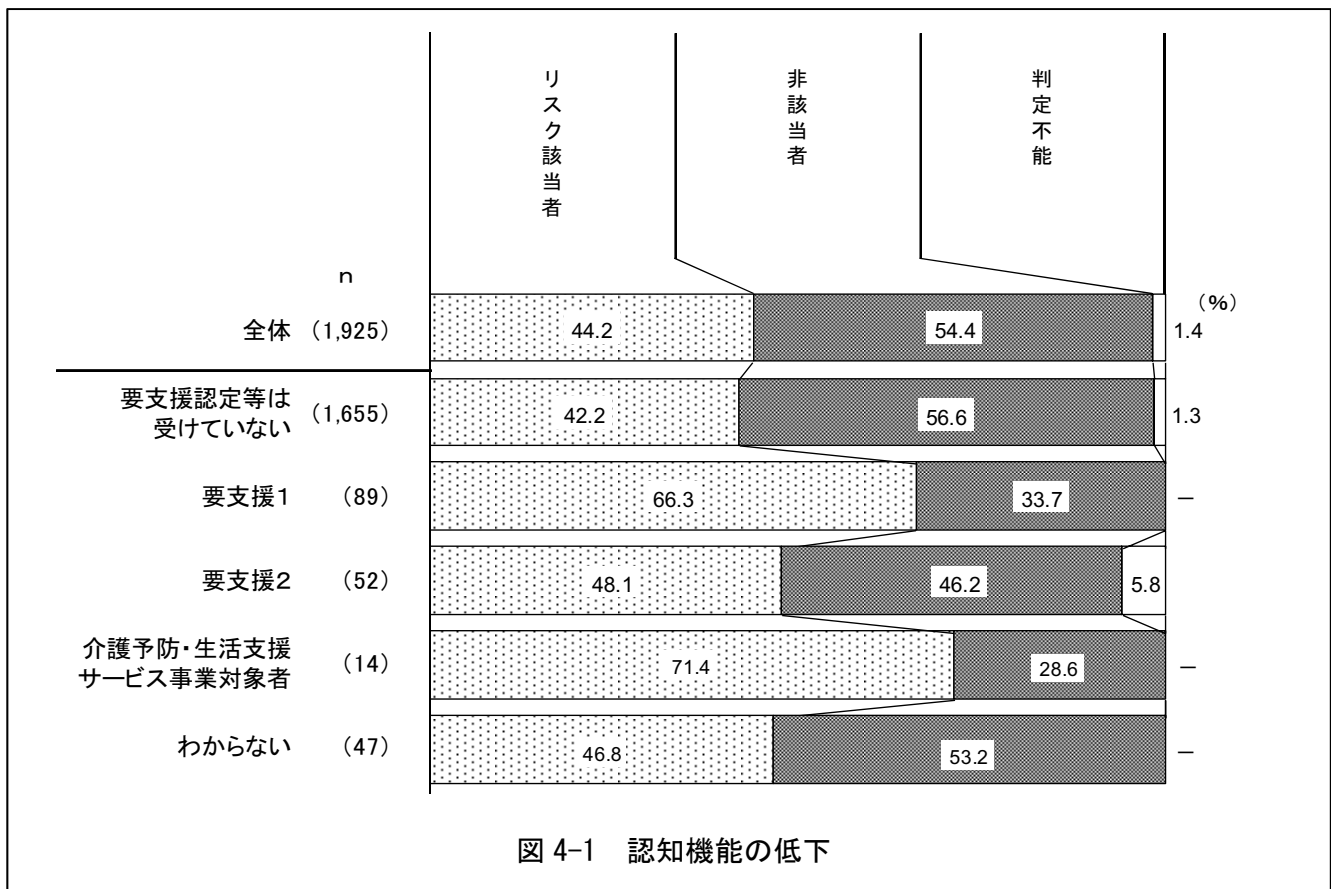
4.1. 機能評価

4.1.1. 認知機能

◇以下の設問を抽出し、以下の項目に該当する人を認知機能低下のリスク該当者と判定した。

問番号	設問	該当する選択肢
問 27	物忘れが多いと感じますか	1. はい

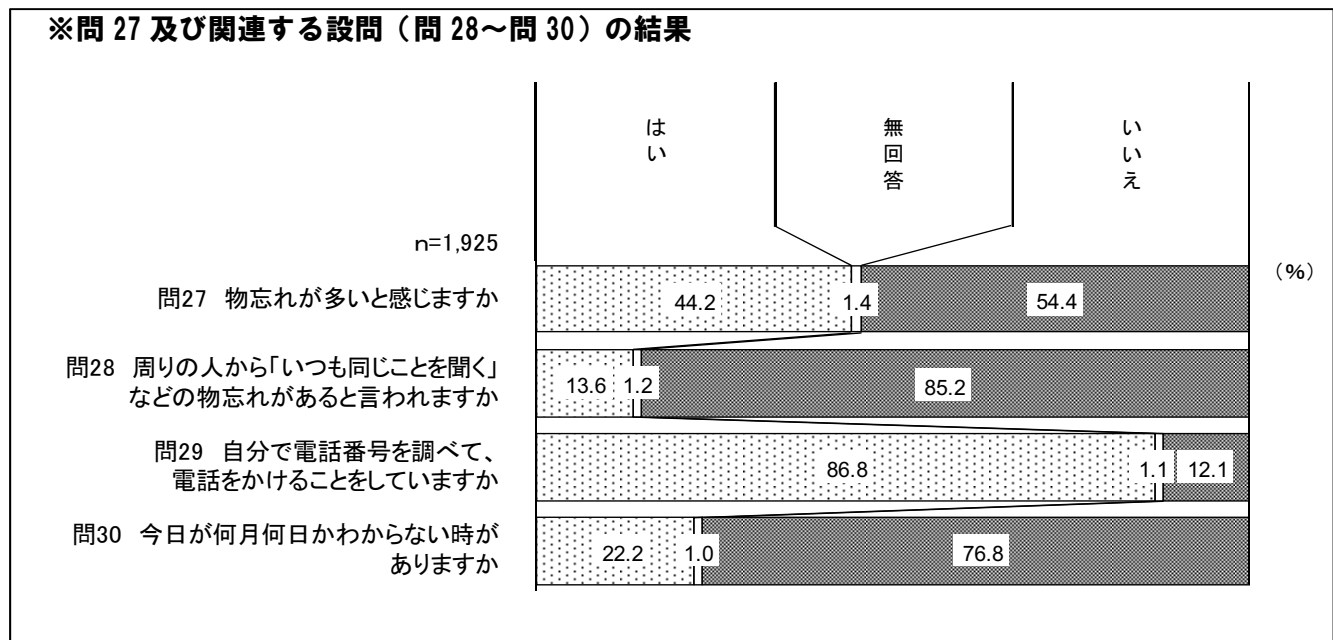
◆認知機能低下のリスク該当者は4割台半ば



全体では、認知機能低下のリスク該当者は4割台半ばとなっている。

状態別では、リスク該当者の割合は介護予防・生活支援サービス事業対象者で最も高くなっている。

※問 27 及び関連する設問（問 28～問 30）の結果



4.1.2. IADL（手段的自立度）

◇「IADL（手段的自立度）※」について、以下の各設問に「できるし、している」または「できるけどしていない」と回答した場合を1点として、5点満点で評価し、5点を「高い」、4点を「やや低い」、3点以下を「低い」と評価した。また、4点以下を手段的自立度の低下者とし、低下者の割合を算出した。

※「手段的自立度（Instrumental Activities of Daily Living:IADL）」とは、買い物、電話、薬の管理など、比較的高度な日常生活上の動作を行える自立度の程度を示す指標。

問番号	設問	該当する選択肢
問 31	バスや電車を使って1人で外出していますか	「1. できるし、している」または「2. できるけどしていない」
問 32	自分で食品・日用品の買物をしていますか	「1. できるし、している」または「2. できるけどしていない」
問 33	自分で食事の用意をしていますか	「1. できるし、している」または「2. できるけどしていない」
問 34	自分で請求書の支払いをしていますか	「1. できるし、している」または「2. できるけどしていない」
問 35	自分で預貯金の出し入れをしていますか	「1. できるし、している」または「2. できるけどしていない」

◆ IADL（手段的自立度）の低下者は約1割

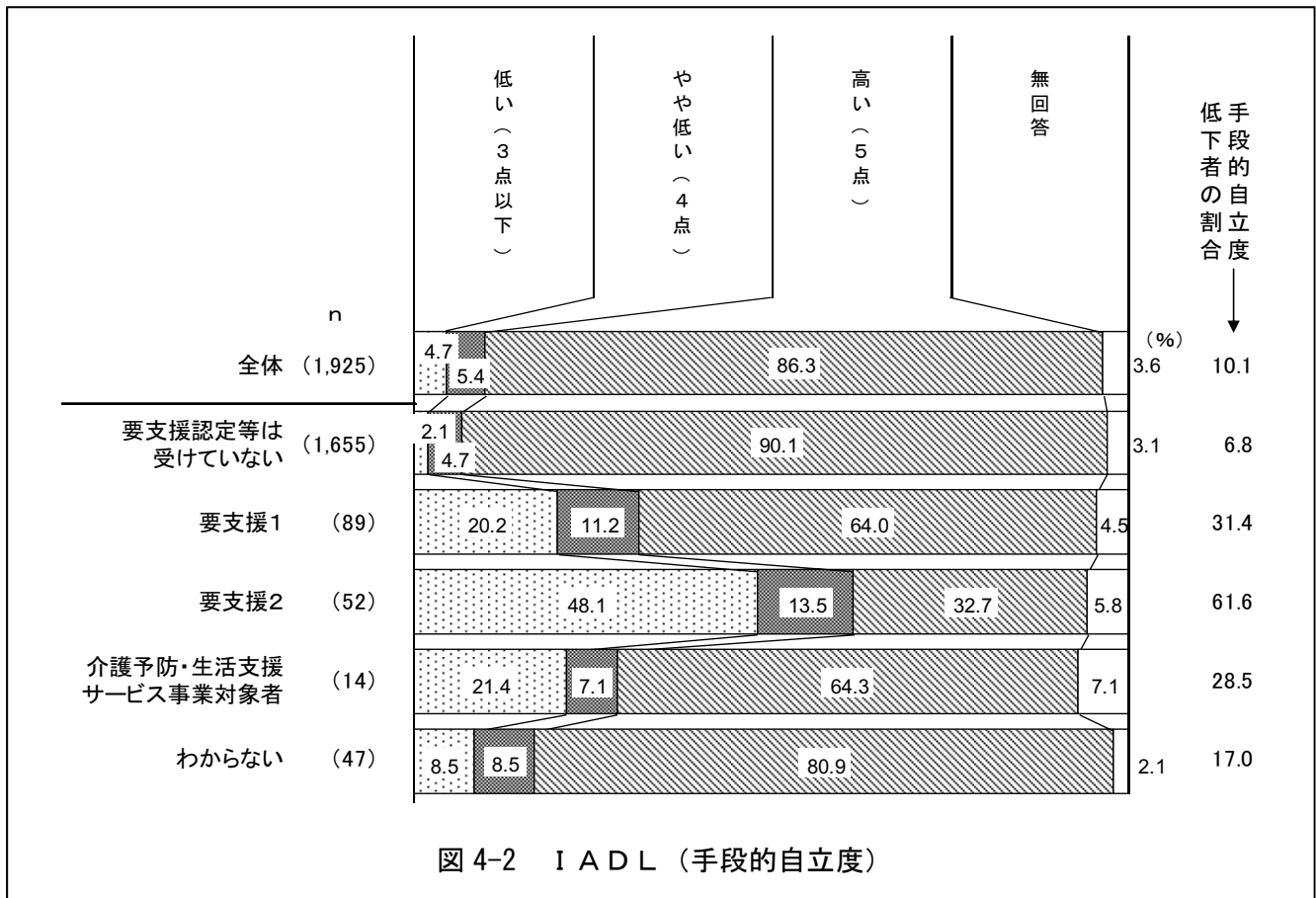
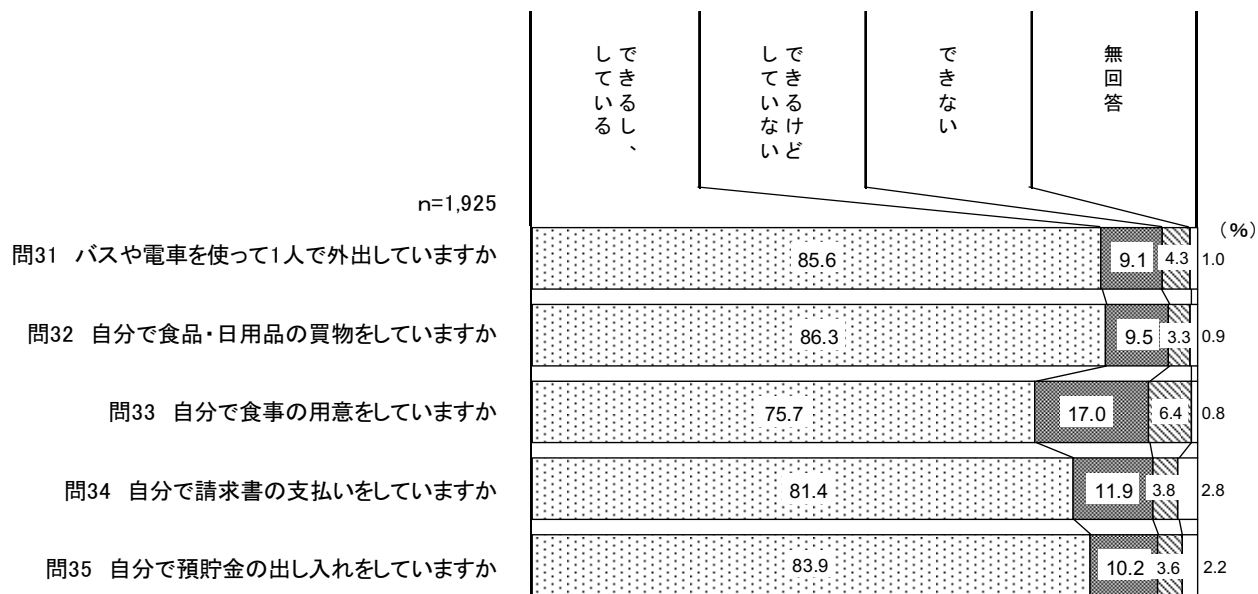


図 4-2 IADL（手段的自立度）

全体では、IADL（手段的自立度）の低下者は約1割となっている。状態別では、要支援2で低下者の割合が最も高くなっている。

※問 31～問 35 設問ごとの結果

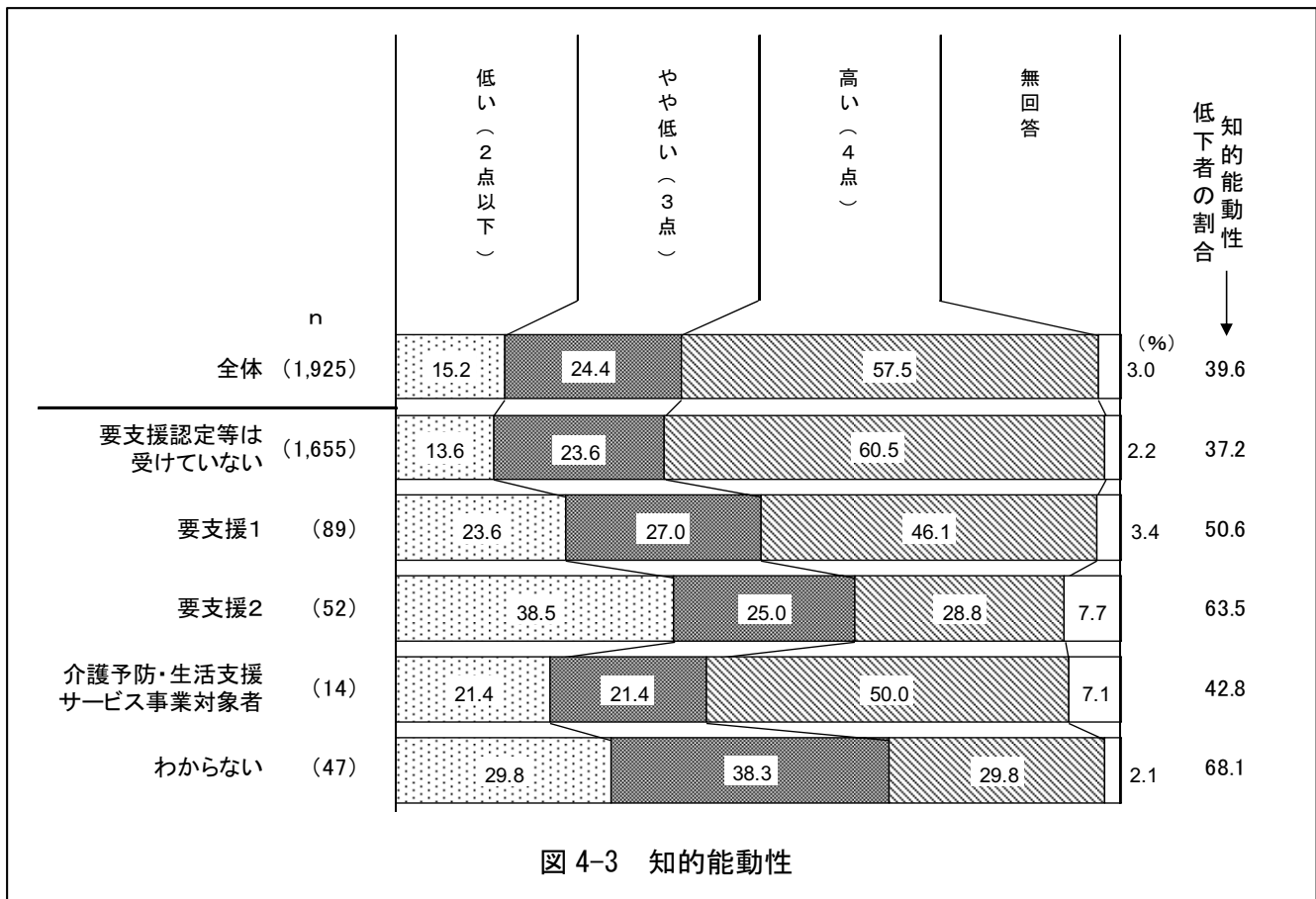


4.1.3. 知的能動性

◇「知的能動性」について、以下の各設問に「はい」と回答した場合を1点として、4点満点で評価し、4点を「高い」、3点を「やや低い」、2点以下を「低い」と評価した。また、3点以下を知的能動性の低下者とし、低下者の割合を算出した。

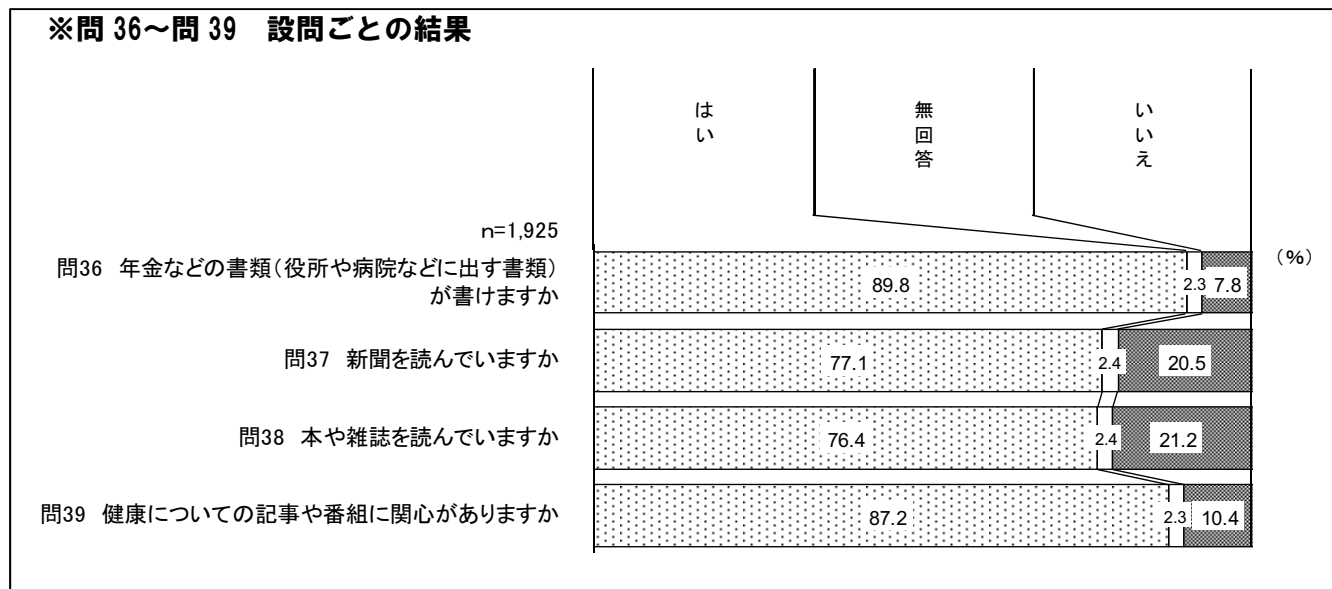
問番号	設問	該当する選択肢
問 36	年金などの書類(役所や病院などに出す書類)が書けますか	1. はい
問 37	新聞を読んでいますか	1. はい
問 38	本や雑誌を読んでいますか	1. はい
問 39	健康についての記事や番組に関心がありますか	1. はい

◆知的能動性の低下者は約4割



全体では、知的能動性の低下者は約4割となっている。
状態別では、わからないで低下者の割合が最も高くなっている。

※問 36～問 39 設問ごとの結果

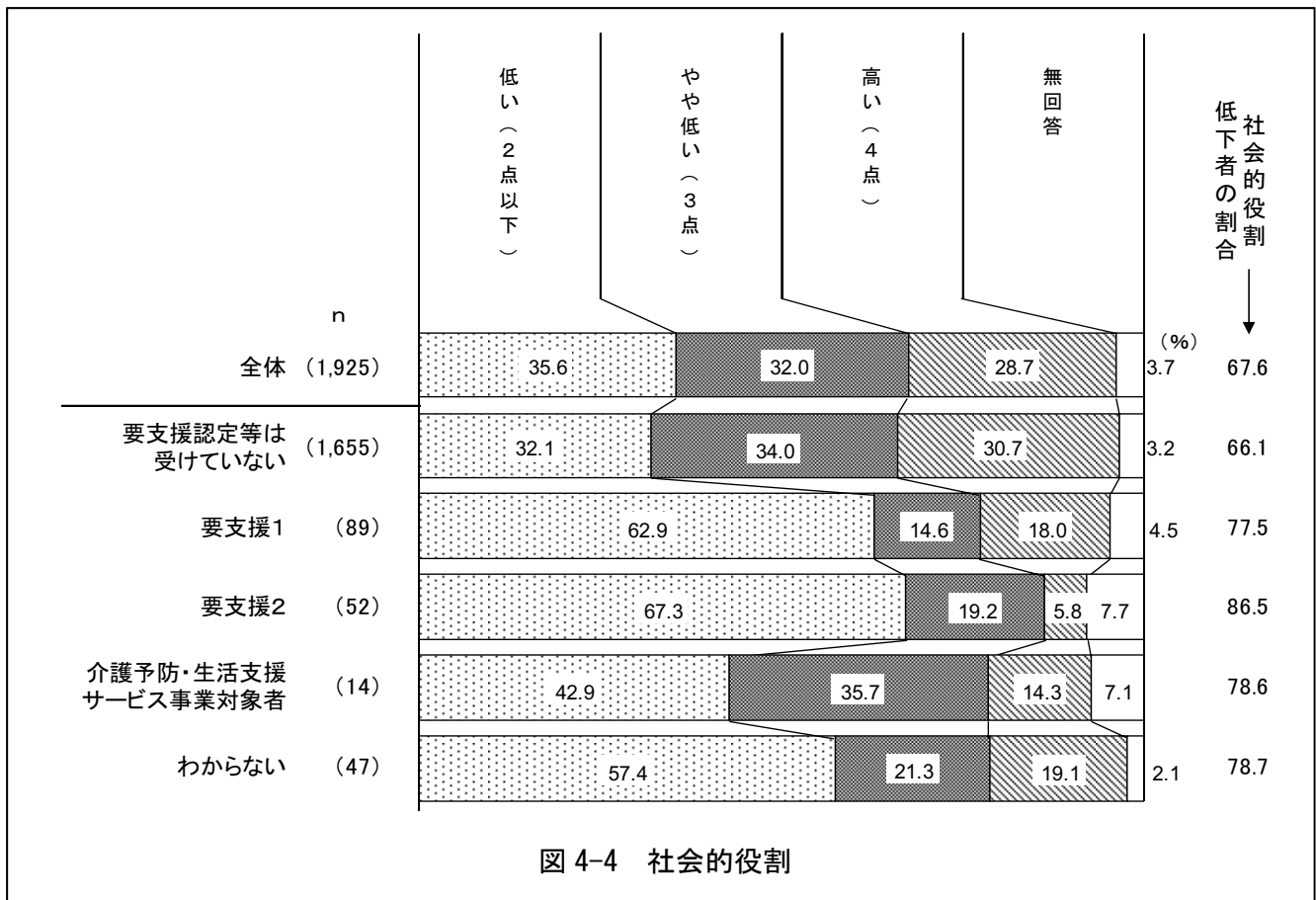


4.1.4. 社会的役割

◇「社会的役割」について、以下の各設問に「はい」と回答した場合を1点として、4点満点で評価し、4点を「高い」、3点を「やや低い」、2点以下を「低い」と評価した。また、3点以下を社会的役割の低下者とし、低下者の割合を算出した。

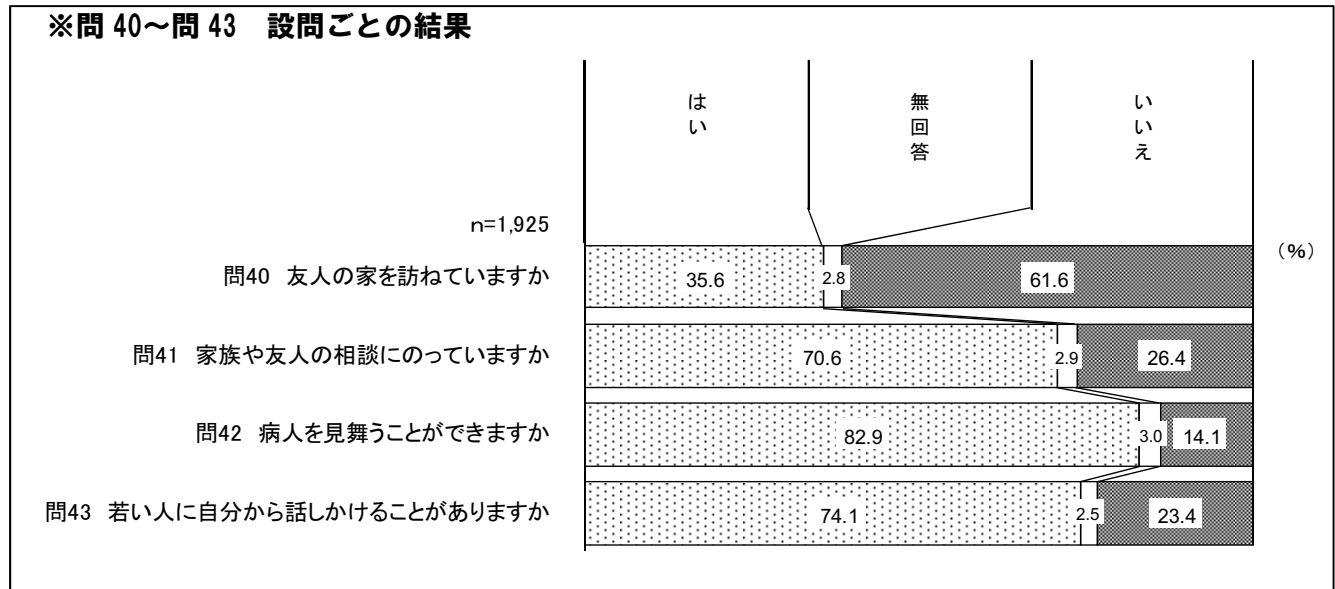
問番号	設問	該当する選択肢
問 40	友人の家を訪ねていますか	1. はい
問 41	家族や友人の相談にのっていますか	1. はい
問 42	病人を見舞うことができますか	1. はい
問 43	若い人に自分から話しかけることがありますか	1. はい

◆社会的役割の低下者は6割台後半



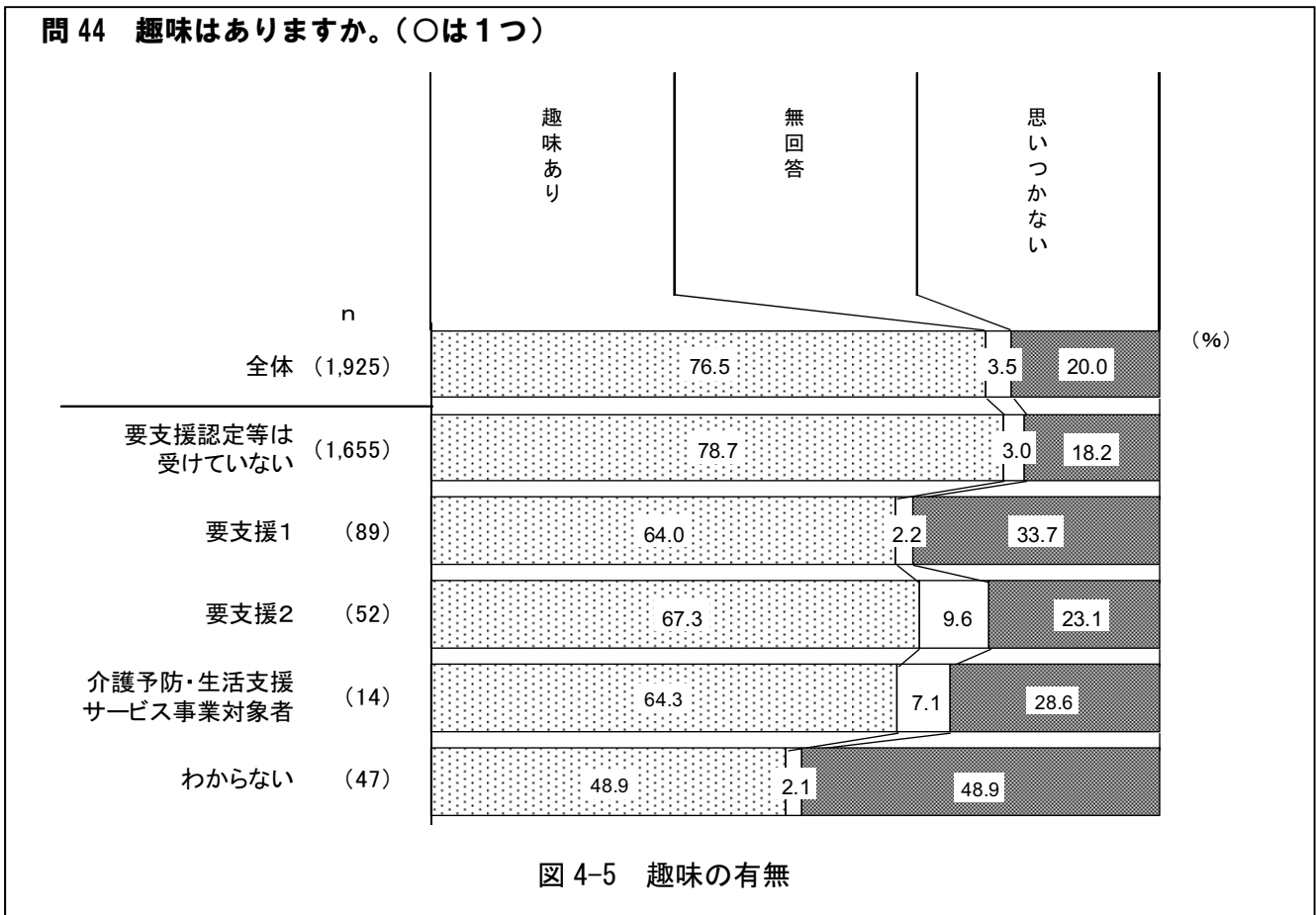
全体では、社会的役割の低下者は6割台後半となっている。
状態別では、要支援2で低下者の割合が最も高くなっている。

※問 40～問 43 設問ごとの結果



4.2. 趣味の有無

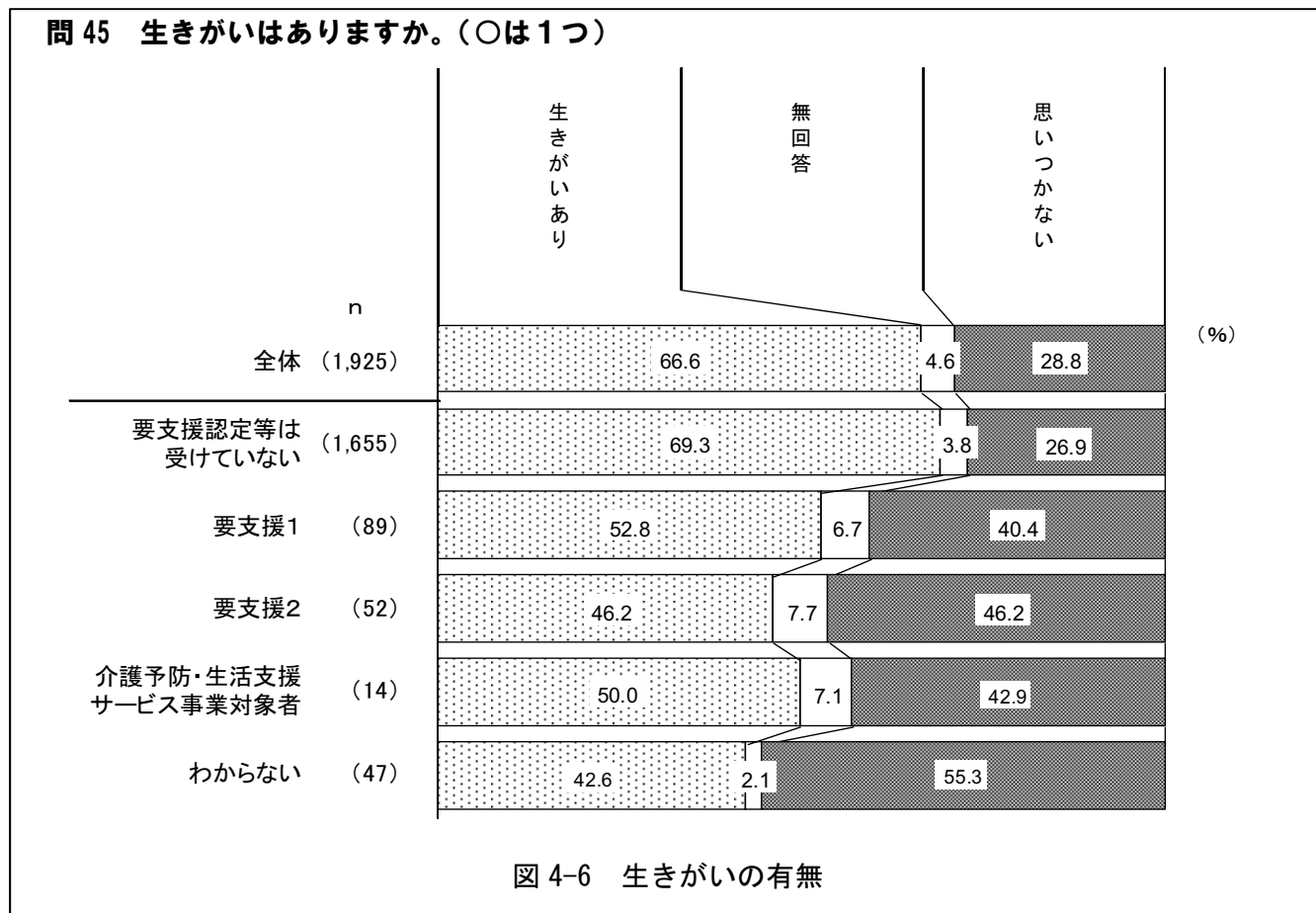
◆「趣味あり」が7割台半ば



全体では、「趣味あり」が7割台半ばと高くなっている。
 状態別にみると、要支援認定等は受けていないで「趣味あり」が高くなっている。

4.3. 生きがいの有無

◆「生きがいあり」が6割半ば



全体では、「生きがいあり」が6割半ばと高くなっている。

状態別にみると、要支援認定等は受けていないで「生きがいあり」が約7割と高くなっている。

5. 地域での活動について

5.1. 会・グループ等への参加頻度

◆③趣味関係のグループで「月1～3回」が1割台前半、⑧収入のある仕事で「週4回以上」が1割台後半

問46 以下のような会・グループ等にどのくらいの頻度で参加していますか。

※①～⑧それぞれに回答してください。(それぞれ○は1つ)

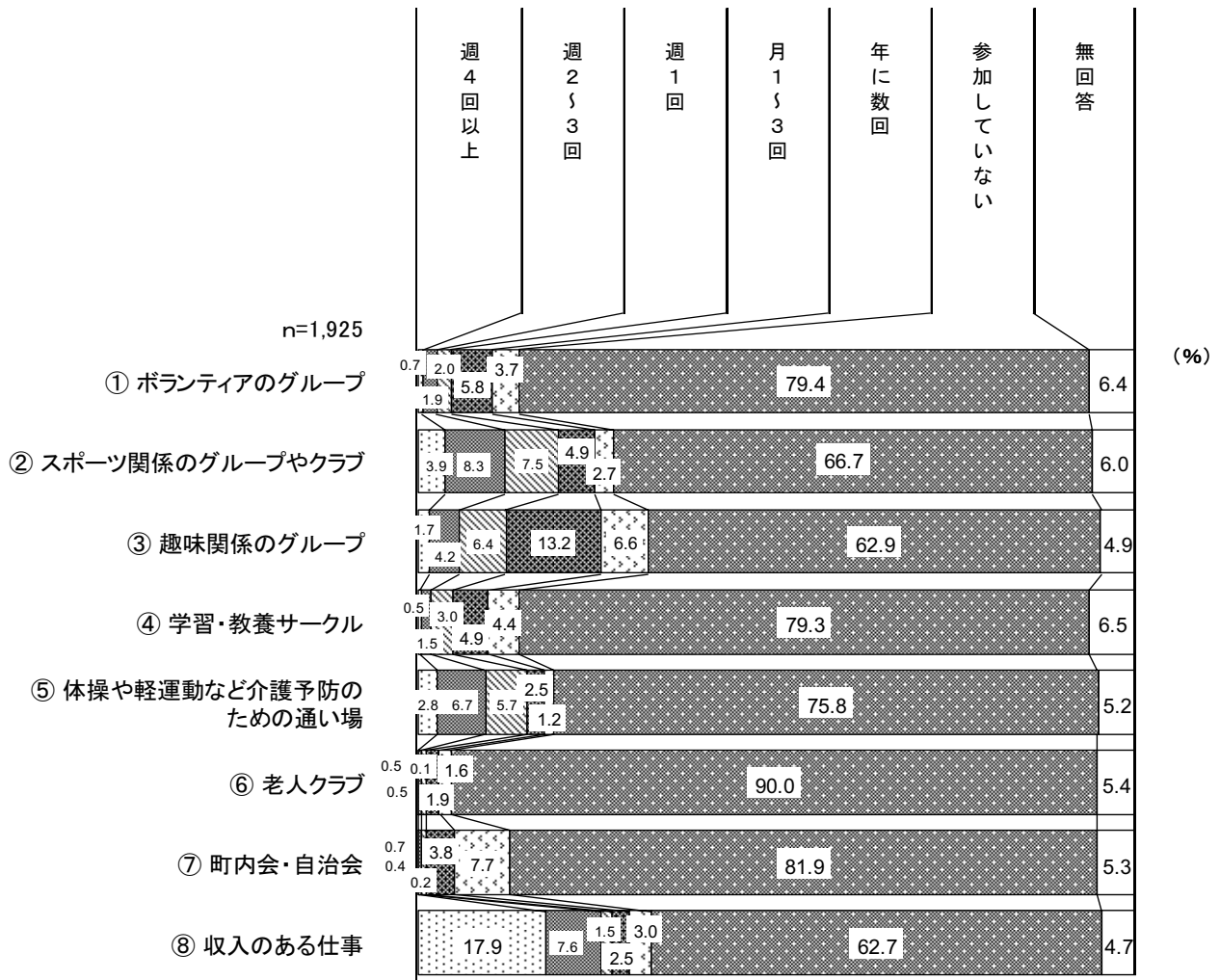


図 5-1 会・グループ等への参加頻度

全体では、いずれも「参加していない」が最も高いが、参加している人の頻度は、③趣味関係のグループで「月1～3回」が、⑥町内会・自治会で「年に数回」が1割を超えて高くなっている。

5.1.1. 地域活動に参加していない理由

◆「知り合いがないので」が約2割

(問46①～⑧で「6」に○をつけた方に)

問46-1 地域での活動に参加していない理由はなんですか。(あてはまるものすべてに○)

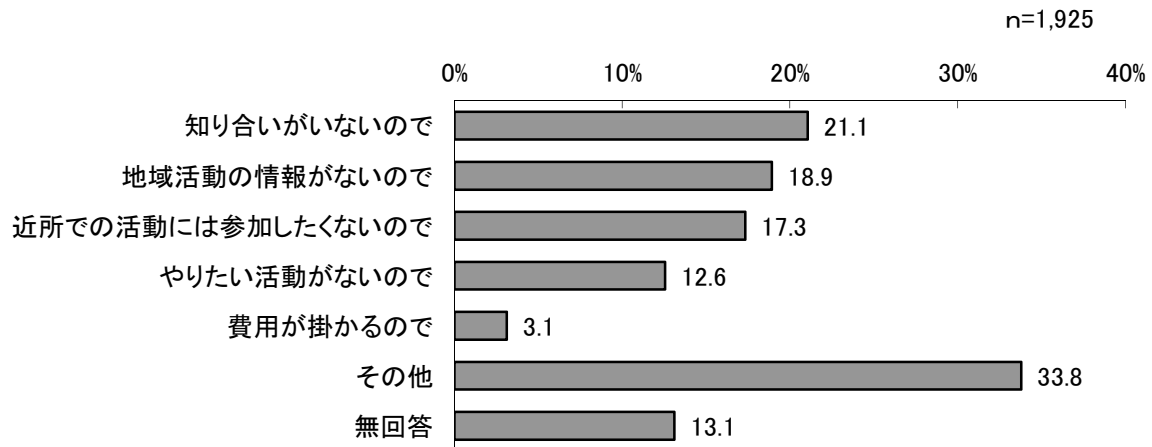


図5-2 地域活動に参加していない理由

地域活動に参加していない理由は、「その他」に次いで「知り合いがないので」が高くなっている。

【状態別】地域活動に参加していない理由

単位: %

状態	有効回答数 (件)	地域活動の情報がないので	知り合いがないので	やりたい活動がないので	費用が掛かるので	近所での活動には参加したくないので	その他	無回答
全体	1,823	18.9	21.1	12.6	3.1	17.3	33.8	13.1
要支援認定等は受けていない	1,574	19.3	20.6	12.9	3.0	17.1	33.5	12.9
要支援1	82	18.3	23.2	9.8	3.7	24.4	36.6	14.6
要支援2	46	17.4	21.7	10.9	0.0	15.2	52.2	6.5
介護予防・生活支援サービス事業対象者	14	7.1	42.9	14.3	21.4	14.3	14.3	14.3
わからない	45	22.2	26.7	15.6	4.4	24.4	22.2	11.1

5.2. 地域住民の有志による活動に参加者として参加してみたいか

◆「参加してもよい」が4割台半ば

問 47 地域住民の有志によって、健康づくり活動や趣味等のグループ活動を行って、いきいきした地域づくりを進めるとしたら、あなたはその活動に参加者として参加してみたいと思いますか。(○は1つ)

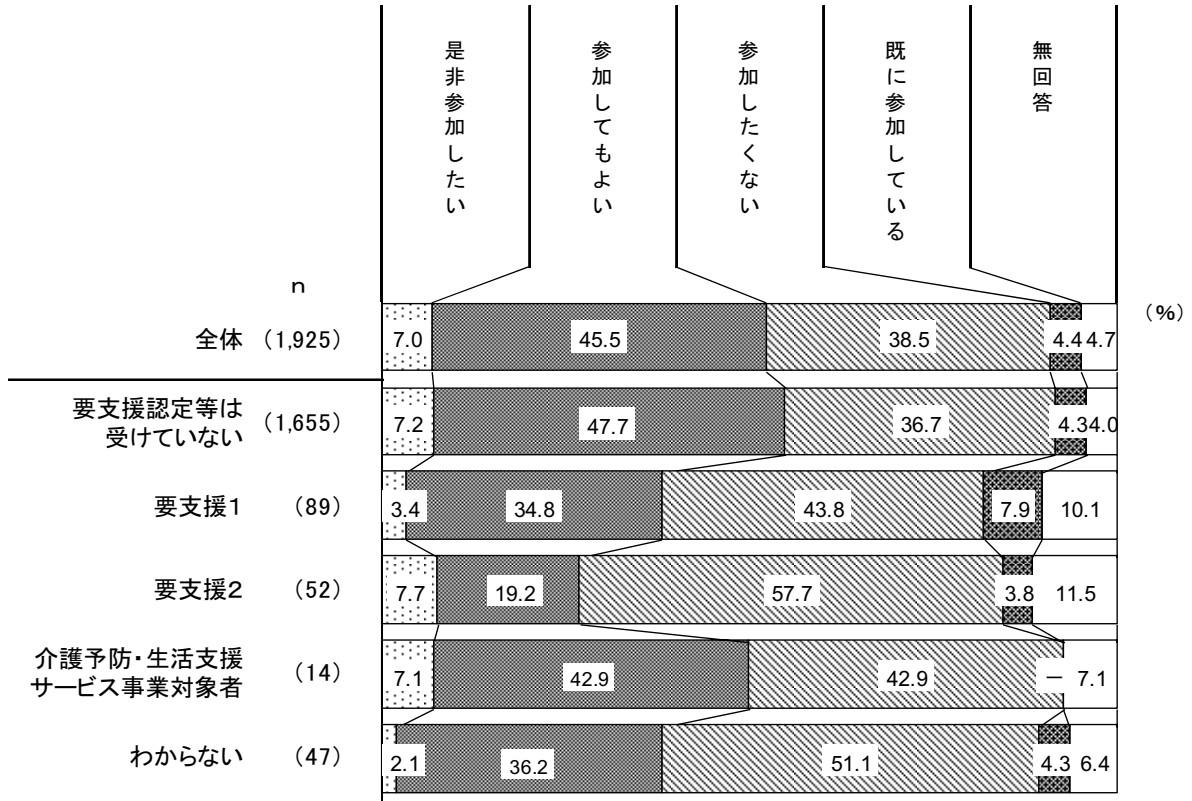


図 5-3 地域住民の有志による活動に参加者として参加してみたいか

全体では、「参加してもよい」が4割台半ばと最も高くなっている。

状態別では、要支援認定等は受けていないで「参加してもよい」が4割台後半と高くなっている。

5.3. 地域住民の有志による活動に企画・運営（お世話役）として参加してみたいか

◆「参加したくない」が5割台半ば

問 48 地域住民の有志によって、健康づくり活動や趣味等のグループ活動を行って、いきいきした地域づくりを進めるとしたら、あなたはその活動に企画・運営（お世話役）として参加してみたいと思いますか。（○は1つ）

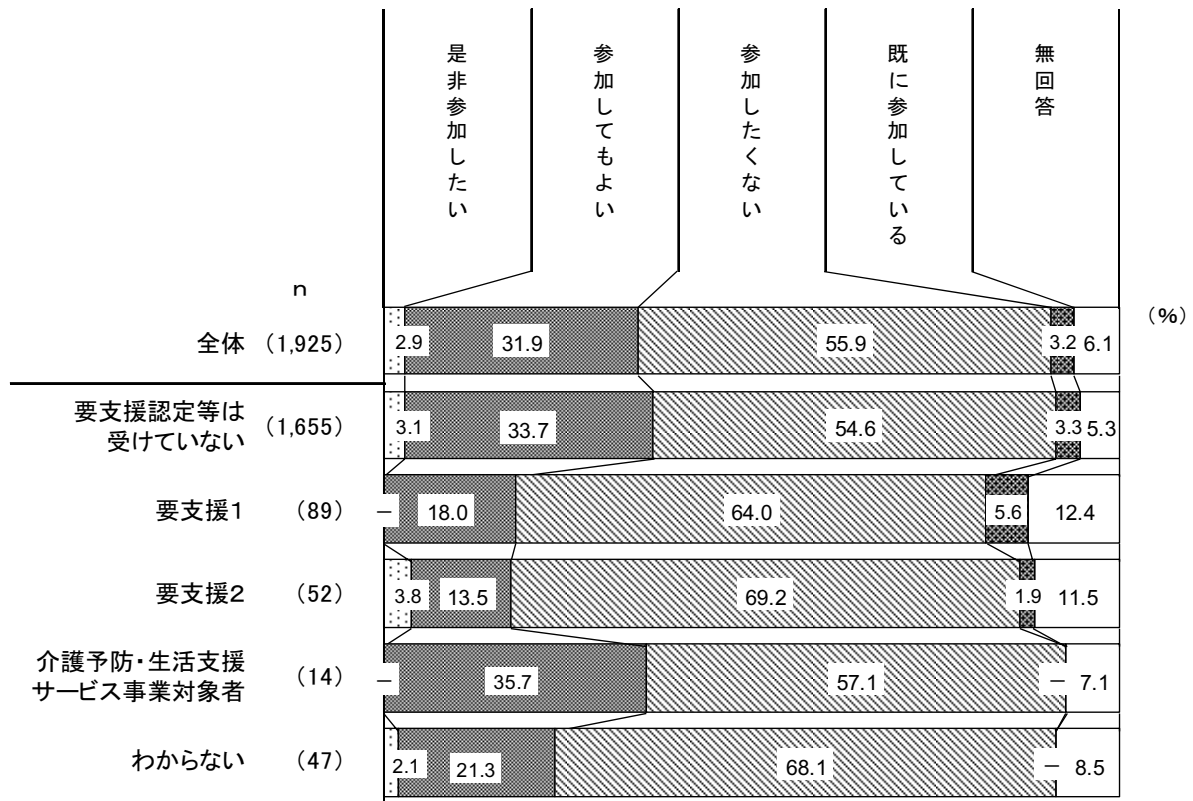


図 5-4 地域住民の有志による活動に企画・運営（お世話役）として参加してみたいか

全体では、「参加したくない」が5割台半ばと最も高くなっている。
 状態別では、要支援1・2、わからないで「参加したくない」が6割を超えて高くなっている。

5.4. 地域のひとから頼りにされているか

◆「全くそう思わない」が3割台半ば

問 49 あなたは、お住まいの地域のひとから何らかの役割を期待されたり、頼りにされたりしていると思いますか。(自分なりにできること、会・グループでの役、隣近所のちょっとしたこと、お手伝いやお願いごとなど)(○は1つ)

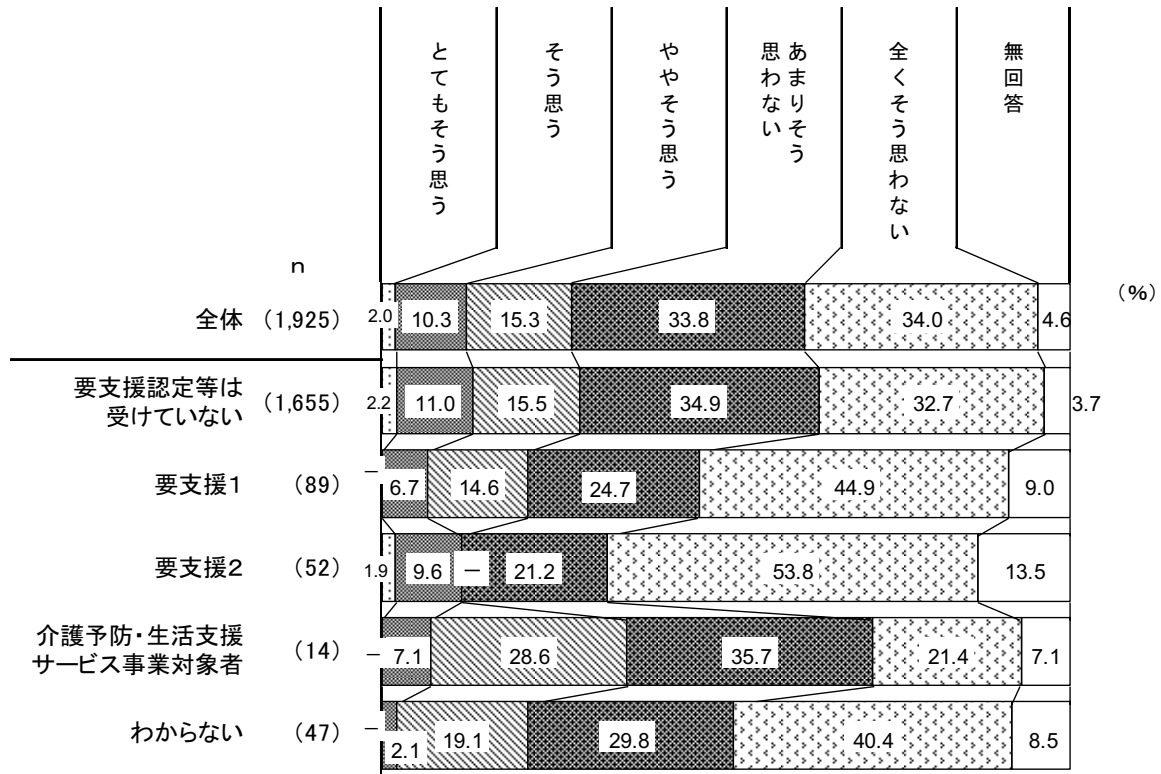


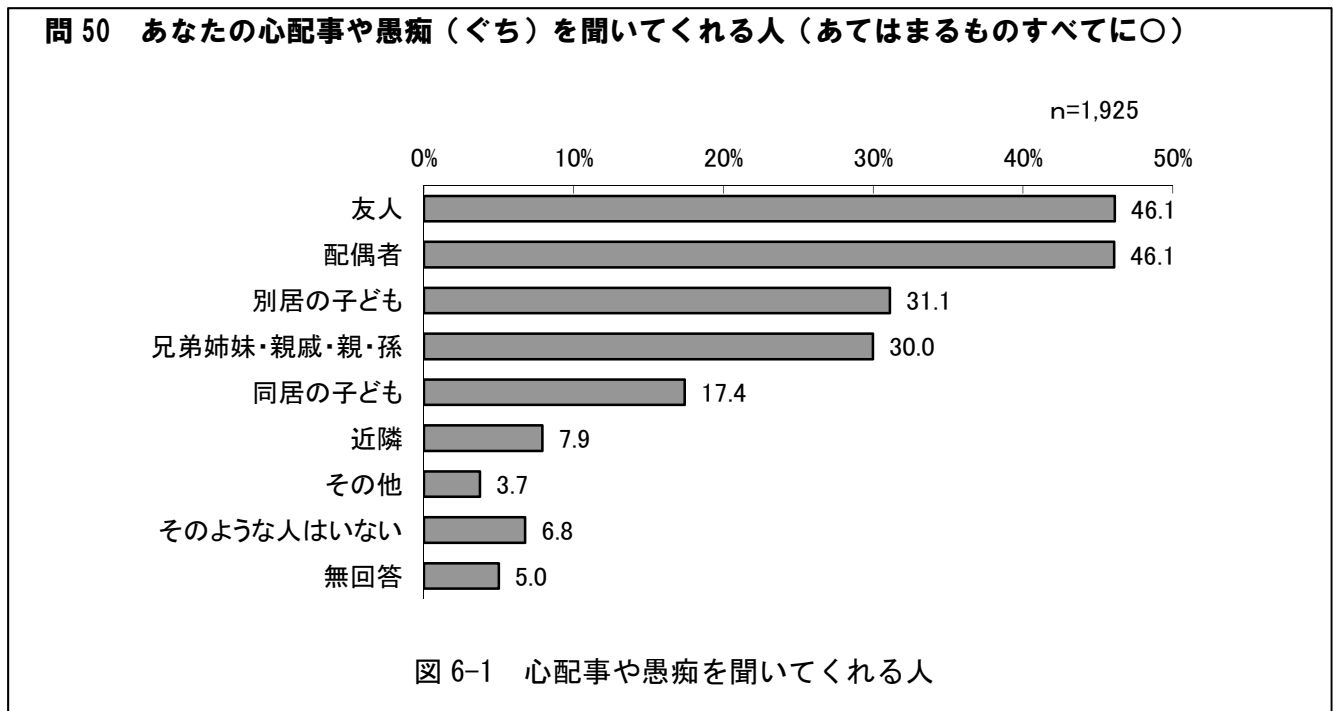
図 5-5 地域のひとから頼りにされているか

全体では、「全くそう思わない」が3割台半ばと高くなっている。
 状態別では、要支援2で「全くそう思わない」が5割台前半と高くなっている。

6. たすけあいについて

6.1. 心配事や愚痴を聞いてくれる人

◆「友人」「配偶者」が4割半ば



全体では、「友人」「配偶者」が4割半ばと最も高くなっている。

【状態別】心配事や愚痴を聞いてくれる人

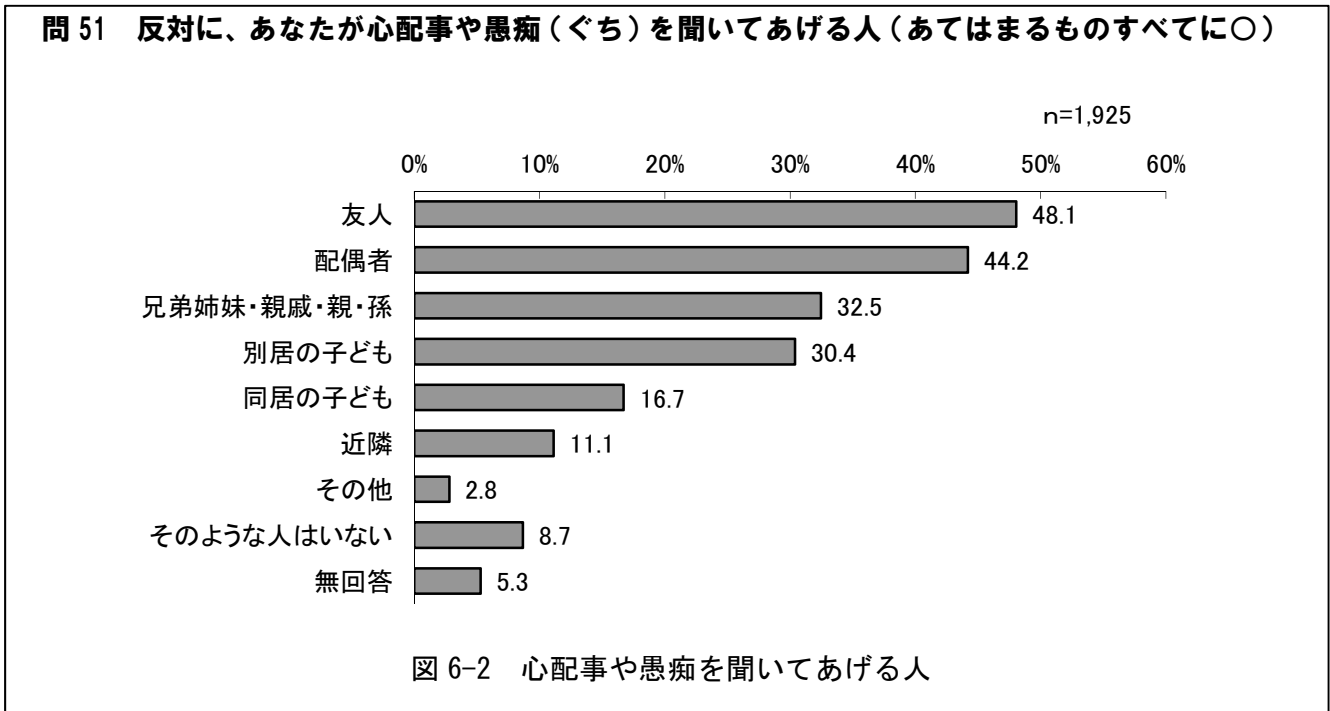
単位：%

状態	有効回答数（件）	配偶者	同居の子ども	別居の子ども	親・兄弟姉妹・親戚・孫	近隣	友人	その他	いない そのような人は	無回答
全体	1,925	46.1	17.4	31.1	30.0	7.9	46.1	3.7	6.8	5.0
要支援認定等は受けていない	1,655	48.6	17.5	31.7	30.7	8.2	48.8	3.5	6.0	4.5
要支援1	89	21.3	16.9	25.8	28.1	6.7	24.7	4.5	14.6	5.6
要支援2	52	30.8	30.8	25.0	30.8	3.8	32.7	11.5	3.8	5.8
介護予防・生活支援サービス事業対象者	14	50.0	14.3	28.6	7.1	7.1	35.7	0.0	7.1	0.0
わからない	47	29.8	10.6	27.7	25.5	6.4	31.9	4.3	21.3	10.6

状態別では、要支援認定等は受けていない、要支援2、わからないで「友人」、介護予防・生活支援サービス事業対象者で「配偶者」、要支援1で「兄弟姉妹・親戚・親・孫」が最も高くなっている。

6.2. 心配事や愚痴を聞いてあげる人

◆「友人」が4割台後半



全体では、「友人」が4割台後半と最も高くなっている。

【状態別】心配事や愚痴を聞いてあげる人

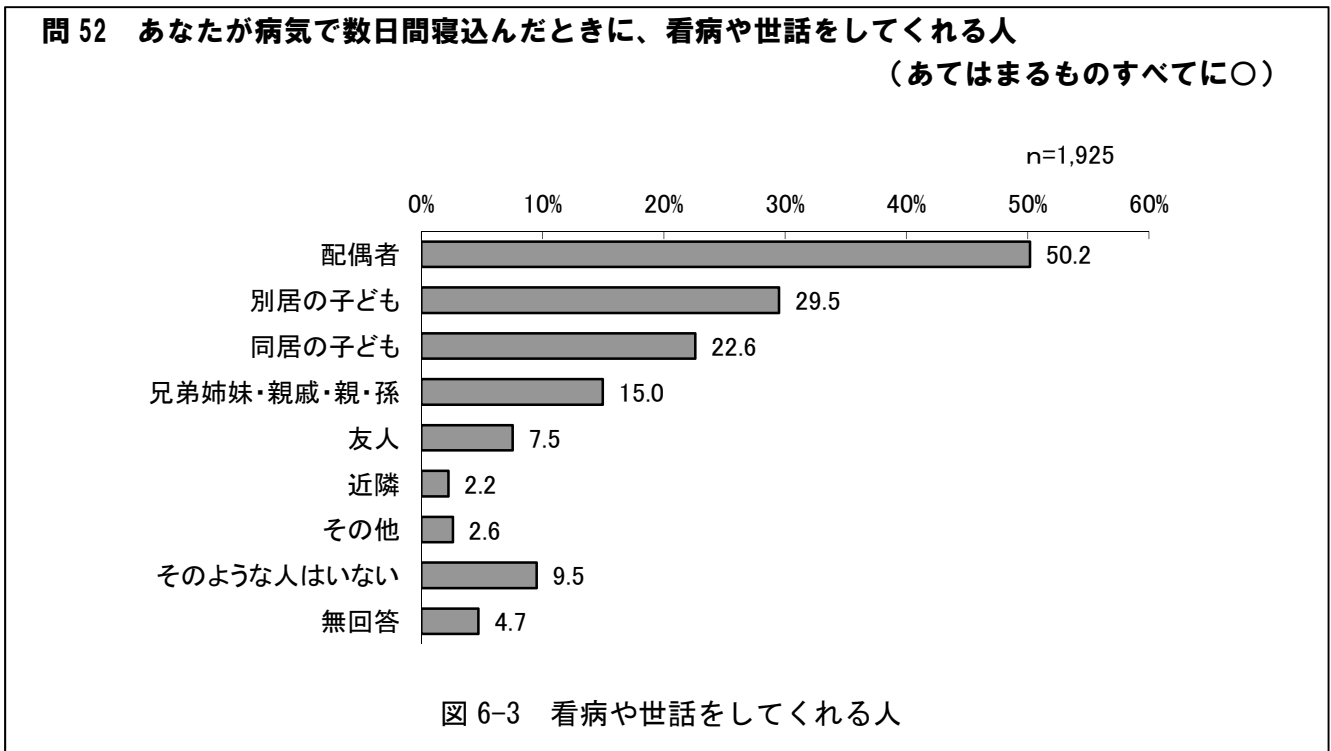
単位: %

状態	有効回答数(件)	配偶者	同居の子ども	別居の子ども	親・孫 兄弟姉妹・親戚・	近隣	友人	その他	いそ ない ような 人は	無 回 答
全体	1,925	44.2	16.7	30.4	32.5	11.1	48.1	2.8	8.7	5.3
要支援認定等は受けていない	1,655	46.7	17.0	31.7	33.8	11.8	50.9	2.7	6.9	4.8
要支援1	89	21.3	16.9	19.1	28.1	6.7	24.7	2.2	22.5	5.6
要支援2	52	28.8	26.9	23.1	26.9	5.8	38.5	5.8	13.5	7.7
介護予防・生活支援サービス事業対象者	14	35.7	7.1	28.6	7.1	7.1	35.7	0.0	21.4	0.0
わからない	47	34.0	8.5	21.3	23.4	8.5	36.2	8.5	25.5	10.6

状態別では、要支援1と介護予防・生活支援サービス事業対象者を除いて「友人」が最も高くなっている。

6.3. 看病や世話をしてくれる人

◆「配偶者」が約5割



全体では、「配偶者」が約5割で最も高くなっている。

【状態別】看病や世話をしてくれる人

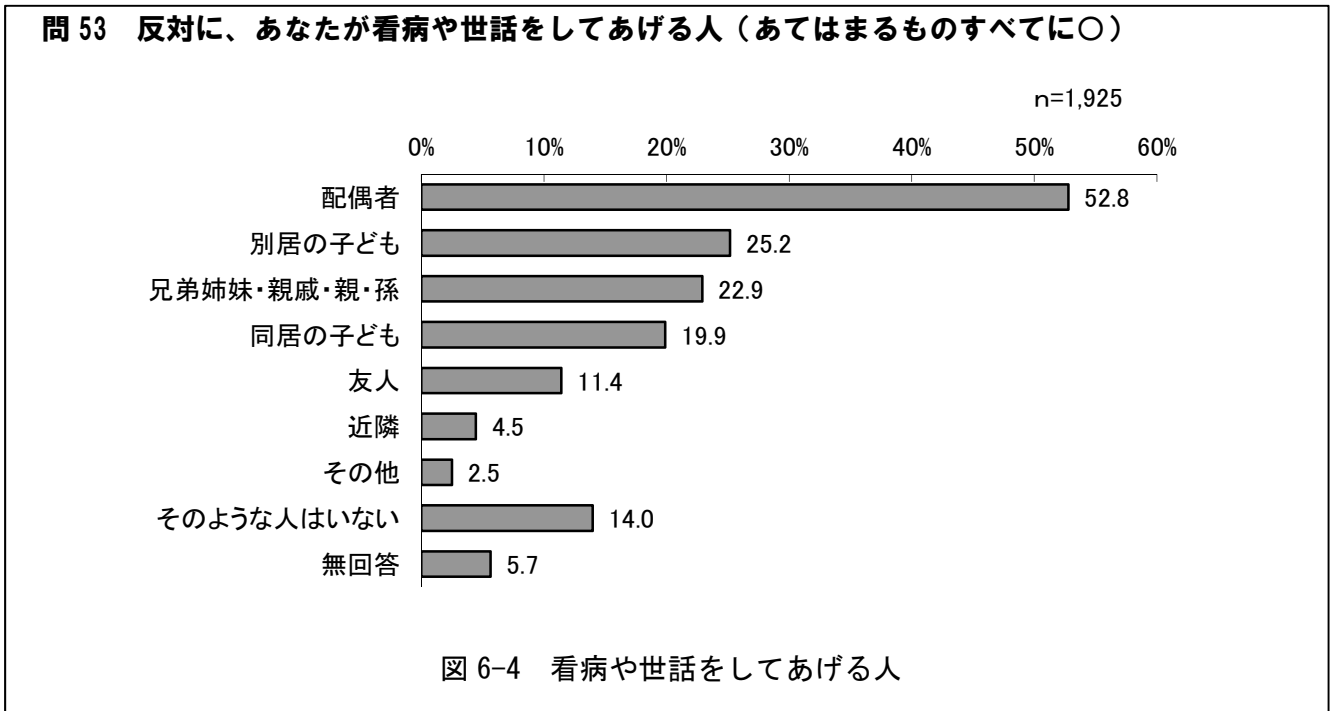
単位：%

状態	有効回答数 (件)	配偶者	同居の子ども	別居の子ども	親・兄弟姉妹・親戚・孫	近隣	友人	その他	いない	そのような人は	無回答
全体	1,925	50.2	22.6	29.5	15.0	2.2	7.5	2.6	9.5	4.7	
要支援認定等は受けていない	1,655	52.7	22.5	29.6	15.0	2.2	7.7	2.5	8.8	4.4	
要支援1	89	23.6	24.7	34.8	20.2	2.2	4.5	1.1	13.5	3.4	
要支援2	52	34.6	32.7	23.1	19.2	5.8	7.7	7.7	7.7	5.8	
介護予防・生活支援サービス事業対象者	14	57.1	14.3	35.7	7.1	0.0	7.1	0.0	21.4	0.0	
わからない	47	36.2	17.0	19.1	12.8	2.1	10.6	4.3	21.3	10.6	

状態別では、要支援1を除いて「配偶者」が最も高くなっている。

6.4. 看病や世話をしあける人

◆「配偶者」が5割台前半



全体では、「配偶者」が5割台前半で最も高くなっている。

【状態別】看病や世話をしあける人

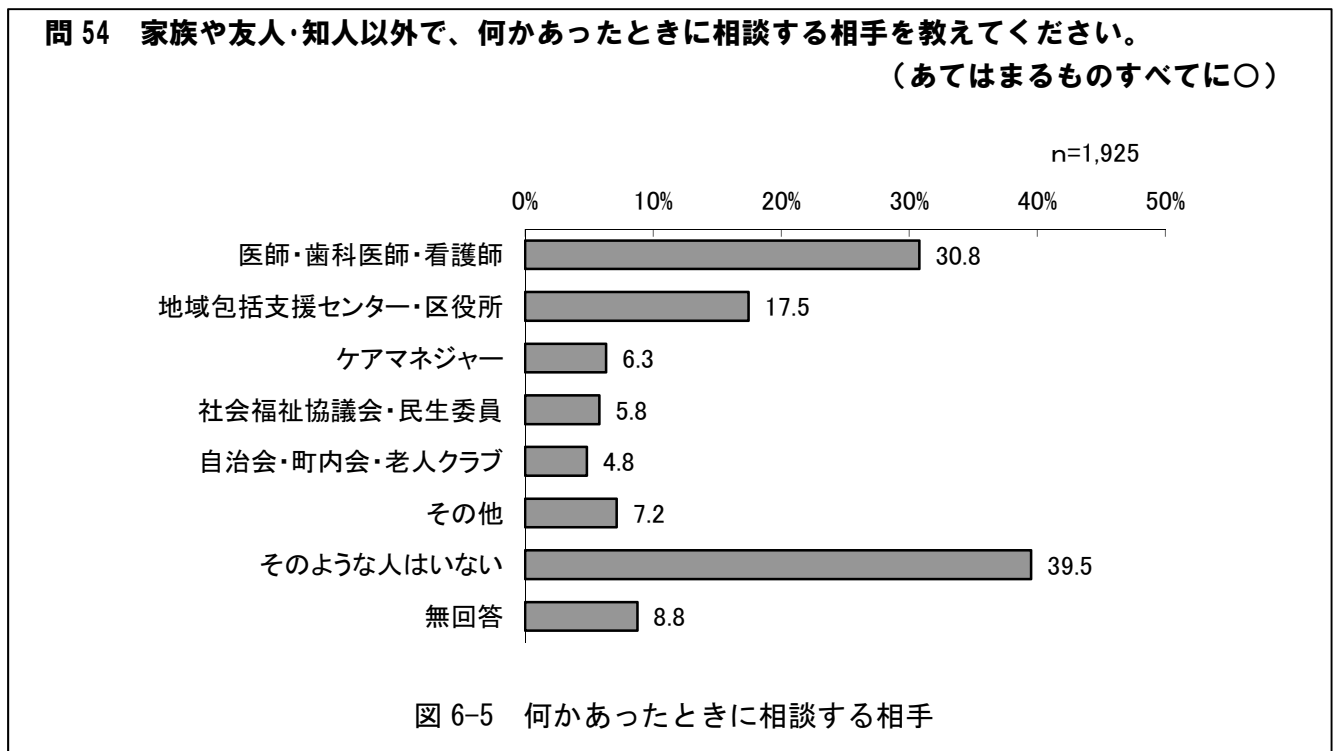
単位：%

状態	有効回答数（件）	配偶者	同居の子ども	別居の子ども	親・兄弟姉妹・親戚・孫	近隣	友人	その他	ない	そのような人はいない	無回答
全体	1,925	52.8	19.9	25.2	22.9	4.5	11.4	2.5	14.0	5.7	
要支援認定等は受けていない	1,655	55.6	20.9	26.5	24.4	4.7	12.0	2.0	11.7	5.1	
要支援1	89	27.0	15.7	14.6	18.0	0.0	5.6	3.4	32.6	4.5	
要支援2	52	26.9	13.5	9.6	15.4	3.8	7.7	13.5	28.8	11.5	
介護予防・生活支援サービス事業対象者	14	42.9	14.3	42.9	14.3	0.0	14.3	7.1	21.4	0.0	
わからない	47	42.6	12.8	23.4	12.8	6.4	12.8	2.1	25.5	10.6	

状態別にみると、要支援認定等は受けていない、要支援1・2で「そのような人はいない」、介護予防・生活支援サービス事業対象者で「別居の子ども」（「配偶者」と同率）が最も高くなっている。

6.5. 何かあったときに相談する相手

◆「そのような人はいない」が約4割



「そのような人はいない」が約4割と最も高く、次いで「医師・歯科医師・看護師」が約3割となっている。

【状態別】何かあったときに相談する相手

単位: %

状態	有効回答数 (件)	老人自治会・町内会・クラブ	民生社会福祉協議会・委員	ケアマネジャー	看護師・歯科医師・医師	地域包括支援センター・区役所	その他	そのような人はいない	無回答
全体	1,925	4.8	5.8	6.3	30.8	17.5	7.2	39.5	8.8
要支援認定等は受けていない	1,655	5.0	5.6	3.2	31.2	15.8	6.8	41.7	8.5
要支援1	89	6.7	10.1	38.2	30.3	36.0	7.9	20.2	4.5
要支援2	52	3.8	3.8	46.2	44.2	30.8	11.5	15.4	7.7
介護予防・生活支援サービス事業対象者	14	7.1	14.3	7.1	21.4	42.9	0.0	28.6	7.1
わからない	47	0.0	2.1	0.0	17.0	14.9	12.8	44.7	12.8

状態別では、要支援認定等は受けていない、わからないで「そのような人はいない」、要支援1・2で「ケアマネジャー」、介護予防・生活支援サービス事業対象者で「地域包括支援センター・区役所」が最も高くなっている。

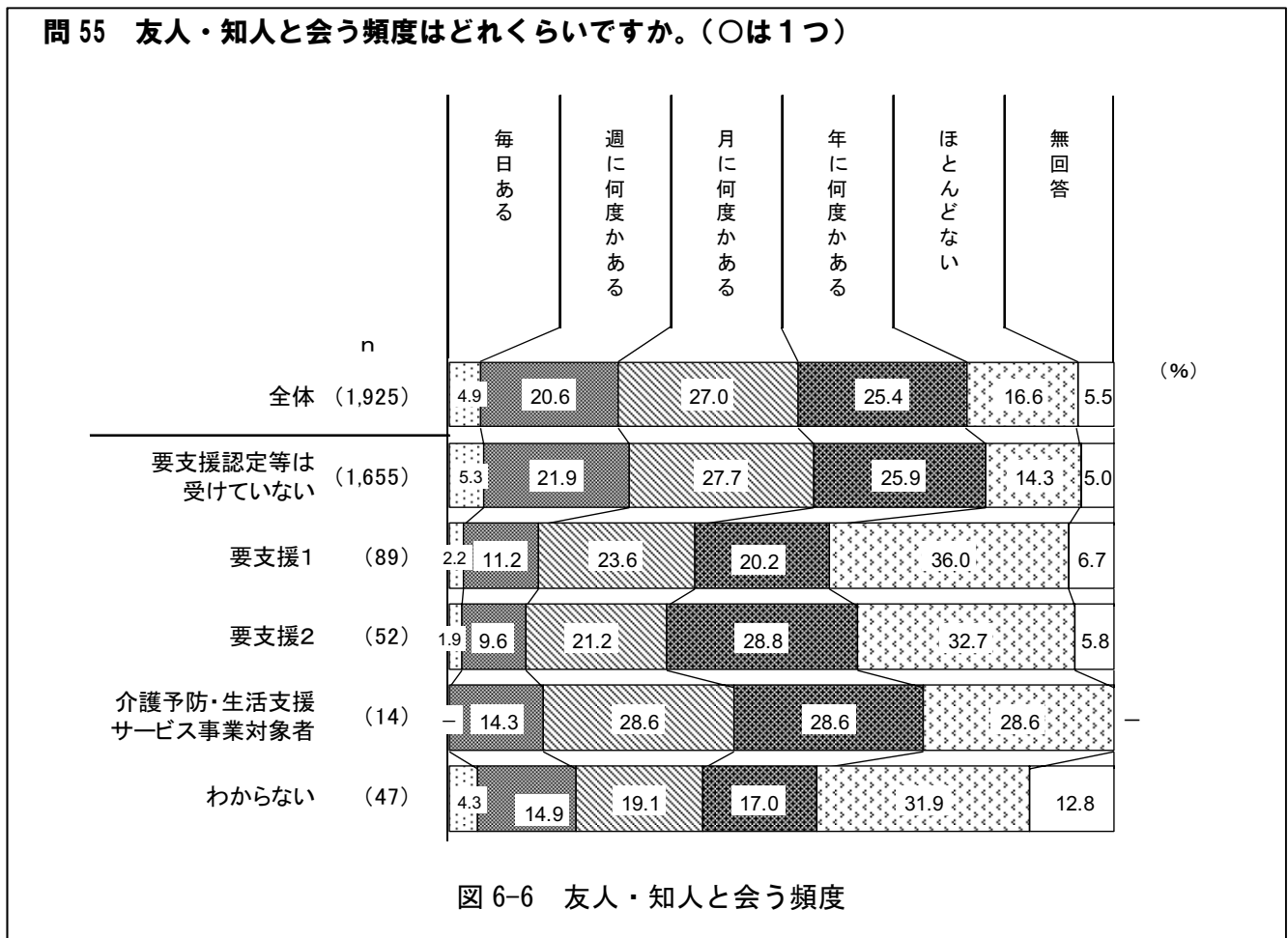
【家族構成別】何かあったときに相談する相手

単位:%

状態	有効回答数 (件)	老人 自治会・町内会・ 老人クラブ	社会福祉協議会・ 民生委員	ケア マネジャー	医師・ 看護師・ 歯科医師	地域 包括支援 センター・ 区役所	その他	その ような 人は ない	無 回答
全体	1,925	4.8	5.8	6.3	30.8	17.5	7.2	39.5	8.8
1人暮らし	500	5.0	7.0	6.4	27.6	18.0	8.0	42.8	7.8
夫婦2人暮らし(配偶者65歳以上)	673	5.8	5.6	5.6	31.2	18.4	6.2	38.6	8.6
夫婦2人暮らし(配偶者64歳以下)	78	5.1	6.4	3.8	33.3	6.4	6.4	39.7	14.1
息子・娘との2世帯	267	5.2	3.7	7.1	34.1	15.7	6.0	37.1	9.0
その他	348	2.6	5.7	6.0	32.8	17.8	8.0	39.4	8.6

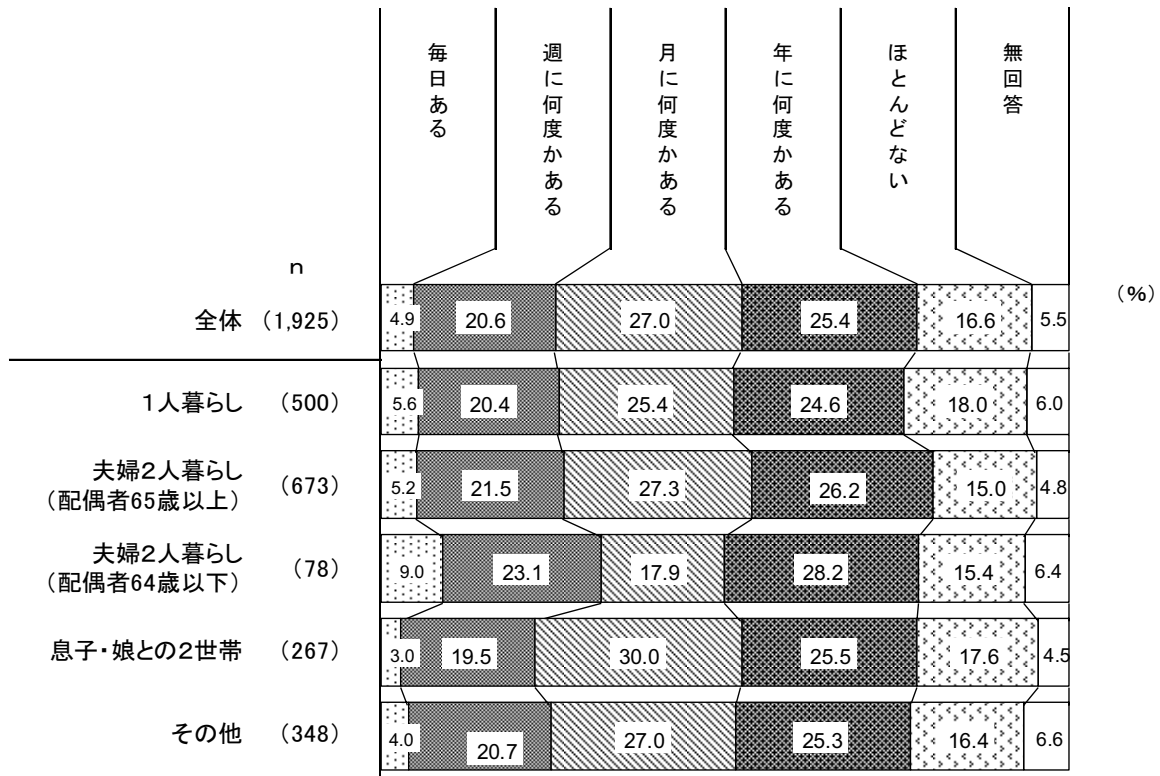
6.6. 友人・知人と会う頻度

◆「月に何度かある」が2割台後半



全体では、「月に何度かある」が2割台後半と最も高くなっている。
 状態別では、要支援1で「ほとんどない」が3割台半ばと高くなっている。

【家族構成別】友人・知人と会う頻度



家族構成別では、夫婦2人暮らし（配偶者65歳以下）で「週に何度かある」がやや高くなっている。

6.7. 1か月間、何人の友人・知人と会ったか

◆「0人（いない）」が2割台後半

問 56 この1か月間、何人の友人・知人と会いましたか。同じ人には何度会っても1人と数えることとします。（〇は1つ）

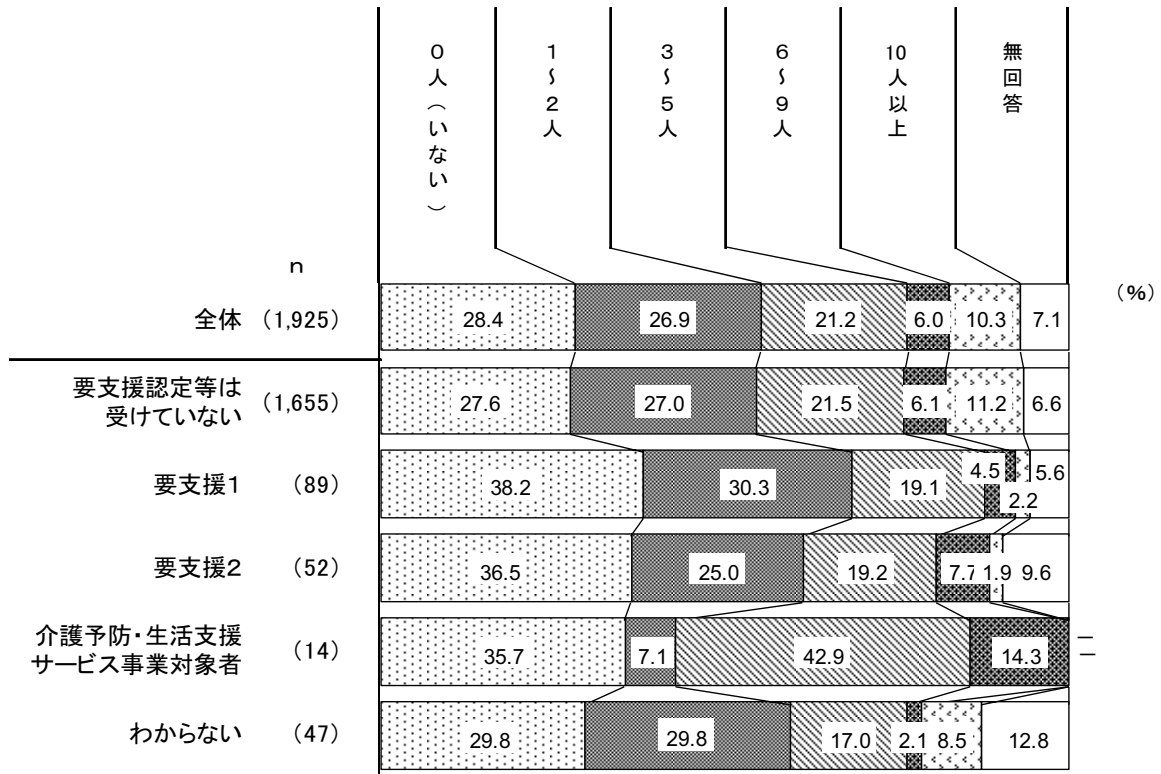


図 6-7 1か月間、何人の友人・知人と会ったか

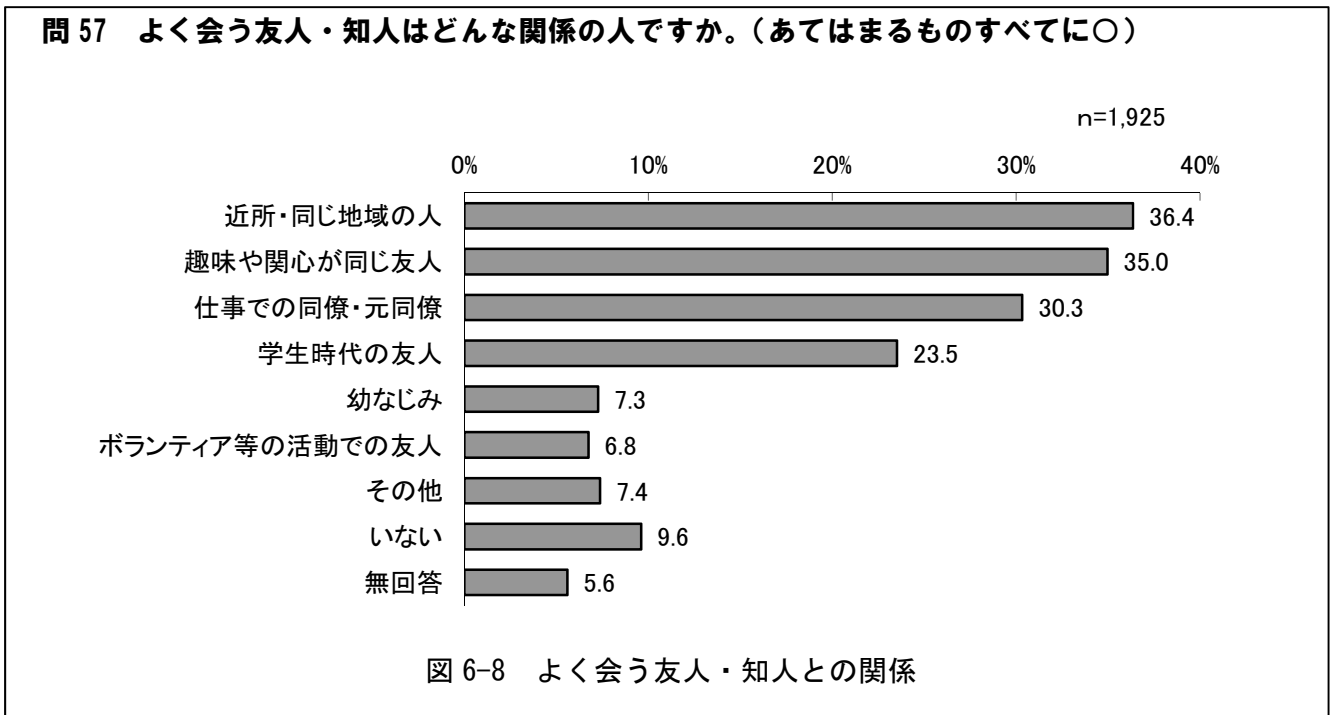
全体では、「0人（いない）」が2割台後半と最も高くなっている。

状態別では、介護予防・生活支援サービス事業対象者で「3～5人」が4割台前半と高くなっている。

新型コロナウイルス感染症対策として緊急事態宣言が出されていた期間及び外出自粛を行っていた期間における調査であったため、回答内容にその影響が出ているものと思われる。

6.8. よく会う友人・知人との関係

◆「近所・同じ地域の人」が3割台半ば



全体では、「近所・同じ地域の人」が3割台半ばで最も高く、次いで「趣味や関心が同じ友人」となっている。

【状態別】よく会う友人・知人との関係

単位: %

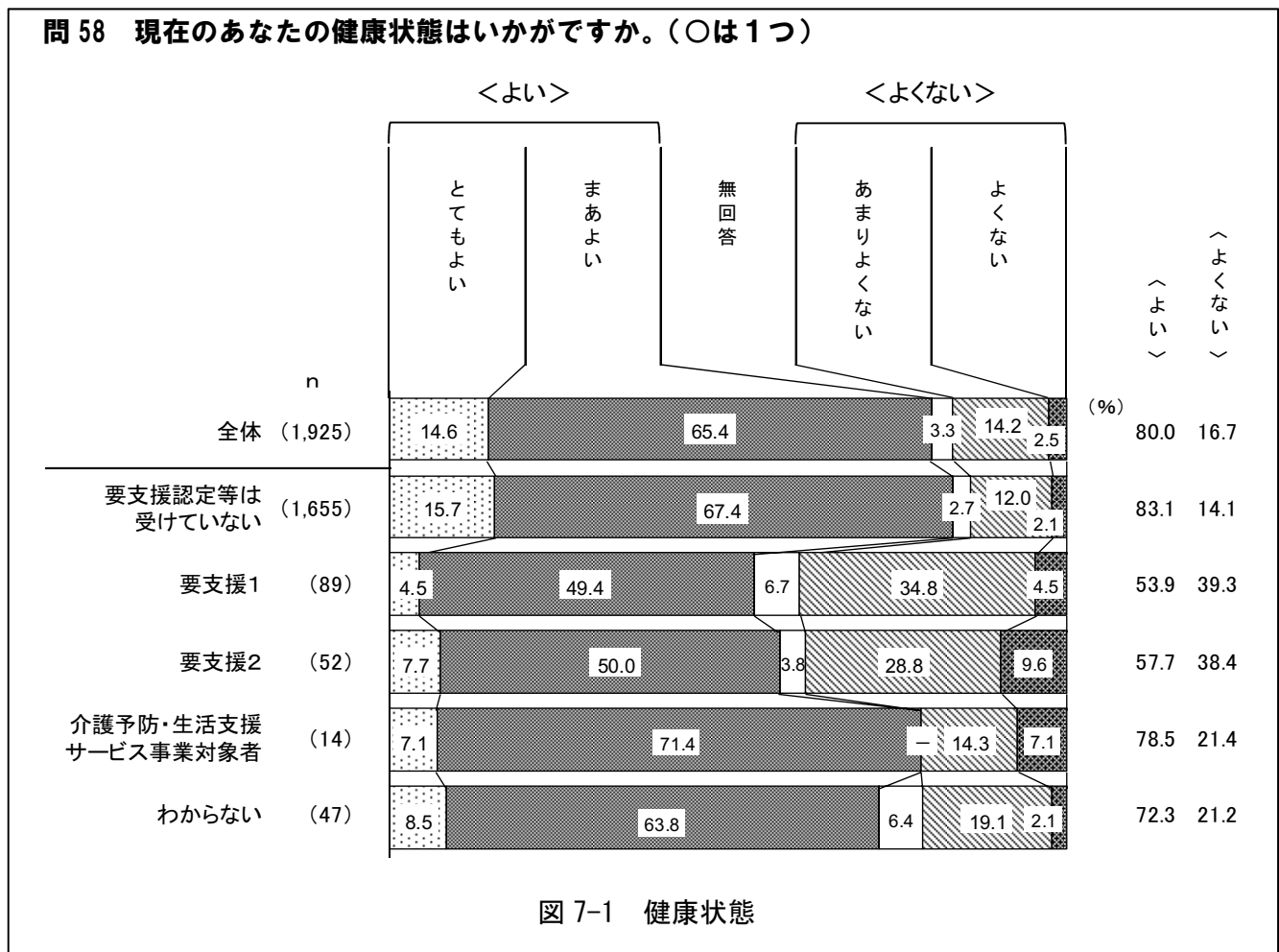
状態	有効回答数 (件)	近所・同じ地域の人	幼なじみ	学生時代の友人	仕事での同僚・元同僚	趣味や関心が同じ友人	ボランティア等の活動での友人	その他	いない	無回答
全体	1,925	36.4	7.3	23.5	30.3	35.0	6.8	7.4	9.6	5.6
要支援認定等は受けていない	1,655	37.4	7.7	25.1	32.1	37.8	7.0	6.6	7.8	4.8
要支援1	89	36.0	4.5	13.5	13.5	20.2	7.9	14.6	23.6	6.7
要支援2	52	23.1	7.7	17.3	19.2	13.5	1.9	17.3	23.1	7.7
介護予防・生活支援サービス事業対象者	14	42.9	0.0	7.1	14.3	21.4	0.0	7.1	35.7	0.0
わからない	47	27.7	2.1	12.8	31.9	10.6	4.3	10.6	23.4	10.6

状態別では、要支援認定等は受けていないで「趣味や関心が同じ友人」、要支援1・2、介護予防・生活支援サービス事業対象者で「近所・同じ地域の人」、わからないで「仕事での同僚・元同僚」が最も高くなっている。

7. 健康について

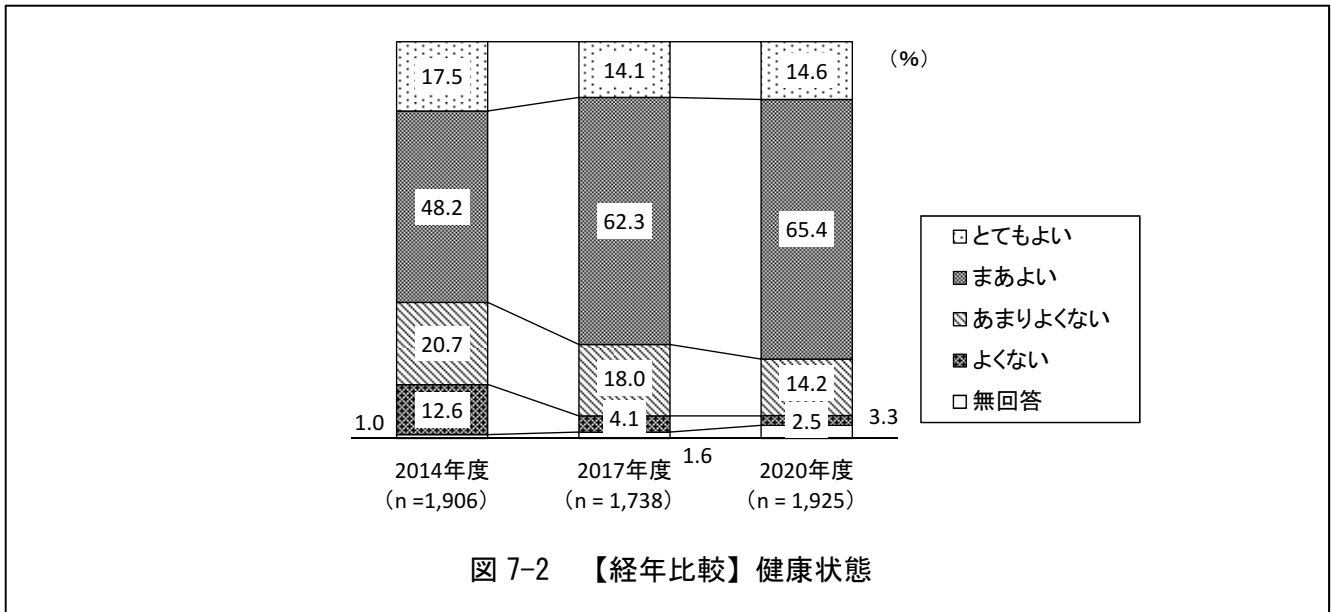
7.1. 健康状態

◆<よい>が8割



全体では、「とてもよい」と「まあよい」を合わせた<よい>が8割と高くなっている。

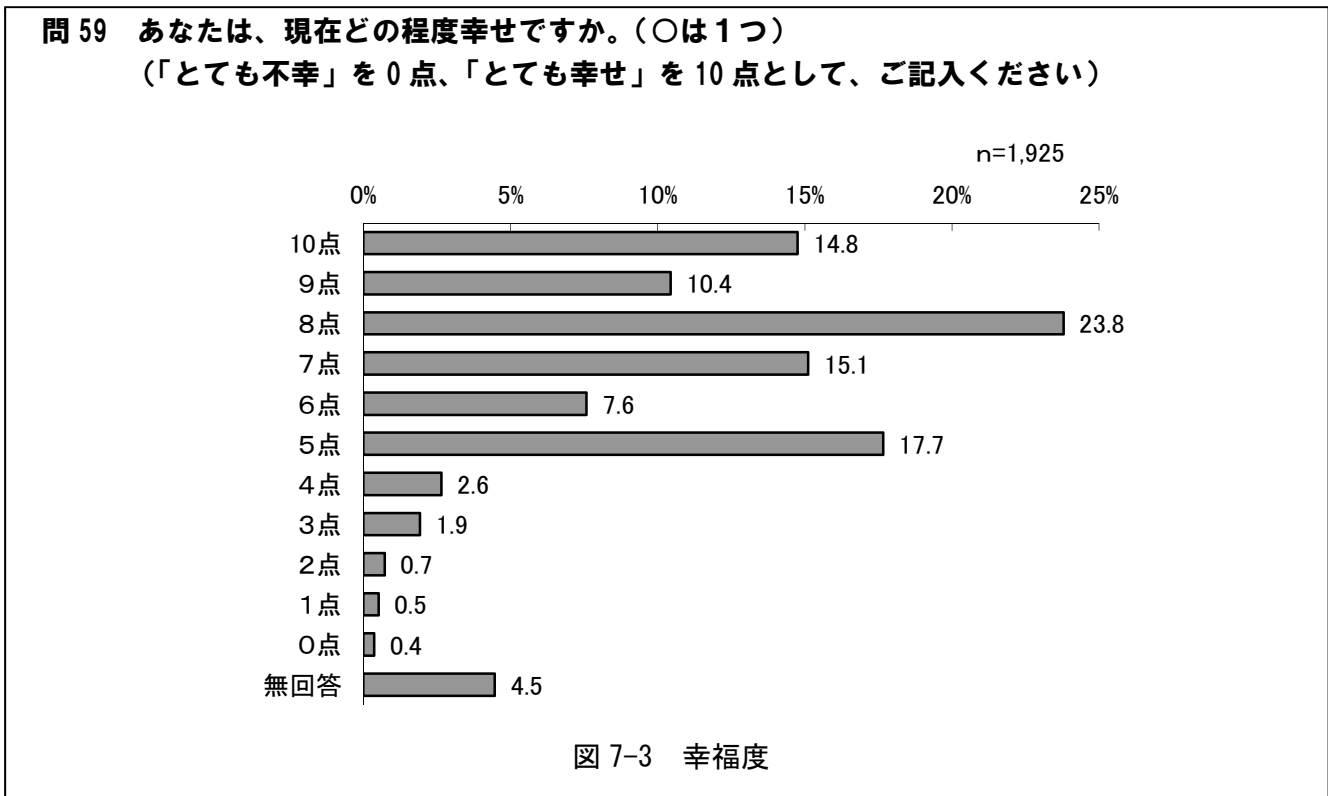
状態別では、要支援1・2で「あまりよくない」と「よくない」を合わせた<よくない>が4割近くと高くなっている。



経年比較で見ると、2014年度に比べ「とてもよい」と「まあよい」を合わせた<よい>が14.3ポイント増加している。

7.2. 幸福度

◆「8点」が2割台前半



全体では、「8点」が2割台前半と高くなっている。

【状態別】幸福度

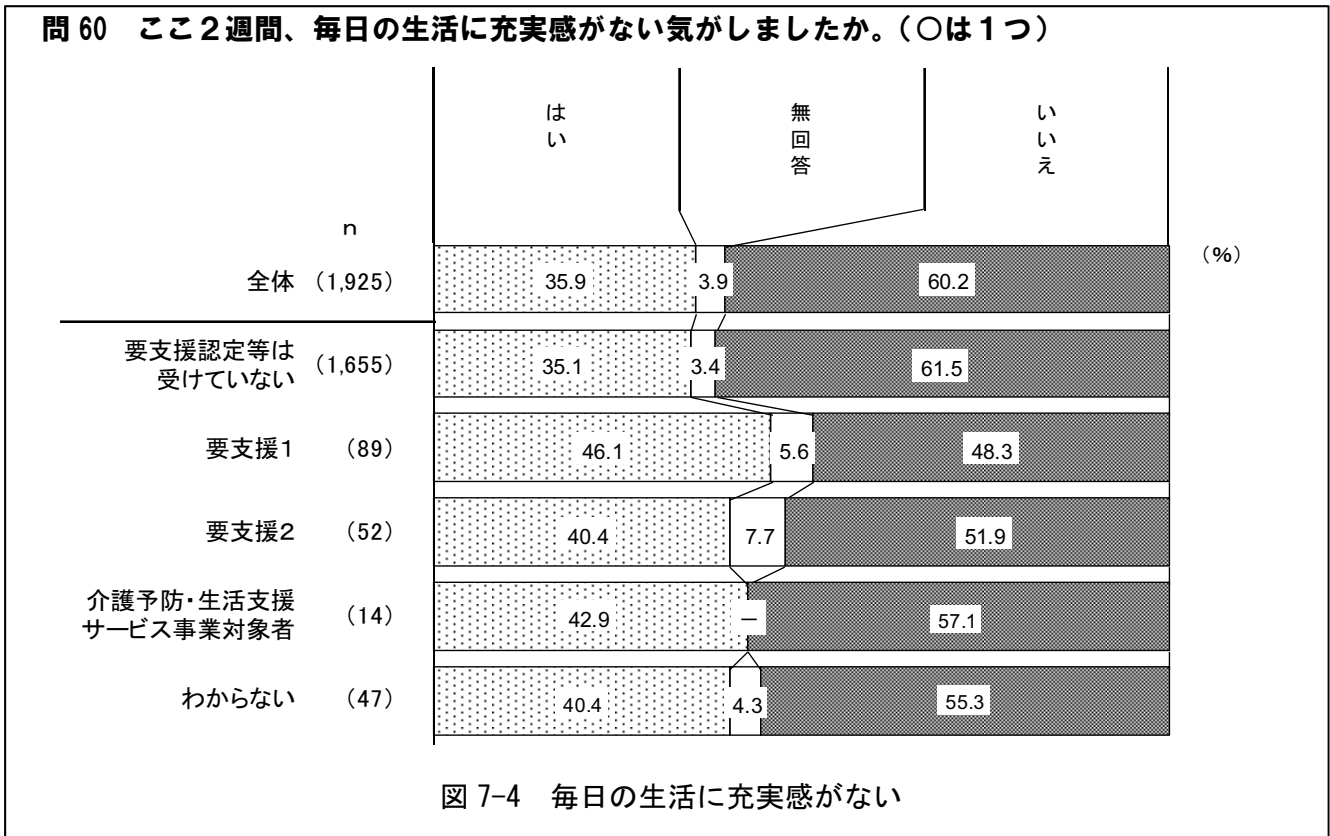
単位: %

状態	有効回答数 (件)	0点	1点	2点	3点	4点	5点	6点	7点	8点	9点	10点	無回答
全体	1,925	0.4	0.5	0.7	1.9	2.6	17.7	7.6	15.1	23.8	10.4	14.8	4.5
要支援認定等は受けていない	1,655	0.2	0.5	0.7	1.9	2.3	16.8	7.4	15.6	24.5	11.1	15.0	3.8
要支援1	89	0.0	0.0	2.2	0.0	5.6	23.6	9.0	14.6	19.1	3.4	14.6	7.9
要支援2	52	0.0	0.0	0.0	3.8	1.9	28.8	7.7	9.6	21.2	11.5	7.7	7.7
介護予防・生活支援サービス事業対象者	14	0.0	7.1	0.0	7.1	14.3	7.1	0.0	7.1	42.9	7.1	7.1	0.0
わからない	47	4.3	0.0	0.0	4.3	8.5	21.3	14.9	6.4	12.8	6.4	10.6	10.6

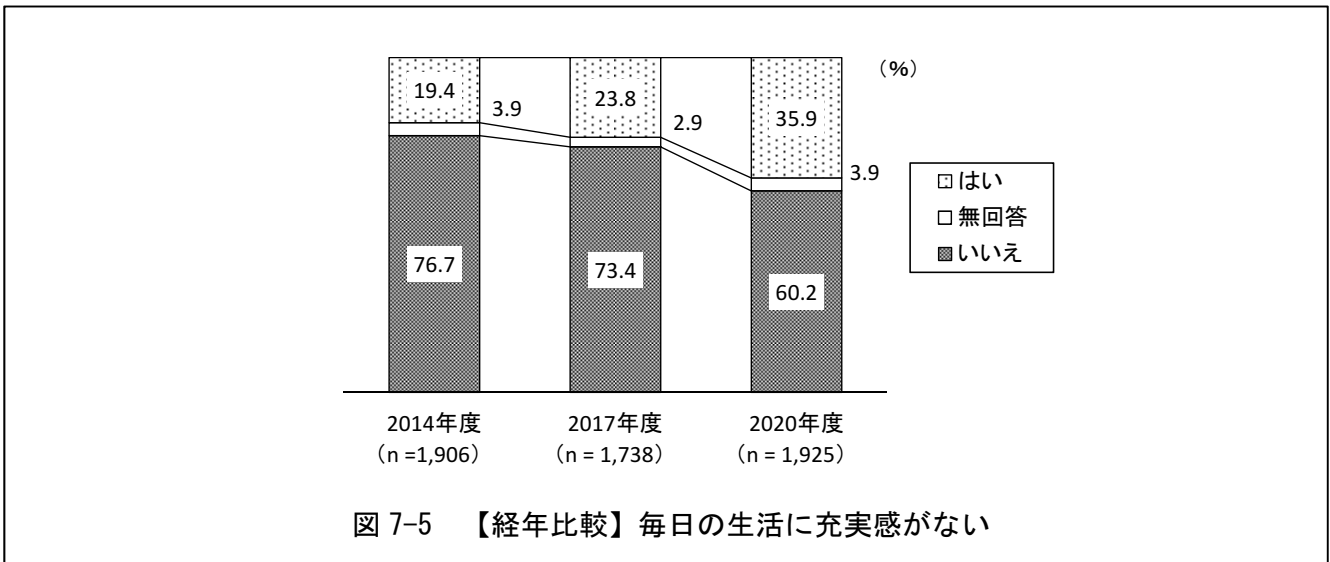
状態別では、要支援1・2、わからないで「5点」が2割台と高くなっている。

7.3. 毎日の生活に充実感がない

◆「いいえ」が約6割



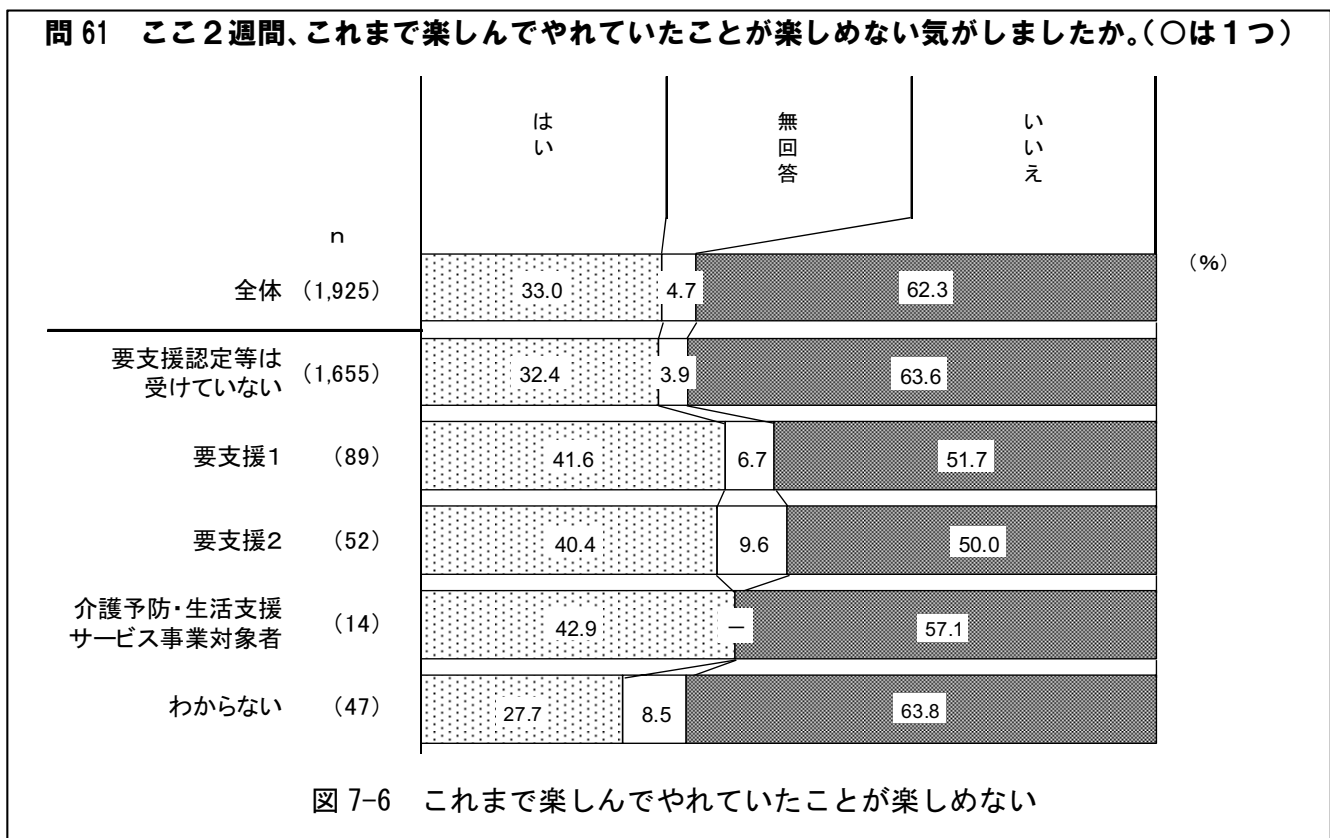
全体では、「いいえ」が約6割と高くなっている。
 状態別にみると、要支援1で「はい」が4割台半ばと高くなっている。



経年比較でみると、2014年度に比べ「はい」が16.5ポイント増加している。
 新型コロナウイルス感染症対策として緊急事態宣言が出されていた期間及び外出自粛を行っていた期間における調査であったため、回答内容にその影響が出ているものと思われる。

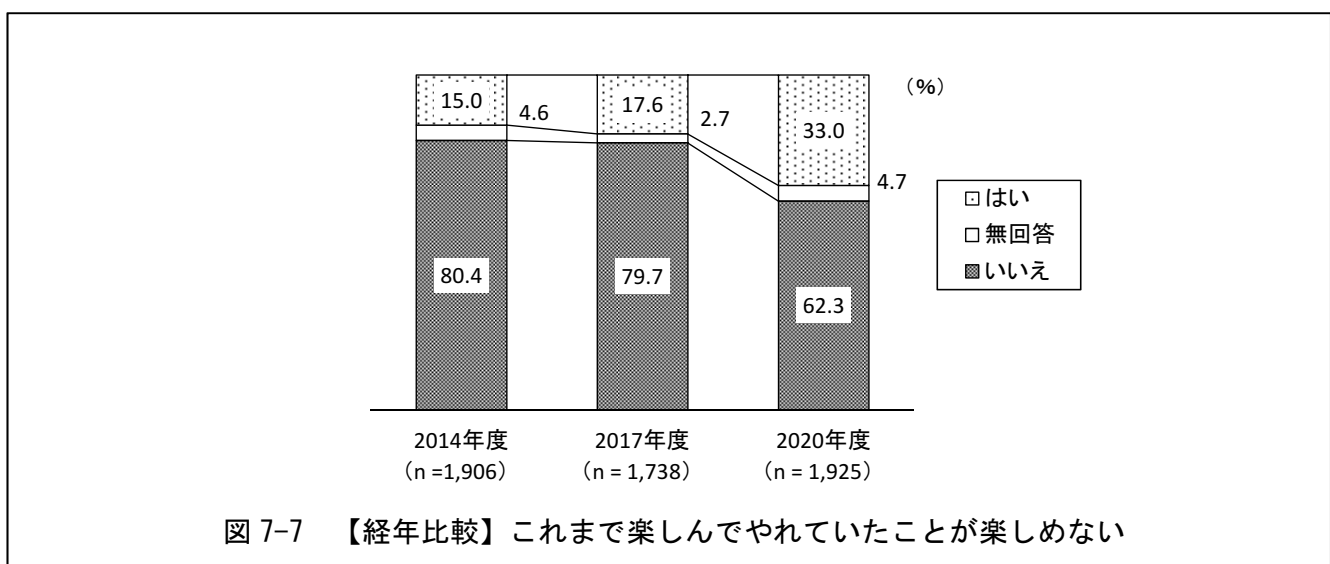
7.4. これまで楽しんでやれていたことが楽しめない

◆「いいえ」が6割台前半



全体では、「いいえ」が6割台前半と高くなっている。

状態別では、要支援1・2、介護予防・生活支援サービス事業対象者で「はい」が4割を超えて高くなっている。



経年比較でみると、2014年度に比べ「はい」が18.0ポイント増加している。

新型コロナウイルス感染症対策として緊急事態宣言が出されていた期間及び外出自粛を行っていた期間における調査であったため、回答内容にその影響が出ているものと思われる。

7.5. 以前は楽にできていたことが今ではおっくうに感じられる

◆「いいえ」が6割台前半

問 62 ここ2週間、以前は楽にできていたことが今ではおっくうに感じられることがありましたか。(○は1つ)

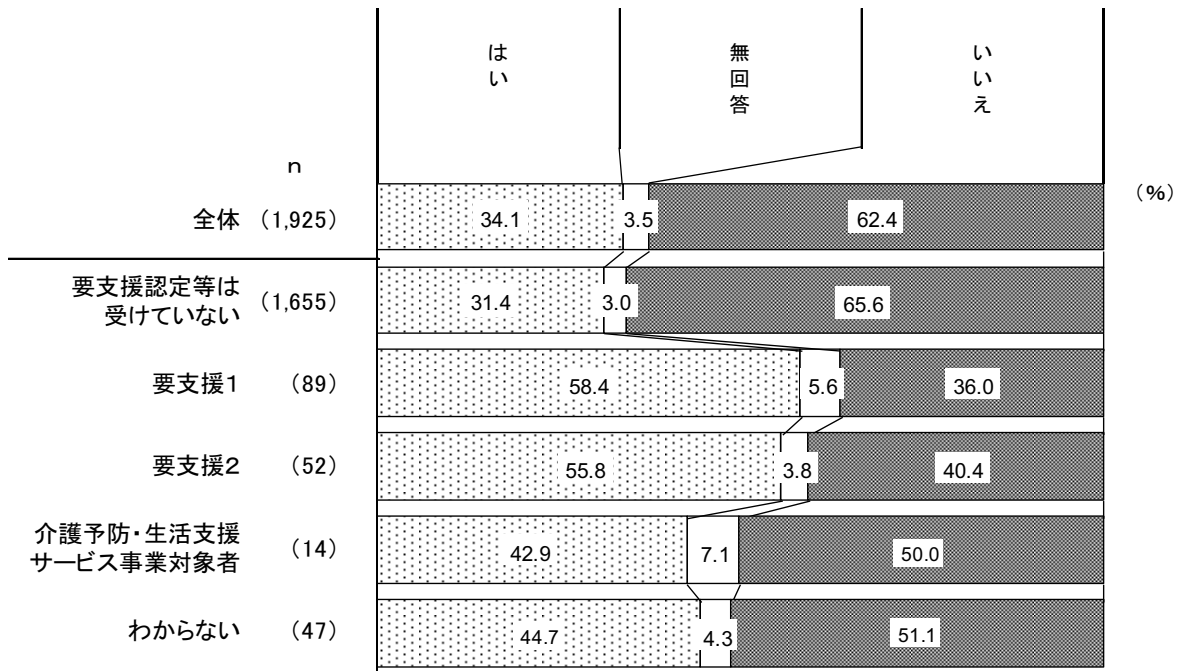


図 7-8 以前は楽にできていたことが今ではおっくうに感じられる

全体では、「いいえ」が6割台前半と高くなっている。
 状態別では、要支援1で「はい」が5割台後半と高くなっている。

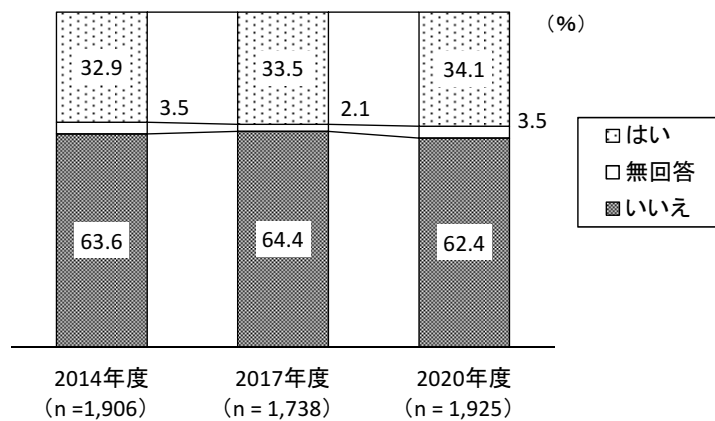
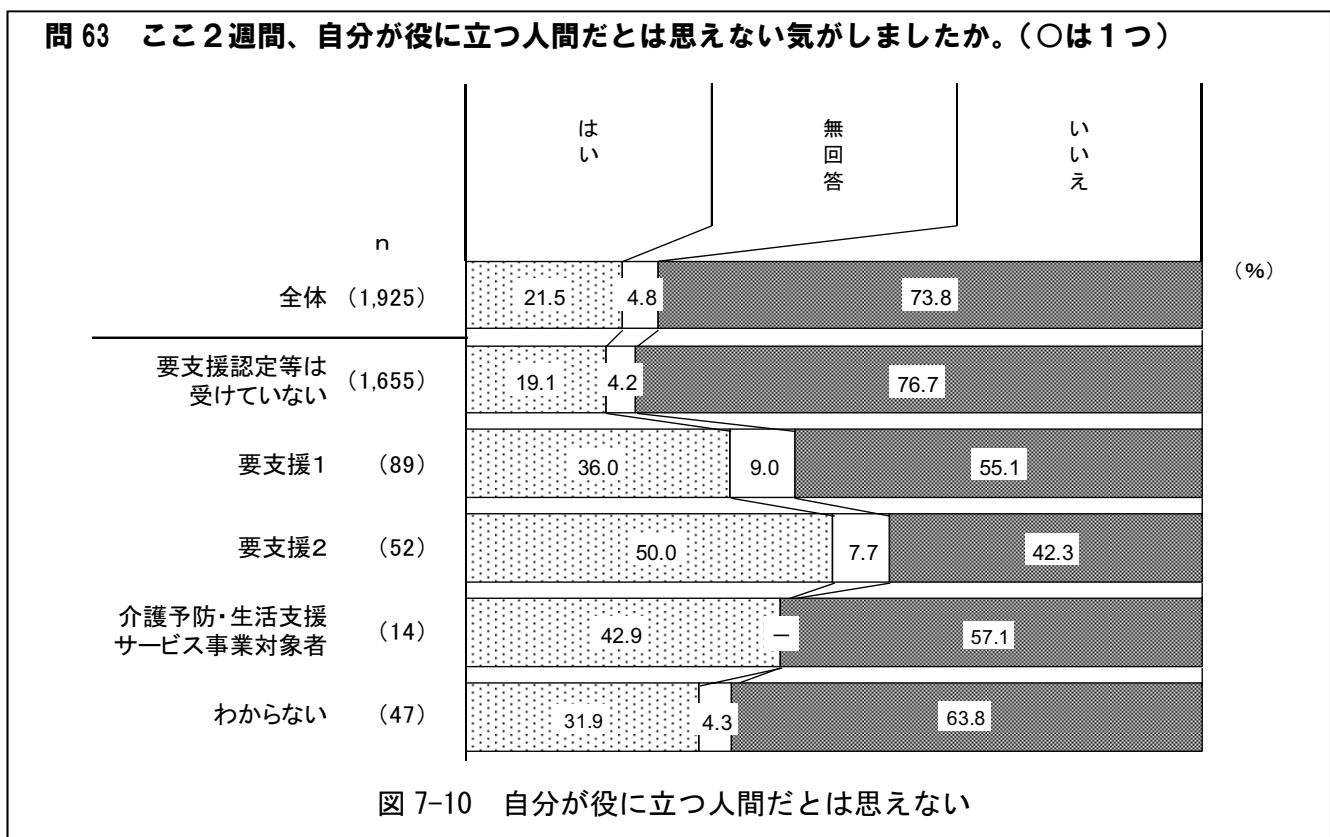


図 7-9 【経年比較】 以前は楽にできていたことが今ではおっくうに感じられる

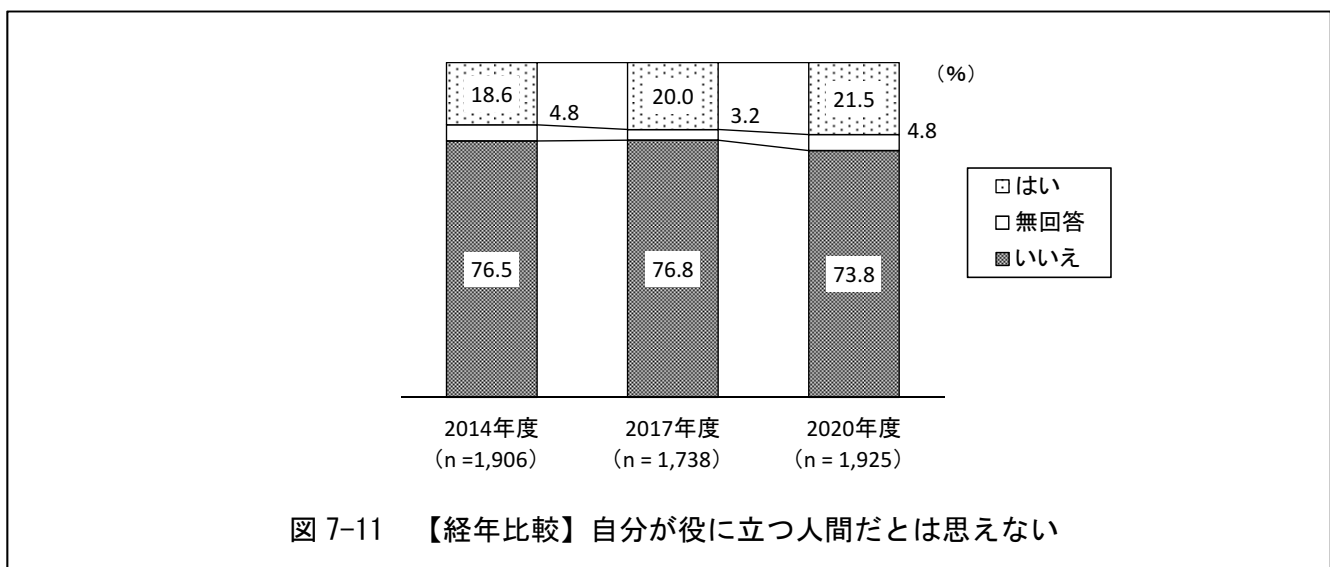
経年比較でみると、大きな差異はみられない。

7.6. 自分が役に立つ人間だとは思えない

◆「いいえ」が7割台前半



全体では、「いいえ」が7割台前半と高くなっている。
 状態別では、要支援2で「はい」が5割と高くなっている。



経年比較でみると、2014年度に比べ「はい」が2.9ポイント増加している。

7.7. わけもなく疲れたような感じがする

◆「いいえ」が6割台半ば

問 64 ここ2週間、わけもなく疲れたような感じがしましたか。(○は1つ)

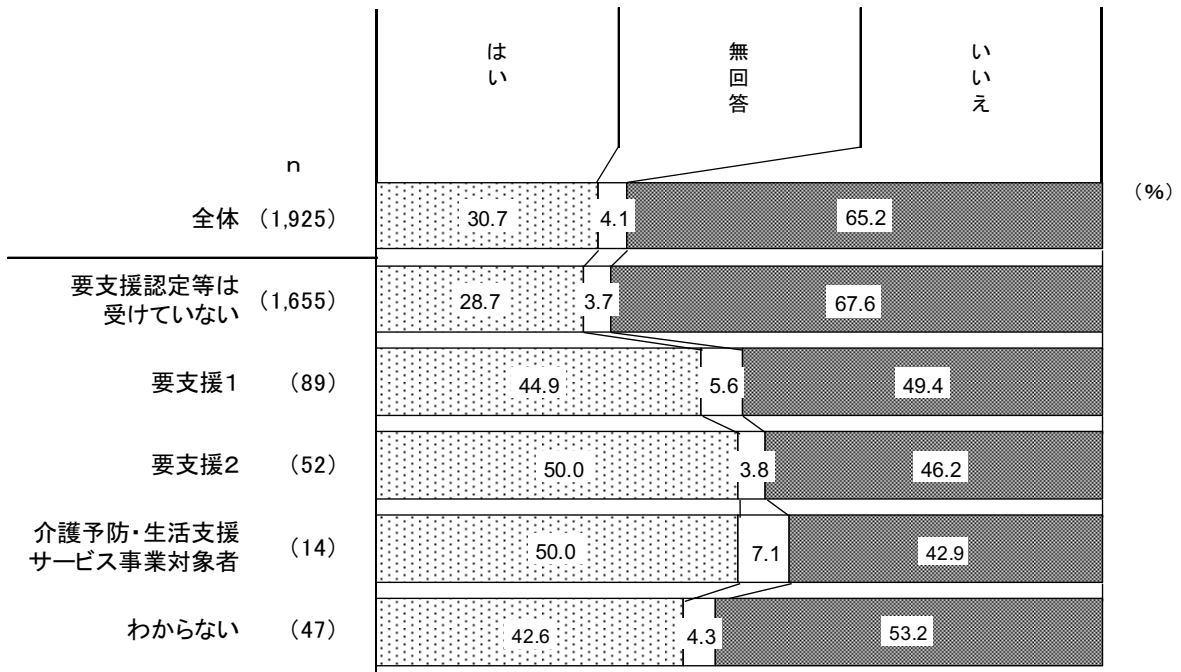


図 7-12 わけもなく疲れたような感じがする

全体では、「いいえ」が6割台半ばと高くなっている。
 状態別では、要支援2、介護予防・生活支援サービス事業対象者で「はい」が5割と高くなっている。

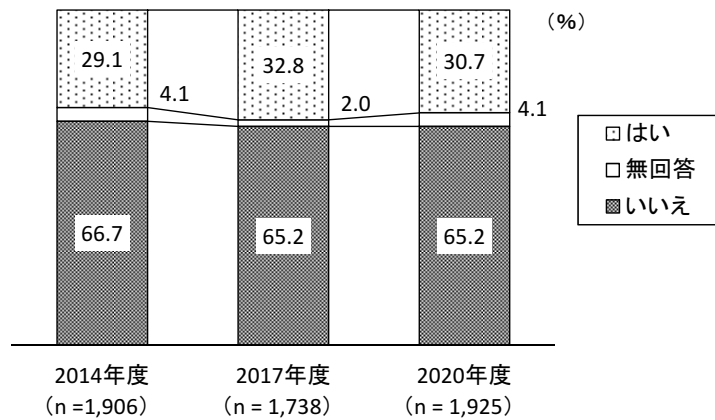


図 7-13 【経年比較】わけもなく疲れたような感じがする

経年比較でみると、大きな差異はみられない。

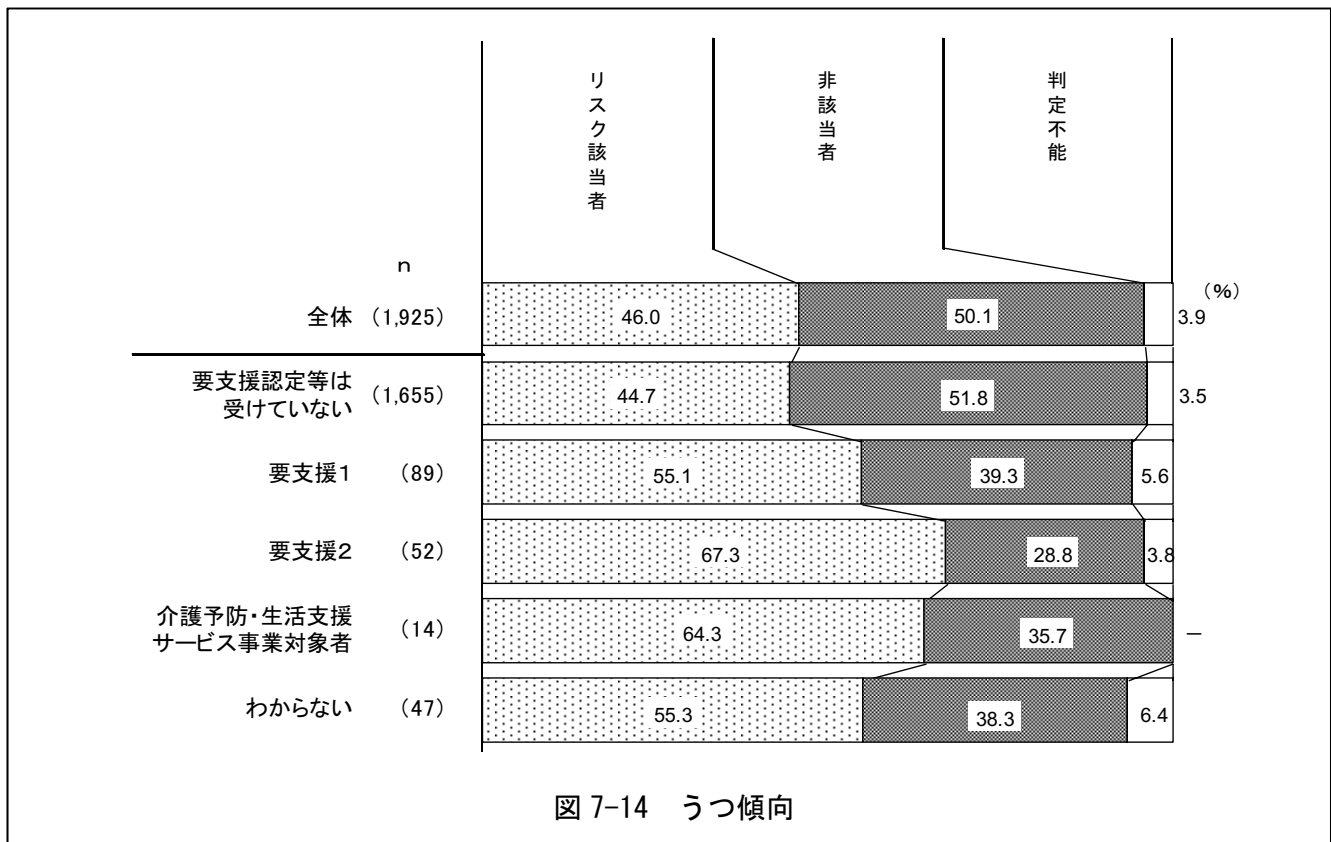
7.8. 機能評価

7.8.1. うつ傾向

◇以下の設問を抽出し、2項目のうち1項目以上に該当する人をうつ傾向のリスク該当者と判定した。

問番号	設問	該当する選択肢
問 65	この1か月間、気分が沈んだり、ゆううつな気持ちになったりすることがありましたか	1. はい
問 66	この1か月間、どうしても物事に対して興味がわかない、あるいは心から楽しめない感じがよくありましたか	1. はい

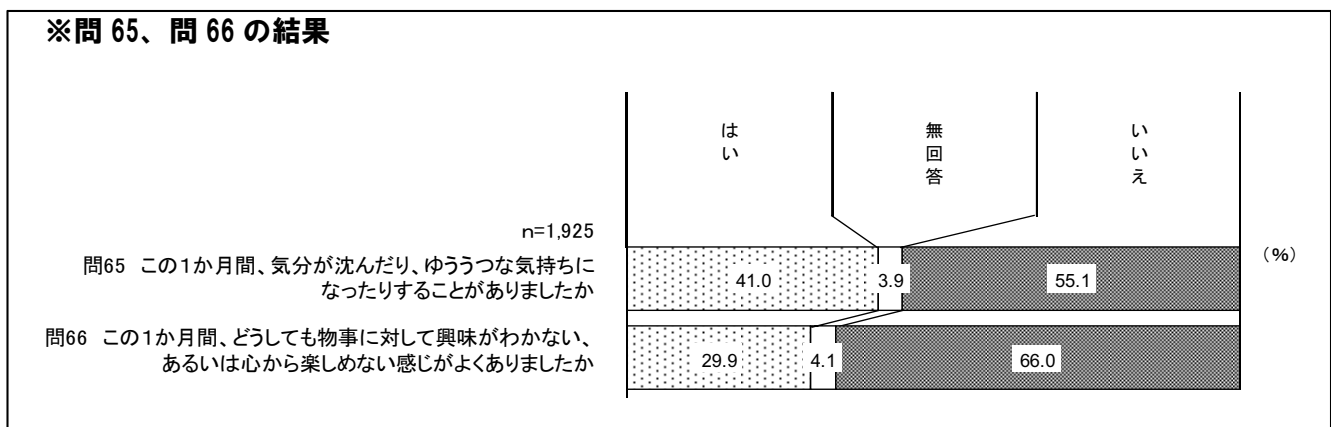
◆ うつ傾向のリスク該当者は4割台半ば



全体では、うつ傾向のリスク該当者は4割台半ばとなっている。

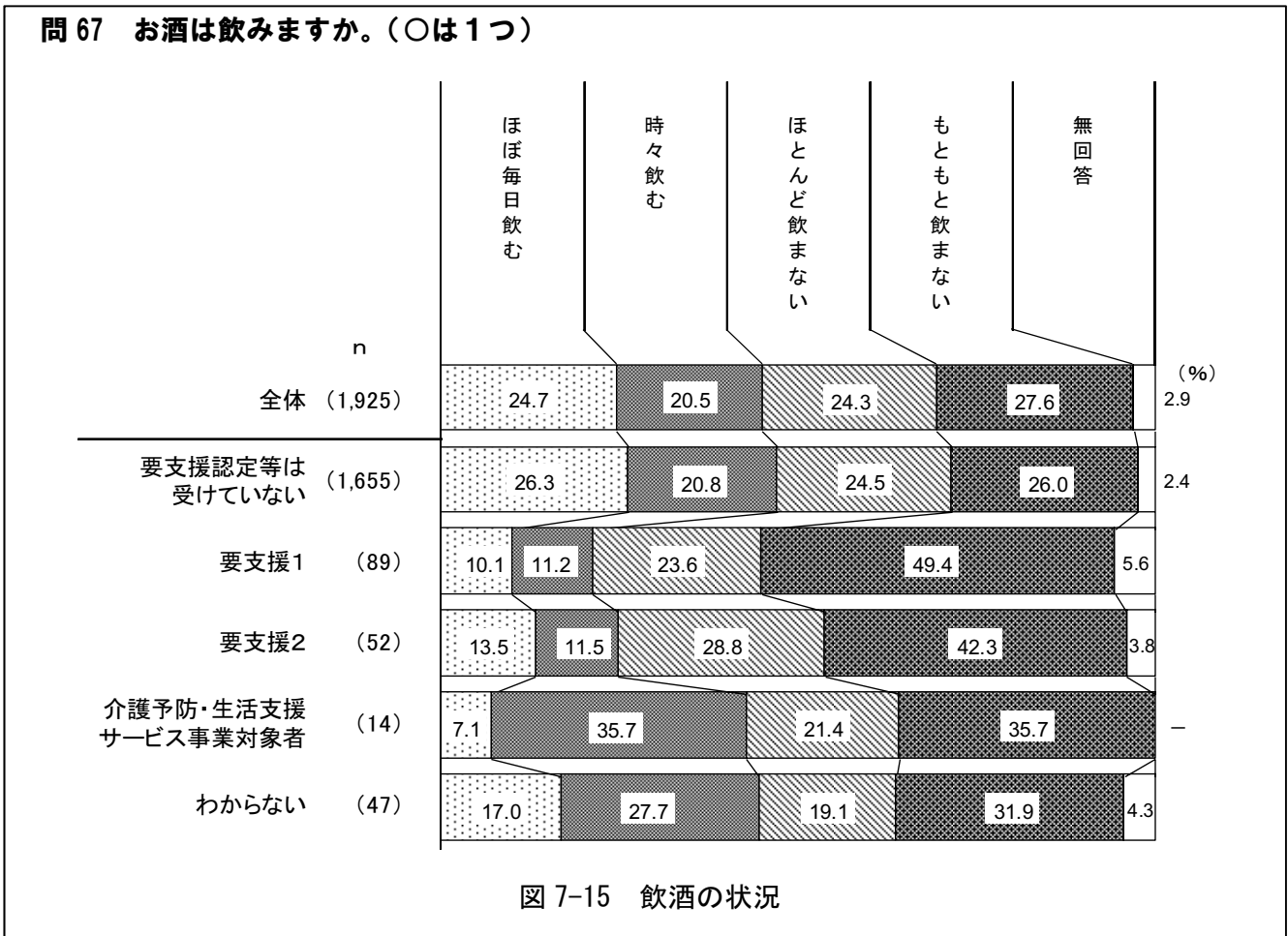
状態別では、要支援2、介護予防・生活支援サービス事業対象者で6割を超えて高くなっている。

※問 65、問 66 の結果

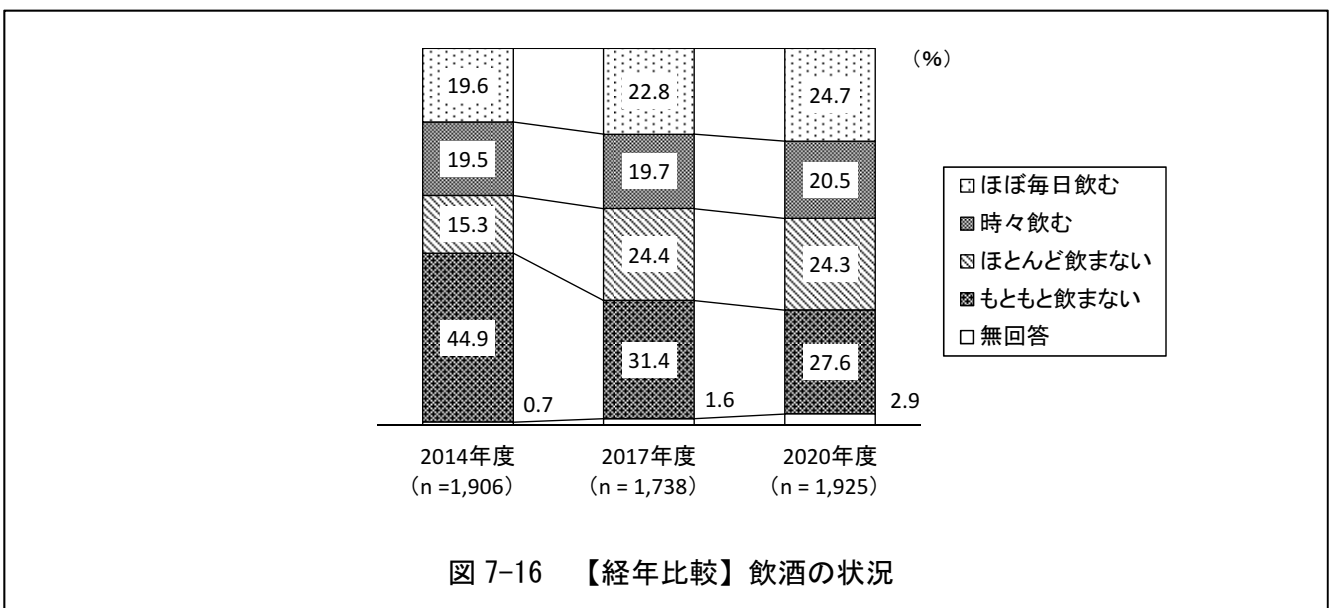


7.9. 飲酒の状況

◆飲酒の頻度は、「もともと飲まない」が2割台後半



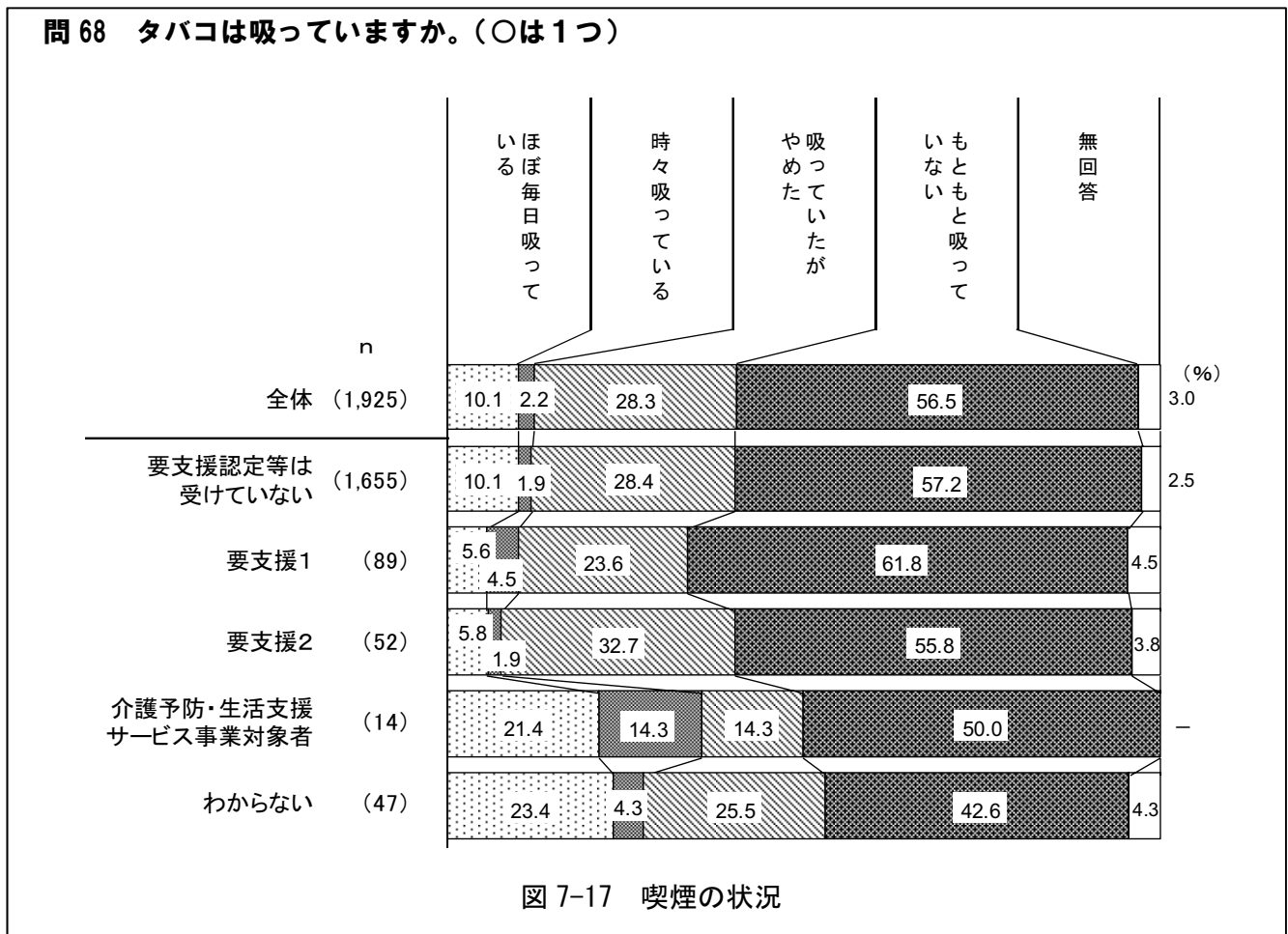
飲酒の頻度は、「もともと飲まない」が2割台後半と高くなっている。状態別にみると、要支援1で「もともと飲まない」が約5割と高くなっている。



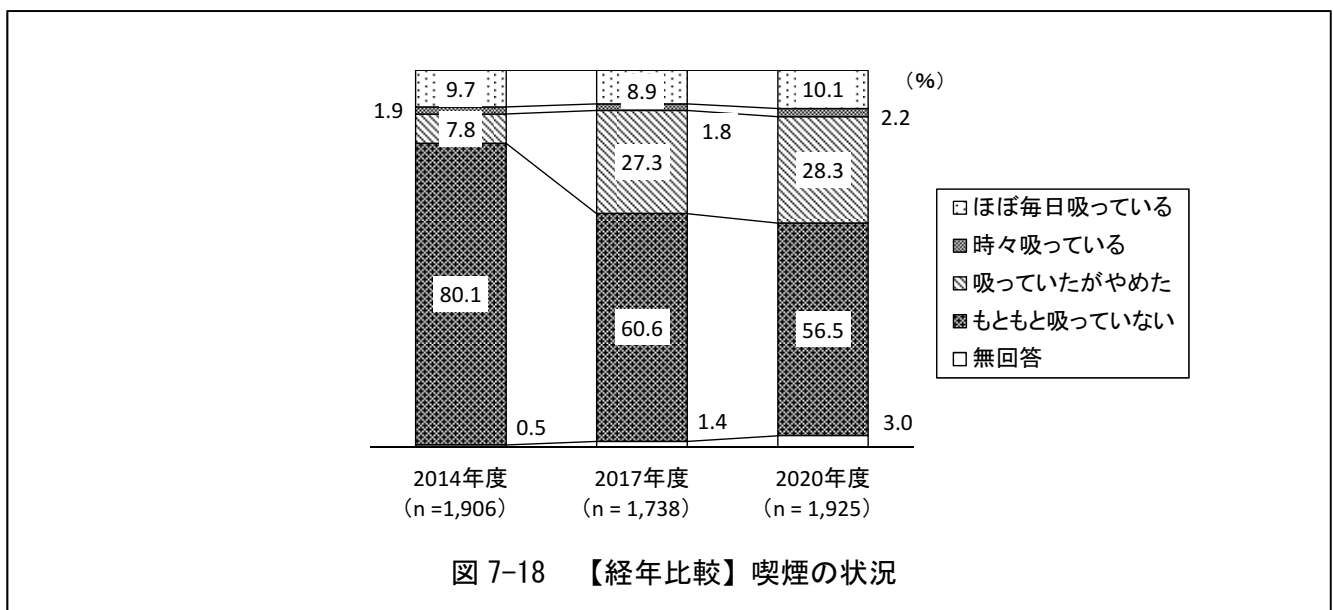
経年比較でみると、2014年度に比べ「もともと飲まない」が17.3ポイント減少している。

7.10. 喫煙の状況

◆ 喫煙の頻度は、「もともと吸っていない」が5割台半ば



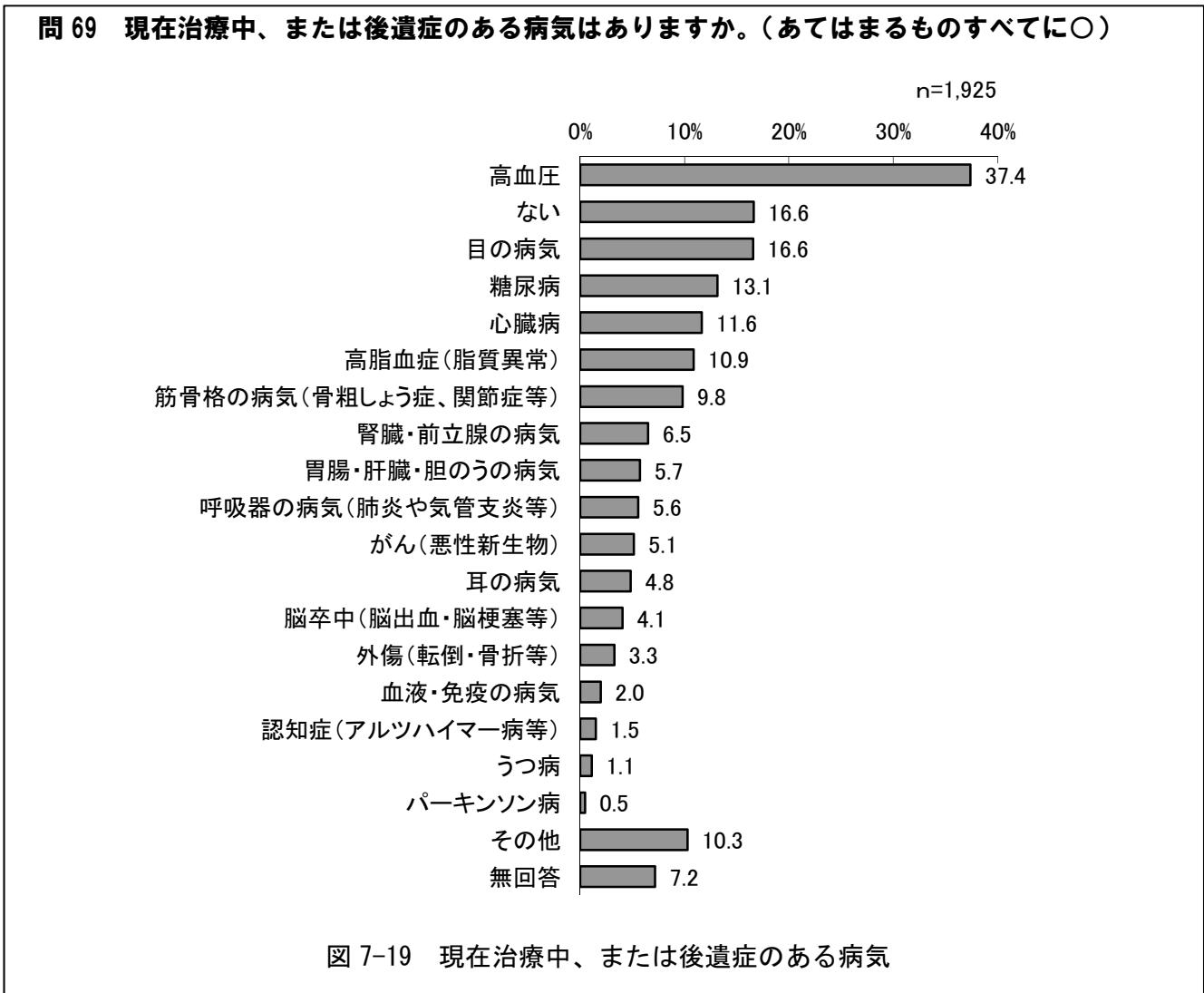
喫煙の頻度は、「もともと吸っていない」が5割台半ばと高くなっている。状態別にみると、要支援1で「もともと吸っていない」が約6割強と高くなっている。



経年比較でみると、2014年度に比べ「もともと吸っていない」が23.6ポイント減少している。

7.11. 現在治療中、または後遺症のある病気

◆ 「高血圧」が3割台後半



全体では、「高血圧」が3割台後半と最も高くなっている。

【状態別】現在治療中、または後遺症のある病気

単位：％

状態	有効回答数（件）	ない	高血圧	脳卒中（脳出血・脳梗塞等）	心臓病	糖尿病	（高脂血症（脂質異常））	等（呼吸器の病気（肺炎や気管支炎））	胆のうの病気・胃腸・肝臓・	病腎臓・前立腺の	（骨粗しょう症、関節症等）	筋骨格の病気
全体	1,925	16.6	37.4	4.1	11.6	13.1	10.9	5.6	5.7	6.5		9.8
要支援認定等は受けていない	1,655	18.3	38.1	3.4	10.3	12.6	11.4	5.4	5.7	6.1		9.1
要支援1	89	2.2	34.8	9.0	23.6	18.0	9.0	6.7	6.7	10.1		19.1
要支援2	52	3.8	40.4	15.4	30.8	9.6	5.8	9.6	9.6	7.7		25.0
介護予防・生活支援サービス事業対象者	14	14.3	35.7	14.3	14.3	7.1	21.4	7.1	0.0	14.3		35.7
わからない	47	12.8	19.1	2.1	6.4	21.3	6.4	0.0	8.5	8.5		6.4

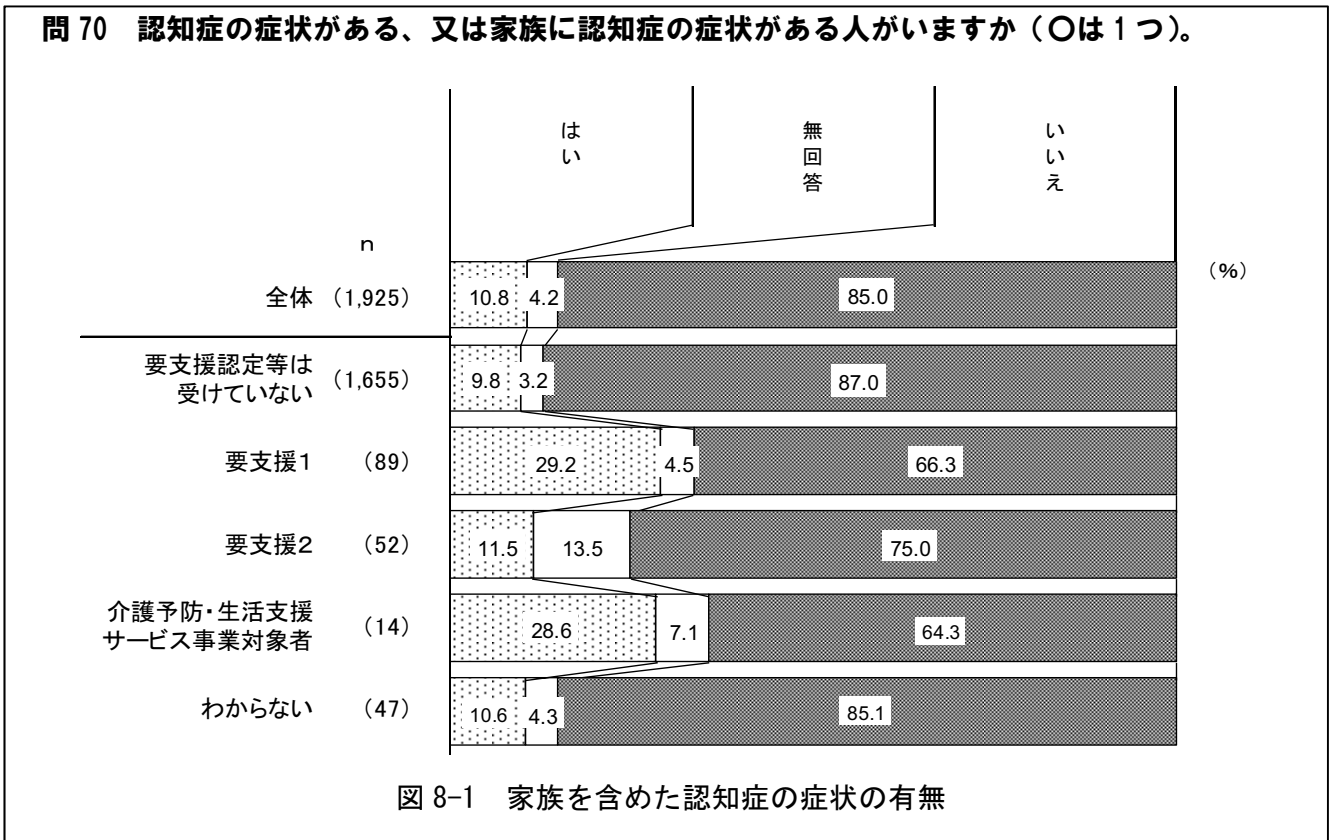
状態	折外傷（転倒・骨折等）	がん（悪性新生物）	気血液・免疫の病	うつ病	認知症（アルツハイマー病等）	パーキンソン病	目の病気	耳の病気	その他	無回答
全体	3.3	5.1	2.0	1.1	1.5	0.5	16.6	4.8	10.3	7.2
要支援認定等は受けていない	2.7	5.3	1.8	1.0	0.8	0.3	16.0	4.2	9.9	6.7
要支援1	9.0	3.4	4.5	2.2	12.4	2.2	28.1	13.5	13.5	4.5
要支援2	9.6	7.7	3.8	3.8	3.8	3.8	19.2	11.5	15.4	11.5
介護予防・生活支援サービス事業対象者	14.3	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	28.6	0.0	14.3	7.1
わからない	4.3	0.0	4.3	0.0	0.0	0.0	12.8	4.3	12.8	6.4

状態別では、わからないを除きいずれも「高血圧」が、わからないで「糖尿病」が最も高くなっている。（介護予防・生活支援サービス事業対象者では「筋骨格の病気（骨粗しょう症、関節症等）」が同率。）

8. 認知症にかかる相談窓口の把握について

8.1. 家族を含めた認知症の症状の有無

◆ 「いいえ」が8割台半ば

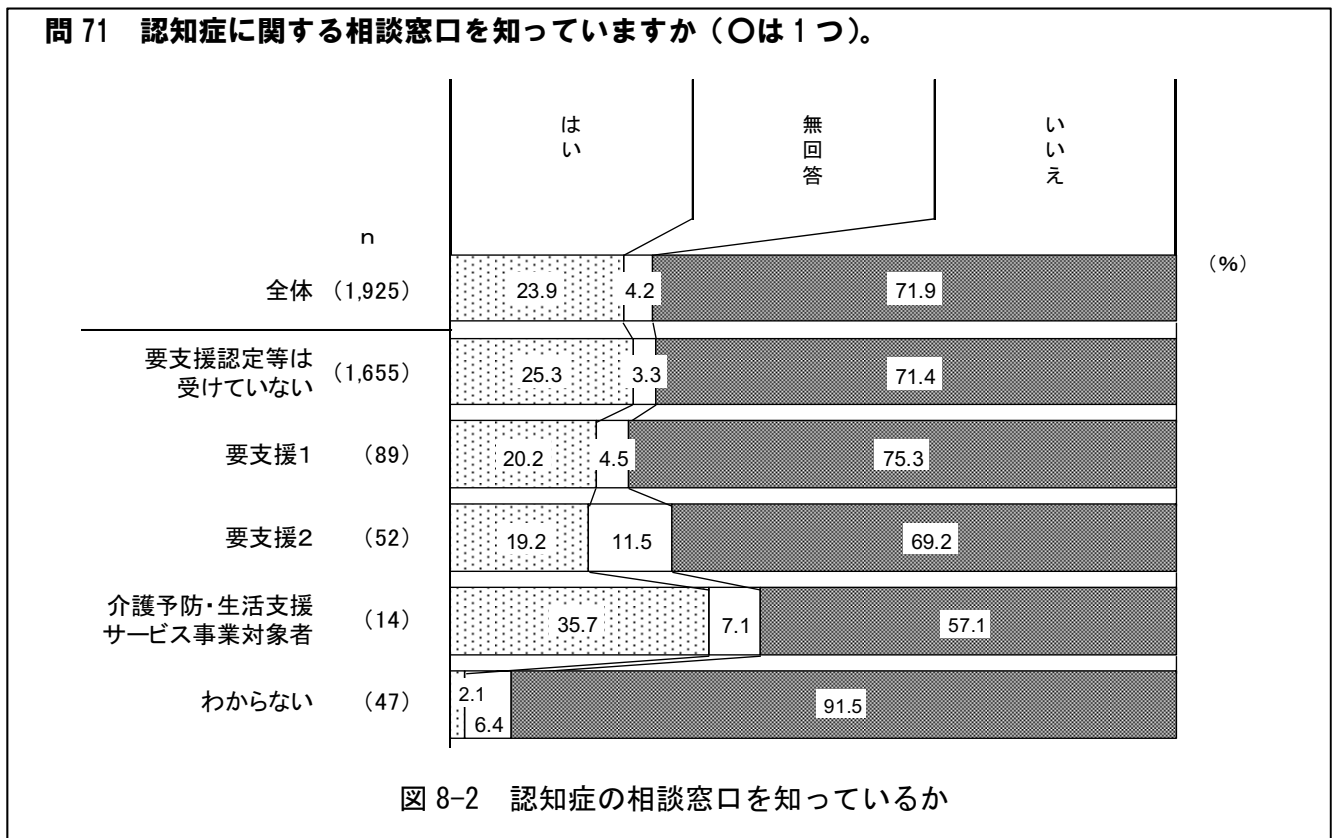


全体では、「いいえ」が8割台半ばと高くなっている。

状態別では、いずれも「いいえ」が「はい」を上回るが、要支援1と介護予防・生活支援サービス事業対象者で「はい」が約3割から2割台後半と高くなっている。

8.2. 認知症の相談窓口を知っているか

◆ 「いいえ」が約7割



全体では、「いいえ」が約7割と高くなっている。
 状態別では、わからないで「いいえ」が約9割と特に高くなっている。

9. 成年後見制度について

9.1. 成年後見制度の認知度

◆<知っている>が4割台前半

問 72 あなたは成年後見制度についてどの程度知っていますか。(○は1つ)

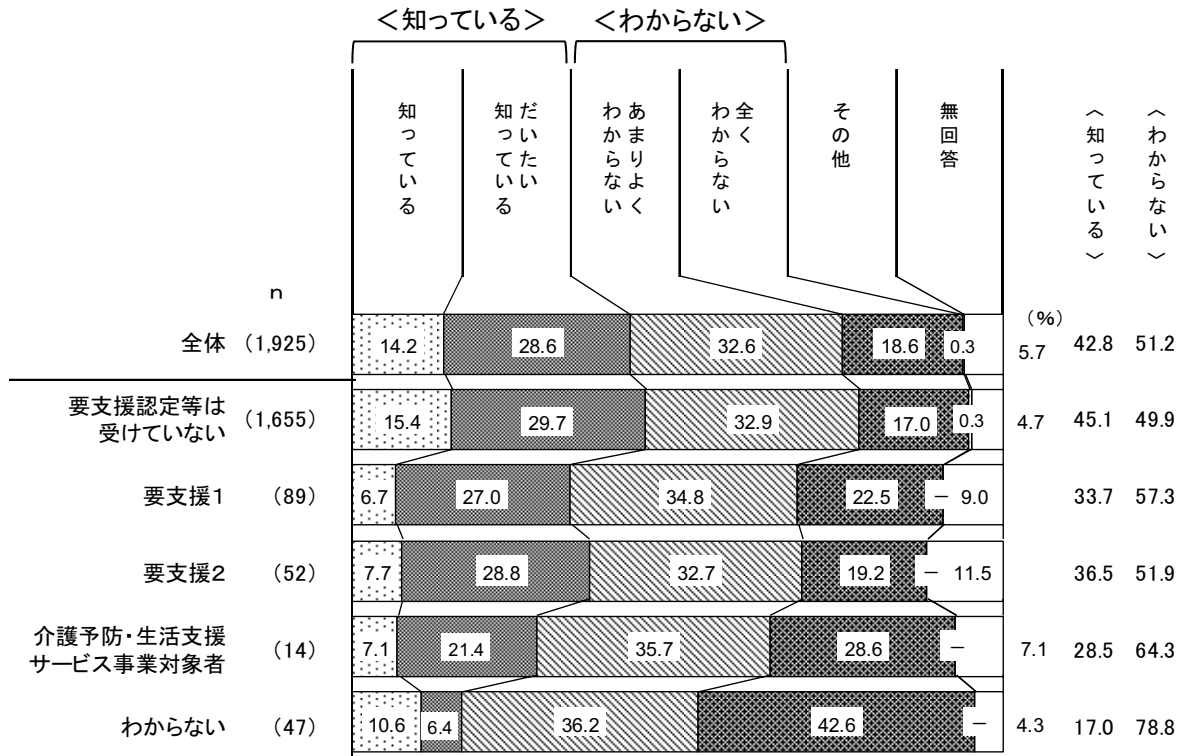


図 9-1 成年後見制度の認知度

全体では、「知っている」と「だいたい知っている」を合わせた<知っている>が4割台前半となっている。

状態別では、わからないで「あまりよくわからない」と「全くわからない」を合わせた<わからない>が7割台後半と高くなっている。

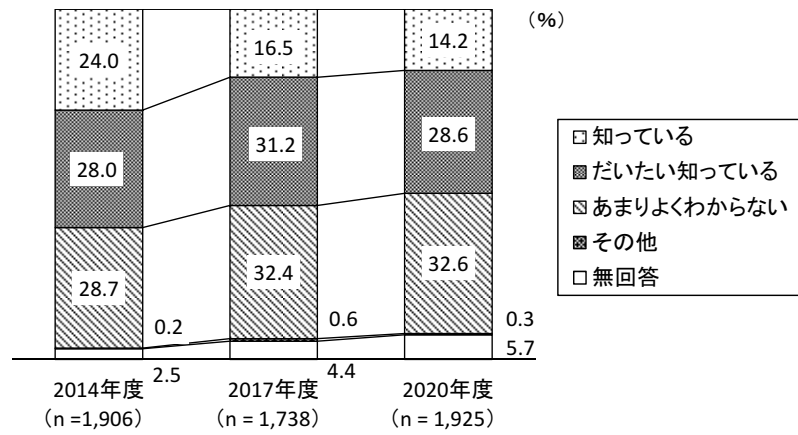


図 9-2 【経年比較】成年後見制度の認知度

経年比較で見ると、2014年度に比べ<知っている>が9.8ポイント減少している。

9.1.1. 成年後見制度の利用意向

◆「したくない」が8割台半ば

(問72で「知っている」「だいたい知っている」に○をつけた方に)
 問72-1 今後、成年後見制度を利用したいと思いますか。(○は1つ)

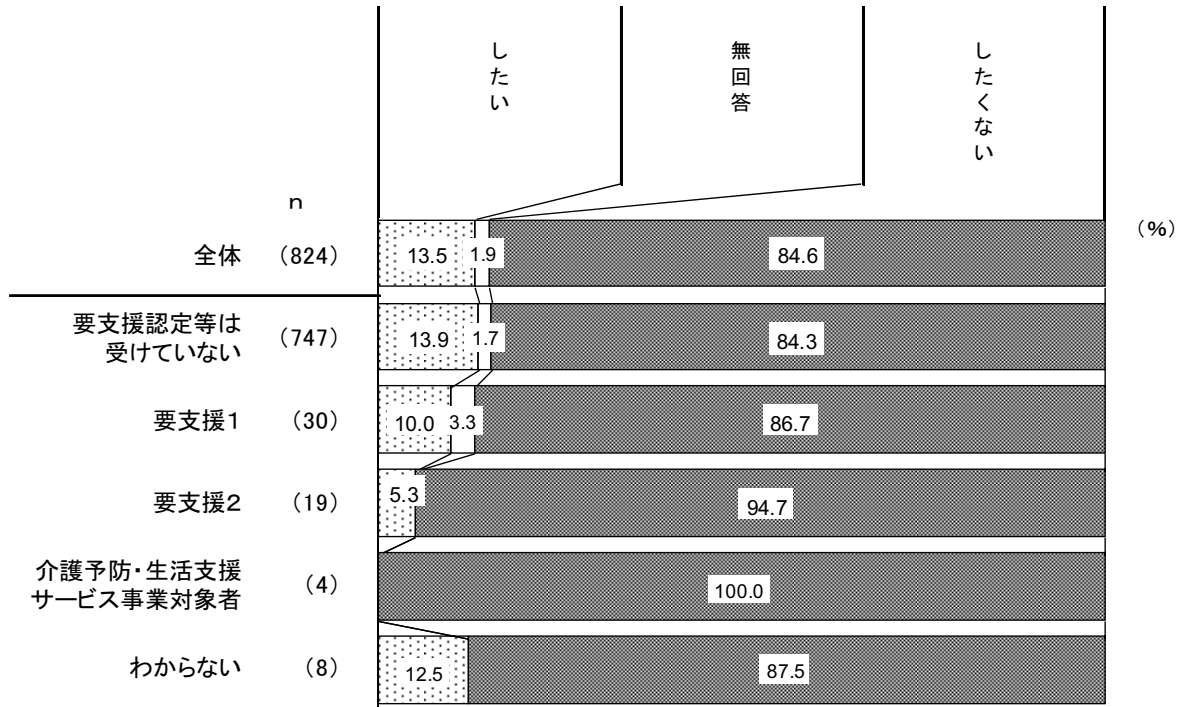
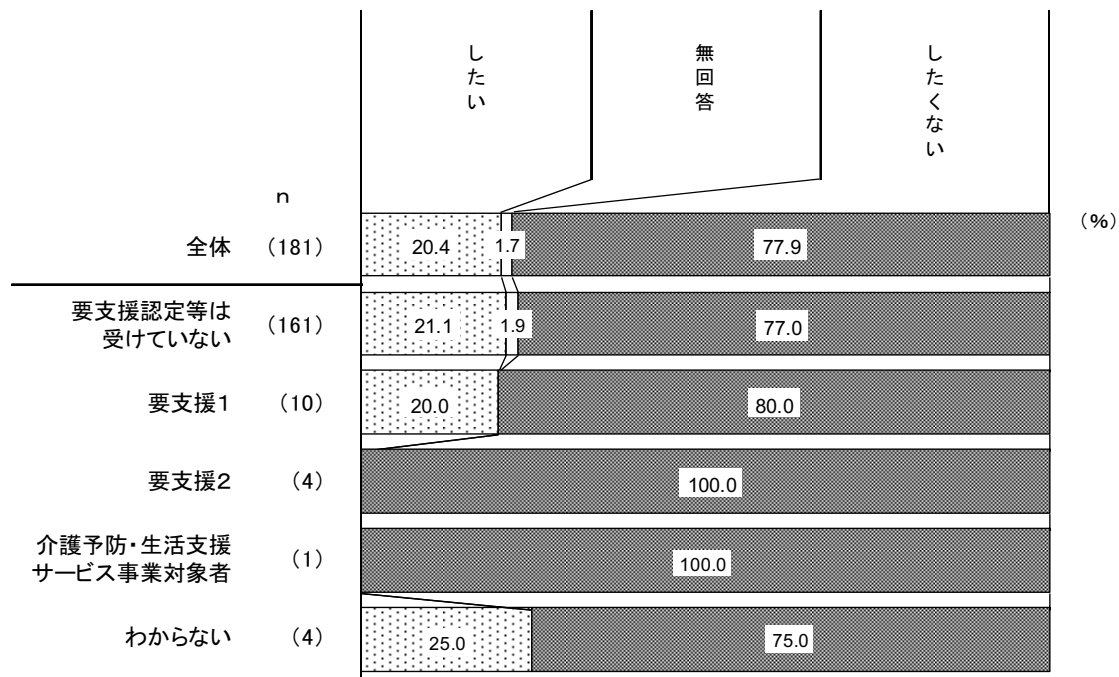


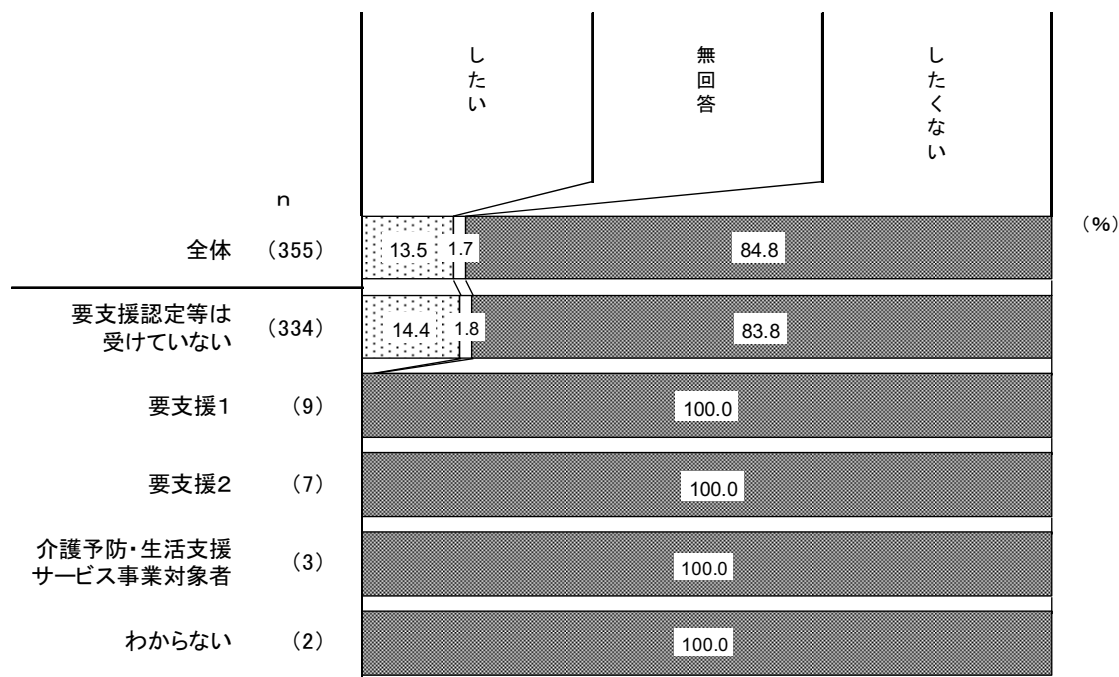
図9-3 成年後見制度の利用意向

全体では、「したくない」が8割台半ばと高くなっている。
 状態別にみると、要介護認定等は受けていないで「はい」がやや高くなっている。

【状態別(1人暮らし)】成年後見制度の利用意向



【状態別(夫婦2人暮らし)】成年後見制度の利用意向



9.1.2. 成年後見制度を利用したくない理由

◆「後見人でなくても家族がいるから」が8割台前半

(問72-1で「したくない」に○をつけた方に)

問72-2 利用したくない理由をおしえてください。(○は2つ)

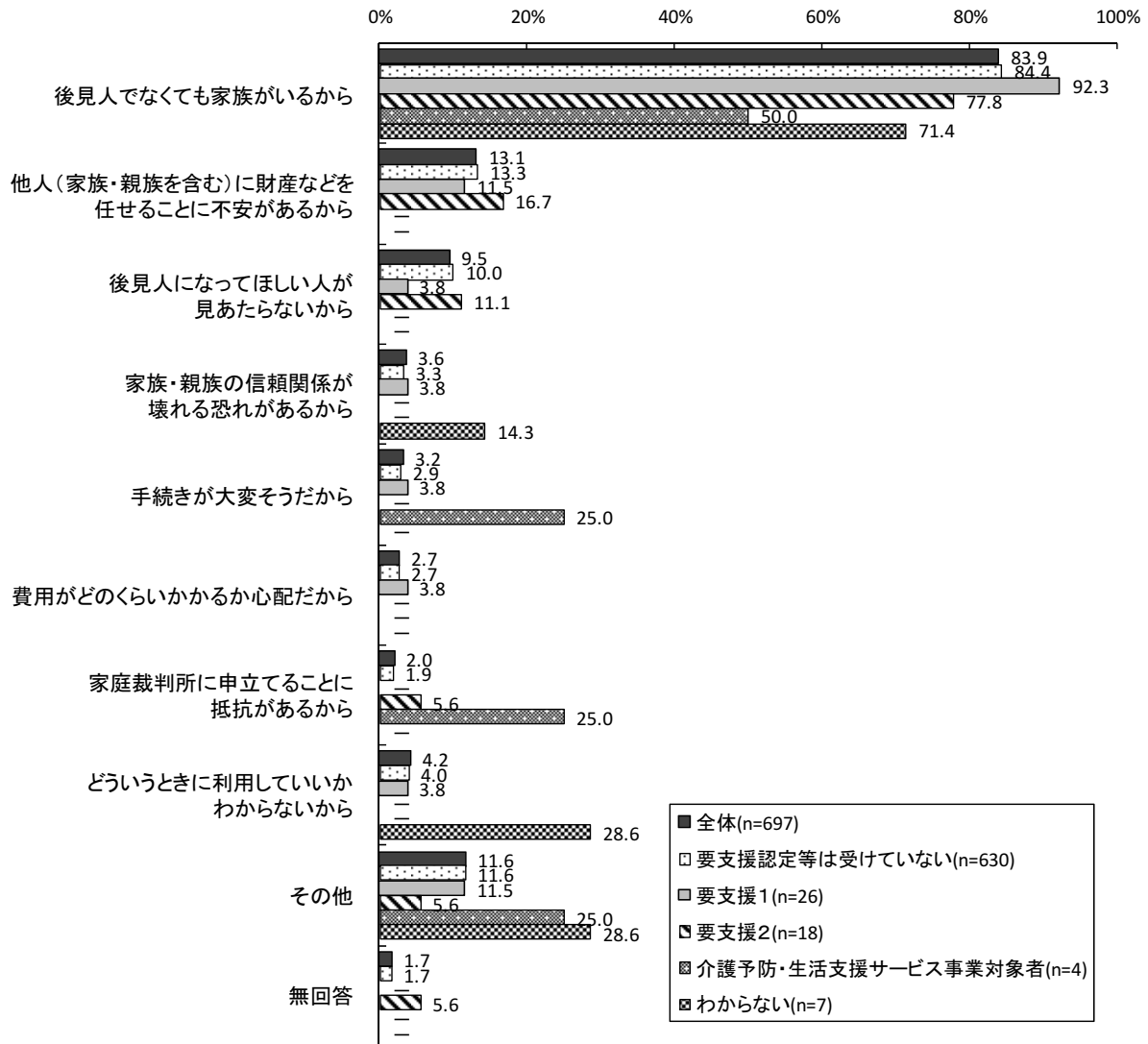
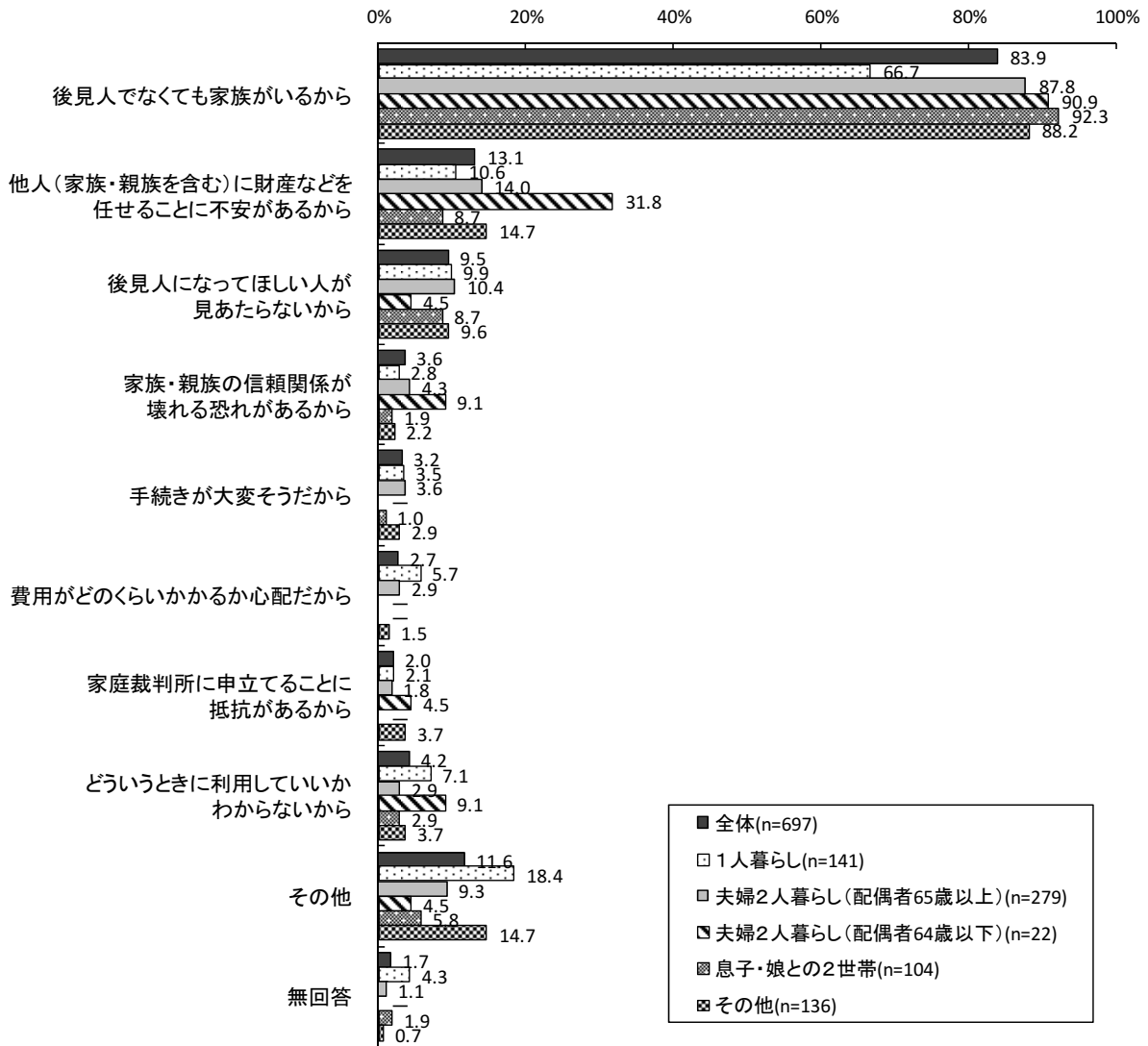


図9-4 成年後見制度を利用したくない理由

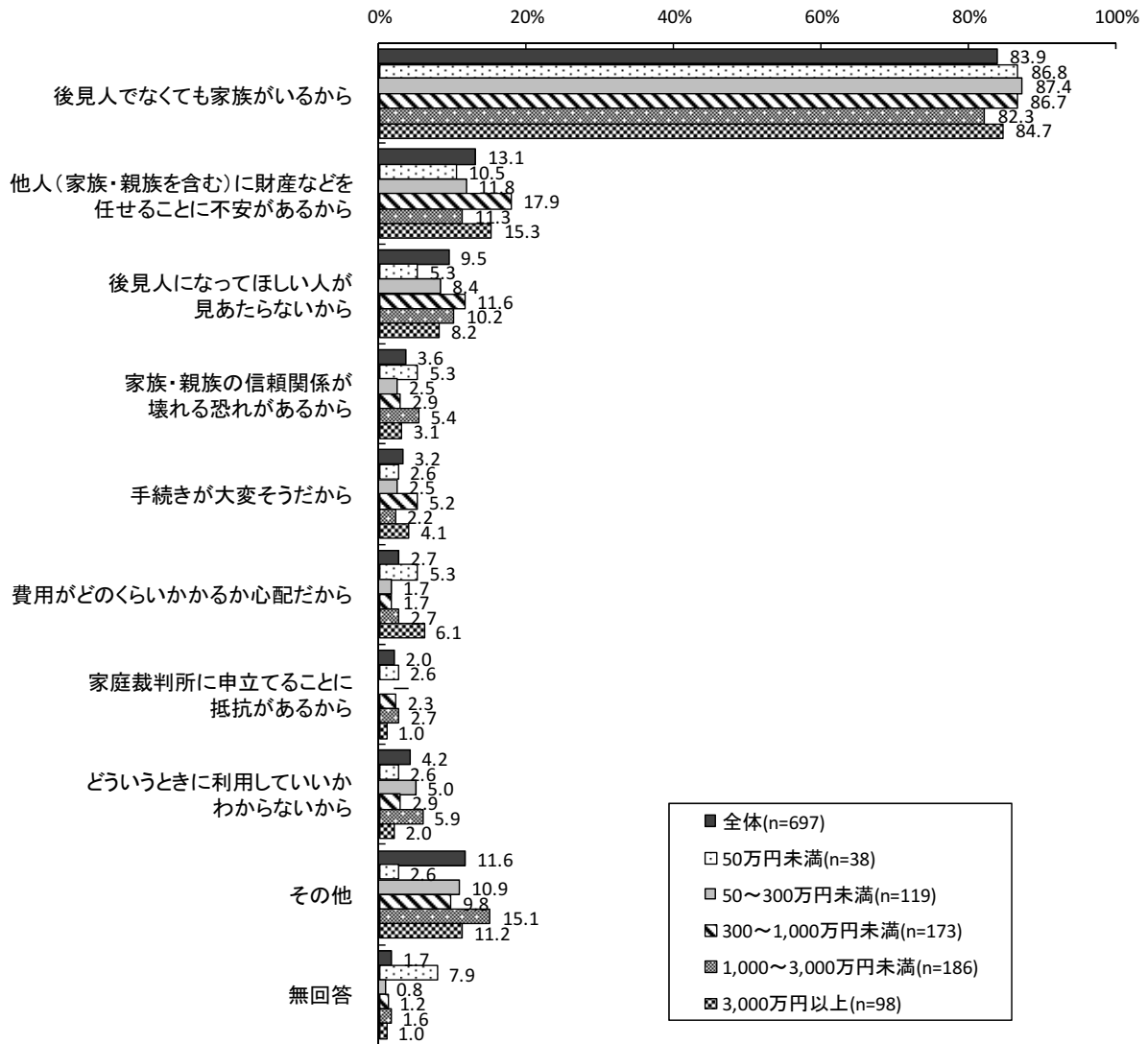
全体では、「後見人でなくても家族がいるから」が8割台前半と高くなっている。
 状態別では、要支援1で「後見人でなくても家族がいるから」が9割台前半と高くなっている。

【家族構成別】成年後見制度を利用したくない理由



家族構成別では、夫婦2人暮らし（配偶者 64 歳以下）で「他人（家族・親族を含む）に財産などを任せることに不安があるから」が約3割と高くなっている。

【預貯金額別】成年後見制度を利用したくない理由



預貯金額別では、大きな差異はみられない。

10. その他

10.1. 健康福祉行政全体への意見・要望（自由回答）

問 73 健康福祉行政全体について、ご要望やご意見等ありましたら、ご自由にお書きください。

健康福祉行政全体について、要望・意見を自由に記入していただいたところ、438 人の方から回答があった。その中から代表的な意見を掲載する。

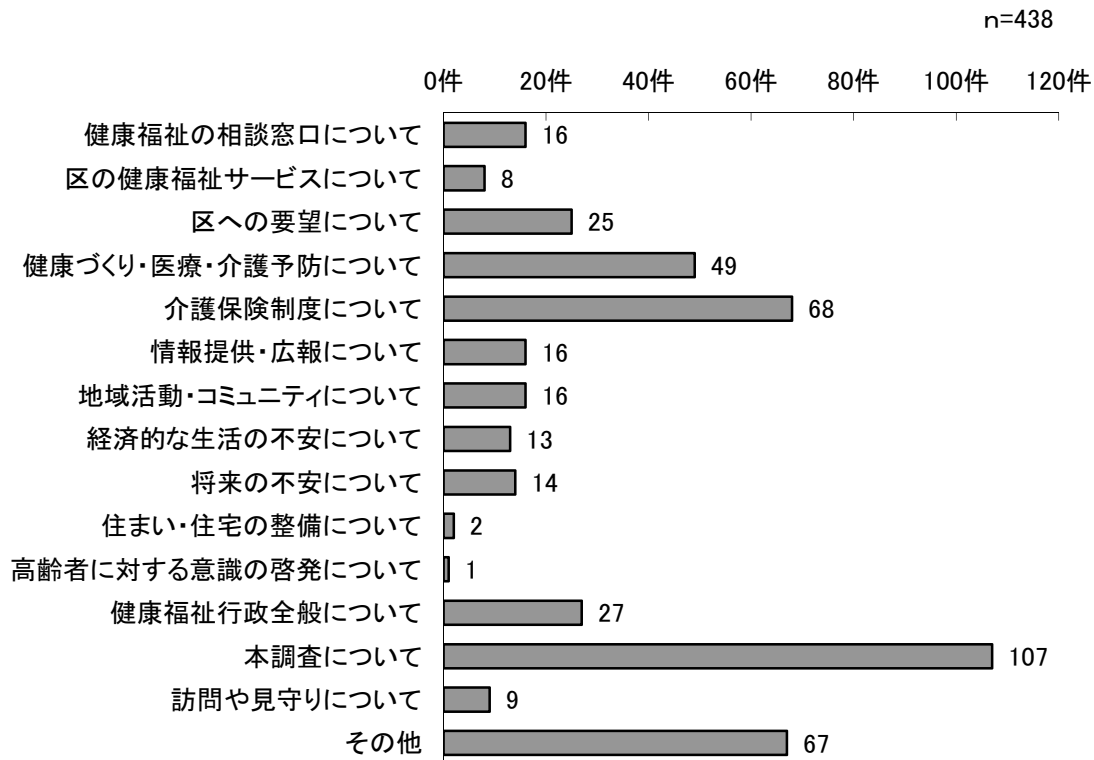


図 10-1 自由回答分類別件数

健康福祉の相談窓口について 16 件

- 成年後見制度とは別に、認知症ではない一人暮らしの老人が安心して死の準備ができるような相談窓口を整備してほしい。民間にも色々ある、があまり信用できない。役所で一度引き受け、その都度適切な組織を紹介いただければ安心感がある。
- 区報などよく読むようになった。福祉関係の充実を。対象者が多くなる年代なので、悪くなる前に相談する場所を多くしてほしい。
- 自分の生活を見直すきっかけになりました。ありがとうございました。中野区内の自分より高齢の人々を見ると、その人が必要とするサービスを提供する場所に出会っていないケースが多いようです。ワンストップサービスは難しいとしても、例えば、住宅問題で相談に来た人が要介護認定の必要を感じさせた場合、適切な窓口へ「つなぐ」ことをしてほしいと思います。

区健康福祉サービスについて 8 件

- 福祉タクシー券をもっと多く欲しい。病院通いが多いので足りない。歩行困難になってきたために。
- 高齢者のための交通手段の充実、サービスの確立が行政で検討していただければ幸甚です。
- 健康福祉に関する手続は簡素にして欲しい。形だけ整えるような作業を住民に求めないで欲しい。

- 未申請ですが入浴券を使いやすくして頂きたい。区内何処でも使えるものだと楽しく、出掛けてみたいと思います。

区への要望について 25 件

- 地域には狭い道路が多く、凸凹道、せり出した縁石と電柱等が歩行時に危ない。古く、高く積まれたでかい塀はさらに危険。区は災害危険地域に指定しながら何ら手を打っていない。地震や火事が起こって死者が出てからでは遅い。早く安心して歩けるまちづくりをしてください。
- 区の財政が許されるなら高齢者の利用するスポーツや趣味等の施設を無料にしてほしい。利用料が無料になればより回数を増やして参加できると思う。
- ヘルパーさんとたまに買い物に行くことがありますが、足と腰が悪いので長く歩けませんので一休みしなければならないので、ベンチを置いてくれたら助かります。一人用の腰掛けでもあれば助かります。
- 少子高齢化社会を迎え、これからの社会を築いていく若い人々に負担をかけないような社会づくりが必要であり、その為にも高齢者雇用の推進が大切であると思います。
- 中野駅の件です。ホームの中にエレベータがあれば、足腰が弱っている人や車椅子の方がどれだけ助かるか。福祉行政から遠いかもしれませんが、エスカレータに乗るのが大変な高齢者をよく見ます。階段で降りたり上がったり、手すりにつかまったり大変に思えます。
- 自助、共助、介助の他に相互扶助がより活発になる社会となるように御尽力下さい。
- 現在発生しているコロナ対策を充分にして欲しい。

健康づくり・医療・介護予防について 49 件

- コロナの関係で行動が制限されているので日々動作が遅くなり、弱っているのが目立ちます。今のところ、ケアマネージャーやリハビリで手伝って頂いていますが、この福祉従事者が充実し続けることを願っております。
- 高齢者会館をもっと増やし、体を動かすことが大切だと思います。自主グループも場所が取れなく、月に1、2回くらいでは運動にはなりません。せめて一週間に1、2回運動が楽しくできると年寄りにもっと元気になると思います。区の体操も月2回では運動にはなりません。近くに運動できることをお願いします。
- 今年で後期高齢者の仲間入りです。体のこと、食事のこと、心理的ケアなど気をつけていることの講座がありましたら是非参加したいと思っております。
- 当方夫を亡くしたばかりで心労多々あり。そうした心のケアもあるといいなと思ったりしています。
- 健康を持続する為に、外出する人と会うことが重要であり、その為にスポーツ、趣味は大きなインセンティブとなる。人それぞれ、熱中するものが見つかるとうい。
- 介護予防、認知症予防の為に、地域での公報に載っている講座に申し込むがはずれる。もっと大勢が参加出来るようにしてほしい（今はそのため民間の筋肉をつけるクラブに通っているが、予防の為に半額位援助があっても良いのではないか）。介護サービスを受ける人を少なくする為にもご検討を。
- 老いは避けられないものと認識しており、少しでも予防をと思い、隔日に近所の公園へストレッチ&ウォーキング。まだ、体力・気力のある今なら、元気がない人に話しかける代わりに、買い物へ行くなどは手伝える。イギリスの「孤独担当大臣」ができた背景などからも、日本でも参考にして欲しい。周りをみても元気な高齢者はたくさんいます。人の役に立てて自分も助かったと思うような事を企画して欲しい。

介護保険制度について 68 件

- なるべく自立して生きていきたいですが不可能になった時、手頃な費用で入れる施設が欲しいです。

何百人待ちとか聞くことがありますので心配しています。

- 一人暮らしの兄（70歳）が重大な病気で手術、退院した後、社協のほほえみサービスの助けを受けて週一回掃除して頂いておりとても助かってます。このような手続きの簡単な身近なサービスがもっとあってほしいと思います。自分も何かお役に立てることがありましたらと思います。
- 介護職員の賃金を上げ、働く人が増えて、何かあればすぐに施設に入れるようにしてほしい。働く人の負担を減らしてあげていただきたいです。
- 65歳より介護保険を支払っていますが、どの様な事で、又どんな手続きが必要か、まったくわからないし、そして病院が受診してくれる迄の手続き等がわからないので。保険を利用出来るならと思っているが、なかなか実行に至っていないので、理解しやすい利用方法を知りたいです。
- 終末期の病院・病床を増やしてほしい。これから増々高齢者が多くなり介護の場が必要。

情報提供・広報について 16件

- 健康福祉についてどのようなことをしているか知らないので困った時どうしたらよいかなどのお知らせパンフレット等、80歳以上の人に送って欲しい。自分で調べるのは大変なので、分かるような資料が必要である。
- 健康福祉に関することの知らせ等、あまり目にする事が無いので知らないことが多くあると思います。皆が簡単に知ることが大切だと思います。広報などの工夫をお願いします。
- 中野区の健康福祉行政が一目で分かる情報がインターネットでアクセスできると有難いです。

地域活動・コミュニティについて 16件

- 昨年越してきたばかりでよく分からないことがあります。午前中だけパートに出ているので近所、町内会のことがよくわかりません。何かで町内から行政へのことがわかりやすく説明があると助かります。
- 要介護高齢者でも元気に楽しく過ごせる場所に通える（町内会の活動や趣味、カラオケやスーパー銭湯等）と、地域での仲間作りができ、活動性が高まり、より元気に生活できると思います。介護保険サービスを利用する様になると、地域から離れてしまうのが残念です。
- 何か行動する場合、中野区という広い地域ならいいのですが、町会などという狭い地域では人間関係などわずらわしいことがあるので、参加したくないです（これは、私の我儘でしょうか？）。
- いきいきとした地域づくりでグループを作ろうと考えているのでしたら、集会室の数、使い易さが欠けていると思っています。南部の方には体育館もなく、今度出来る体育館は交通手段も悪く、利用しにくいです。駅前出来るタワーマンションにも期待は持てないようです。施設を作るならば、本当に利用している人、利用の対象者と考えられる人の意見も聞いて下さい。

経済的な生活の不安について 13件

- 生きるため仕事をしないと収入が得られない。家賃、その他、高齢者に負担がないようお願いします。
- 年金63000円弱ぐらいで一人暮らしです。これで家賃を払って、介護保険料を払って、暮らしていけるわけがありません。だから68歳になっても週6日働いて生き続けています。こんな状態の人は他にいないのでしょうか？働けなくなったらどうしようかととても心配です。
- 現在年金がないため、わずかな貯金を取り崩して生活しています。不安で仕方ありません。

将来の不安について 14件

- コロナ発生以来、身体的、精神的に変わりました。普段とは違う、今までとは違う心体、精神状態です。大変不安が多いです。
- 私は知的障害の子と暮らしていますが。具合が悪くなった私が入院したりした時、一週間くらいな

ら一人で置いておけるとは思うのですが。地域包括支援センターで相談していますが、今のところ一時保護をお願いするところがありませんので、親なきあと、親が入院した時など気がかりです。

- 私と妹と二人で過ごして（生活）います。将来心配なので、成年後見制度をもっと知りたいです。今は十分健康ですが、子供がいないので、どうしようかと思えます。
- 将来自分が要介護になったとき、介護施設の不足、介護従事者の不足にならないか不安になる。10年先までの対応が出来ているのか？

住まい・住宅の整備について 2件

- 今まで元気ですが年金だけの生活、家賃が高い。都営住宅に何回申請してもダメだった。中野区役所に行ったら生活保護受ければと言われたが、年金でどうにかやりくりしたい。もう少し安い家賃にしていきたい。今現在 73000 円です。6月都営申込があるがまたはずれかも。
- 安い住居が欲しい。

高齢者に対する意識の啓発について 1件

- コロナ感染で大変な時期ですが、その対応につきご苦勞を頂き、心より感謝です。終息後今回を総括していただき、次なるリスクに備えて準備を心がけていただきたいと願っています。また、未来ある子供達のためにも、高齢者が次なる社会を作り上げていく気概を持つことも大変大事かと思いました。そのような啓発も必要ではないでしょうか。

健康福祉行政全般について 27件

- 本当に恥ずかしいですが、日々の生活（仕事など）に追われているせいなのか、健康福祉行政に対して自ら興味を示さないからなのかはわかりませんが、頭の中に今現在数%も入っていないのが現状です。少し気持ちに変化は今回ありました。ご苦勞様です。
- いつまでも健康でいたいと思います。何かあったら時に福祉行政でお手伝いしていただければ大変良いと思います。
- 他の区に比べて住民への配慮が足りない気がする（区政全体）。
- 人生 100 年時代なので、一人一人が健康に留意すること。なるべく介護を受けないで生活できるよう、福祉行政が健康サポートプログラムを充実させ、新型コロナウイルスなどの感染症などに対しても後手後手にならないようがんばっていただきたいです。
- コロナウイルス渦中の今、タイミングが悪かったと思います（特に⑧の項目など）。高齢者社会に突入した現在、社会福祉行政はとても重要なお仕事だと思います。将来に向けて、計画的に老人が希望の持てる社会を作っていただければ幸いです。
- 趣味に没頭し、年を意識し、体力向上に努め、旨い食事をし、充実した毎日を楽しんでいます。中野区の健康福祉行政は、他区にくらべて、素晴らしいと思います。

本調査について 107件

- アンケートの回答は今の状況の場合、普段の生活とは違った結果になってしまう点が多いと思います。
- 最近のコロナウイルスによる外出禁止令が出ている時にこのようなアンケートは少々戸惑いました。少し前のことを想定して記入しました。いつまでも自分の判断で生きていけるように努力したいですが、本当に困った時にどれくらいの助けを期待できるのか、行政には不信感が少なからずあります。
- 介護保険制度がスタートした時から保険料を支払い続けて 83 歳になりました。当初は 80 歳を過ぎたら介護保険から手を差し伸べてもらえるという感じでした。現在では自立して生活しているならとてもお世話になれない状態のようですね。時には資料を公表して、中野区の状況を文章や数字で

報告してもらえないでしょうか。自分の支払っている保険料がどういう風に活用されているのか、現状はどうか、将来像はどうなっていくのか、また都内の中での中野区の置かれている位置など詳しく知りたいと思います。今回のアンケート用紙もありきたりな質問で特色がありません。中野区が高齢者の身になって区政をやっているとは思えません。区政の中でどんなことに力を注いでいるのか、お金をかけているのはどんな点なのかを知りたく思います。区報の編集方針も各年齢層で切っているのでしょうか。それらの割合をどういう考えで、どのように決め、編集しているのか。活字の読み物として数少ないチャンスですので、他区の区報などとも比較して、大学の多い中野区にふさわしいものにしていってください。

- 聞いてほしい事が書かれていない。家の中とか近所とかのトラブル。ペットの事とか（必要な）病院が近所にあるか・・・とか。

訪問や見守りについて 9件

- 独居老人に対しては定期的に見回るような対応があると安心です。また応答できるような電子機器で安否を呼びかけるようなことがあればなお良いかと。
- 一人暮らしなので不安はつきませんが、突然死などで何日もそのままであったり考えると、絶望的になります。老いて足腰が不自由になった時の見守り制度を確立して欲しいと思います。
- これからますます、一人暮らしの高齢者が増えてくると思いますので、その方達へのケアをお願いします。不自由な身体で休み休み買物した物を入れたカートを引いている姿は、本当に切ないです。最後に、このコロナ禍においても、仕事に従事して下さる保健所の職員、その他の皆様、本当にありがとうございます。

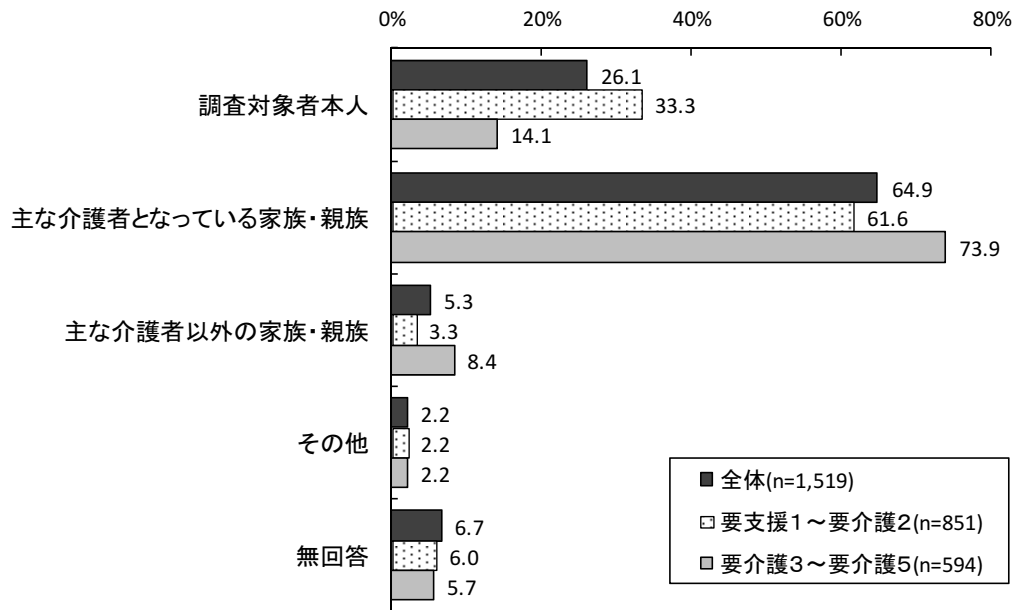
その他 67件

- コロナのため活動できません。早く収束するように祈っています。
- 特にありませんが、高齢化社会においてこのような関連の仕事に従事されている方々には本当に感謝の思いと尊敬の思いを抱いております。高齢化社会が幸齢社会になって行くことを希望いたします。
- 区報楽しく拝見致しております。
- 健康なうちは全く考えていない点を反省しました。中野区のホームページを見て理解を深めます。
- コロナ問題が早く解決し、通常の生活になる事を希望致します。この時がチャンスと思い、整理等致しております。年齢的に先は何が起きるかわかりません！お世話にならないよう、多少考えていますが、いろいろ生活を変え、より良い生活が出来るよう努力しておりますが、何かありましたらよろしくお願い致します。
- 出来る限り自分の事は自分でやるという事を目標に、一日一日頑張っております。出来なくなった時は、皆様のお世話、手を貸していただけたらと思います。よろしく申し上げます。

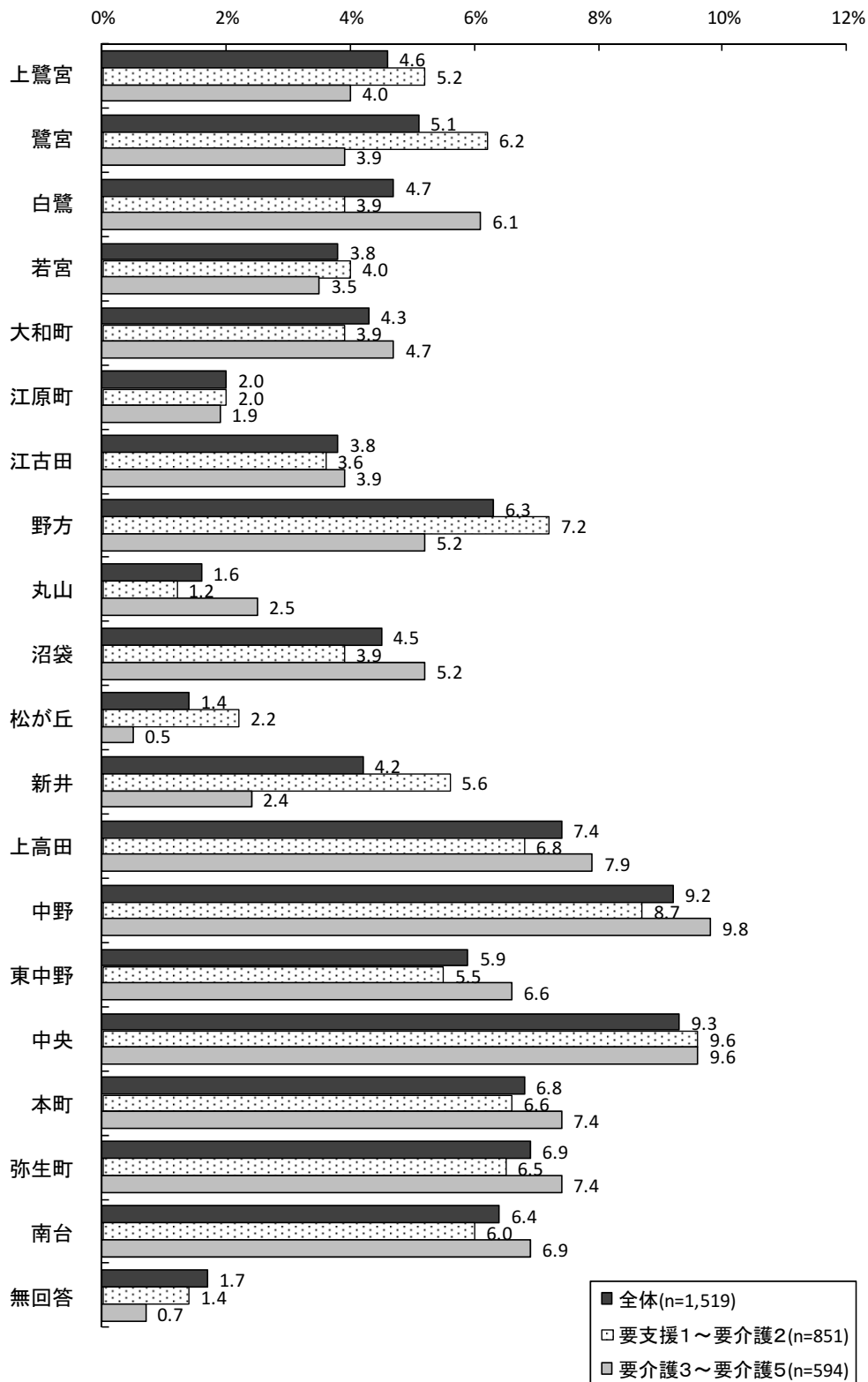
介護サービス利用調査

1. 要支援・要介護認定者本人について

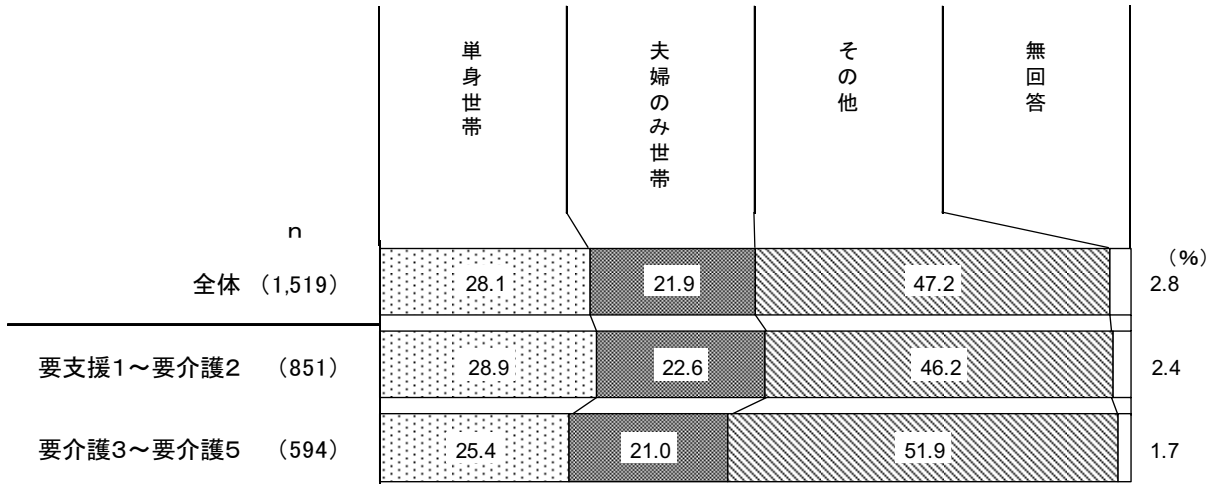
1.1. アンケートの回答者



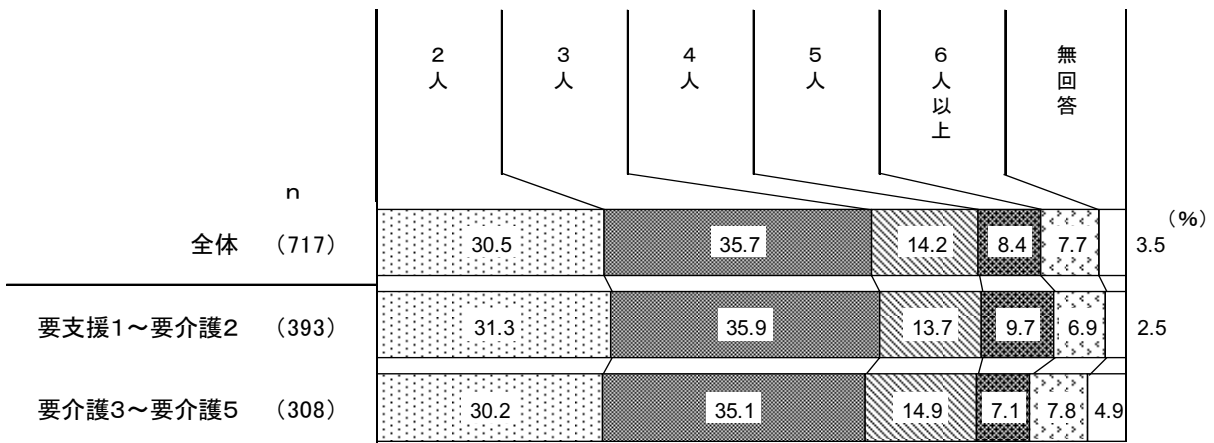
1.2. 居住地域



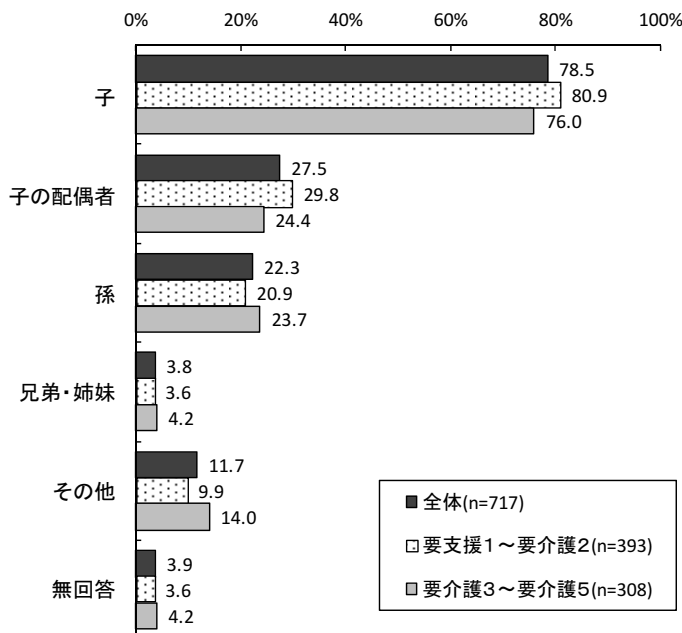
1.3. 家族構成



1.3.1. 家族の人数 ※「1.3. 家族構成」において、「その他」とお答えの方にきいています。

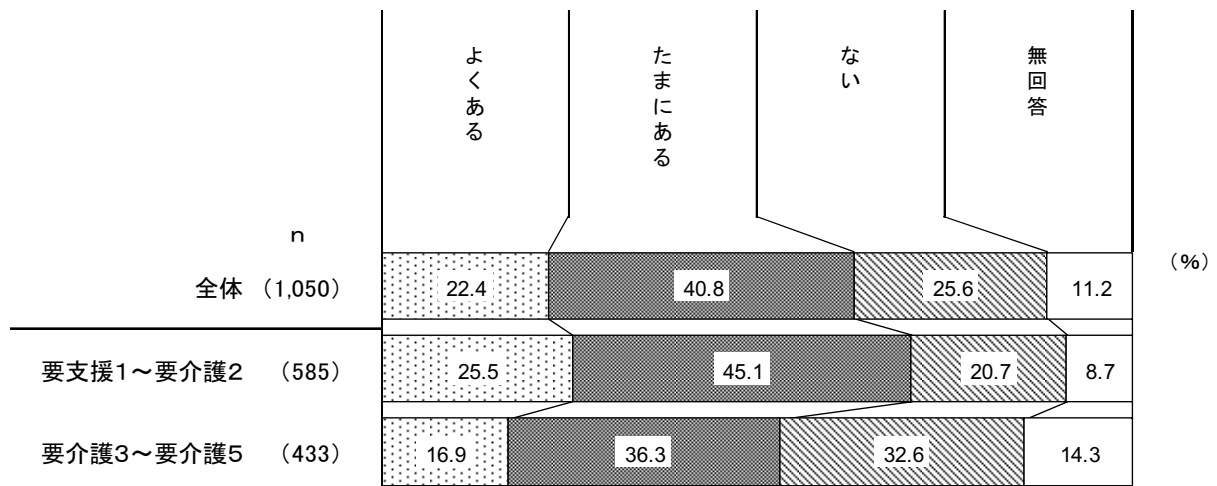


1.3.2. 同居家族の内訳 ※「1.3. 家族構成」において、「その他」とお答えの方にきいています。



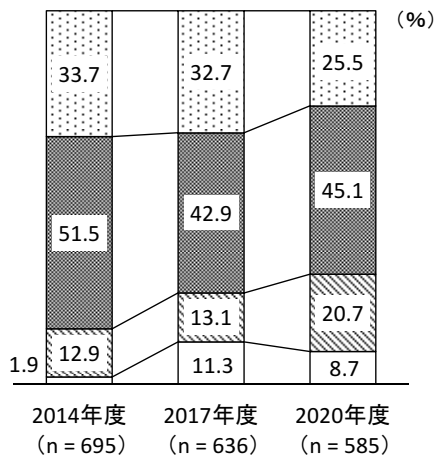
1.3.3. 日中、ひとりになることの有無

※「1.3. 家族構成」において、「夫婦のみ世帯」「その他」とお答えの方にきいています。

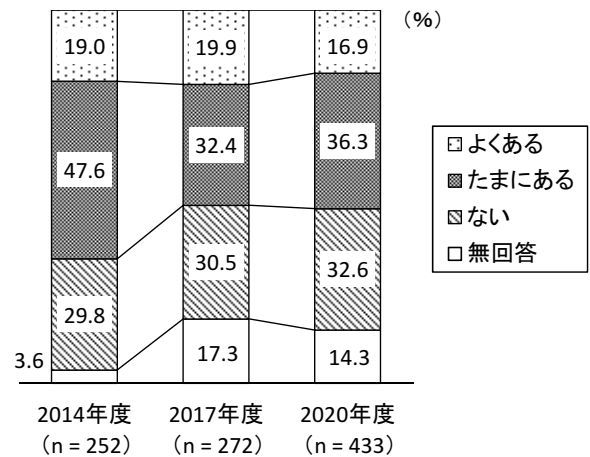


【経年比較】日中、ひとりになることの有無

【要支援1～要介護2】

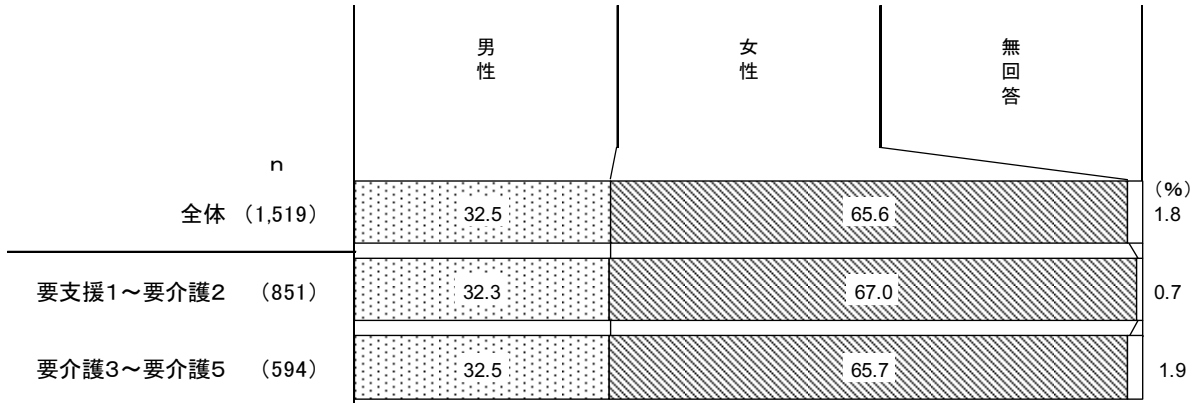


【要介護3～要介護5】

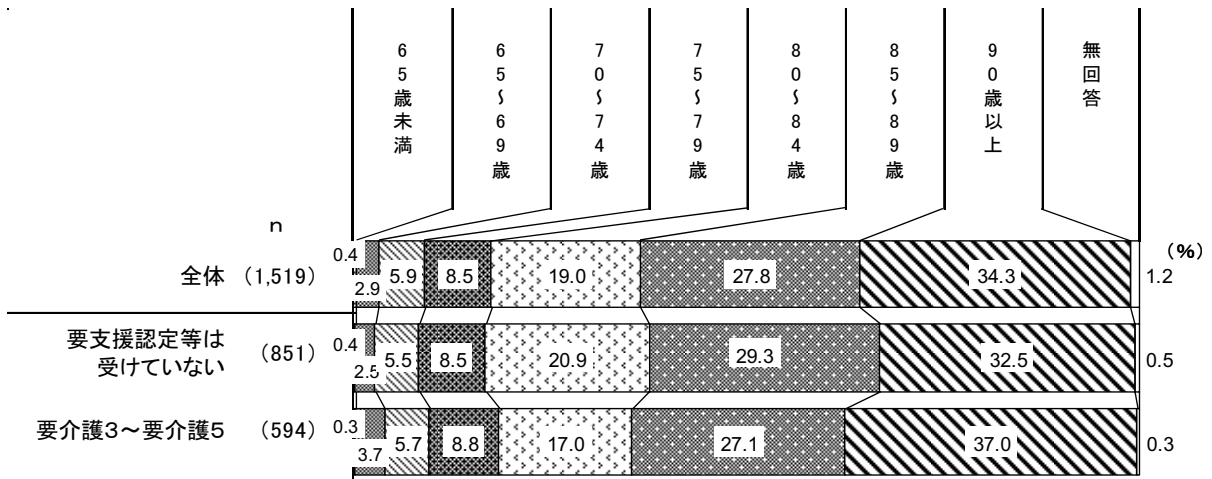


よくある
 たまにある
 ない
 無回答

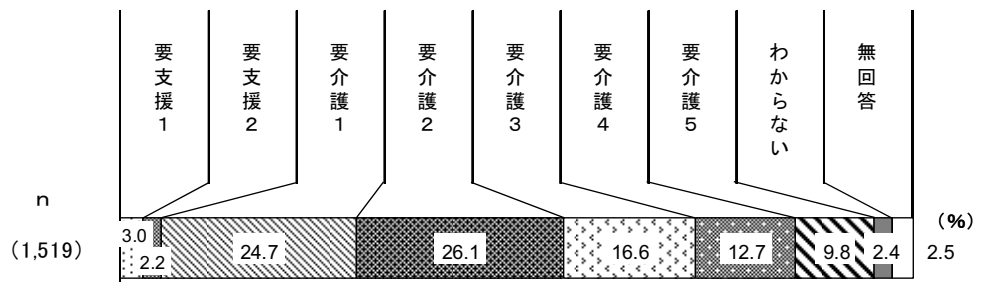
1.4. 性別



1.5. 年齢



1.6. 要介護度



1.6.1. 介護・介助が必要になった原因

◆「認知症（アルツハイマー病等）」が約4割

（問6で「要介護3」「要介護4」「要介護5」と回答した方に）

問6A 介護・介助が必要となった主な原因はなんですか。（複数選択可）

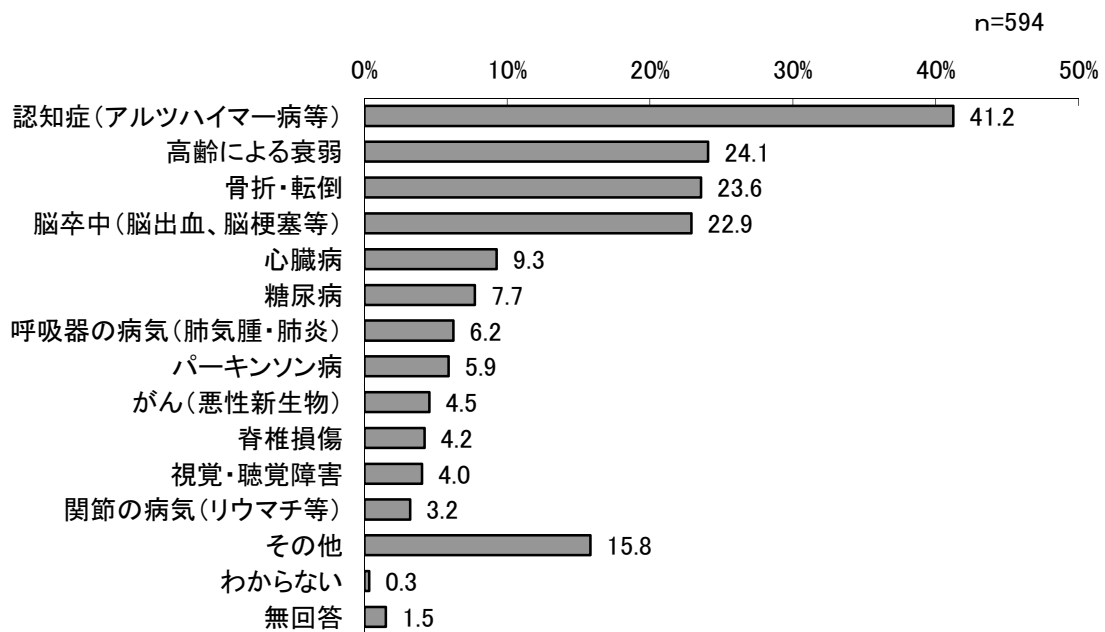
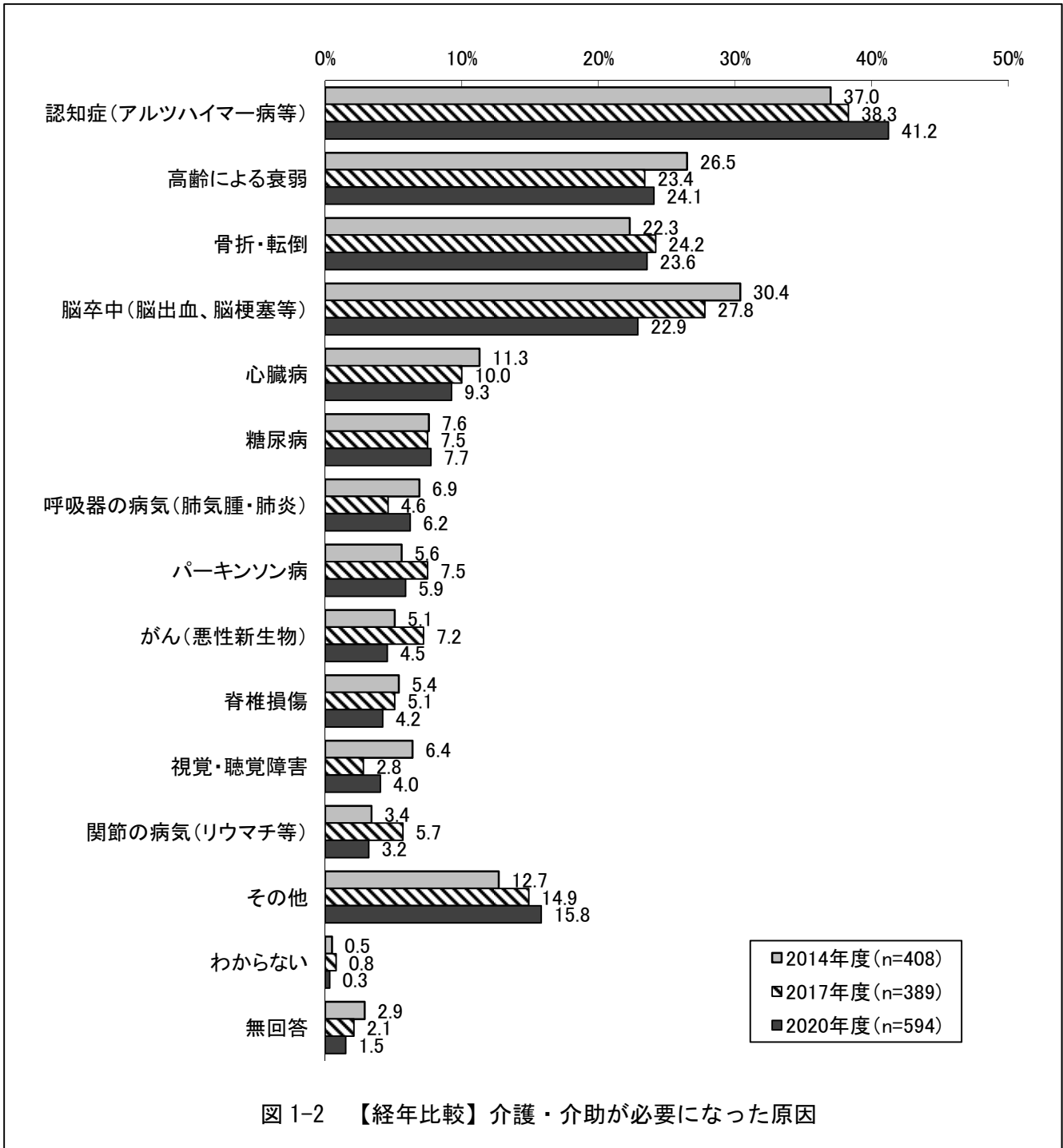


図 1-1 介護・介助が必要になった原因

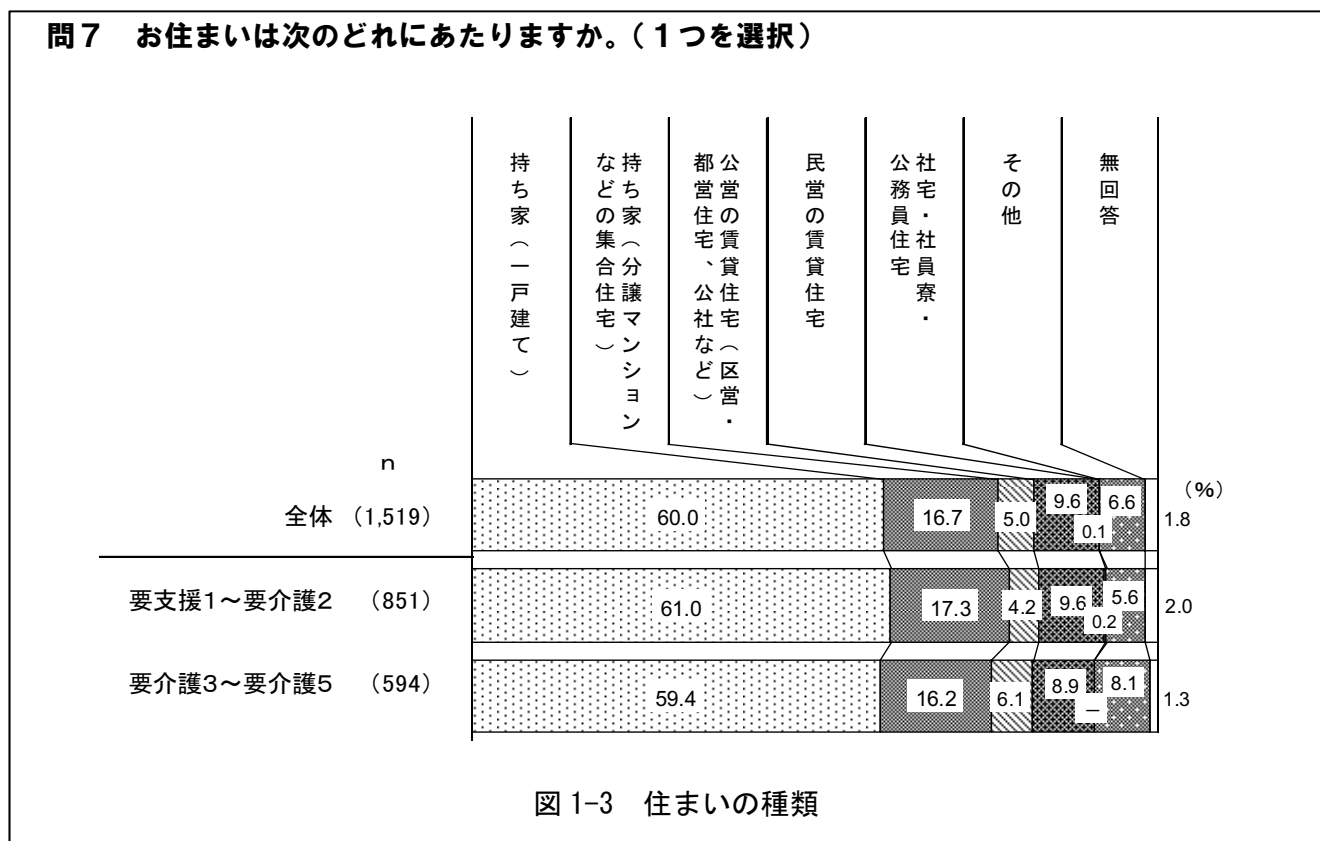
全体では、「認知症（アルツハイマー病等）」が約4割と最も高くなっている。



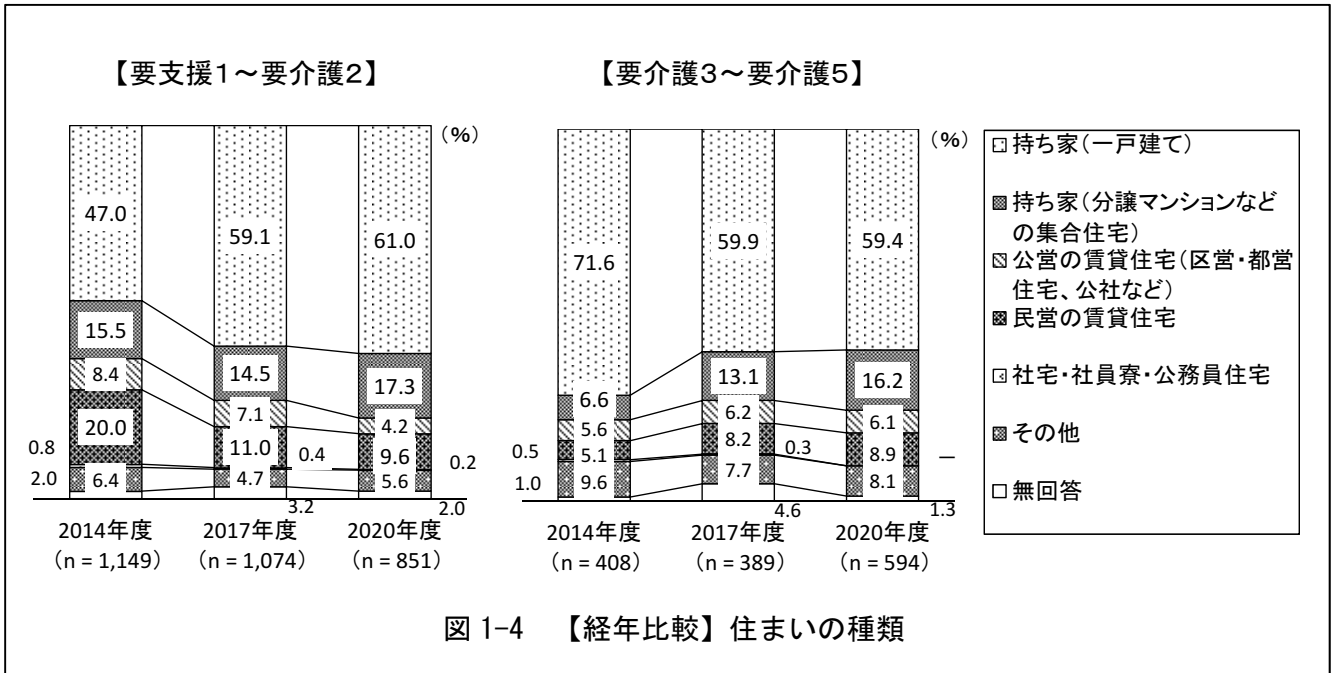
経年比較でみると、2014年度に比べ「認知症（アルツハイマー病等）」が4.2ポイント増加している。

1.7. 住まいの種類

◆住まいの種類は「持ち家（一戸建て）」が6割



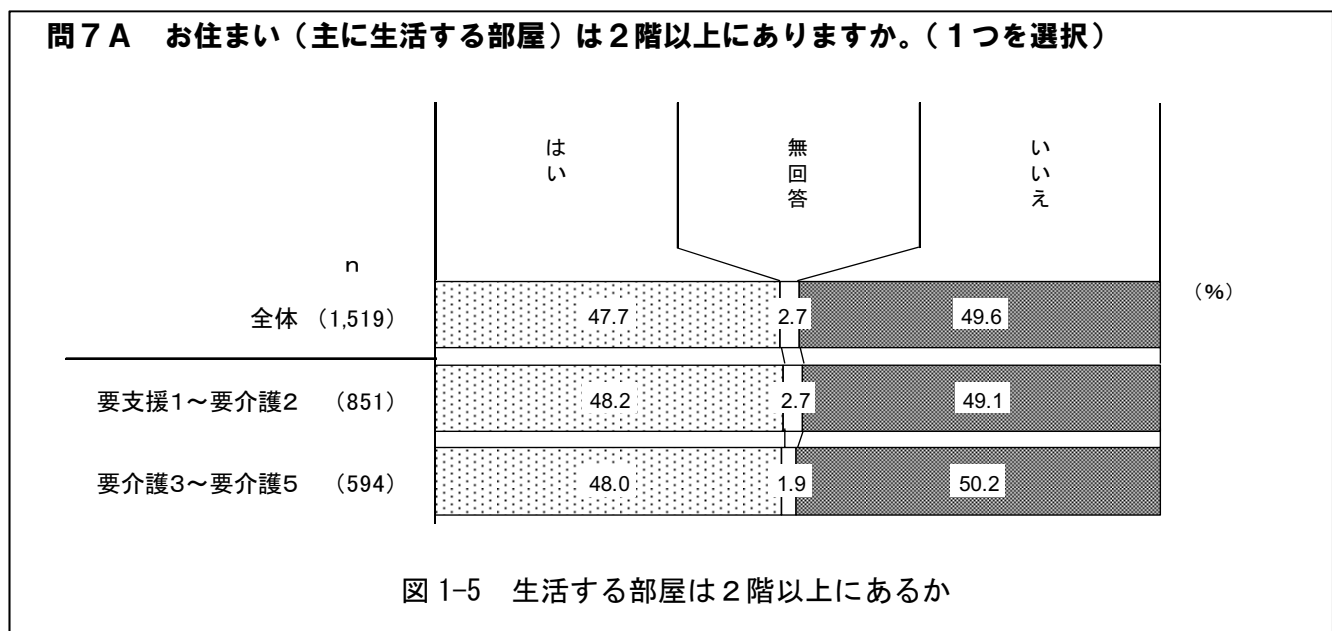
全体では、「持ち家（一戸建て）」が6割と最も高くなっている。
要介護度別では、それぞれの介護度による傾向はみられない。



経年比較でみると、要支援1～要介護2では2014年度に比べ「持ち家（一戸建て）」が14.0ポイント増加している。要介護3～要介護5では2014年度に比べ「持ち家（一戸建て）」が12.2ポイント減少している。

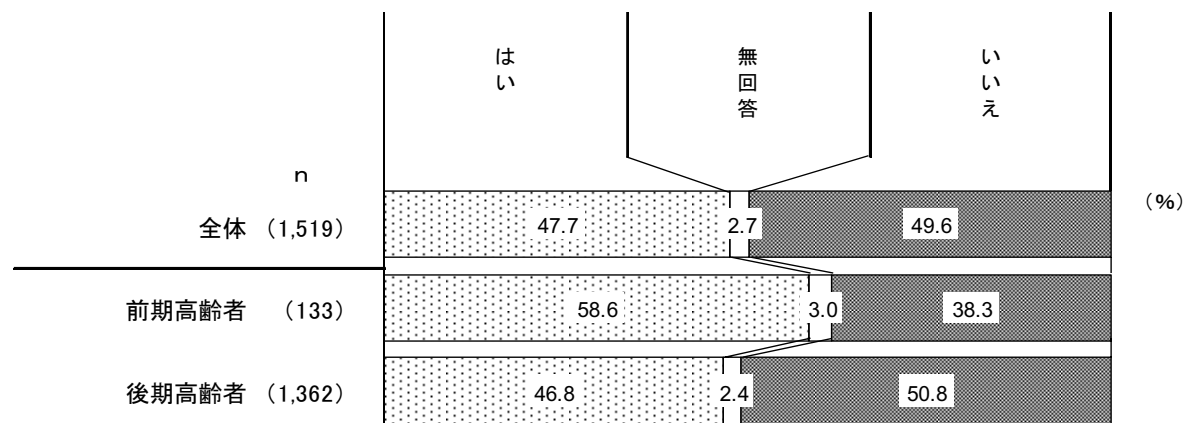
1.7.1. 生活する部屋は2階以上にあるか

◆「いいえ」が約5割



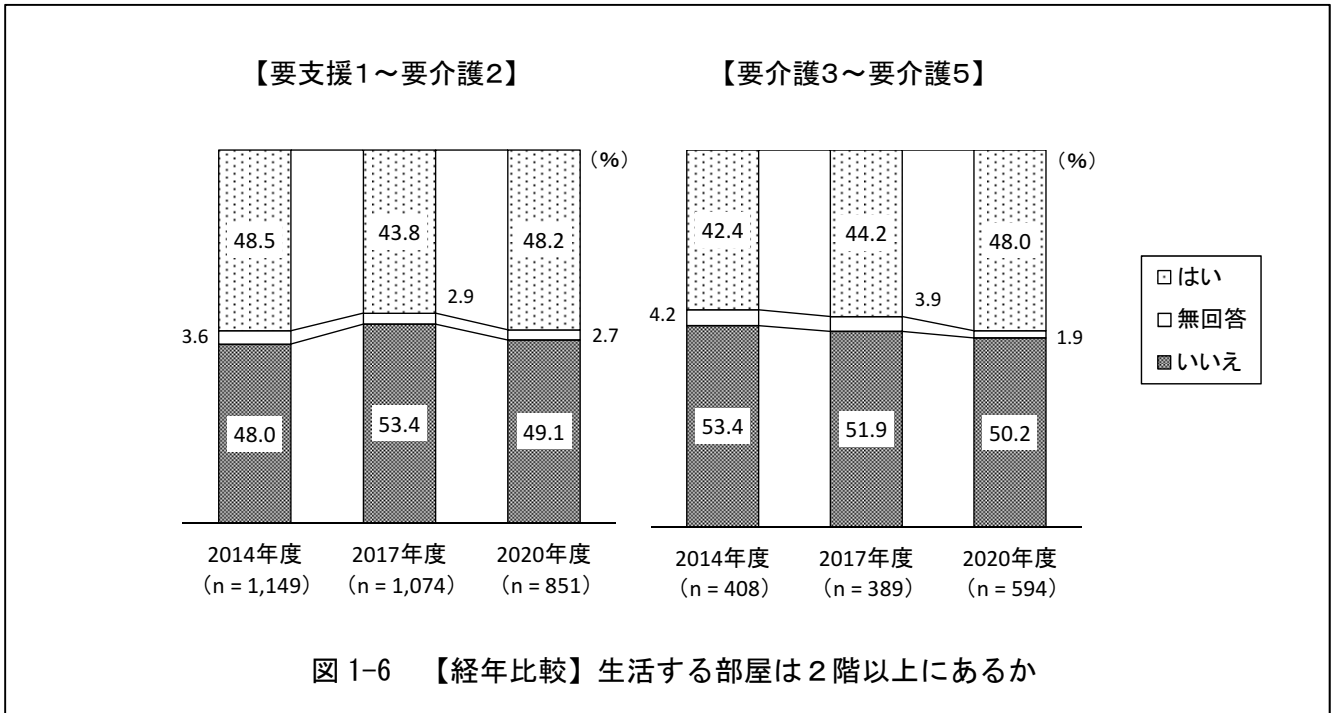
全体では、「いいえ」が約5割で「はい」を若干上回る。
要介護度別でみると、それぞれの介護度による傾向はみられない。

【前期・後期高齢者別】生活する部屋は2階以上にあるか



前期・後期高齢者別でみると、前期高齢者で2階以上で生活する人の割合が5割台後半と高くなっている。

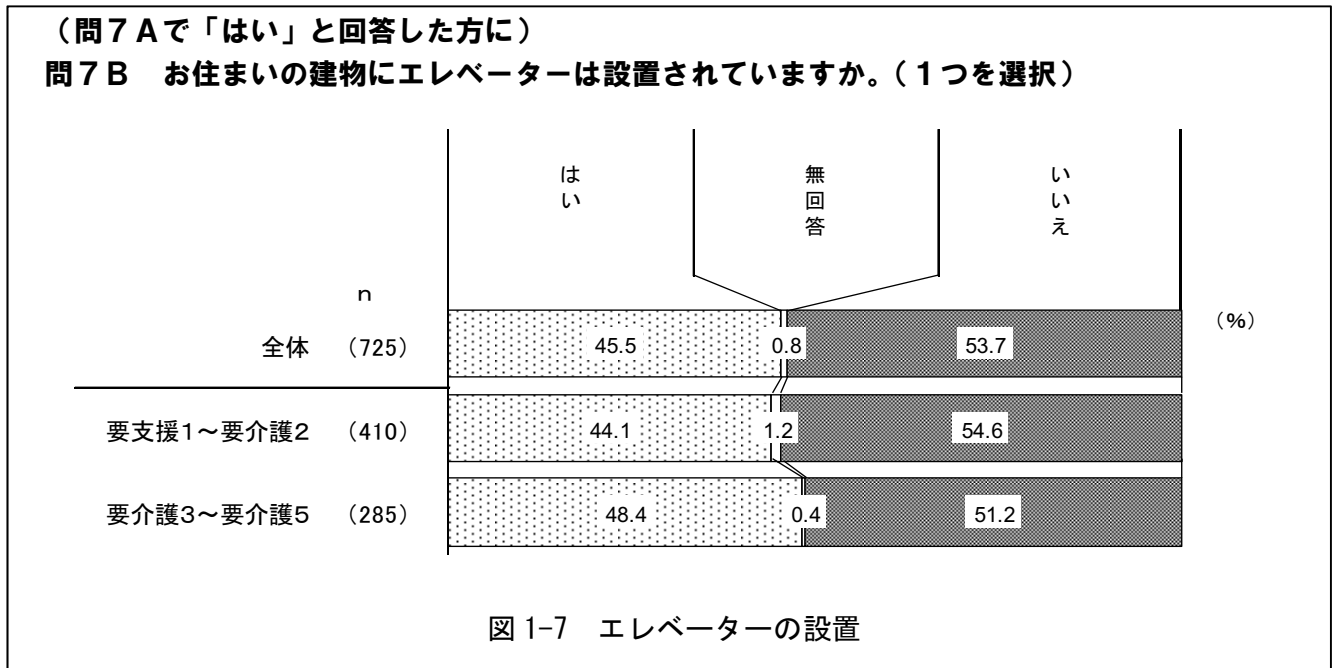
※65歳以上で75歳未満の方を前期高齢者、75歳以上の方を後期高齢者に区分する。



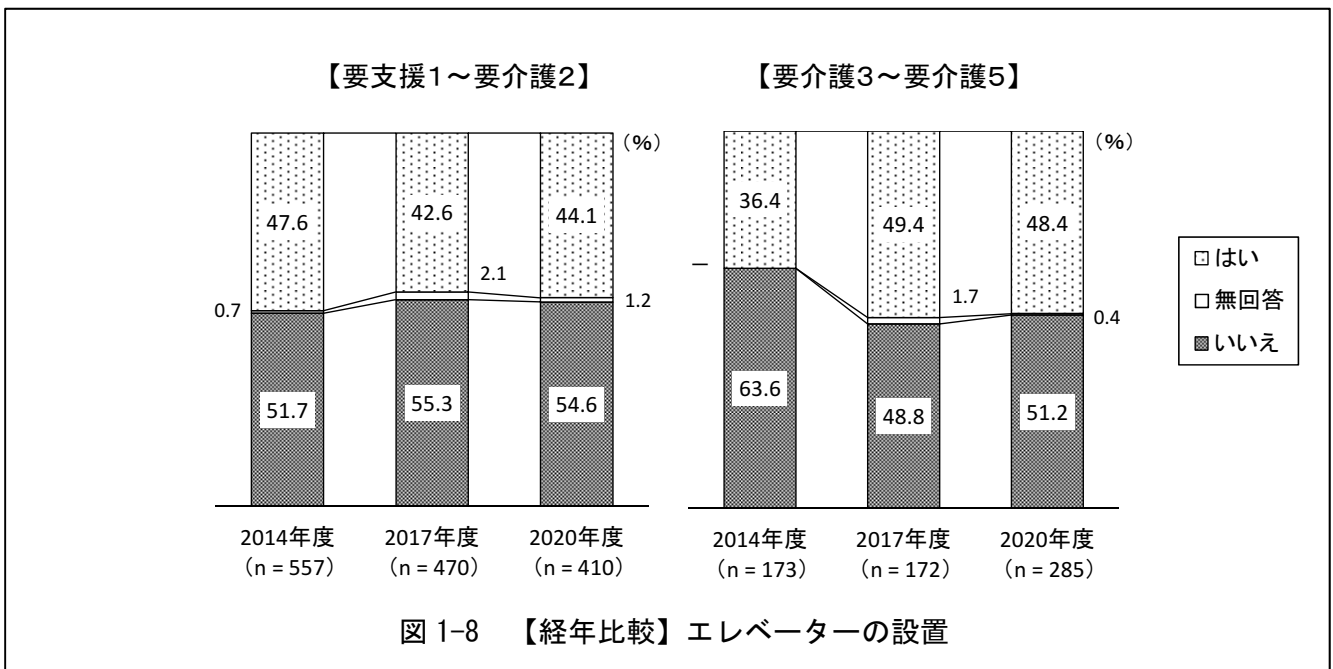
経年比較でみると、要介護3～要介護5では2014年度に比べ「はい」が5.6ポイント増加している。

1.7.2. エレベーターの設置

◆エレベーターの設置は4割半ば



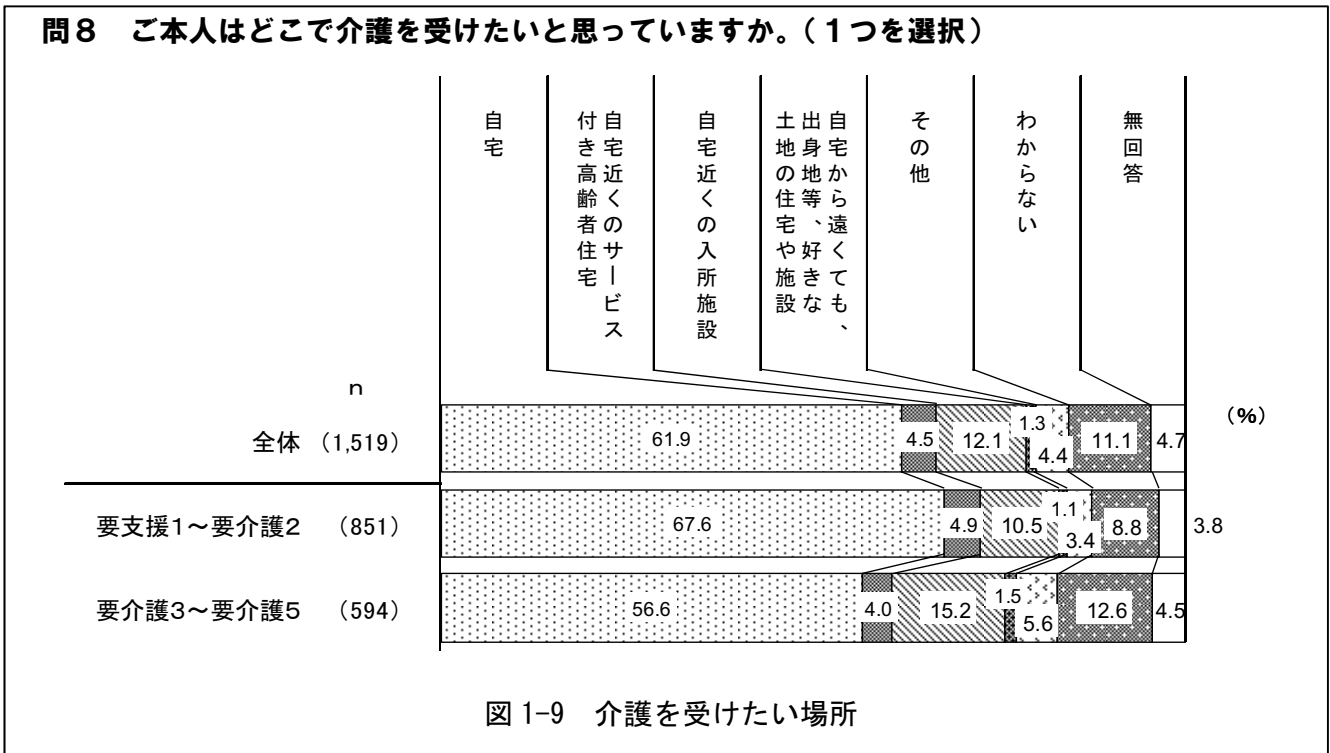
住まい（主に生活する部屋）が2階以上にあると回答した方に、エレベーターの設置状況をきいたところ、要介護3～要介護5で「はい」が高くなっている。



経年比較でみると、2014年度に比べ、要介護3～要介護5では「はい」が12.0ポイント増加している。

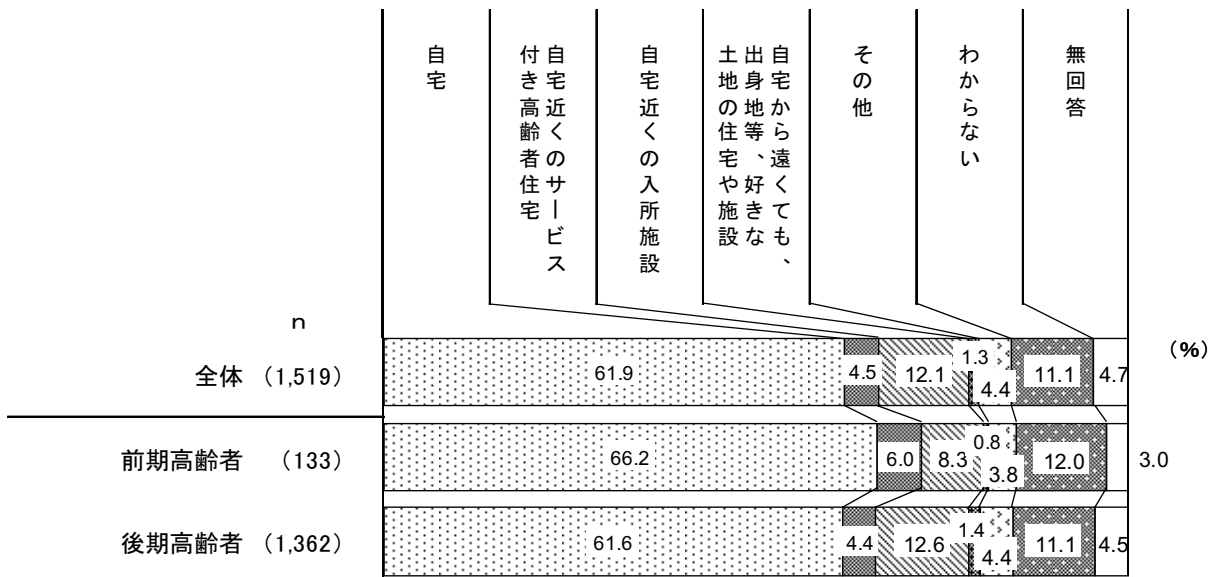
1.8. 介護を受けたい場所

◆「自宅」が約6割

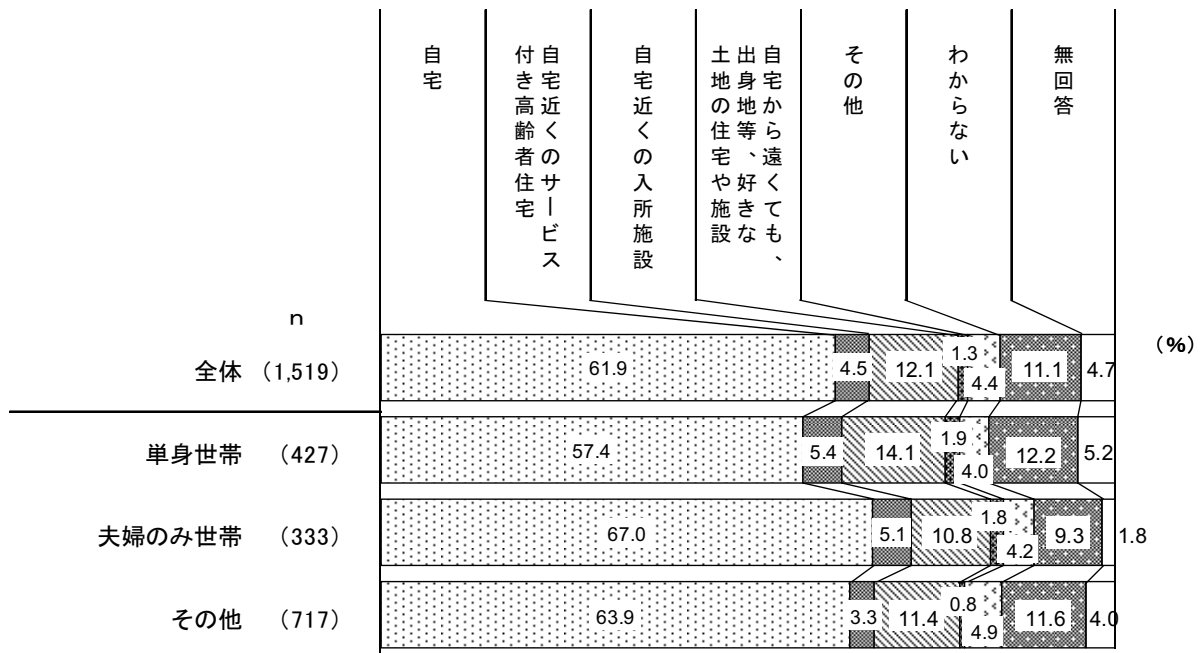


全体では、いずれも「自宅」が約6割と最も高くなっている。
要介護度別では、要介護3～要介護5で「自宅」が高くなっている。

【前期・後期高齢者別】介護を受けたい場所



【家族構成別】介護を受けたい場所



家族構成別にみると、いずれも「自宅」が最も多く、夫婦のみ世帯では6割台後半となっている。

【要介護3～要介護5】

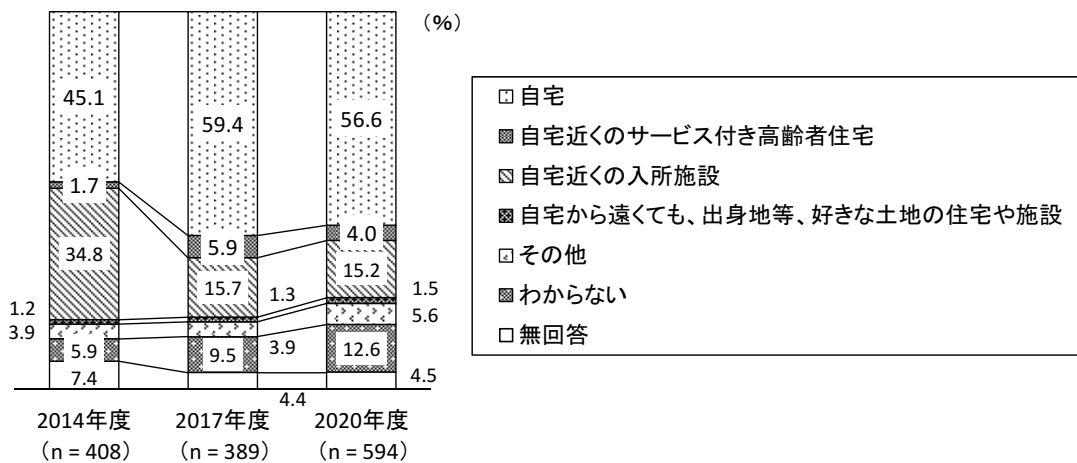
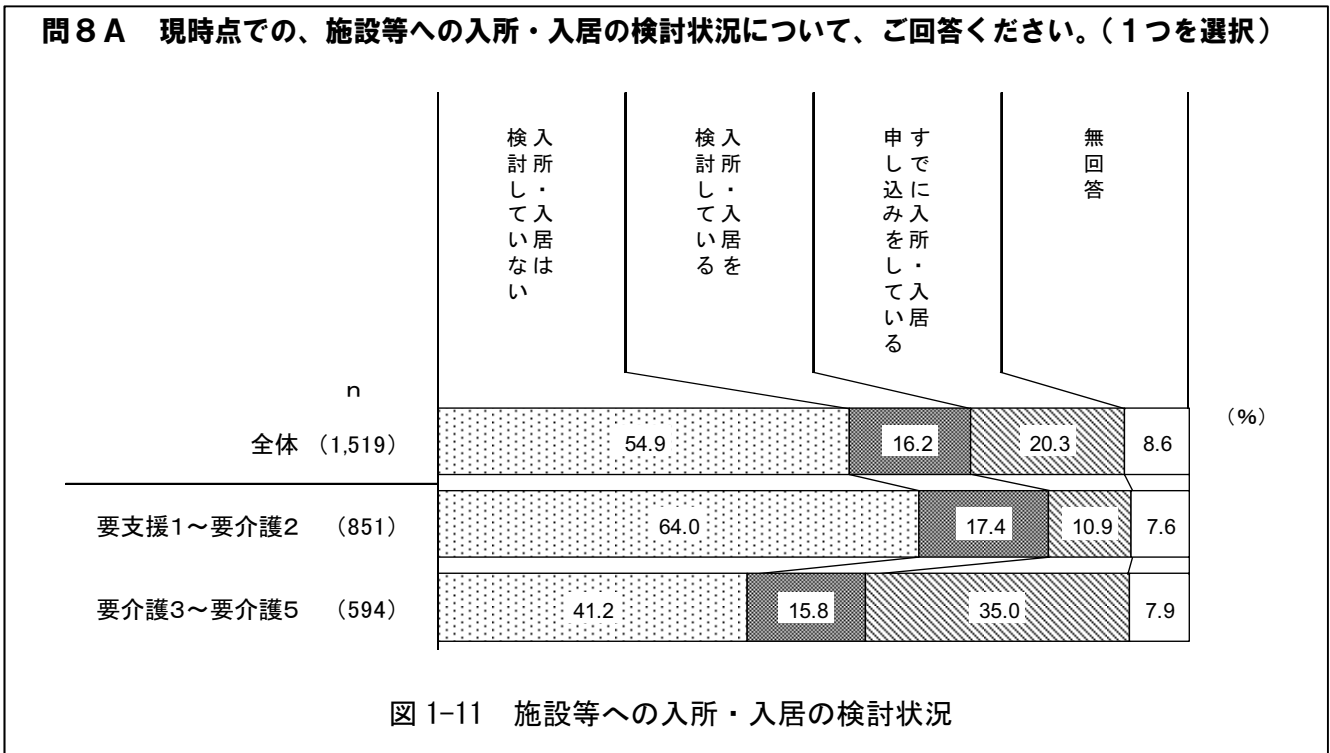


図 1-10 【経年比較】介護を受けたい場所

経年比較でみると、2014年度に比べ「自宅」が11.5ポイント増加している。

1.8.1. 施設等への入所・入居の検討状況

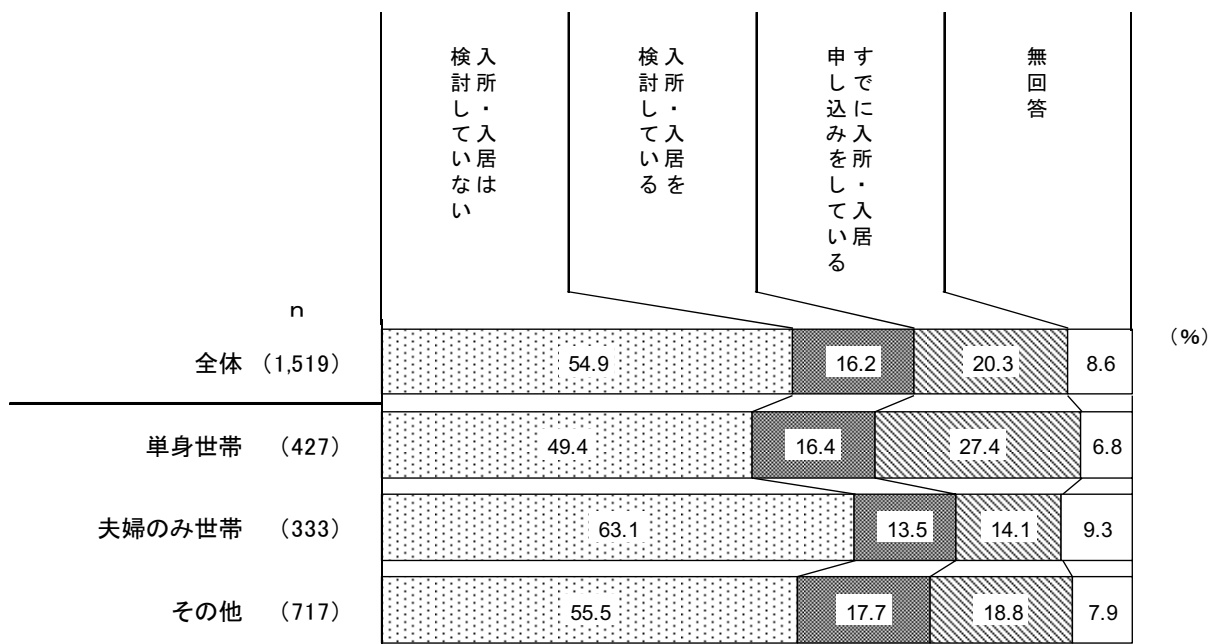
◆施設等への入所・入居は検討していないが全体で5割台半ば



全体では「入所・入居は検討していない」が5割台半ばと最も高くなっている。

要介護度別でみると、要支援1～要介護2では「入所・入居は検討していない」が6割台半ばと高くなっている。

【家族構成別】施設等への入所・入居の検討状況



家族構成別でみると、夫婦のみ世帯で「入所・入居は検討していない」が6割台前半と高くなっている。

1.8.2. 施設等への入所・入居を検討した理由

◆「介護する家族の心身の負担が大きい」が6割台前半

(問8Aで「入所・入居を検討している」「すでに入所・入居の申し込みをしている」と回答した方に)

問8B 施設等への入所・入居を検討した理由は何ですか。(複数選択可)

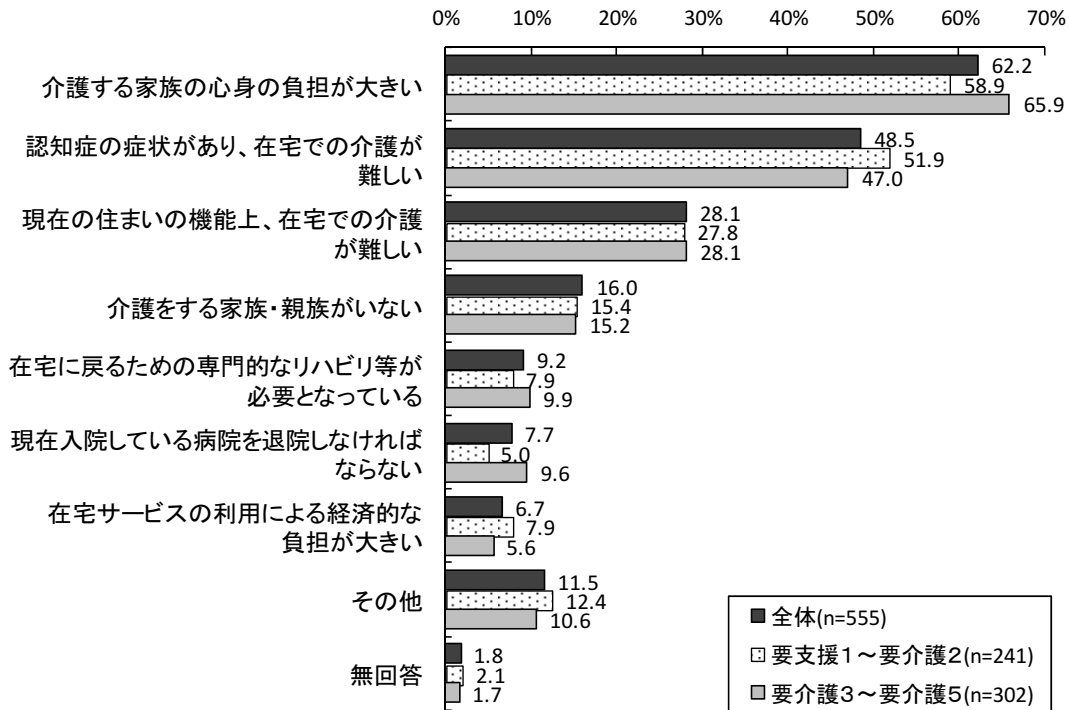


図 1-12 施設等への入所・入居を検討した理由

全体では、「介護をする家族の心身の負担が大きい」が6割台前半と最も高くなっている。

要介護度別でみると、要介護3～要介護5で「介護をする家族の心身の負担が大きい」が6割台半ばと高くなっている。

1.9. 現在抱えている傷病

◆「認知症」が4割台半ば

問9 ご本人（調査対象者）が、現在抱えている傷病について、ご回答ください。（複数選択可）

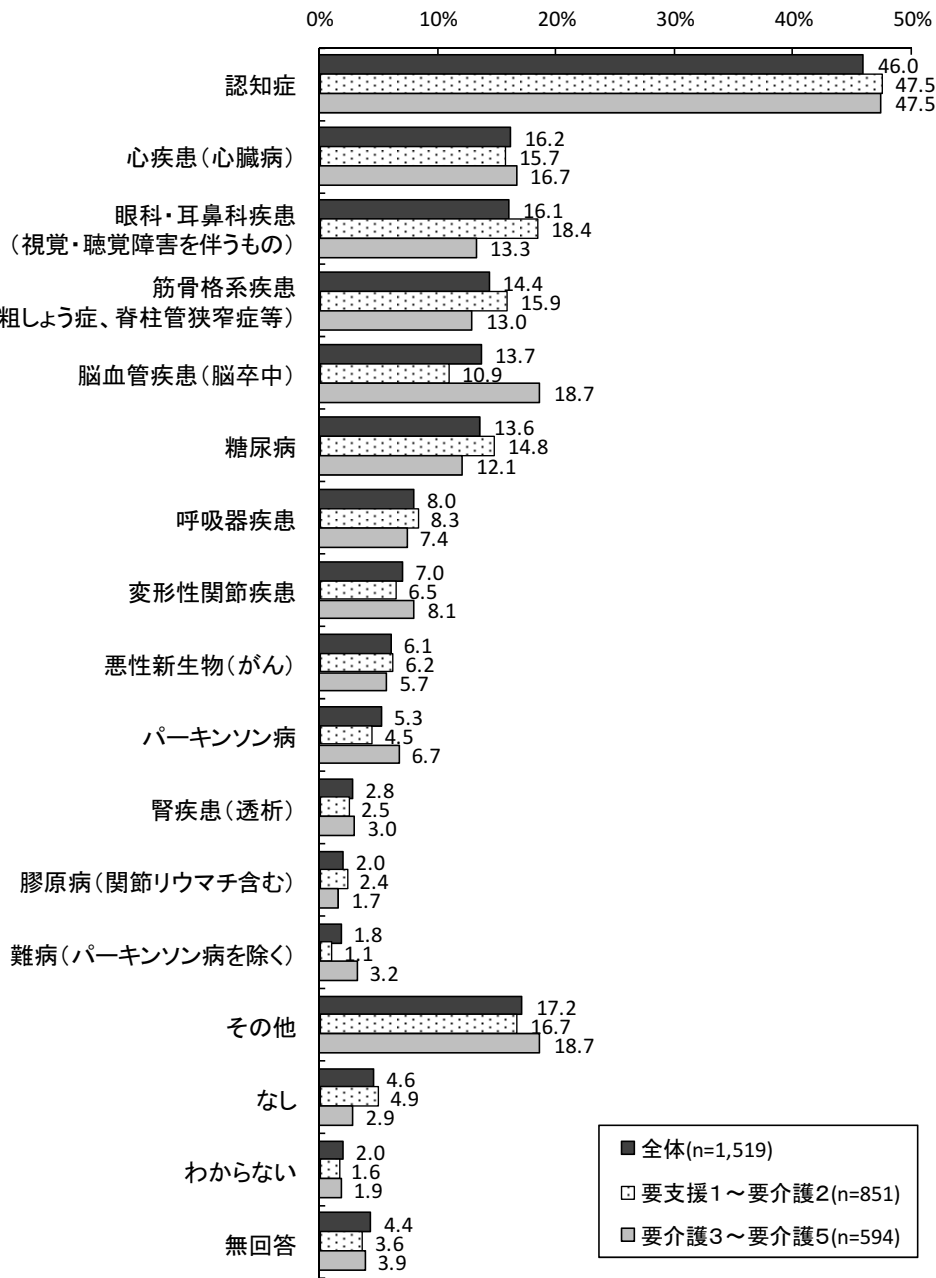


図 1-13 現在抱えている傷病

全体では、「認知症」が4割台半ばと高くなっている。

【要介護度別】現在抱えている傷病

単位：%

区分	有効回答数（件）	脳血管疾患 （脳卒中）	心疾患（心臓病）	悪性新生物 （がん）	呼吸器疾患	腎疾患（透析）	脊（骨粗しょう症、 柱管狭窄症等）	筋骨格系疾患 （関節リウ マチ含む）	変形性関節疾患
全体	1,519	13.7	16.2	6.1	8.0	2.8	14.4	2.0	7.0
要支援1	46	4.3	17.4	4.3	4.3	—	13.0	—	4.3
要支援2	33	15.2	15.2	15.2	6.1	—	15.2	—	—
要介護1	375	9.6	17.6	6.4	9.1	1.6	13.3	2.4	8.3
要介護2	397	12.6	13.9	5.5	8.3	3.8	18.6	2.8	5.5
要介護3	252	18.7	18.7	7.1	5.6	2.0	14.3	2.0	7.9
要介護4	193	19.7	17.1	3.1	10.4	6.2	13.5	1.6	9.8
要介護5	149	17.4	12.8	6.7	6.7	0.7	10.1	1.3	6.0
わからない	36	8.3	13.9	2.8	8.3	5.6	5.6	2.8	5.6

区分	認知症	パーキンソン病	難病（パーキンソン病を除く）	糖尿病	眼科・耳鼻科疾患 （視覚・聴覚障害を伴うもの）	その他	なし	わからない	無回答
全体	46.0	5.3	1.8	13.6	16.1	17.2	4.6	2.0	4.4
要支援1	50.0	—	—	15.2	19.6	8.7	6.5	2.2	13.0
要支援2	30.3	3.0	—	27.3	9.1	9.1	3.0	—	3.0
要介護1	53.9	2.7	1.1	14.4	18.4	16.3	5.9	1.9	2.7
要介護2	42.6	6.8	1.3	14.1	19.1	18.6	4.0	1.5	3.5
要介護3	47.6	7.1	2.8	11.5	13.5	18.7	2.4	1.6	2.8
要介護4	48.7	6.2	3.1	14.5	16.1	15.0	5.2	1.6	3.6
要介護5	45.6	6.7	4.0	10.1	9.4	23.5	0.7	2.7	6.0
わからない	19.4	5.6	—	13.9	8.3	11.1	22.2	13.9	5.6

1.10. 内容を知らない又はわからない介護保険サービス

◆「看護小規模多機能型居宅介護」が約3割

問10 以下の介護保険サービスでサービス内容を知らない又はわからないサービスはどれですか。(複数選択可)

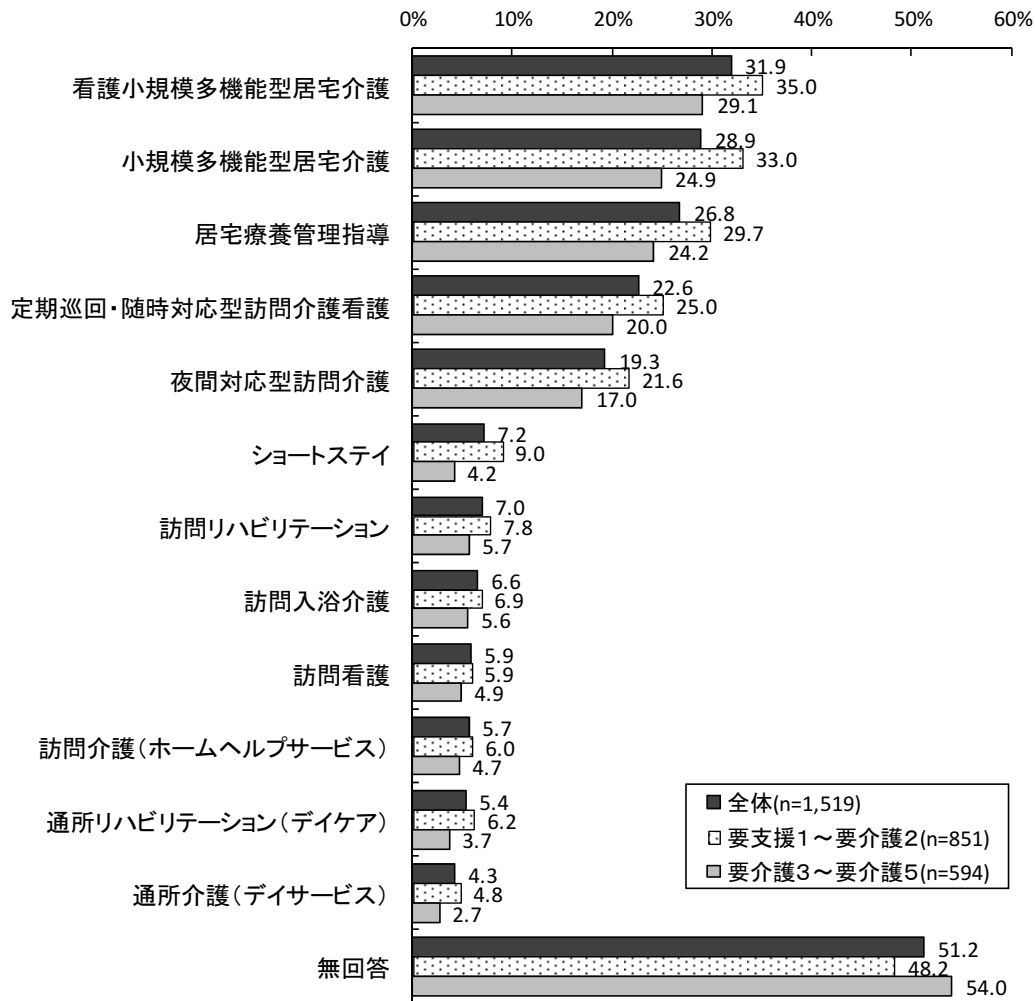


図1-14 内容を知らない又はわからない介護保険サービス

全体では、「看護小規模多機能型居宅介護」が約3割と高くなっており、次いで「小規模多機能型居宅介護」「居宅療養管理指導」などが高くなっている。

1.11. 介護保険サービス利用の有無（令和2年4月）

◆「利用した」が約6割

問11 令和2年4月の1か月の間に、（住宅改修、福祉用具貸与・購入以外の）介護保険サービスを利用しましたか。（1つを選択）

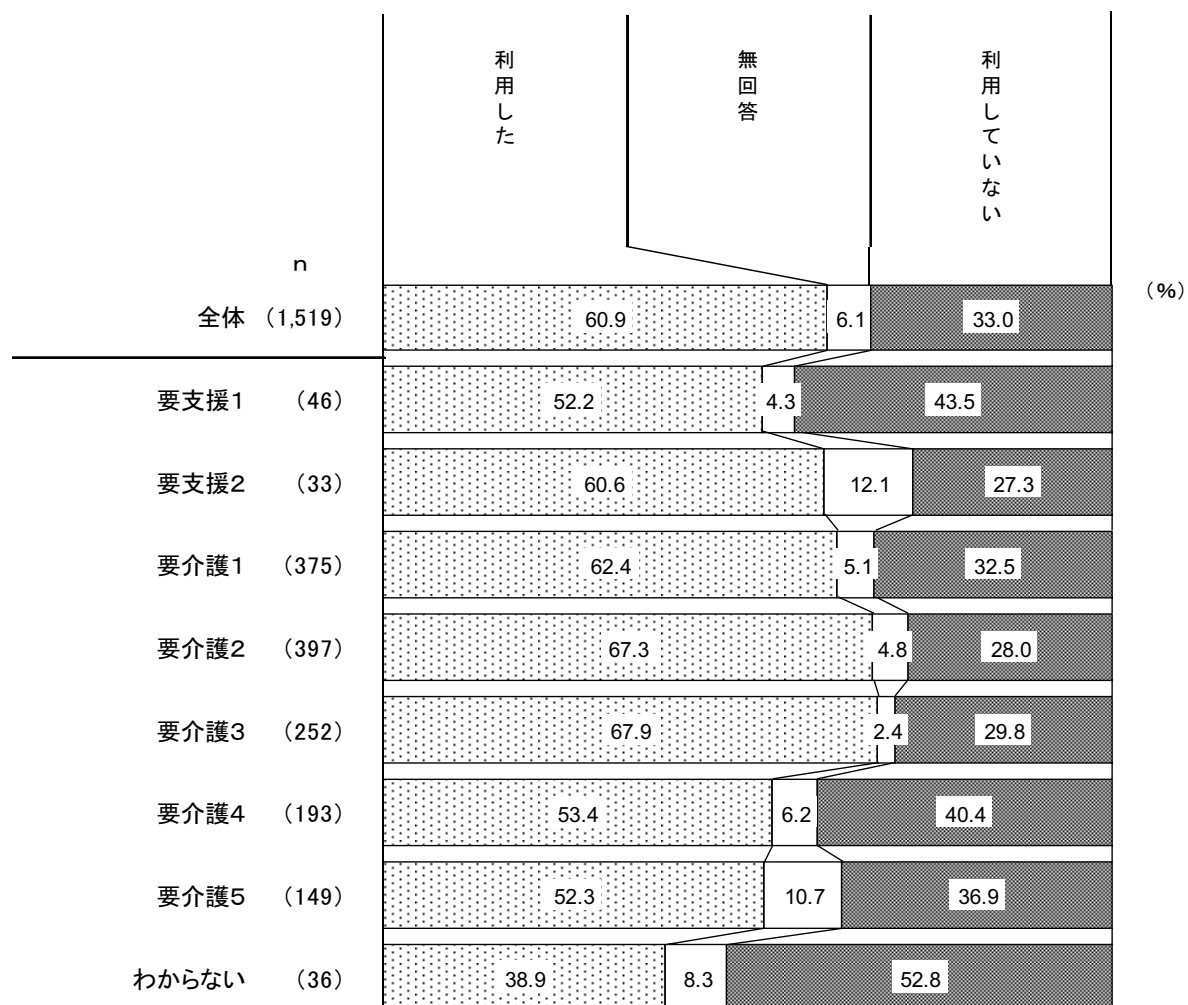
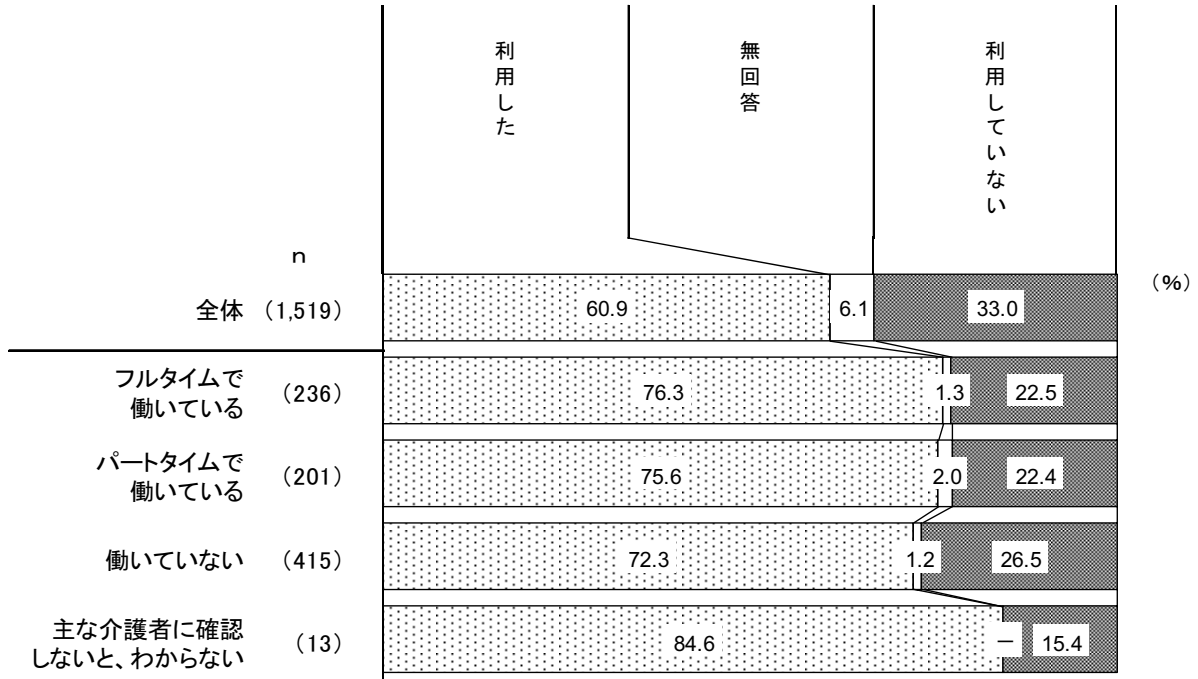


図 1-15 介護保険サービス利用の有無（令和2年4月）

全体では、「利用した」が約6割となっている。

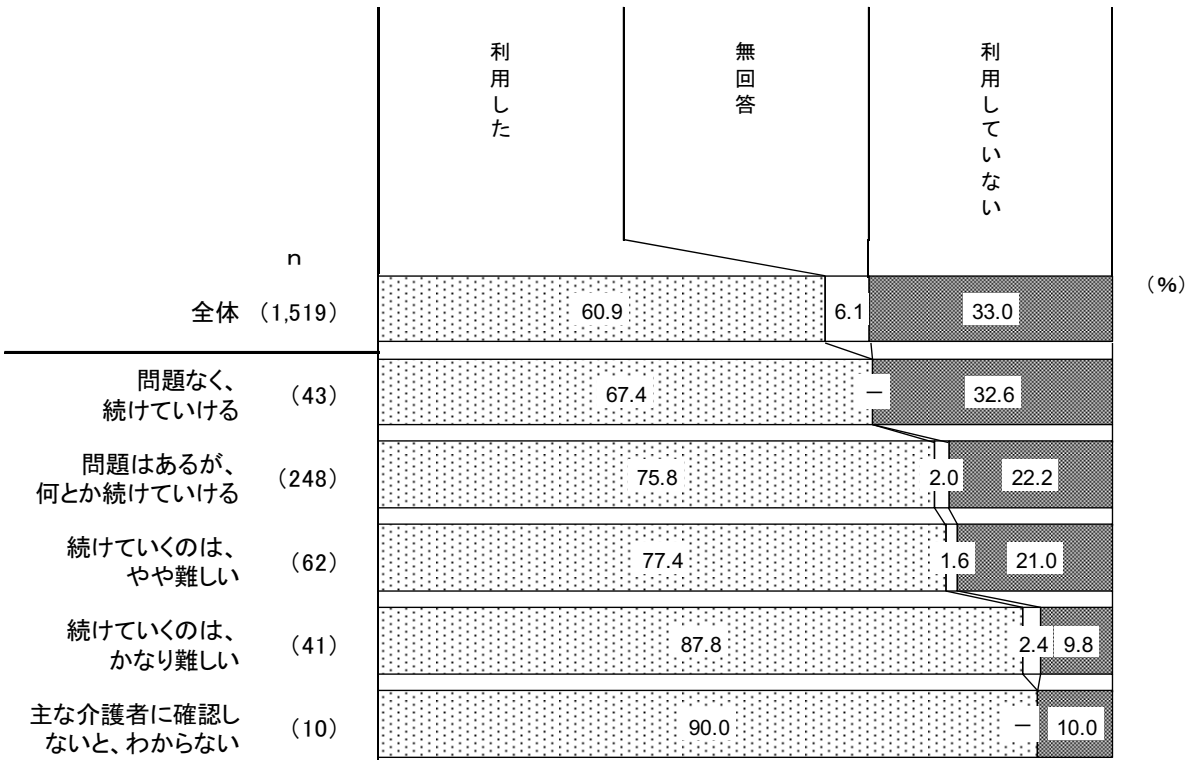
状態別では、要介護2と要介護3が6割台後半と高くなっている。

【介護者の就労形態別】介護保険サービス利用の有無(令和2年4月)



介護者の就労形態別でみると、主な介護者に確認しないと、わからないを除き、フルタイムで働いているで「利用した」の割合がやや高くなっている。

【就労している介護者の今後の介護の見通し別】介護保険サービス利用の有無(令和2年4月)



就労している介護者の今後の介護の見通し別でみると、問題なく、続けていけるで「利用した」の割合が最も低くなっている。

1. 12. 介護保険サービス

1. 12. 1. 介護保険サービスの利用状況（令和2年4月）

◆定期巡回・随時対応型訪問介護看護、小規模多機能型居宅介護、看護小規模多機能型居宅介護で、「利用していない」が6割台半ばから6割台後半

（問11で「利用した」と回答した方に）

問12A 以下の介護保険サービスについて、令和2年4月の1か月間の利用状況をご回答ください。対象の介護保険サービスをご利用になっていない場合は、「利用していない」を選択してください。（それぞれ1つを選択）

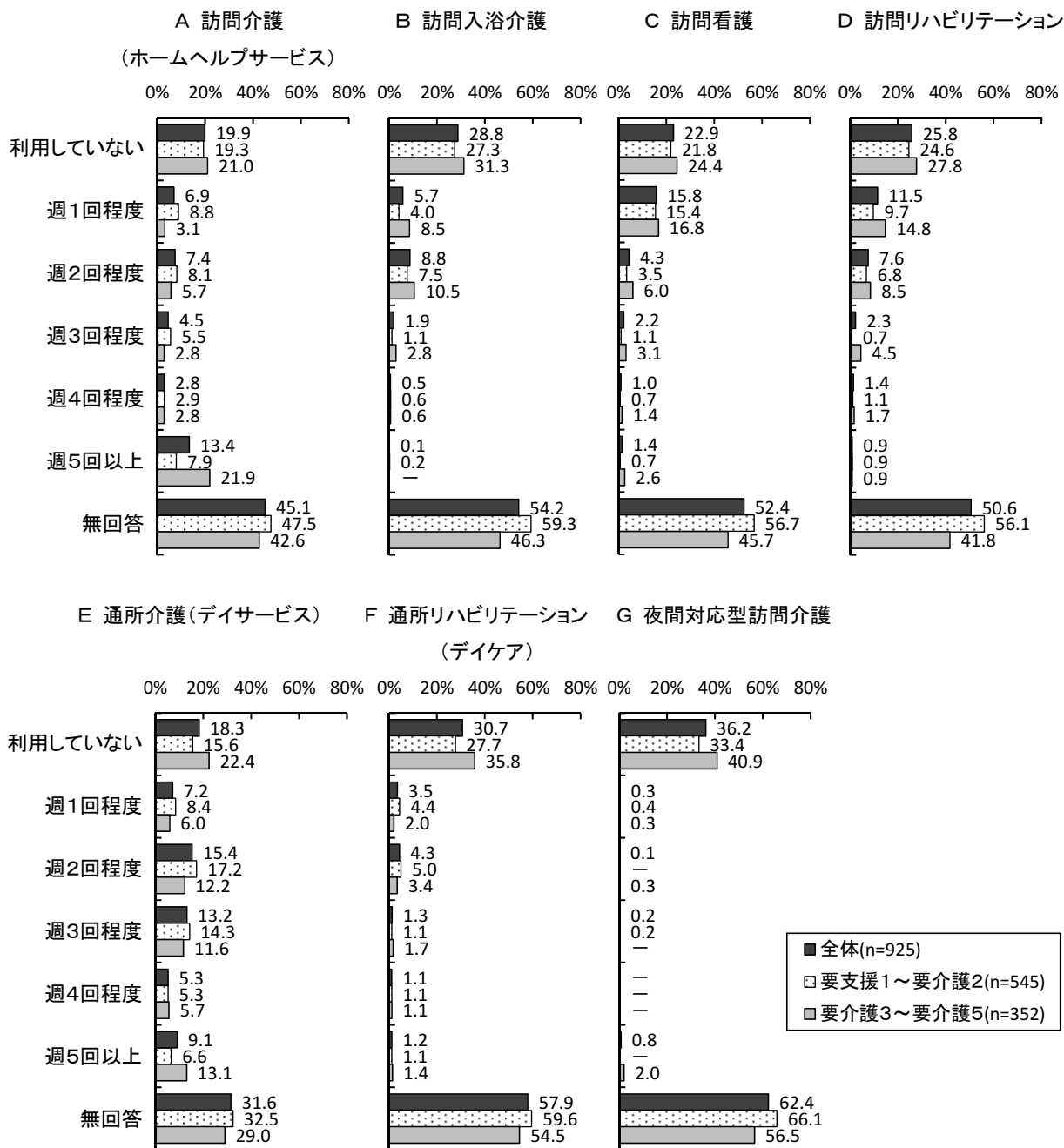


図1-16 介護保険サービスの利用状況（令和2年4月）

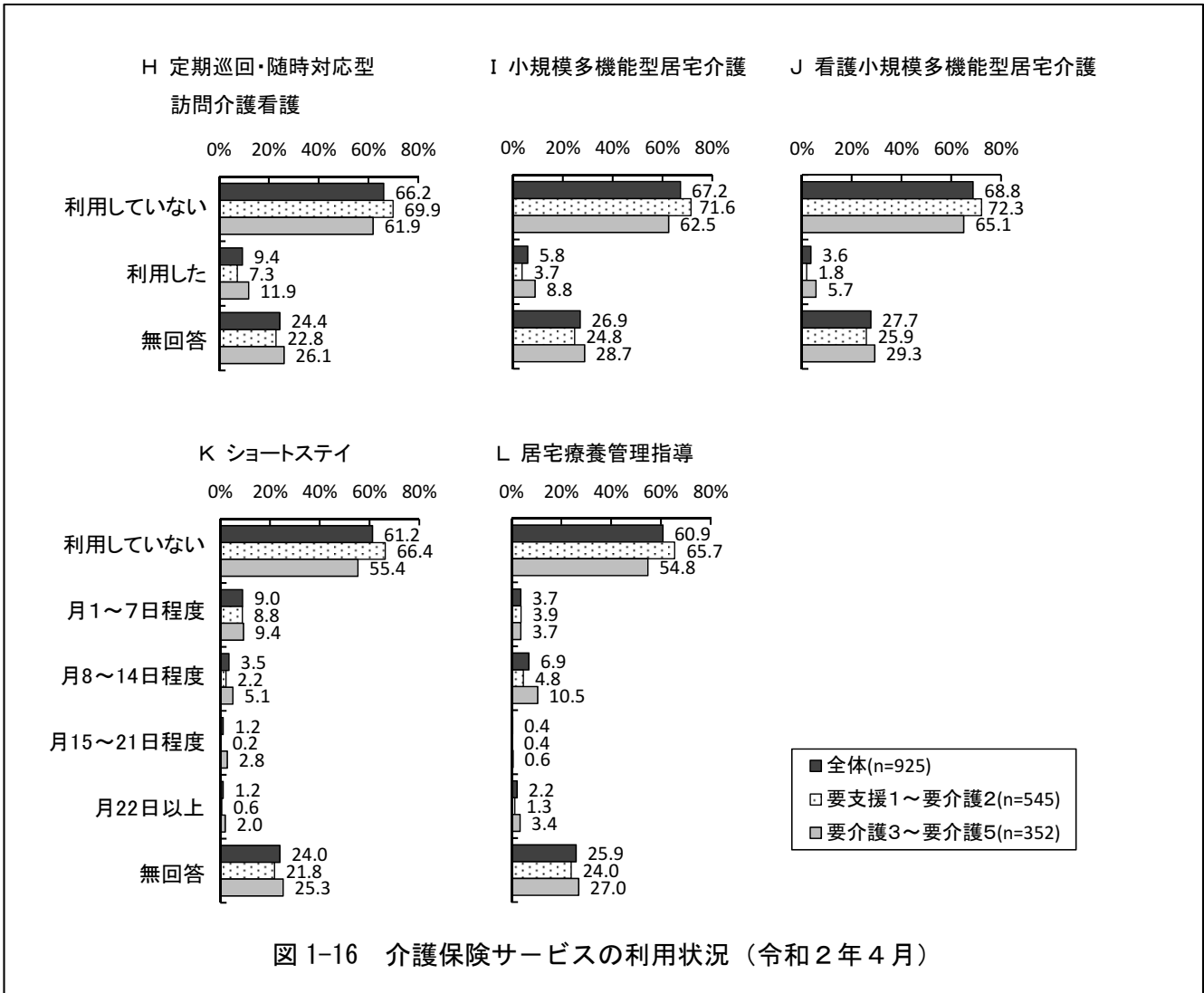


図 1-16 介護保険サービスの利用状況（令和2年4月）

全体では、いずれのサービスも「利用していない」が最も高くなっている。

1.12.2. ケアプランへの不満

◆「サービスの利用料金が高い」「要介護認定による給付の枠内では使いたいサービスが十分に受けられない」が約1割

(問11で「利用した」と回答した方に)

問12B あなたが、ケアプランについて不満と思うことを次の中から選んでください。

(複数選択可)

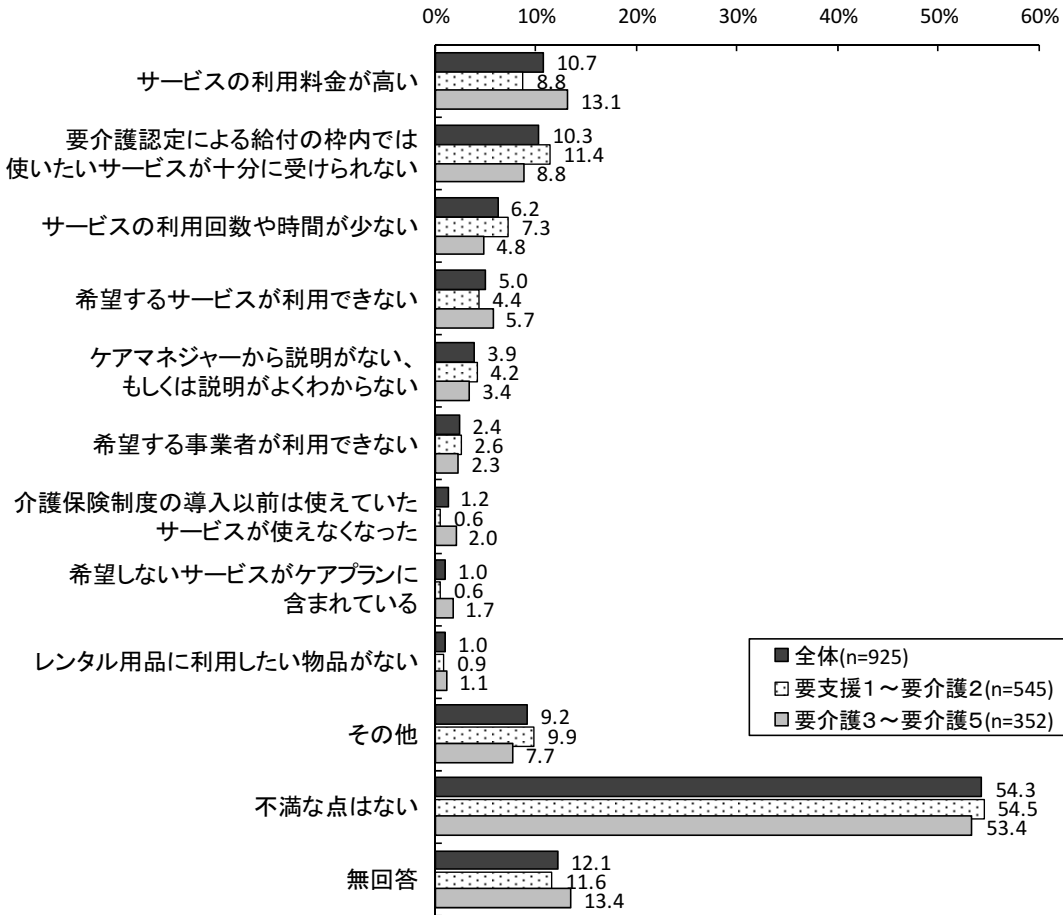


図 1-17 ケアプランへの不満

全体では、「不満な点はない」が5割台半ばではあるものの、不満のある人の内容でみると「サービスの利用料金が高い」「要介護認定による給付の枠内では使いたいサービスが十分に受けられない」が約1割と上位にあげられている。

要介護度別では、要支援1～要介護2で「要介護認定による給付の枠内では使いたいサービスが十分に受けられない」、要介護3～要介護5で「サービスの利用料金が高い」の割合が高くなっている。

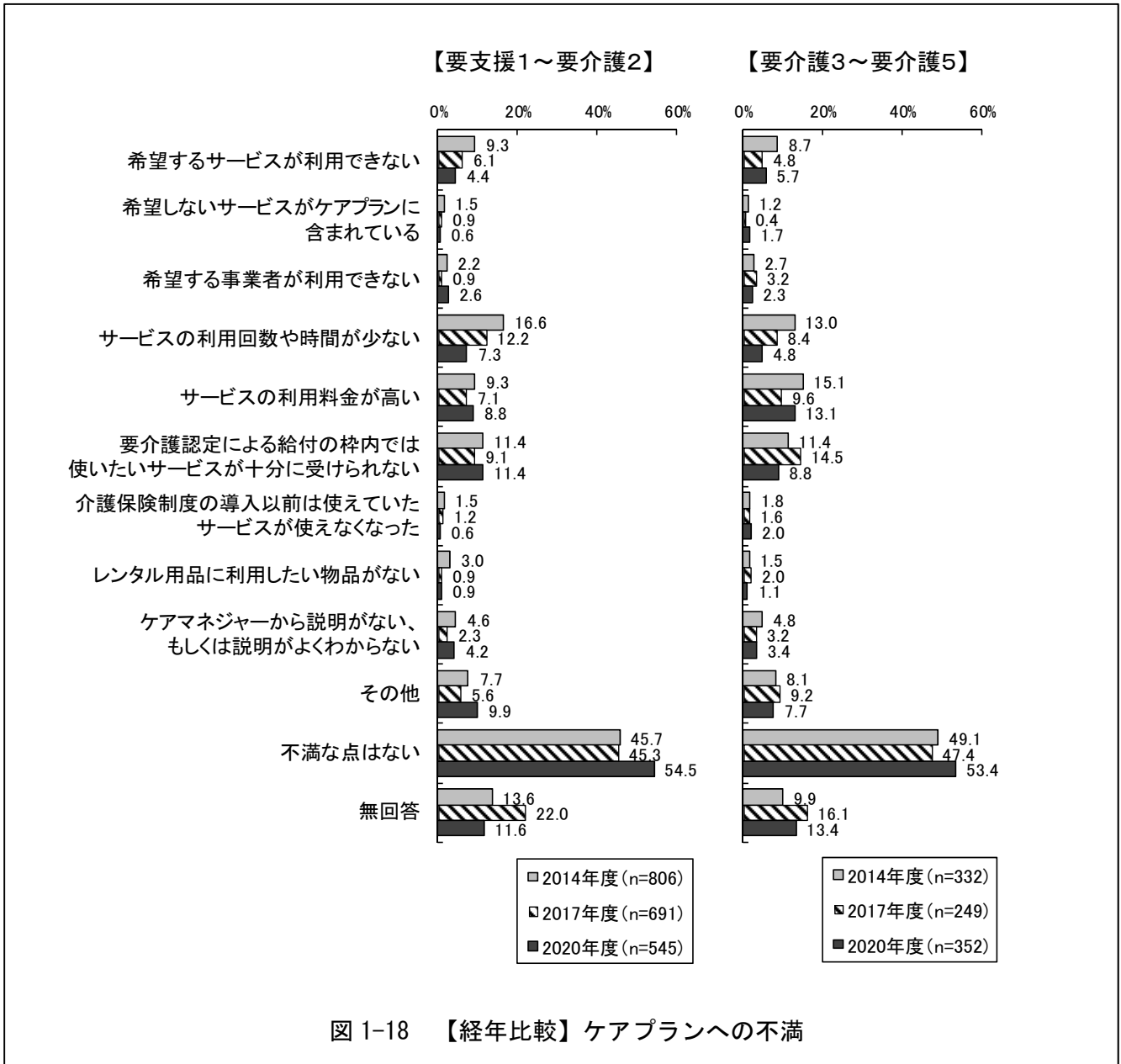


図 1-18 【経年比較】ケアプランへの不満

経年比較でみると、2014年度に比べ、ほぼすべての項目で不満のある人の割合は横ばいか減少となっており、「不満な点はない」が要支援1～要介護2では8.8ポイント、要介護3～要介護5では4.3ポイント増加している。

1. 12. 3. 介護保険サービスを利用していない理由

◆「まだ必要ない」が1割台後半

(問11で「利用していない」と回答した方に)

問12C 介護保険サービスを利用していない理由は何ですか。(複数選択可)

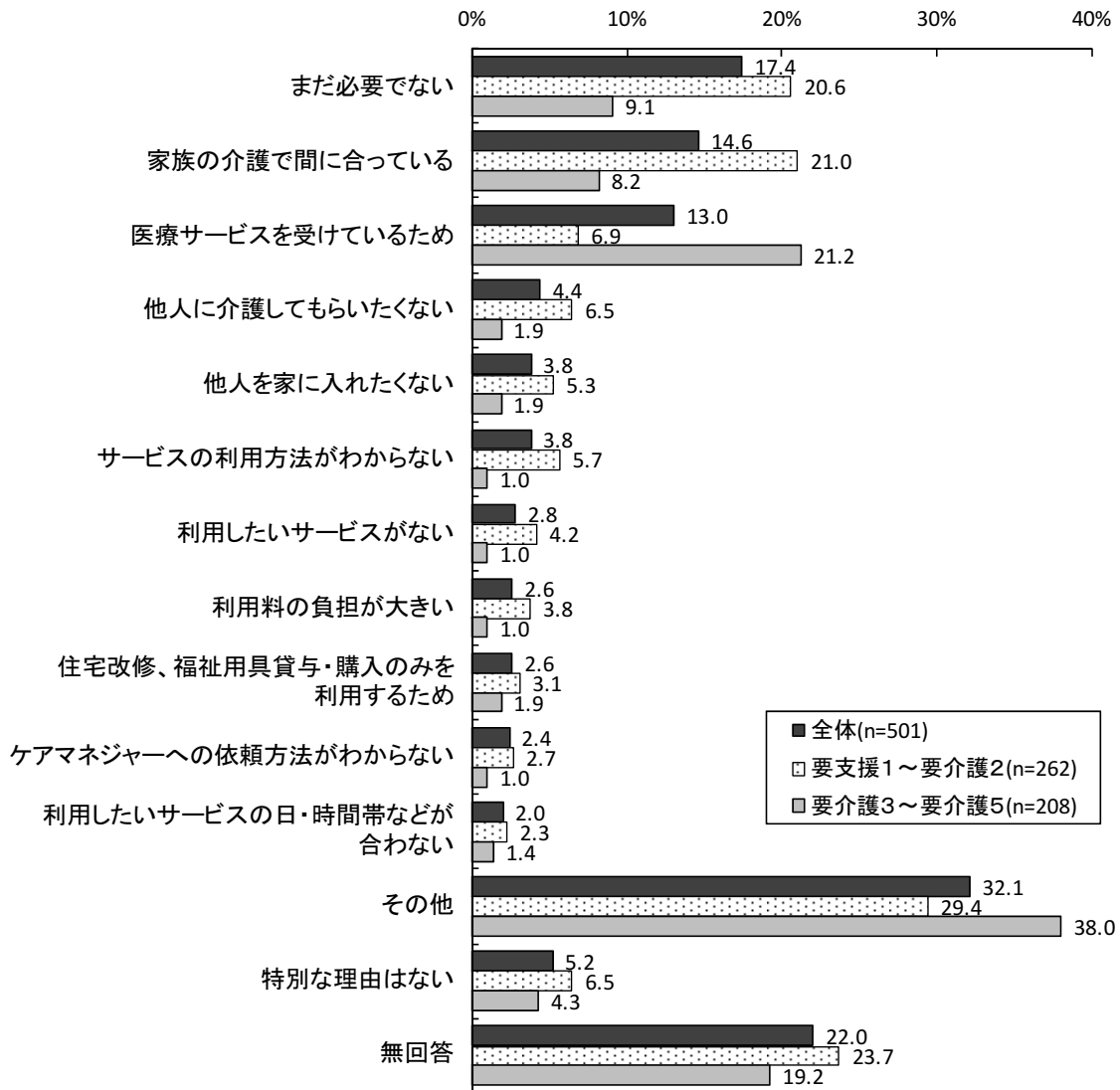


図1-19 介護保険サービスを利用していない理由

要介護度別でみると、「その他」を除き、要支援1～要介護2で「家族の介護で間に合っている」「まだ必要でない」、要介護3～要介護5で「医療サービスを受けているため」が高くなっている。

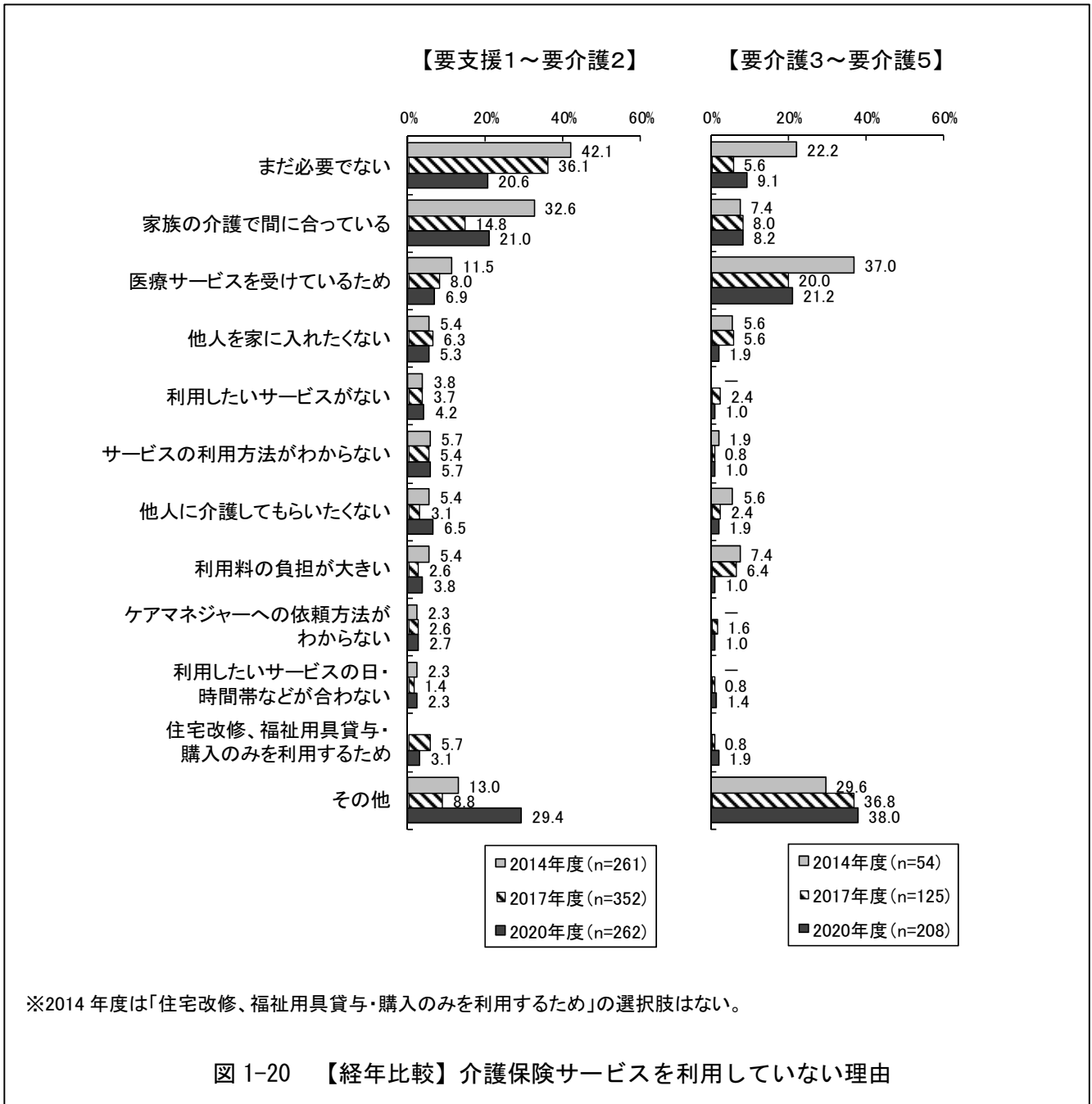
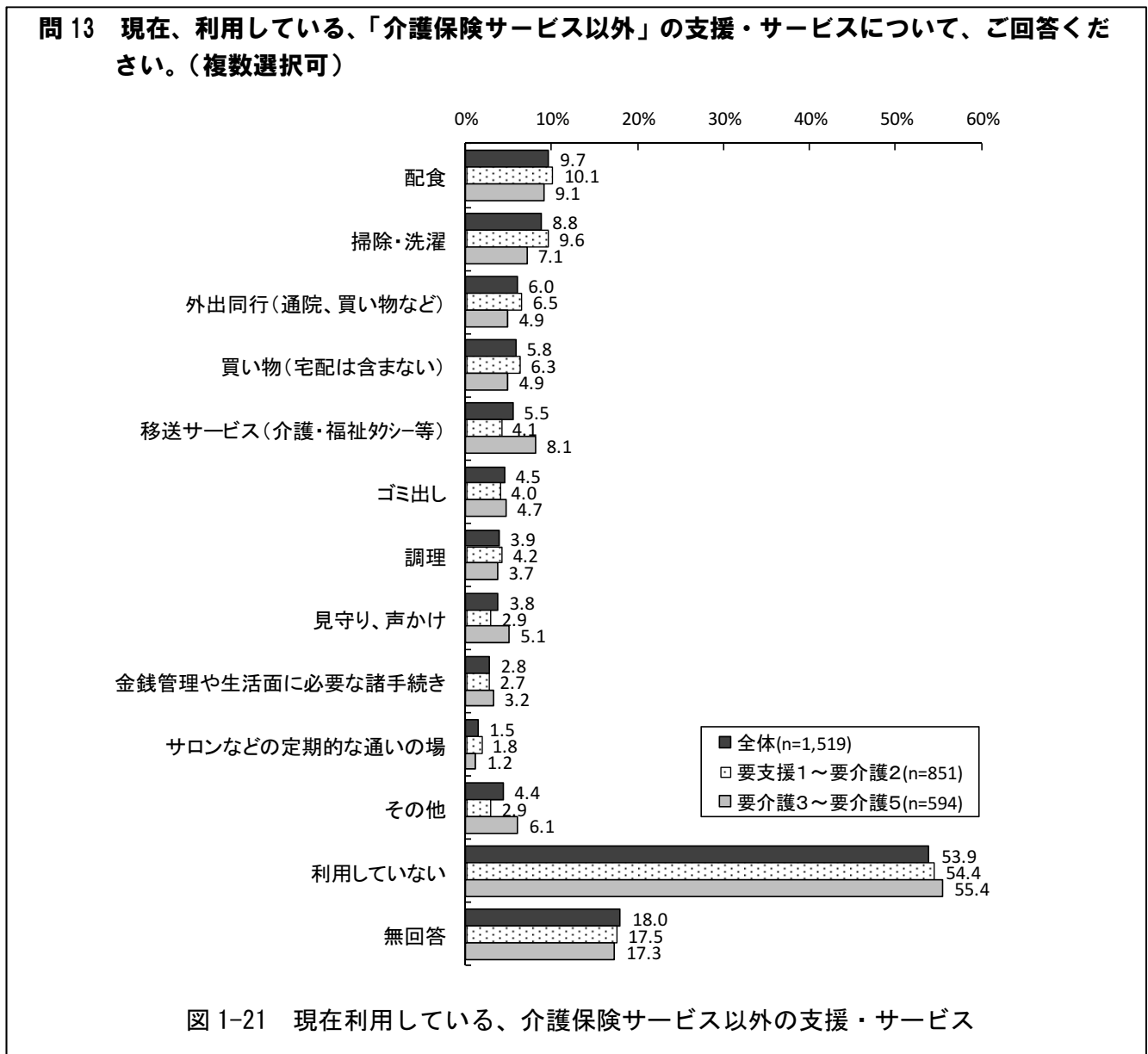


図 1-20 【経年比較】介護保険サービスを利用していない理由

経年比較でみると、2014年度に比べ、要支援1～要介護2では「まだ必要でない」が21.5ポイント、「家族の介護で間に合っている」が11.6ポイント減少している。要介護3～要介護5では「まだ必要でない」が13.1ポイント、「医療サービスを受けるため」が15.8ポイント減少している。

1.13. 現在利用している、介護保険サービス以外の支援・サービス

◆「利用していない」が5割台前半



要介護度別で見ると、「利用していない」に次いで要支援1～要介護2、要介護3～要介護5でともに「配食」が高くなっている。

【要介護度別】現在利用している、介護保険サービス以外の支援・サービス

単位：％

区分	有効回答数（件）	配食	調理	掃除・洗濯	買い物 （宅配は含まない）	ゴミ出し	外出同行 （通院、買い物など）	移送サービス（介護・福祉タクシー等）	見守り、声かけ	定期的な通いの場	サロンなどの 必要な諸手続き	金銭管理や生活面に 必要な諸手続き	その他	利用していない	無回答
全体	1,519	9.7	3.9	8.8	5.8	4.5	6.0	5.5	3.8	1.5	2.8	4.4	53.9	18.0	
要支援1	46	15.2	2.2	15.2	13.0	10.9	6.5	6.5	6.5	4.3	2.2	6.5	32.6	23.9	
要支援2	33	15.2	6.1	15.2	3.0	0.0	6.1	3.0	3.0	0.0	0.0	3.0	36.4	30.3	
要介護1	375	8.8	3.2	8.8	5.3	2.9	6.9	1.9	3.2	2.1	2.4	2.9	57.6	15.2	
要介護2	397	10.3	5.3	9.3	6.8	4.5	6.0	6.0	2.3	1.3	3.3	2.5	55.4	17.9	
要介護3	252	12.7	5.6	10.3	7.5	7.1	7.5	8.3	4.8	1.2	4.8	5.2	56.7	12.3	
要介護4	193	7.3	2.6	5.2	2.6	2.1	4.1	6.7	5.7	1.6	2.6	5.7	57.5	18.1	
要介護5	149	5.4	2.0	4.0	3.4	4.0	1.3	9.4	4.7	0.7	1.3	8.1	50.3	24.8	
わからない	36	13.9	0.0	11.1	11.1	8.3	5.6	—	2.8	2.8	—	8.3	41.7	25.0	

要介護度別でみると、いずれの区分でも「利用していない」の割合が高くなっているが、利用している内容でみると、要支援1から要介護1では「配食」「掃除・洗濯」が、要介護2から要介護4では「配食」が、要介護5では「移送サービス（介護・福祉タクシー等）」が高くなっている。

1. 14. 在宅生活の継続に必要と感じる支援・サービス

◆「移送サービス」「外出同行」が1割台半ば

問 14 今後の在宅生活の継続に必要と感じる支援・サービス（現在利用しているが、さらなる充実が必要と感じる支援・サービスを含む）について、ご回答ください。（複数選択可）

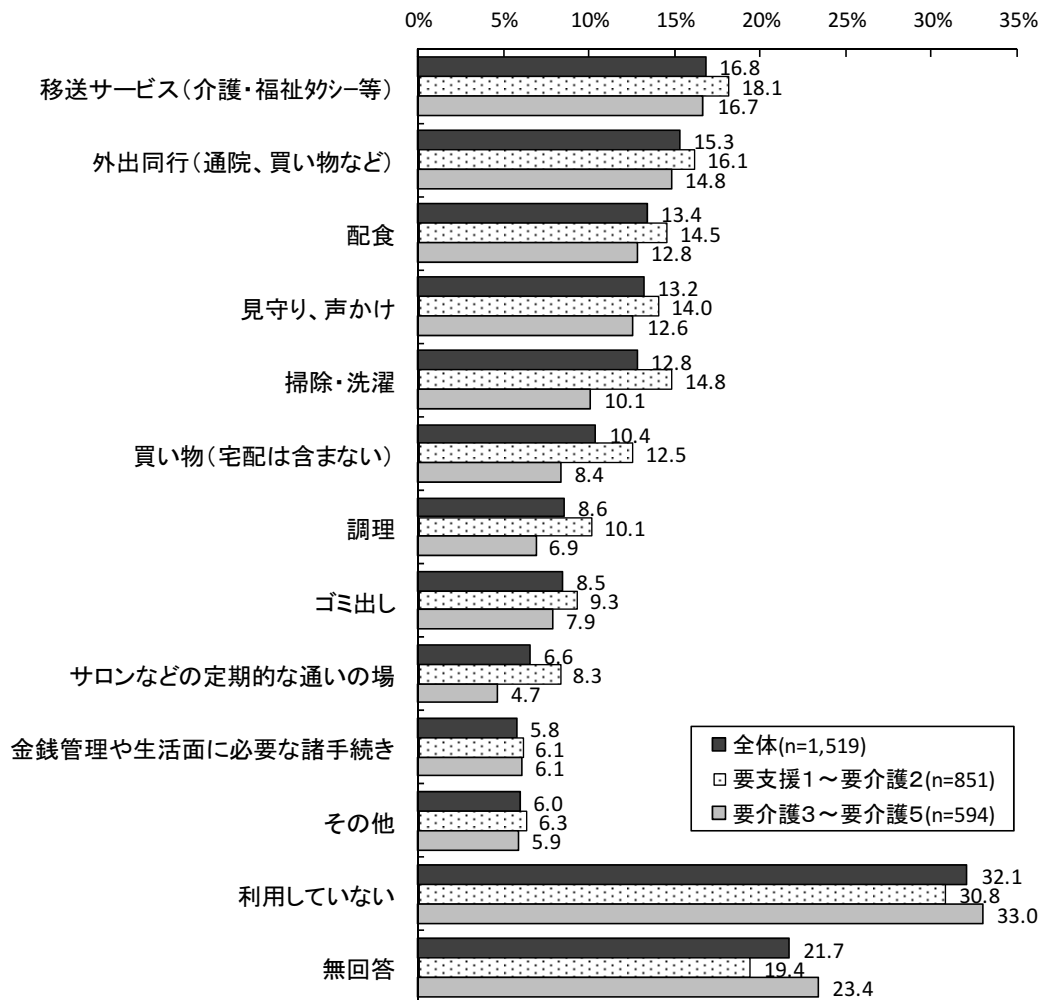
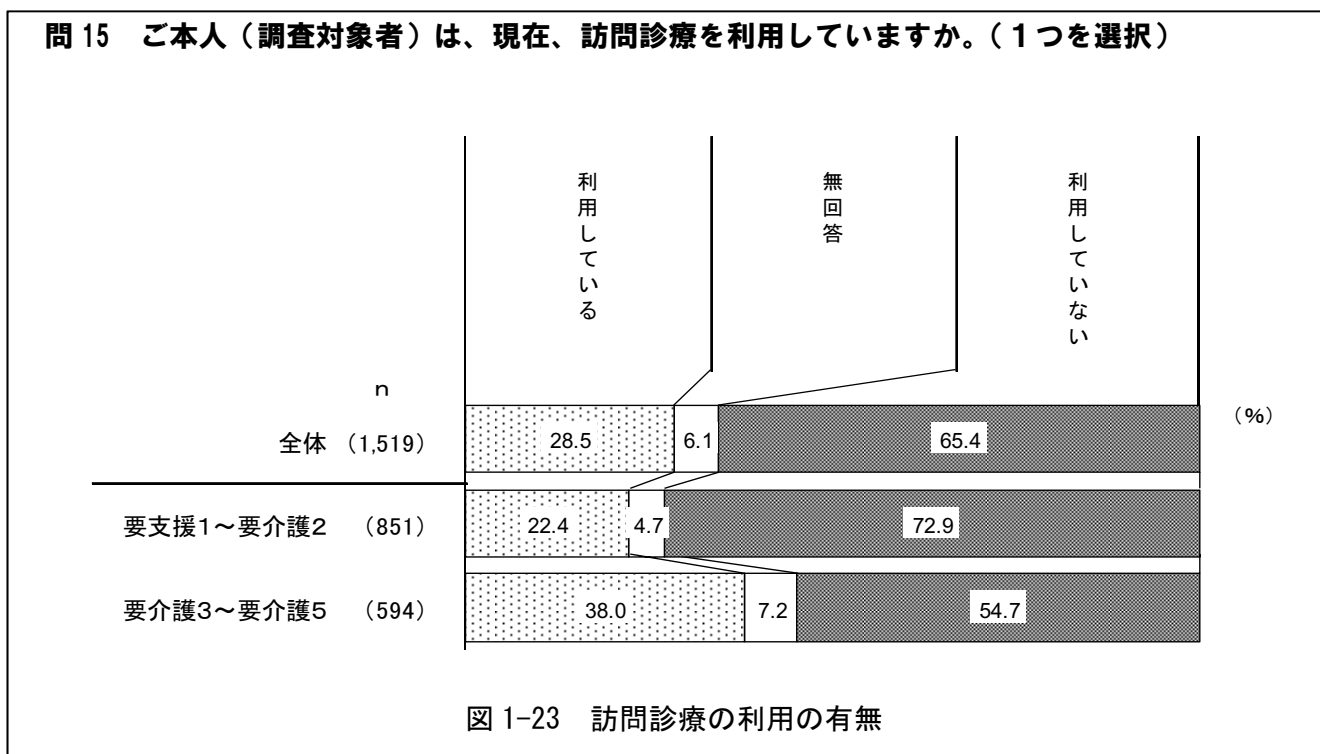


図 1-22 在宅生活の継続に必要と感じる支援・サービス

要介護度別で見ると、「利用していない」に次いで要支援1～要介護2、要介護3～要介護5ともに「移送サービス（介護・福祉タクシー等）」が高くなっている。

1.15. 訪問診療の利用の有無

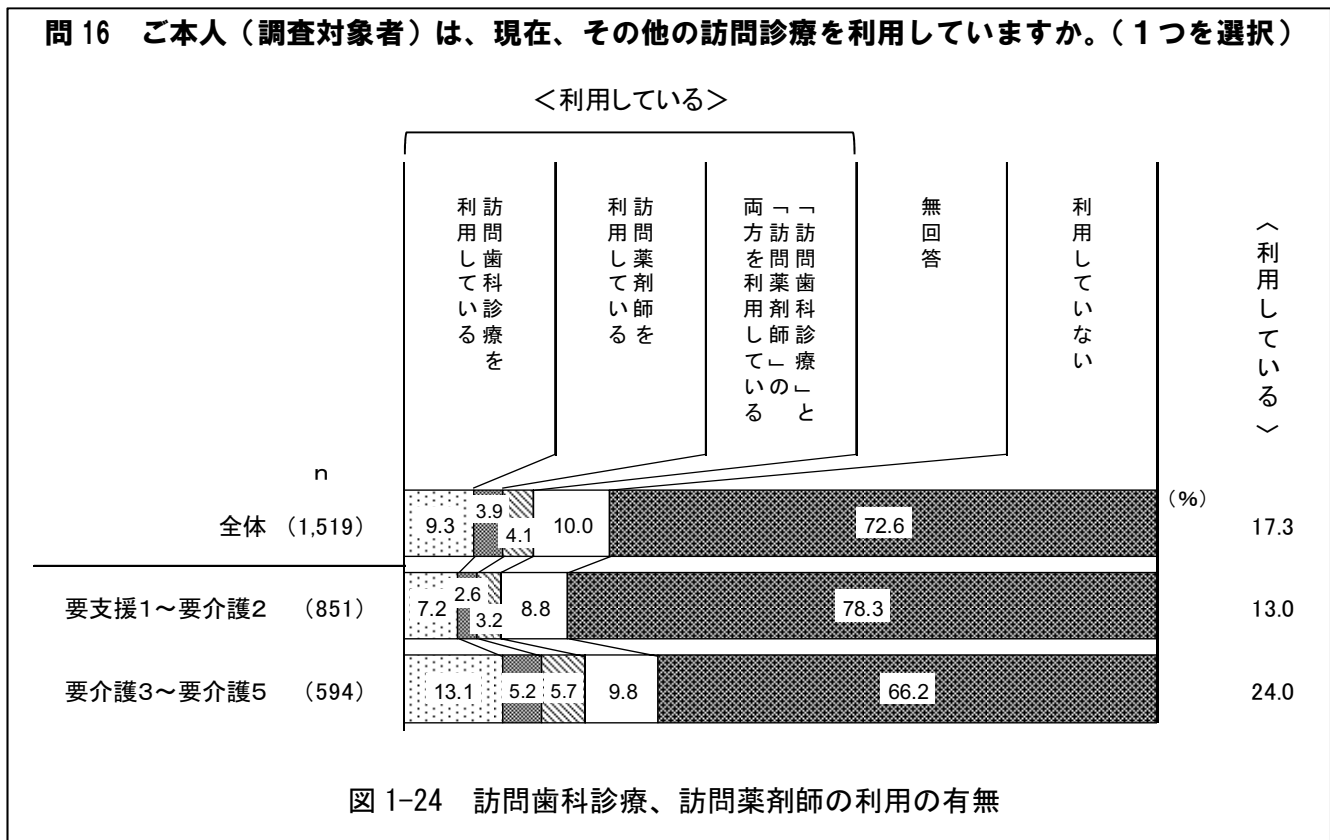
◆「利用していない」が6割台半ば



全体では「利用していない」が高いが、要介護度別でみると、要介護3～要介護5で「利用していない」が低くなっている。

1.16. 訪問歯科診療、訪問薬剤師の利用の有無

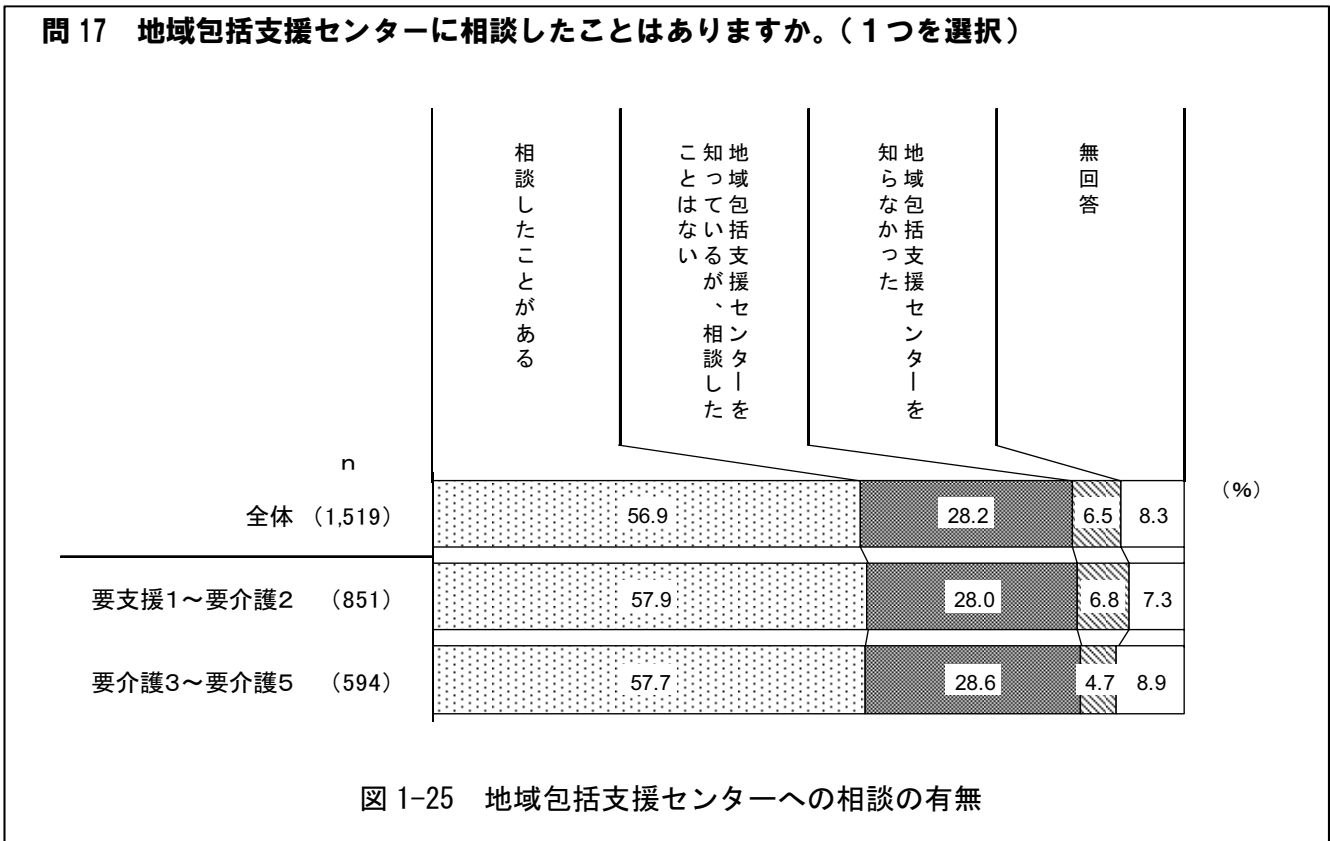
◆「利用していない」が7割前半



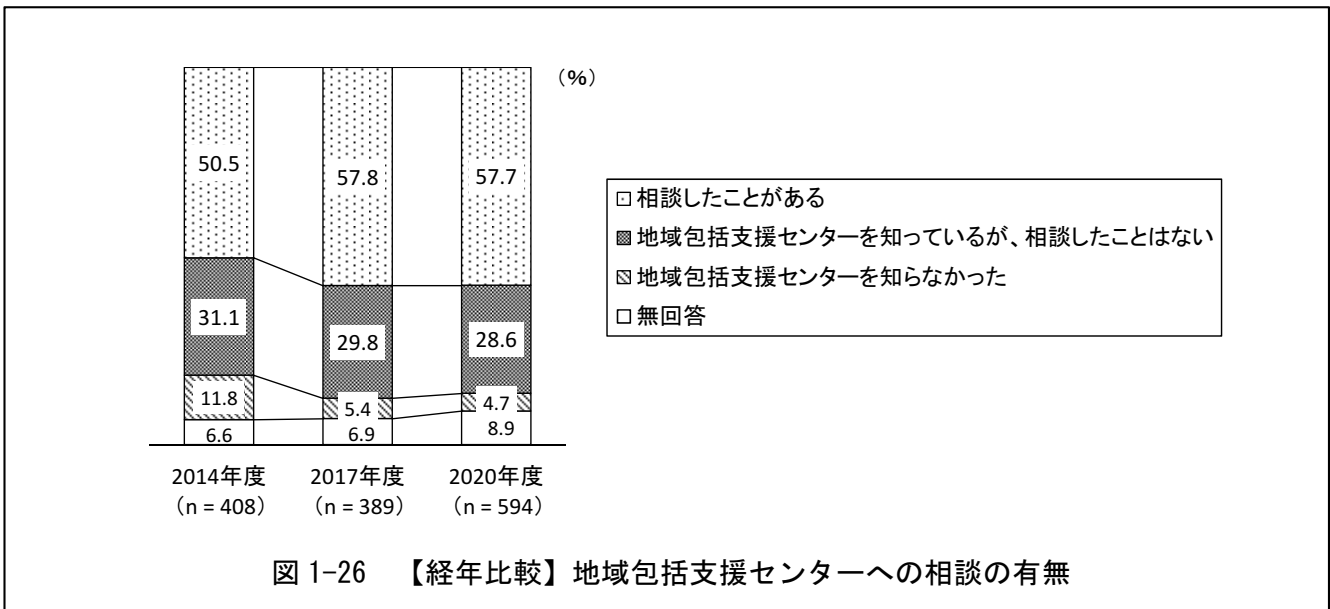
全体では「利用していない」が高いが、利用している人を要介護度別でみると、要介護3～要介護5で「訪問歯科診療を利用している」が高くなっている。

1.17. 地域包括支援センターへの相談の有無

◆「相談したことがある」が5割台半ば



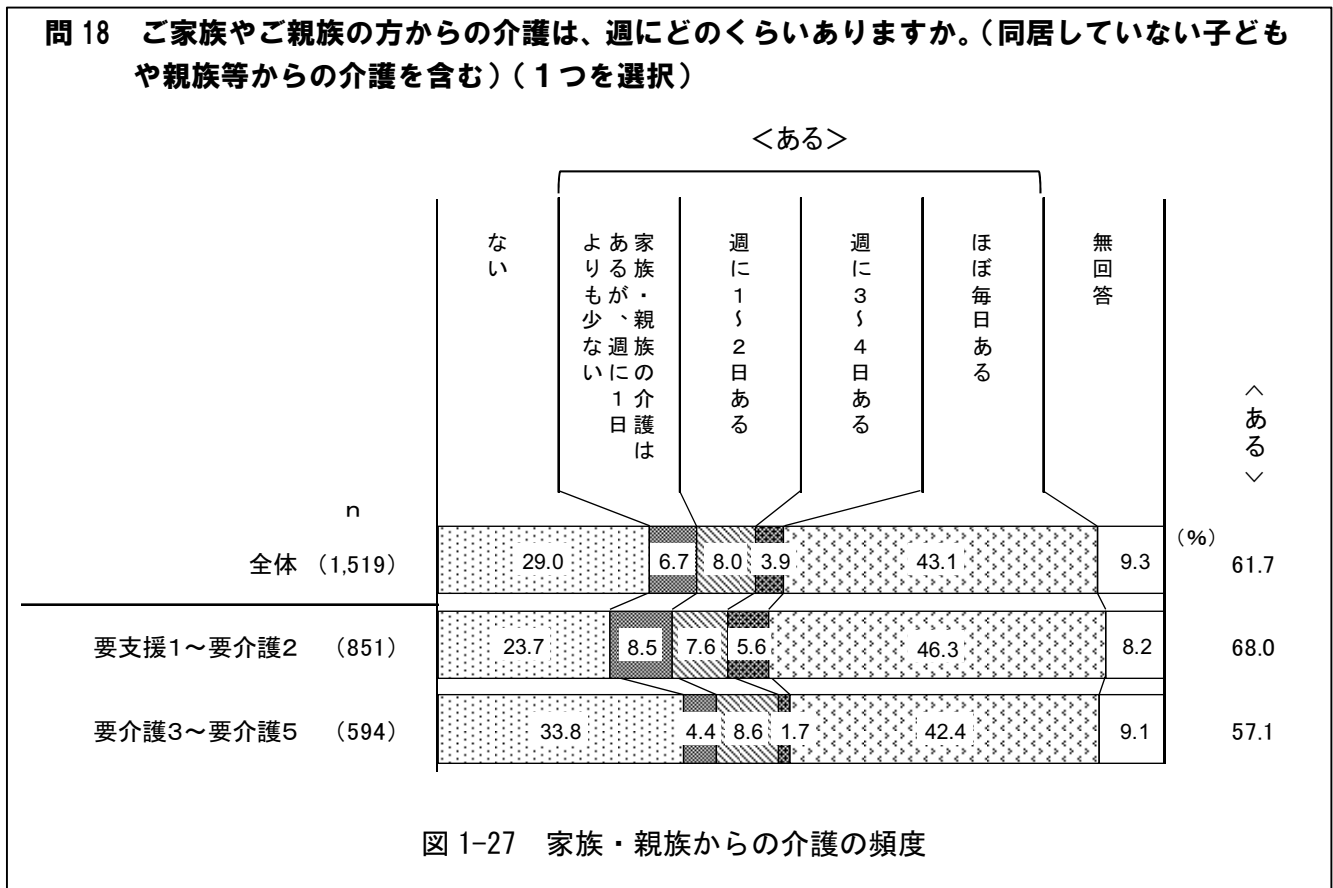
いずれも「相談したことがある」が5割台半ばとなっており、要介護度別でみると、大きな差異はみられない。



経年比較でみると、2014年度に比べ「相談したことがある」が7.2ポイント増加している。

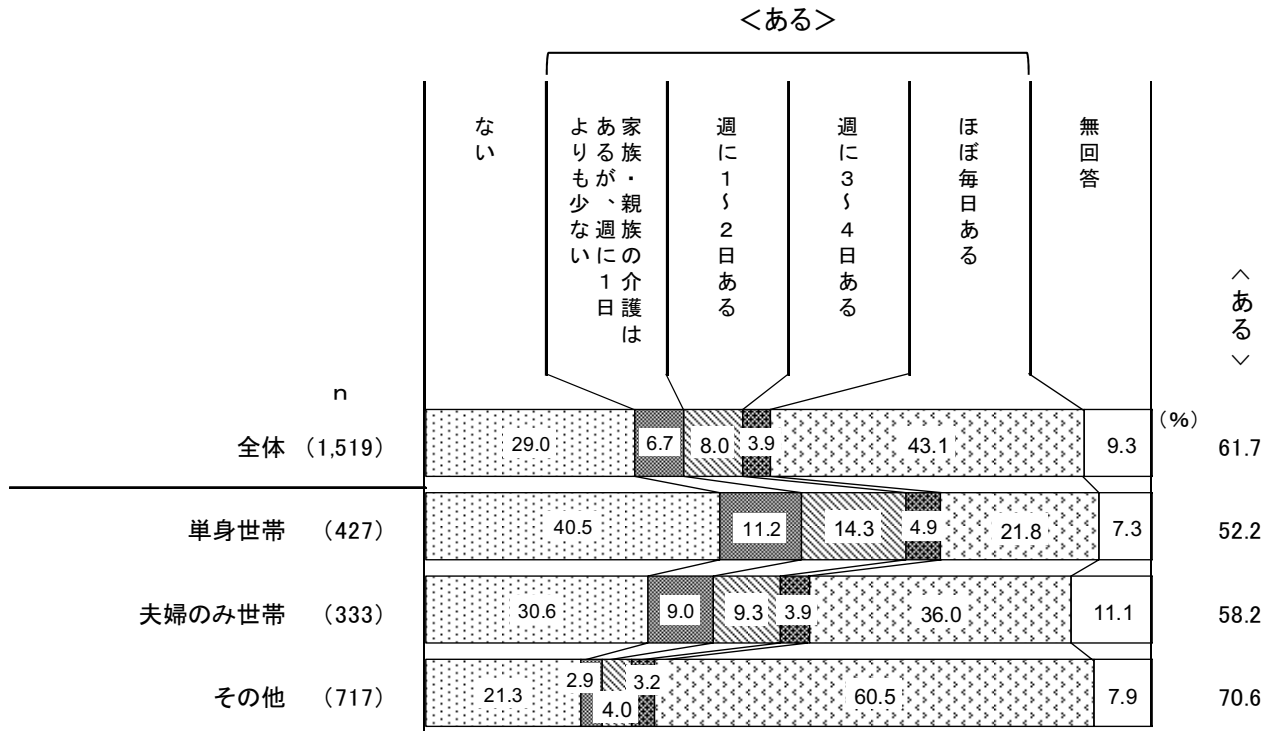
1.18. 家族・親族からの介護の頻度

◆「ほぼ毎日ある」が4割前半



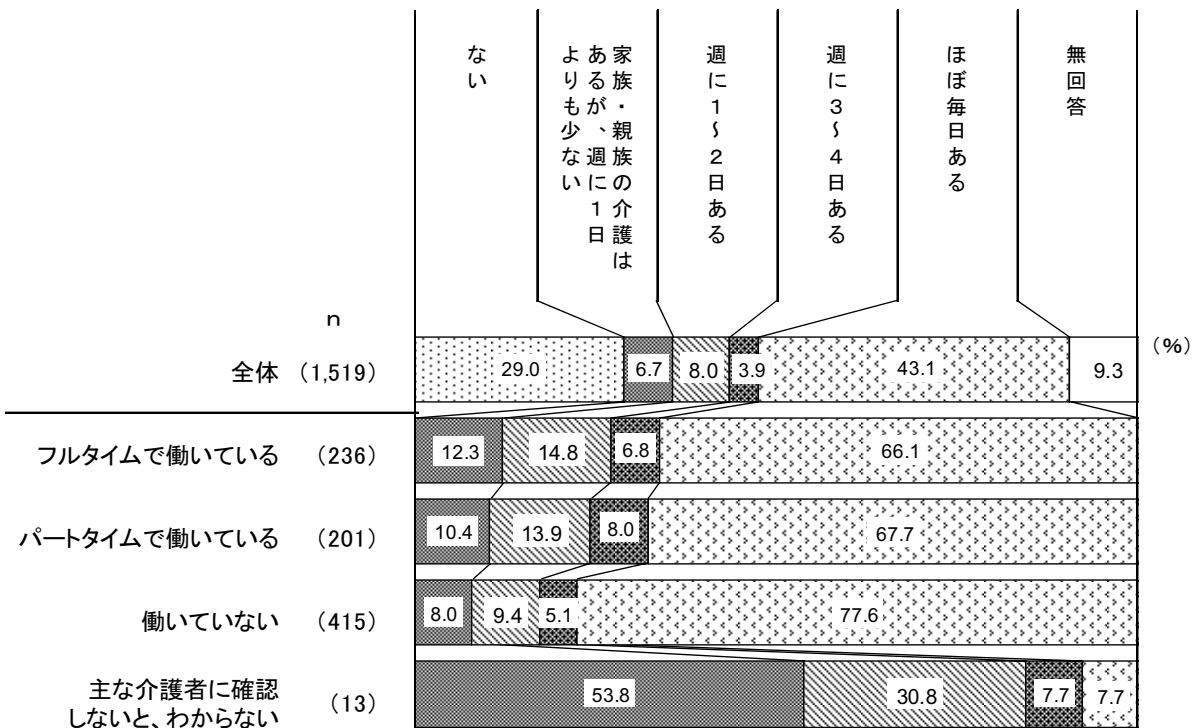
要介護度別でみると、要支援1～要介護2で「ほぼ毎日ある」、要介護3～要介護5で「ない」が高くなっている。

【家族構成別】家族・親族からの介護の頻度



家族構成別でみると、単身世帯で「ない」が高くなっている。

【主な介護者の就労形態別】家族・親族からの介護の頻度



主な介護者の就労形態別でみると、働いていないで「ほぼ毎日ある」の割合が高くなっている。

2. 主な介護者について

※「1.18.家族・親族からの介護の頻度」において、〈ある〉とお答えの方にきいています。

2.1. 介護を理由として、過去1年間の間に仕事を辞めた介助者の有無

◆「介護のために仕事を辞めた家族・親族はいない」が約6割

問1 ご家族やご親族の中で、ご本人（調査対象者）の介護を主な理由として、過去1年間に仕事を辞めた方はいますか。（現在働いているかどうかや、現在の勤務形態は問いません）（複数選択可）

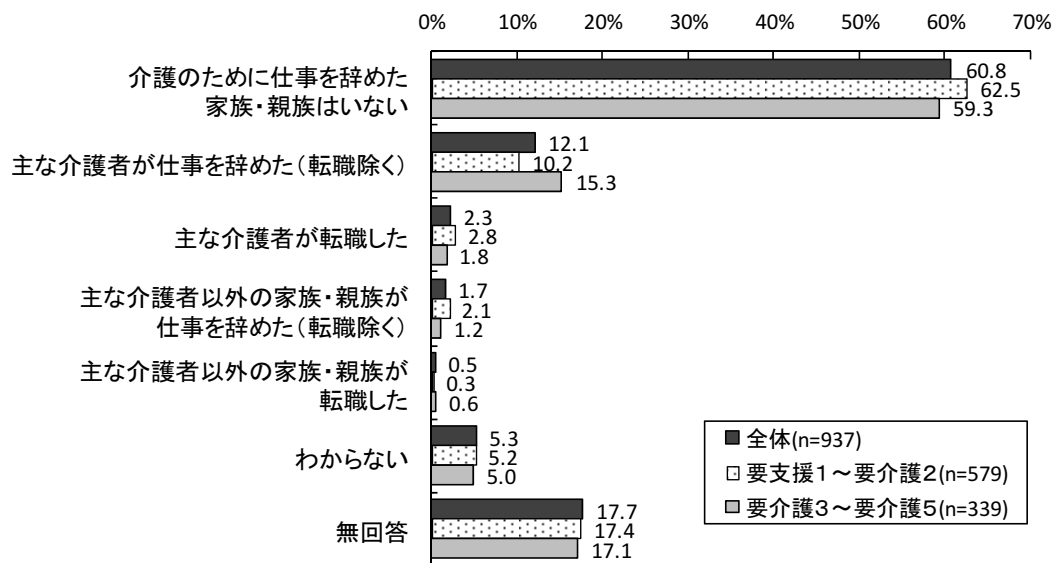
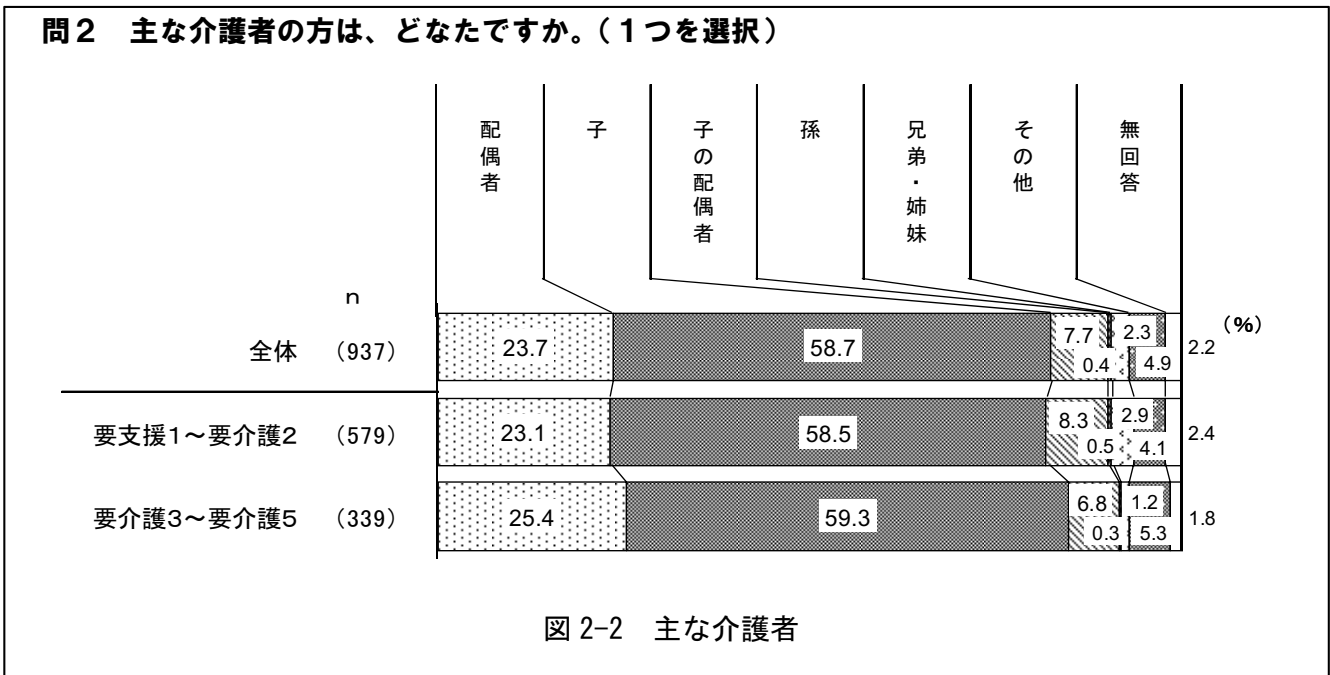


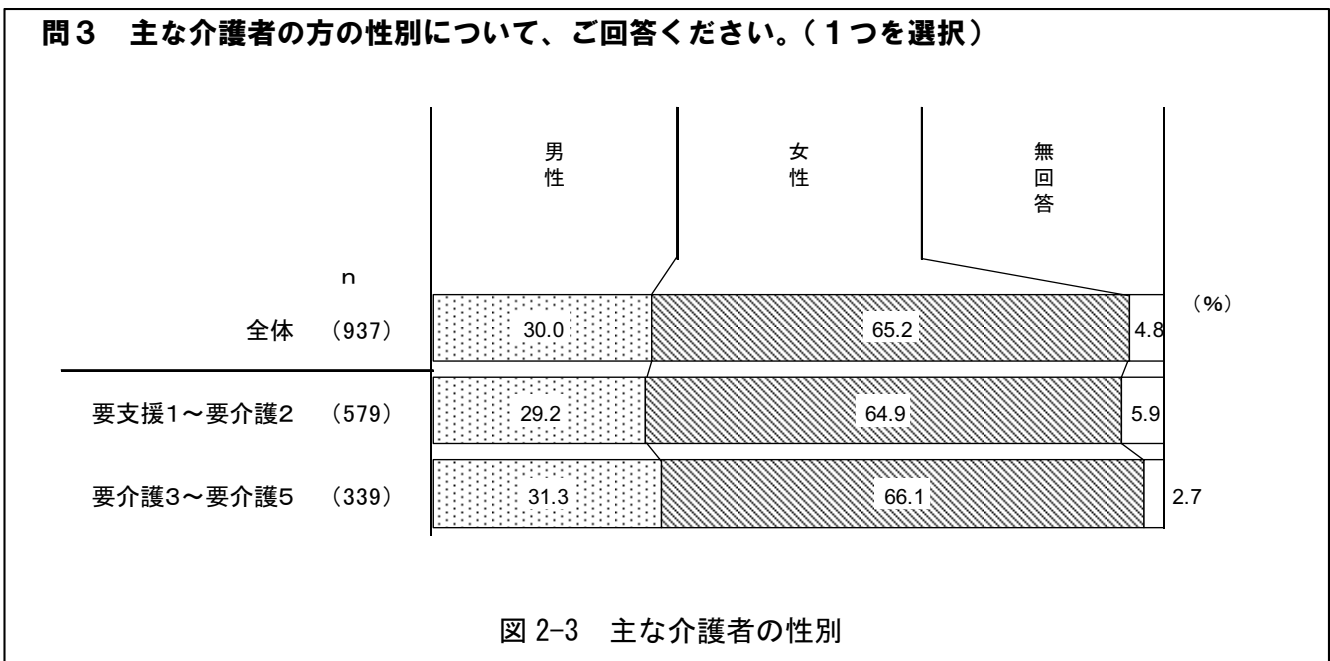
図 2-1 介護を理由として、過去1年間の間に仕事を辞めた介助者の有無

要介護度別でみると、いずれも「介護のために仕事を辞めた家族、親族はいない」が最も高く、要介護3～要介護5で「主な介護者が仕事を辞めた（転職除く）」がやや高くなっている。

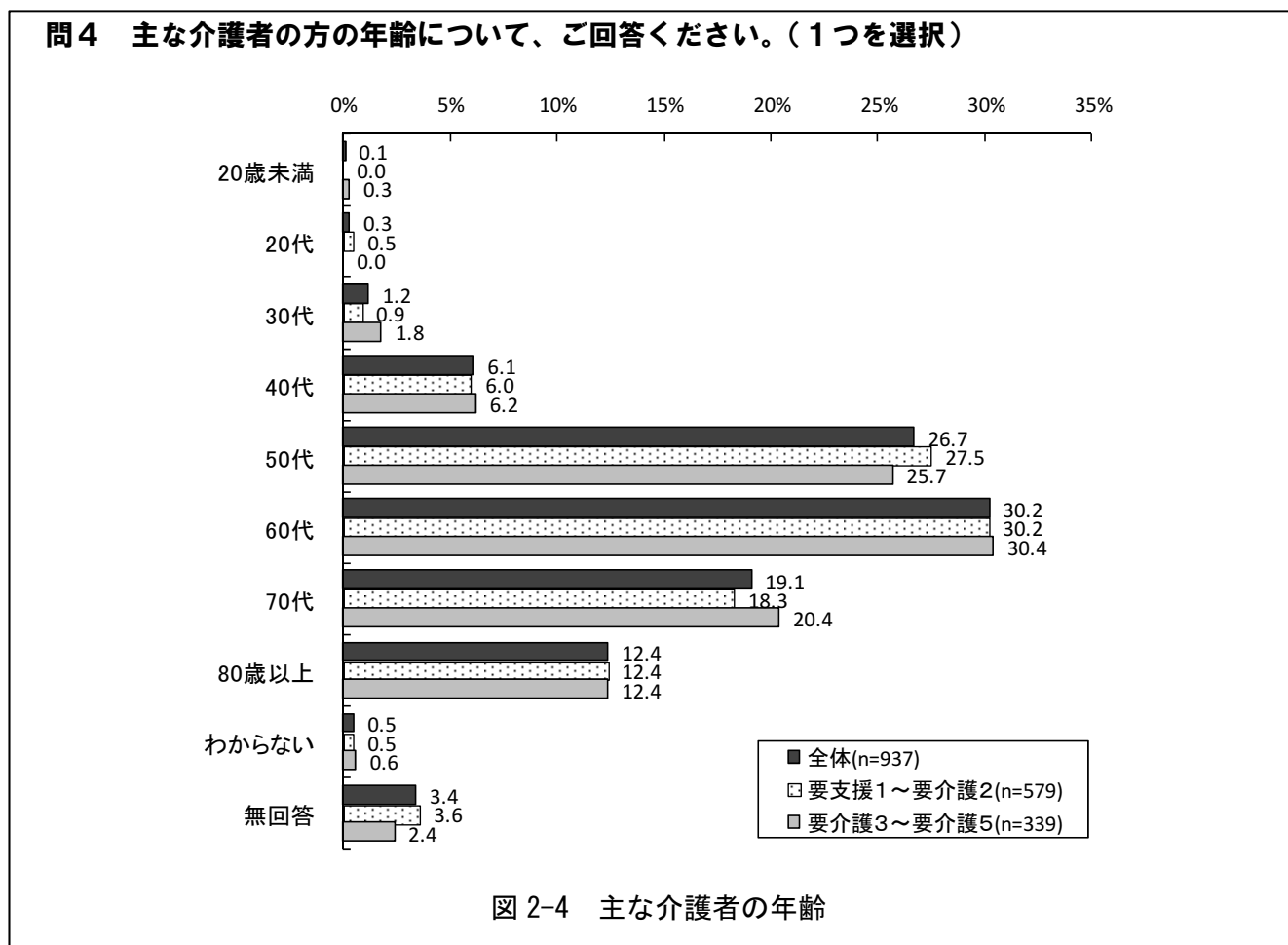
2.2. 主な介護者



2.3. 主な介護者の性別



2.4. 主な介護者の年齢



2.5. 主な介護者が行っている介護

◆「その他の家事（掃除、洗濯、買い物等）」が約8割

問5 現在、主な介護者の方が行っている介護等について、ご回答ください。（複数選択可）

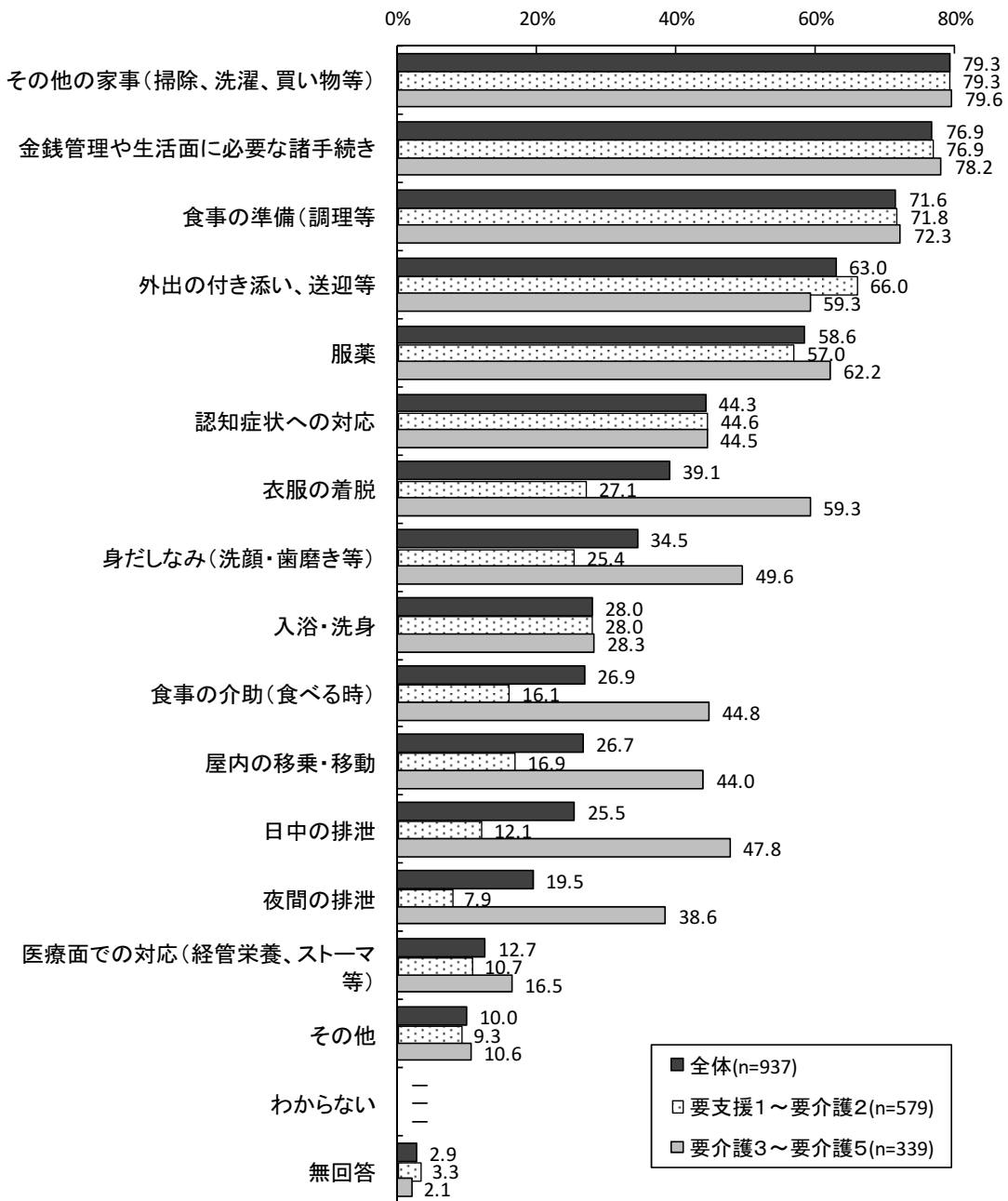


図 2-5 主な介護者が行っている介護

要介護度別でみると、「外出の付き添い、送迎等」「認知症状への対応」を除く全ての項目で要介護3～要介護5の方が高くなっている。

【要介護度別】主な介護者が行っている介護

単位：%

区分	有効回答数 (件)	日中の排泄	夜間の排泄	食事の介助 (食べる時)	入浴・洗身	身だしなみ (洗顔・歯磨き等)	衣服の着脱	屋内の移乗・移動	外出の付き添い、 送迎等	服薬
全体	937	15.8	21.9	5.9	16.5	4.8	3.0	9.5	17.1	9.0
要支援1	23	4.3	8.7	4.3	8.7	4.3	—	4.3	26.1	8.7
要支援2	16	12.5	12.5	6.3	25.0	—	—	12.5	12.5	18.8
要介護1	267	11.6	16.5	3.7	19.9	5.6	3.4	5.6	18.0	13.5
要介護2	273	16.5	22.7	6.2	17.9	5.5	3.7	13.9	20.9	11.0
要介護3	163	17.8	28.2	6.7	14.7	4.3	3.1	8.6	15.3	3.7
要介護4	107	29.9	28.0	6.5	15.9	4.7	1.9	10.3	13.1	2.8
要介護5	69	10.1	21.7	10.1	5.8	2.9	1.4	10.1	10.1	4.3
わからない	8	—	12.5	12.5	25.0	—	12.5	—	—	—

区分	認知症状への対応	栄養、医療面での対応 (経管、ストーマ等)	食事の準備(調理等)	洗濯、買物等 その他の家事(掃除、)	金銭管理や生活面に 必要な諸手続き	その他	不安に感じていない ことは、特にない	主な介護者に確認 しないとわからない	無回答
全体	36.3	5.4	16.3	13.8	13.3	10.1	8.9	0.4	8.9
要支援1	43.5	4.3	21.7	8.7	21.7	17.4	—	—	17.4
要支援2	18.8	—	6.3	12.5	6.3	12.5	12.5	—	18.8
要介護1	43.4	4.5	18.0	18.4	14.6	8.2	8.6	0.4	6.4
要介護2	34.1	3.7	18.7	15.8	13.6	10.3	7.0	0.7	7.3
要介護3	38.7	5.5	14.1	8.6	9.2	11.0	8.6	—	12.3
要介護4	26.2	9.3	14.0	7.5	17.8	10.3	9.3	—	11.2
要介護5	30.4	11.6	10.1	14.5	10.1	13.0	15.9	—	5.8
わからない	37.5	12.5	12.5	12.5	25.0	12.5	12.5	12.5	—

要介護度別でみると、要支援2と要介護4を除いて「認知症状への対応」が高くなっている。

2.6. 主な介護者が不安に感じる介護

◆「認知症状への対応」が3割台半ば

問6 現在の生活を継続していくにあたって、主な介護者の方が不安に感じる介護等について、ご回答ください。（現状で行っているか否かは問いません）（3つまで選択可）

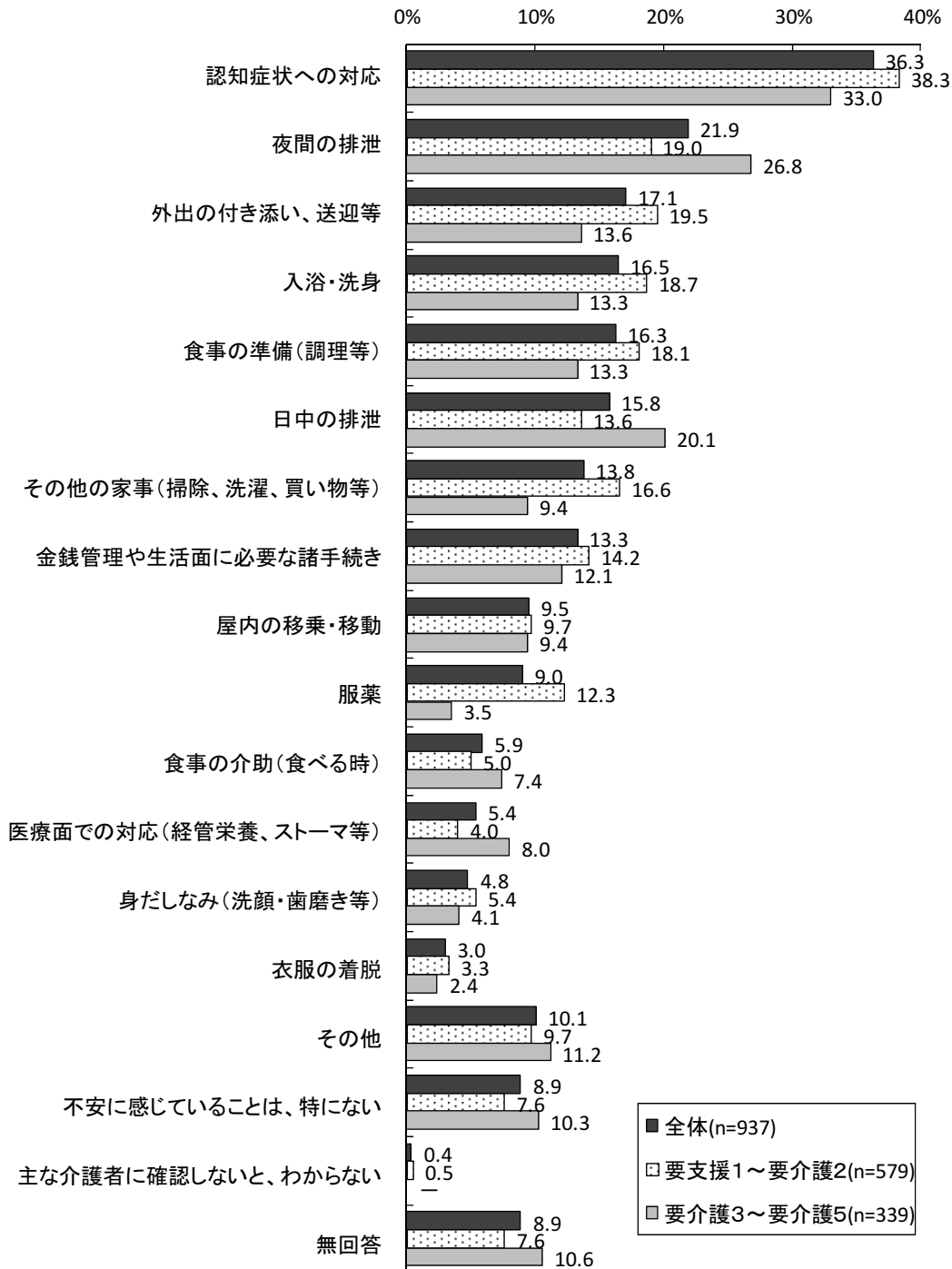


図 2-6 主な介護者が不安に感じる介護

要介護度別でみると、いずれも「認知症状への対応」が3割台と最も高くなっており、次いで要支援1～要介護2で「外出の付き添い、送迎等」「夜間の排泄」、要介護3～要介護5で「夜間の排泄」「日中の排泄」が高くなっている。

2.7. 主な介護者の現在の勤務形態

◆「働いていない」が4割台半ば

問7 主な介護者の方の現在の勤務形態について、ご回答ください。(1つを選択)

※「パートタイム」とは、「1週間の所定労働時間が、同一の事業所に雇用される通常の労働者に比べて短い方」が該当します。いわゆる「アルバイト」、「嘱託」、「契約社員」等の方を含みます。自営業・フリーランス等の場合も、就労時間・日数等から「フルタイム」・「パートタイム」のいずれかを選択してください。

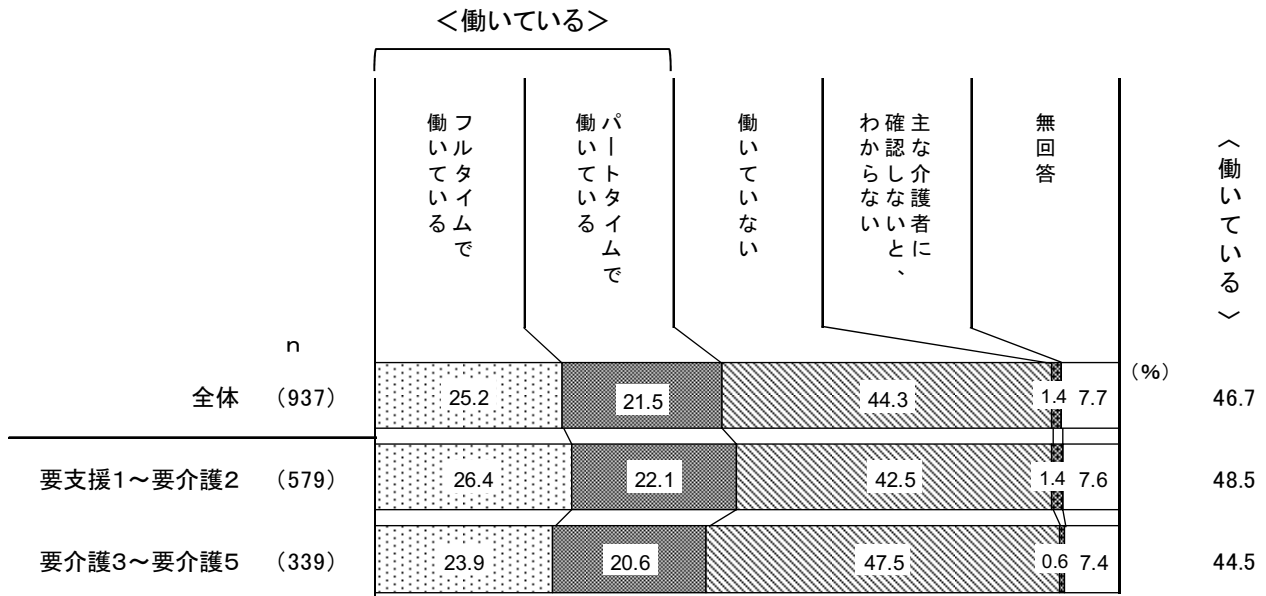
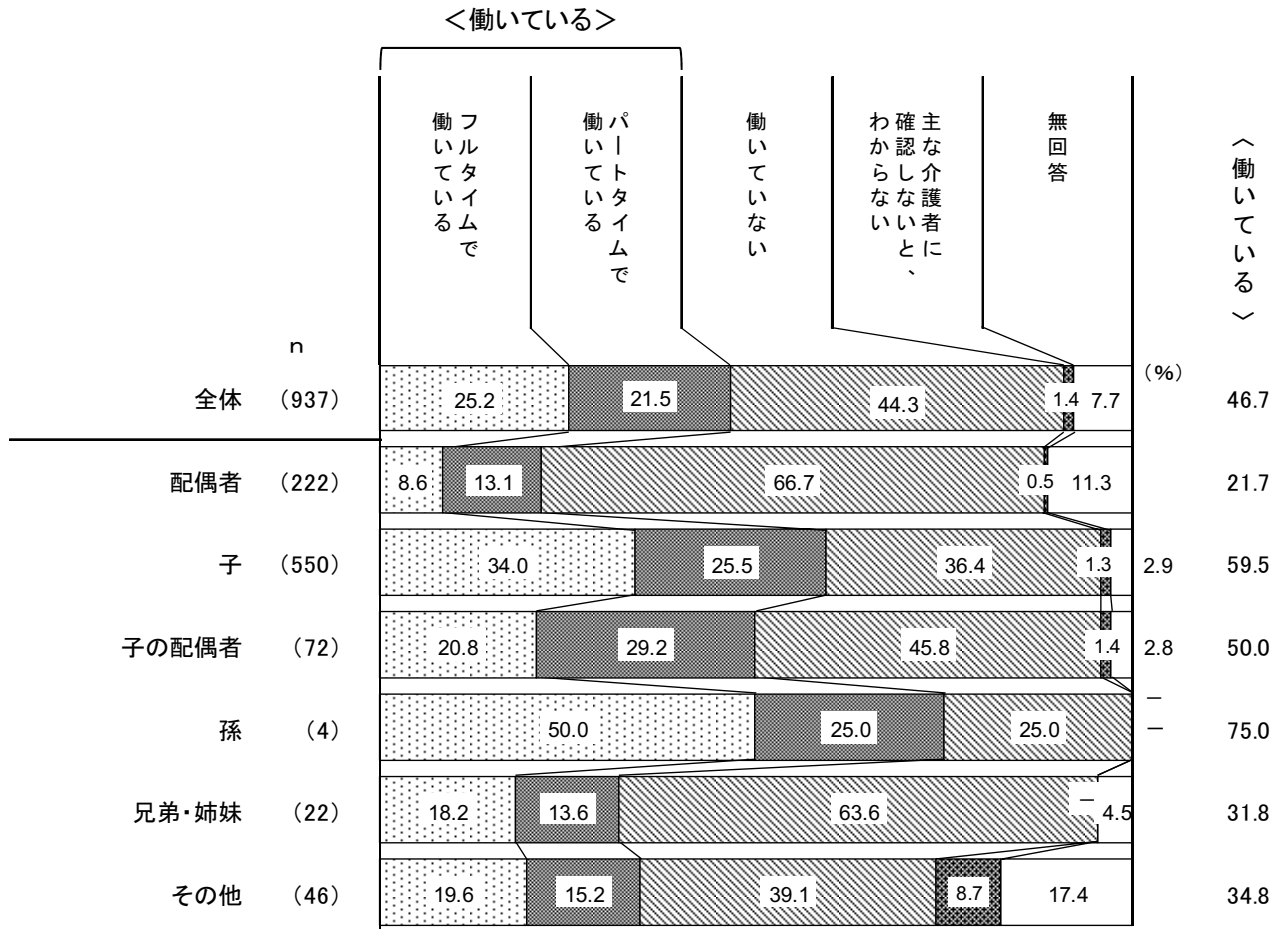


図 2-7 主な介護者の現在の勤務形態

要介護度別でみると、いずれも「働いてない」が最も高くなっており、要介護3～要介護5では4割台後半となっている。

【主な介護者別】主な介護者の現在の勤務形態



主な介護者別で見ると、配偶者と兄弟・姉妹で「働いていない」が高くなっており、いずれも6割を超えている。

2.8. 主な介護者の就労形態の調整

◆「介護のために、『労働時間を調整（残業免除、短時間勤務、遅出・早帰・中抜け等）』しながら、働いている」が約4割

（問7で「フルタイムで働いている」「パートタイムで働いている」と回答した方に）

問8 主な介護者の方は、介護をするにあたって、何か働き方についての調整等をしていますか（複数選択可）

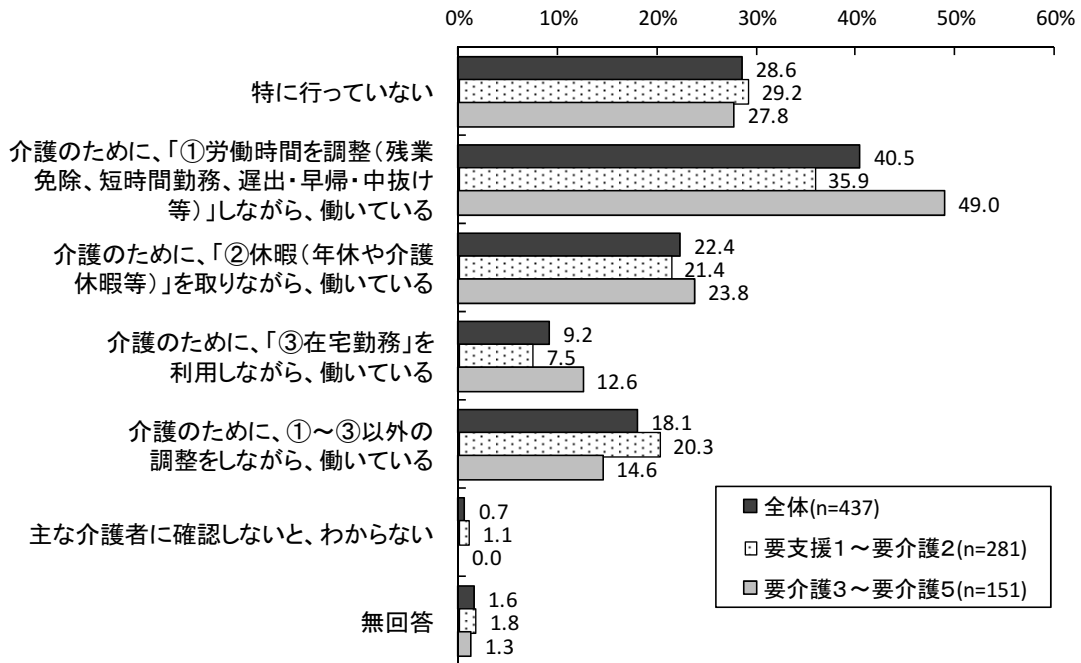


図 2-8 主な介護者の就労形態の調整

要介護度別でみると、要支援1～要介護2で「介護のために、①～③以外の調整をしながら、働いている」、要介護3～要介護5で「介護のために、『①労働時間を調整（残業免除、短時間勤務、遅出・早帰・中抜け等）』しながら、働いている」が高くなっている。

【要介護度別】主な介護者の就労形態の調整

単位：％

区分	有効回答数（件）	特に行っていない	介護のために、『①労働時間を調整（残業免除、短時間勤務、遅出・早帰・中抜け等）』しながら、働いている	介護のために、『②休暇（年休）や介護休暇等』を取りながら働いている	介護のために、『③在宅勤務』を利用しながら、働いている	介護のために、『①』『③』以外の調整をしながら、働いている	主な介護者に確認しないと、わからない	無回答
全体	437	28.6	40.5	22.4	9.2	18.1	0.7	1.6
要支援1	12	25.0	41.7	33.3	8.3	33.3	—	—
要支援2	6	33.3	33.3	33.3	—	16.7	—	—
要介護1	135	31.1	36.3	15.6	5.9	20.7	0.7	2.2
要介護2	128	27.3	35.2	25.8	9.4	18.8	1.6	1.6
要介護3	70	25.7	47.1	20.0	11.4	12.9	—	1.4
要介護4	47	23.4	55.3	29.8	10.6	21.3	—	2.1
要介護5	34	38.2	44.1	23.5	17.6	8.8	—	—
わからない	2	—	50.0	50.0	—	—	—	—

要介護度別では、大きな差異はみられない。

【主な介護者の就労形態別】主な介護者の就労形態の調整

単位：％

区分	有効回答数（件）	特に行っていない	介護のために、『①労働時間を調整（残業免除、短時間勤務、遅出・早帰・中抜け等）』しながら、働いている	介護のために、『②休暇（年休）や介護休暇等』を取りながら働いている	介護のために、『③在宅勤務』を利用しながら、働いている	介護のために、『①』『③』以外の調整をしながら、働いている	主な介護者に確認しないと、わからない	無回答
全体	437	28.6	40.5	22.4	9.2	18.1	0.7	1.6
フルタイムで働いている	236	38.1	30.5	27.1	8.5	12.7	0.4	—
パートタイムで働いている	201	17.4	52.2	16.9	10.0	24.4	1.0	3.5

主な介護者の就労形態別では、フルタイムで働いているで「特に行っていない」、パートタイムで働いているで「介護のために、『①労働時間を調整（残業免除、短時間勤務、遅出・早帰・中抜け等）』しながら、働いている」が高くなっている。

2.9. 仕事と介護の両立に効果がある支援

◆「介護休業・介護休暇等の制度の充実」「労働時間の柔軟な選択（フレックスタイム制など）」が2割を超える

（問7で「フルタイムで働いている」「パートタイムで働いている」と回答した方に）

問9 主な介護者の方は、勤め先からどのような支援があれば、仕事と介護の両立に効果があると思いますか。（3つまで選択可）

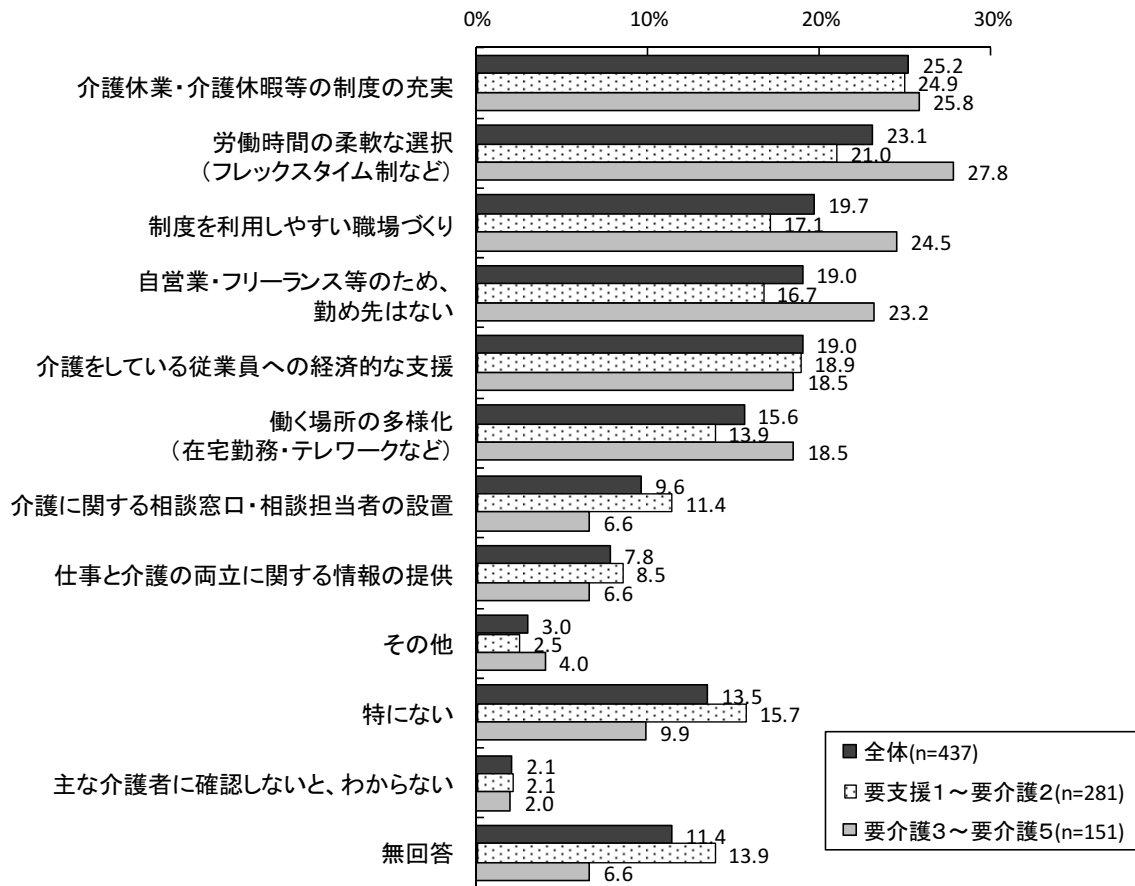


図 2-9 仕事と介護の両立に効果がある支援

要介護度別では、要介護3～要介護5で「労働時間の柔軟な選択（フレックスタイム制など）」が2割台後半と高くなっている。

【要介護度別】仕事と介護の両立に効果がある支援

単位：%

区分	有効回答数（件）	勤め先はない	自営業・フリーランス等のため、	介護休業・介護休暇等の制度の充実	制度を利用しやすい職場づくり	労働時間の柔軟な選択（フレックスタイム制など）	働く場所の多様化（在宅勤務・テレワークなど）	仕事と介護の両立に関する情報の提供	介護に関する相談窓口・相談担当者の設置	介護をしながらの従業員への経済的な支援	その他	特になし	主な介護者に確認しないと、わからない	無回答
全体	437	19.0	25.2	19.7	23.1	15.6	7.8	9.6	19.0	3.0	13.5	2.1	11.4	
要支援1	12	—	16.7	8.3	33.3	16.7	8.3	—	—	8.3	25.0	—	33.3	
要支援2	6	16.7	16.7	16.7	50.0	16.7	—	—	50.0	—	—	—	—	
要介護1	135	17.8	26.7	17.8	19.3	10.4	7.4	11.1	15.6	1.5	19.3	2.2	12.6	
要介護2	128	17.2	24.2	17.2	20.3	17.2	10.2	13.3	22.7	3.1	11.7	2.3	14.1	
要介護3	70	22.9	28.6	25.7	24.3	15.7	4.3	7.1	21.4	1.4	11.4	1.4	7.1	
要介護4	47	27.7	27.7	21.3	27.7	14.9	6.4	8.5	14.9	2.1	10.6	4.3	4.3	
要介護5	34	17.6	17.6	26.5	35.3	29.4	11.8	2.9	17.6	11.8	5.9	—	8.8	
わからない	2	—	—	—	—	—	—	—	50.0	—	—	—	50.0	

要介護度別では、要介護1～要介護4で「介護休業・介護休暇等の制度の充実」が高くなっている。

【主な介護者の就労形態別】仕事と介護の両立に効果がある支援

単位：%

区分	有効回答数（件）	勤め先はない	自営業・フリーランス等のため、	介護休業・介護休暇等の制度の充実	制度を利用しやすい職場づくり	労働時間の柔軟な選択（フレックスタイム制など）	働く場所の多様化（在宅勤務・テレワークなど）	仕事と介護の両立に関する情報の提供	介護に関する相談窓口・相談担当者の設置	介護をしながらの従業員への経済的な支援	その他	特になし	主な介護者に確認しないと、わからない	無回答
全体	437	19.0	25.2	19.7	23.1	15.6	7.8	9.6	19.0	3.0	13.5	2.1	11.4	
フルタイムで働いている	236	19.5	26.7	23.3	26.3	20.8	7.2	8.1	17.8	2.1	11.0	2.1	9.3	
パートタイムで働いている	201	18.4	23.4	15.4	19.4	9.5	8.5	11.4	20.4	4.0	16.4	2.0	13.9	

主な介護者の就労形態別では、フルタイムで働いているで「介護休業・介護休暇等の制度の充実」「労働時間の柔軟な選択（フレックスタイム制など）」「制度を利用しやすい職場づくり」、パートタイムで働いているで「介護をしながらの従業員への経済的な支援」が高くなっている。

【就労している主な介護者の今後の介護の見通し別】仕事と介護の両立に効果がある支援

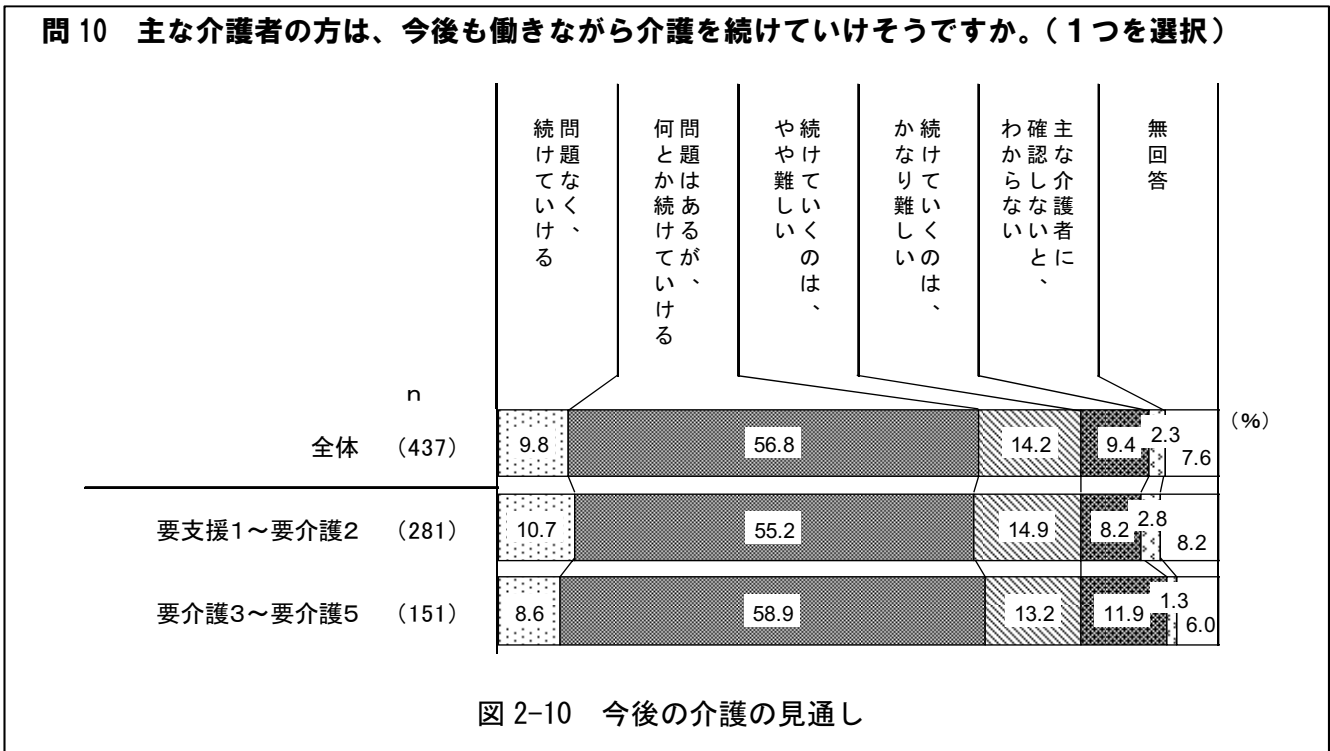
単位：%

区分	有効回答数（件）	勤め先はない	自営業・フリーランス等のため、	介護休業・介護休暇等の制度の充実	制度を利用しやすい職場づくり	労働時間の柔軟な選択（フレックスタイム制など）	働く場所の多様化（在宅勤務・テレワークなど）	仕事と介護の両立に関する情報の提供	相談担当者の設置	介護に関する相談窓口・経済的な支援	介護をしている従業員への	その他	特になし	主な介護者に確認しないと、わからない	無回答
全体	437	19.0	25.2	19.7	23.1	15.6	7.8	9.6	19.0	3.0	13.5	2.1	11.4		
問題なく、 続けていける	43	16.3	20.9	14.0	25.6	14.0	9.3	4.7	7.0	0.0	41.9	0.0	2.3		
問題はあるが、 何とか続けていける	248	18.5	28.2	21.8	25.8	15.3	6.9	10.9	19.4	2.0	13.7	0.8	8.1		
続けていくのは、 やや難しい	62	25.8	30.6	22.6	19.4	24.2	12.9	14.5	38.7	1.6	3.2	1.6	3.2		
続けていくのは、 かなり難しい	41	29.3	24.4	26.8	29.3	22.0	7.3	9.8	17.1	14.6	2.4	0.0	2.4		
主な介護者に確認 しないと、わからない	10	10.0	20.0	0.0	10.0	0.0	10.0	0.0	0.0	0.0	0.0	10.0	60.0	0.0	

就労している主な介護者の今後の介護の見通し別でみると、続けていくのは、やや難しいで「介護をしている従業員への経済的な支援」、続けていくのは、かなり難しいで「自営業・フリーランス等のため、勤め先はない」「労働時間の柔軟な選択（フレックスタイム制など）」が高くなっている。

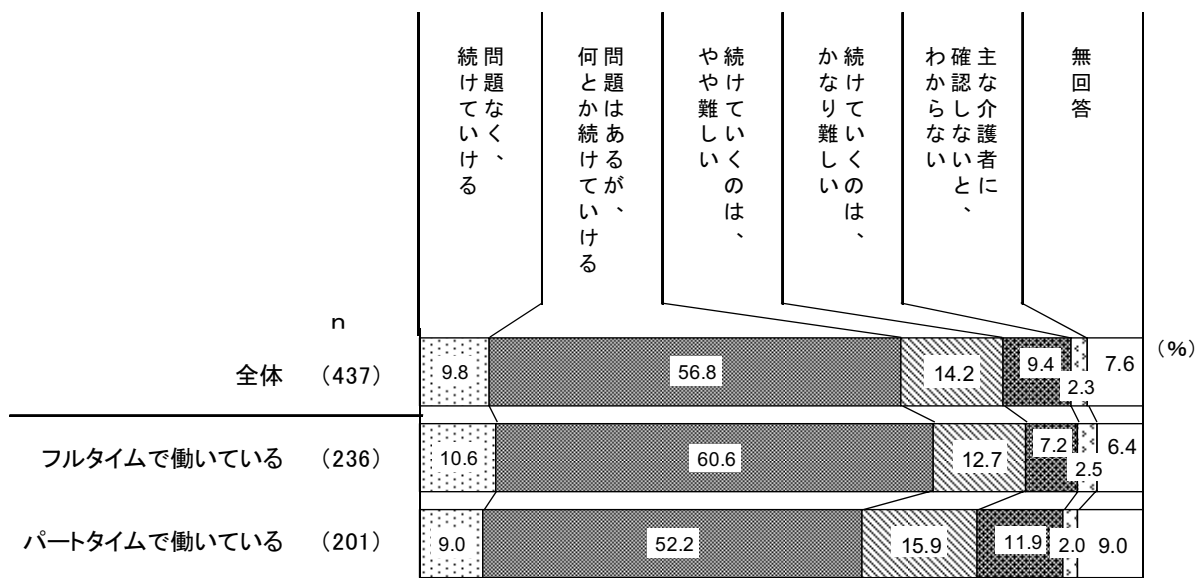
2.10. 今後の介護の見通し

◆「問題はあるが、何とか続けていける」が5割台半ば



要介護度別では、いずれも「問題はあるが、何とか続けていける」が最も高くなっており、要介護3～要介護5で5割台後半となっている。

【主な介護者の就労形態別】今後の介護の見通し

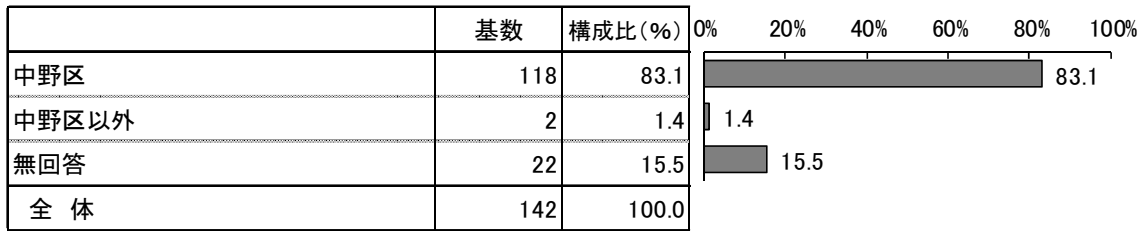


主な介護者の就労形態別でみると、フルタイムで働いているで「問題はあるが、何とか続けていける」が高くなっている。

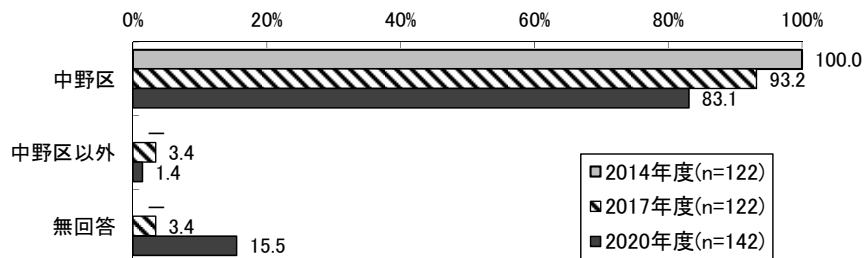
ケアマネジャー調査

1. 回答者の属性

1.1. 所属する事業所の所在地

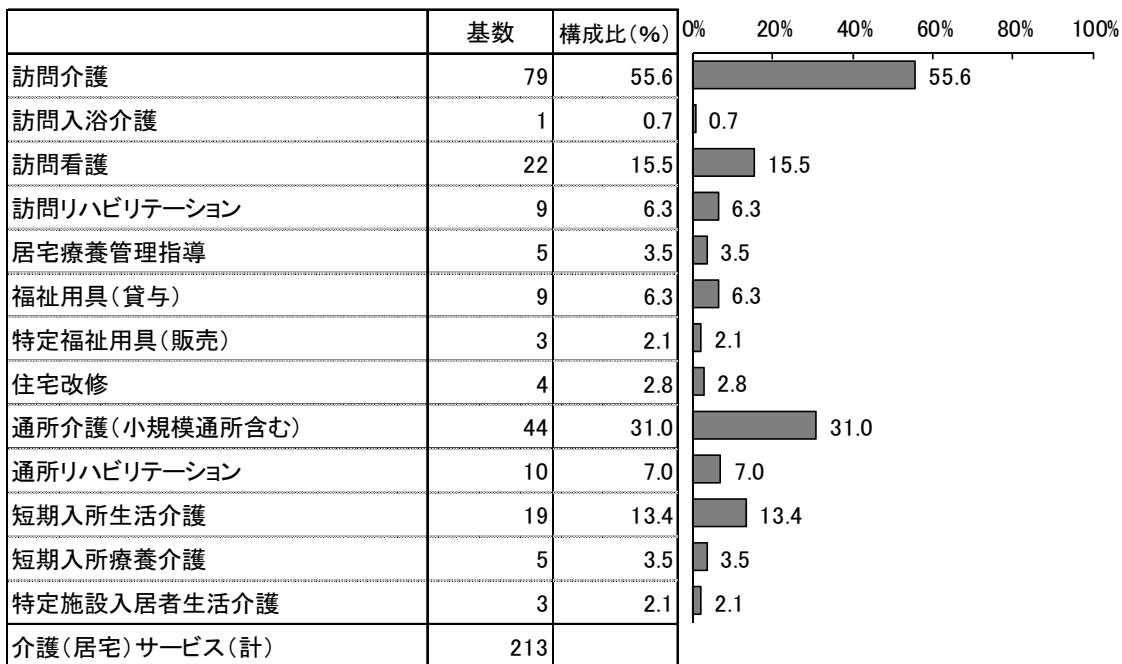


【経年比較】所属する事業所の所在地

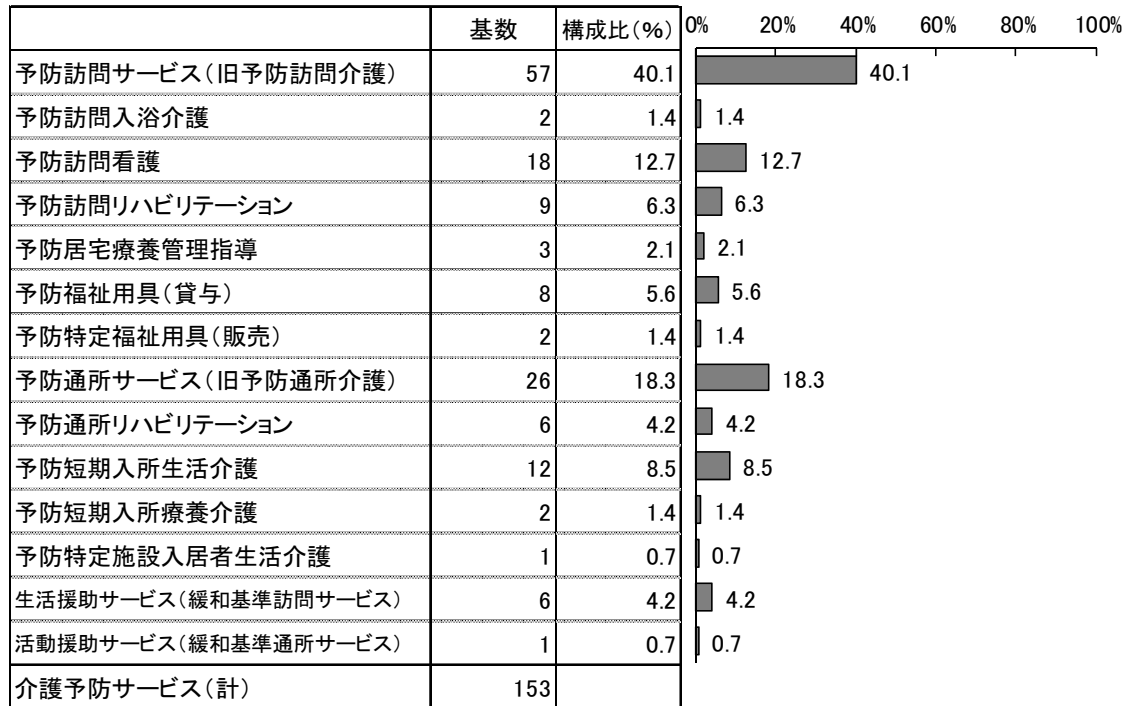


1.2. 所属する事業所が提供するサービス（複数回答）

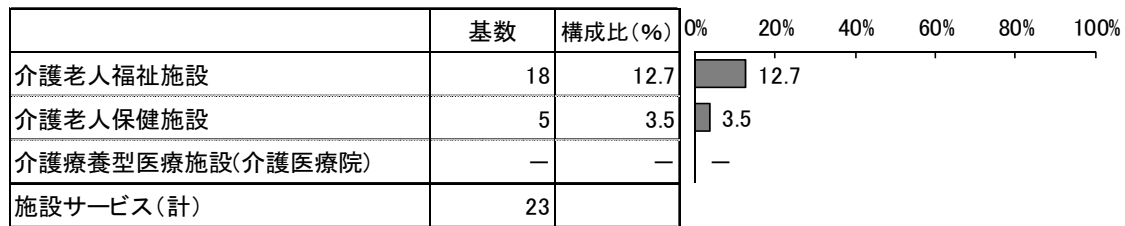
<介護（居宅）サービス>



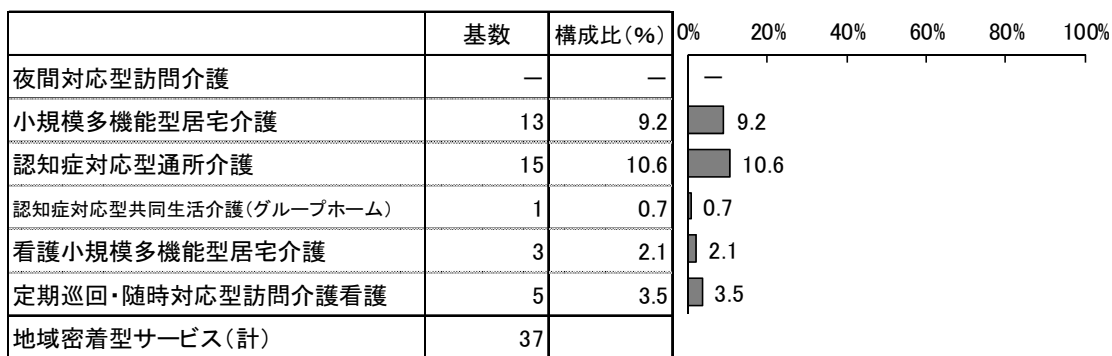
<介護予防サービス>



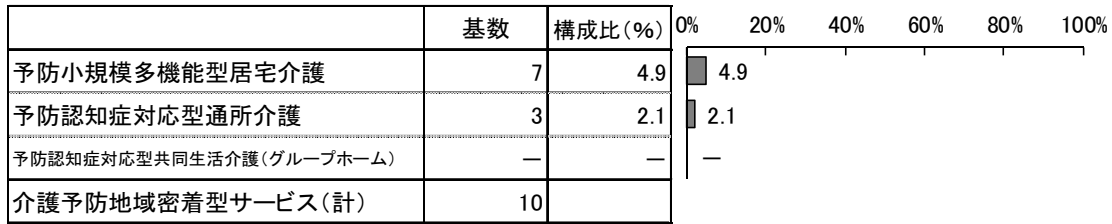
<施設サービス>



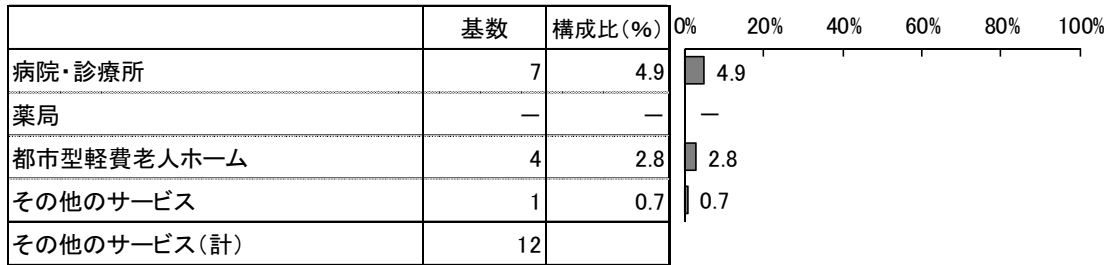
<地域密着型サービス>



<介護予防（地域密着型）サービス>



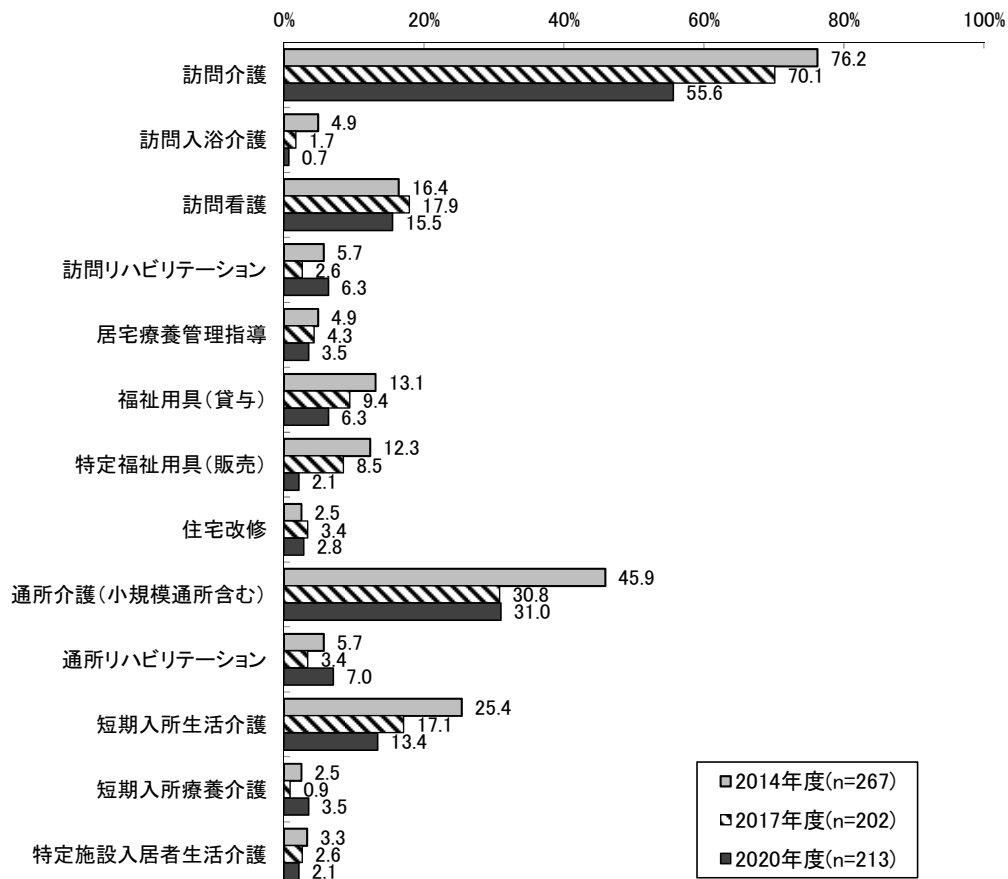
<その他のサービス>



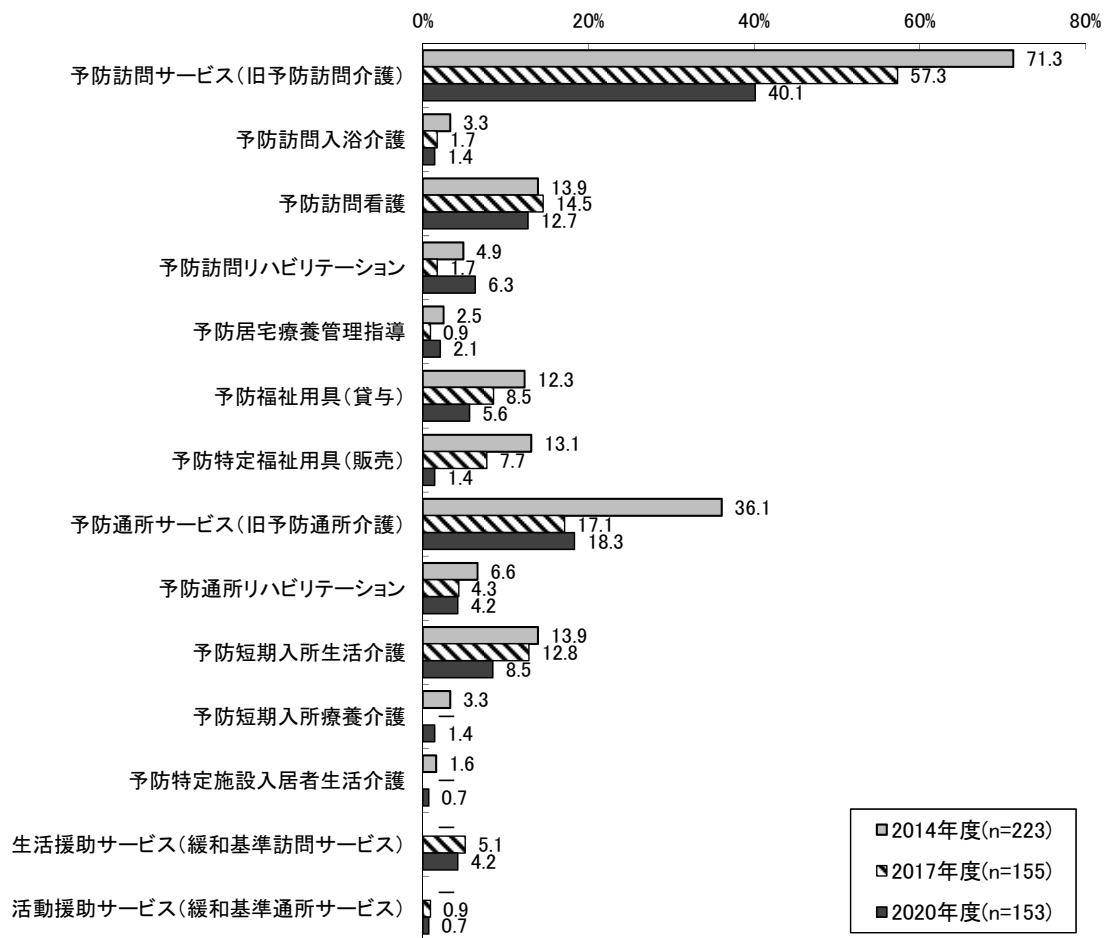
<その他>



【経年比較】介護（居宅）サービス

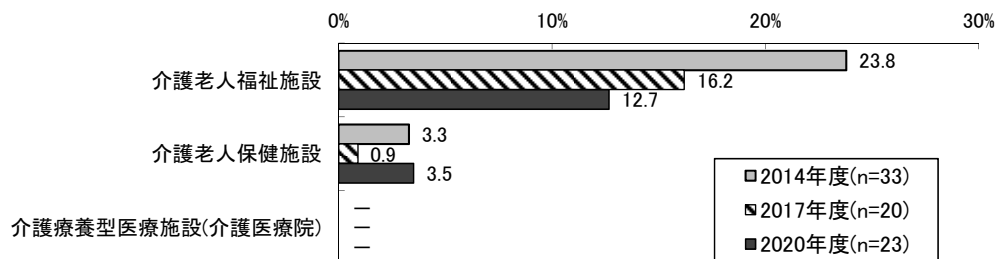


【経年比較】介護予防サービス

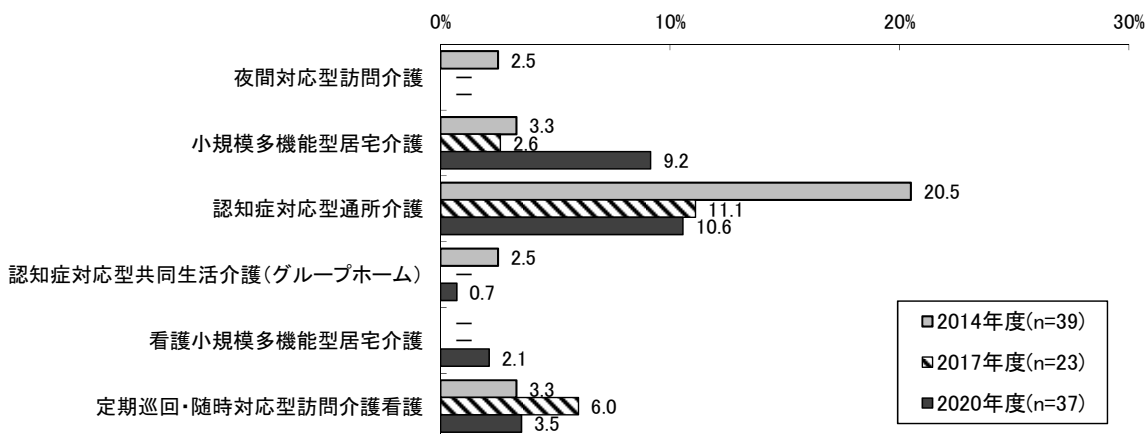


※2014年度は、「生活援助サービス(緩和基準訪問サービス)」「活動援助サービス(緩和基準通所サービス)」の選択肢はない。

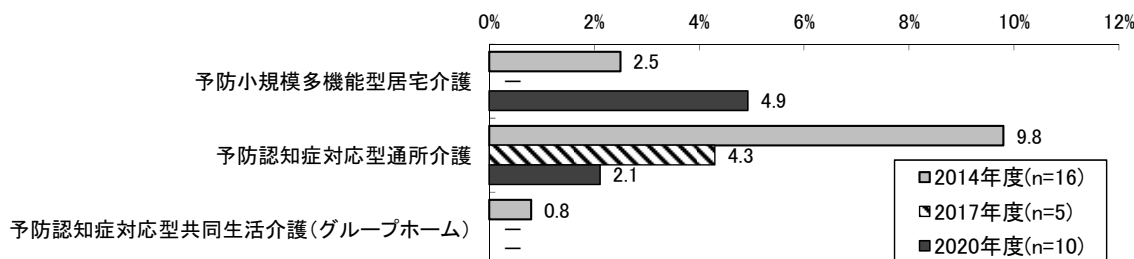
【経年比較】施設サービス



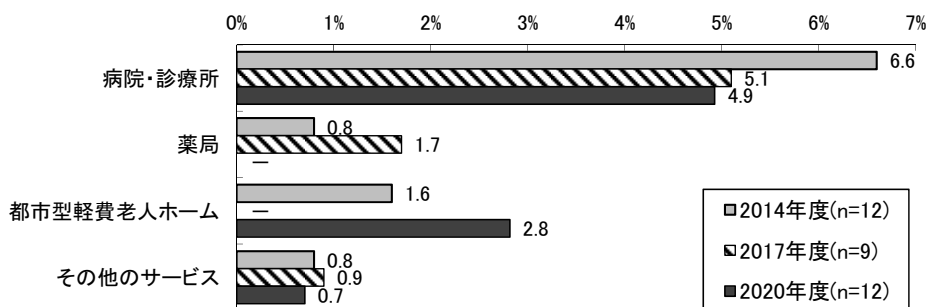
【経年比較】地域密着型サービス



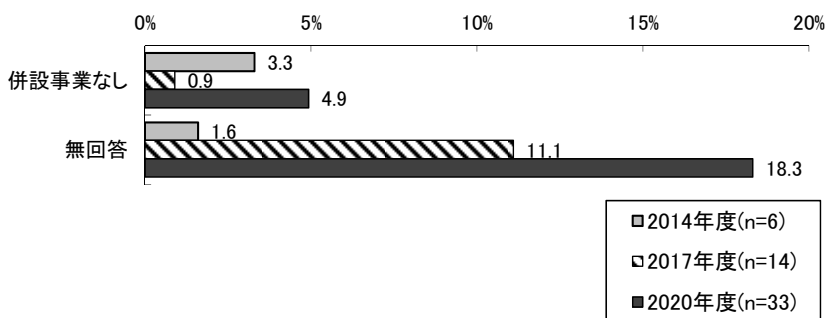
【経年比較】介護予防地域密着型サービス



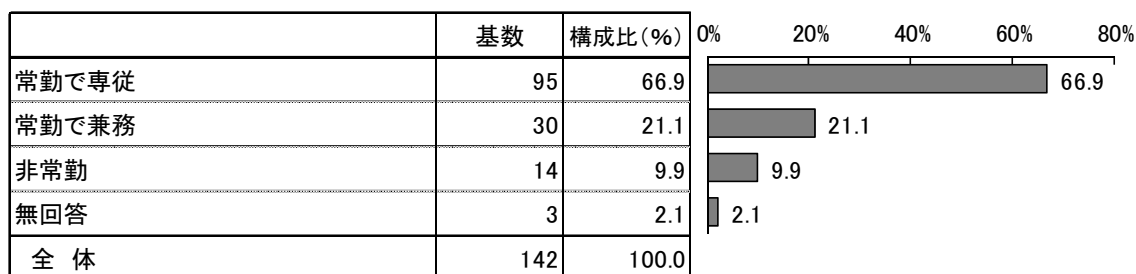
【経年比較】その他のサービス



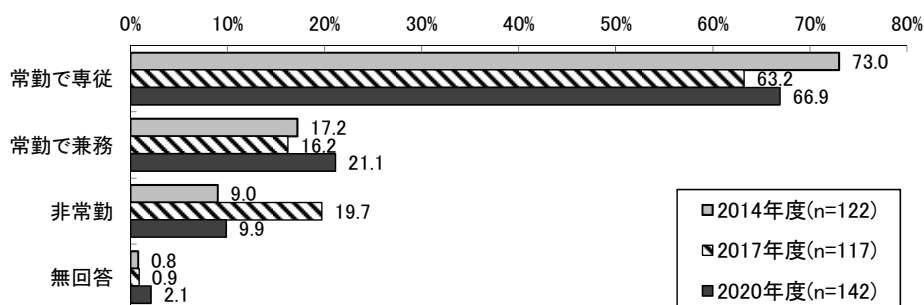
【経年比較】その他



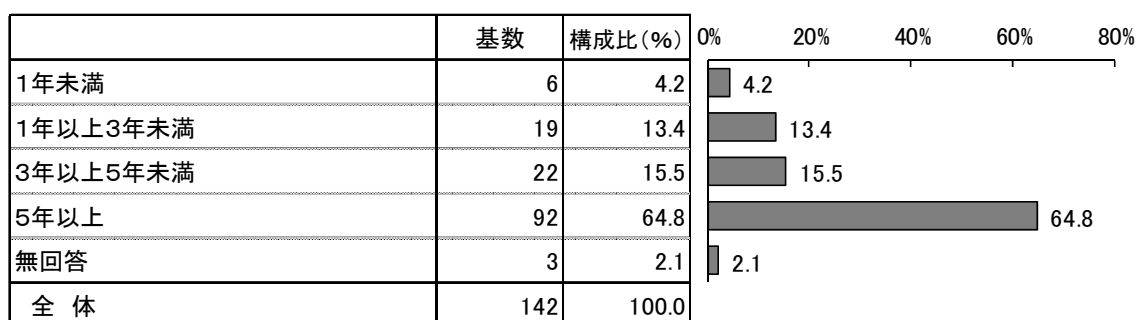
1.3. 勤務体系



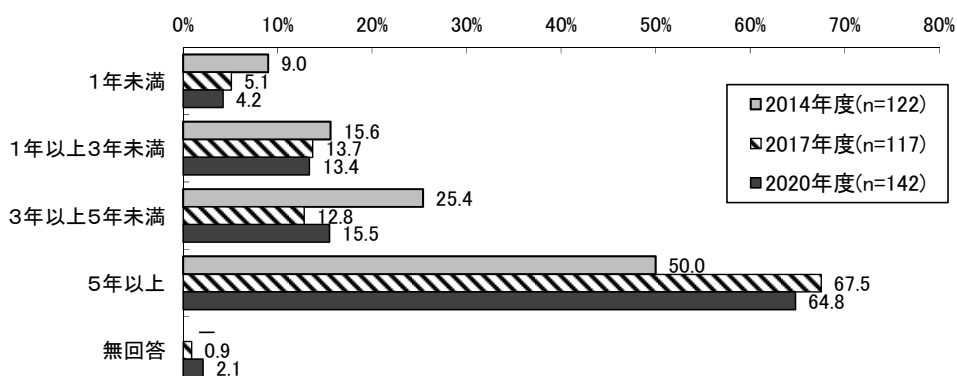
【経年比較】勤務体系



1.4. ケアマネジャーとしての従事期間

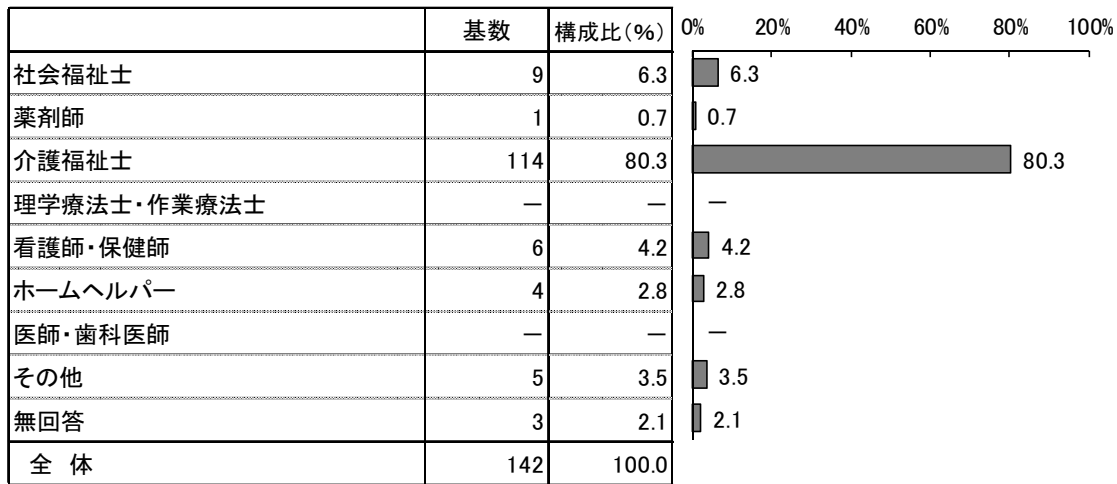


【経年比較】ケアマネジャーとしての従事期間

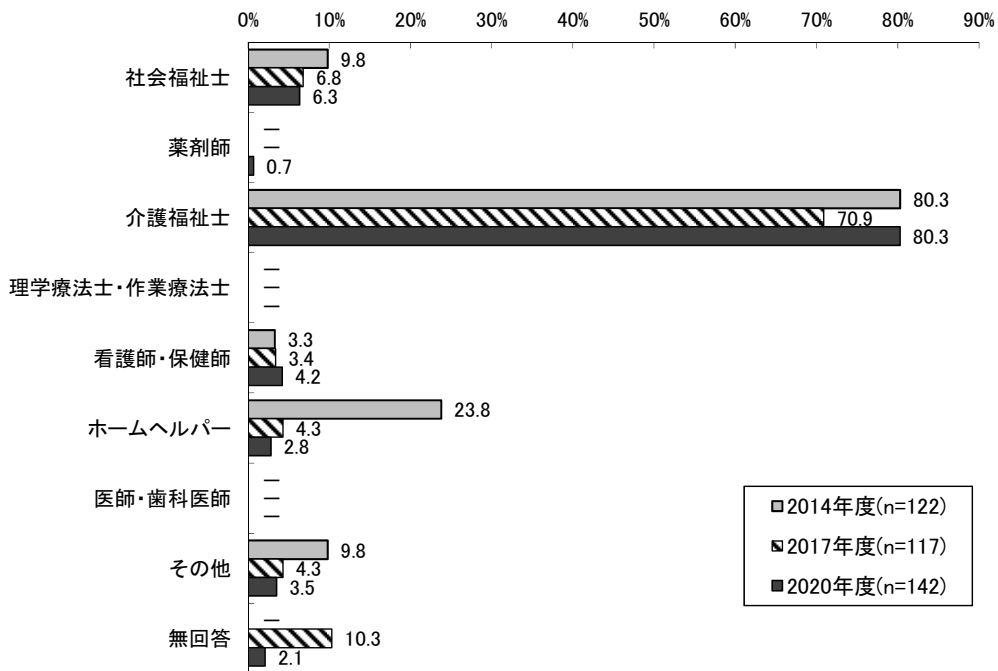


1.5. ケアマネジャー受験資格と当該職種の従事年数

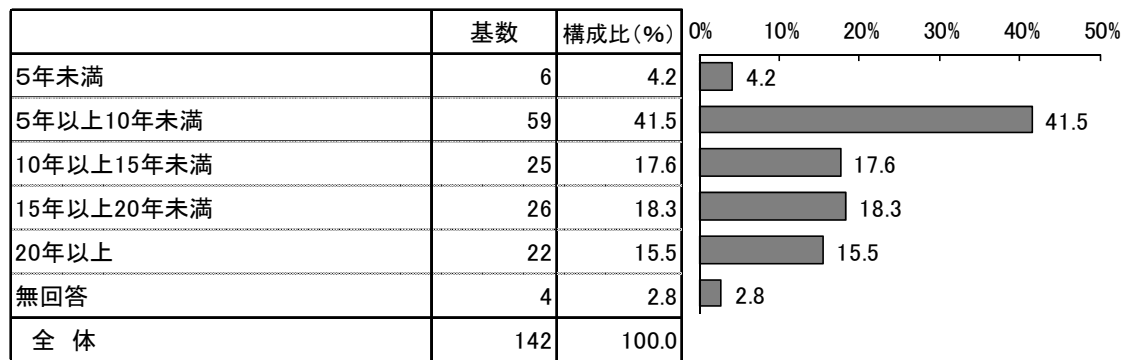
<受験資格>



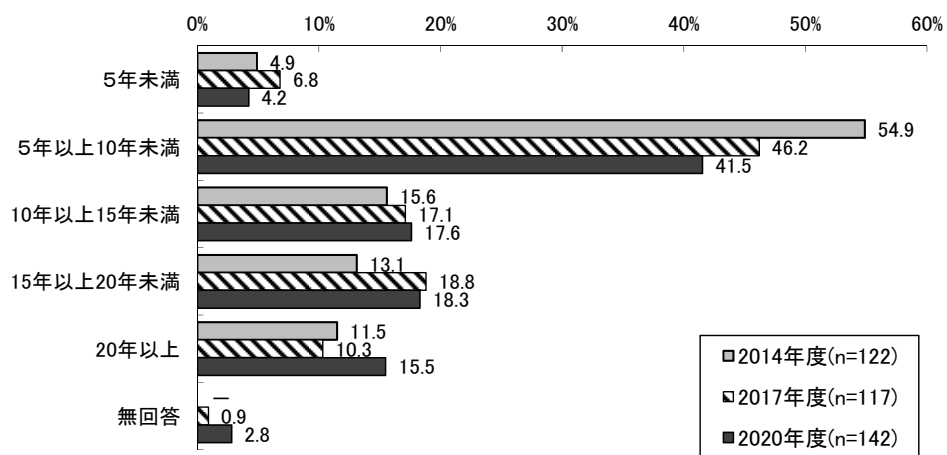
【経年比較】受験資格



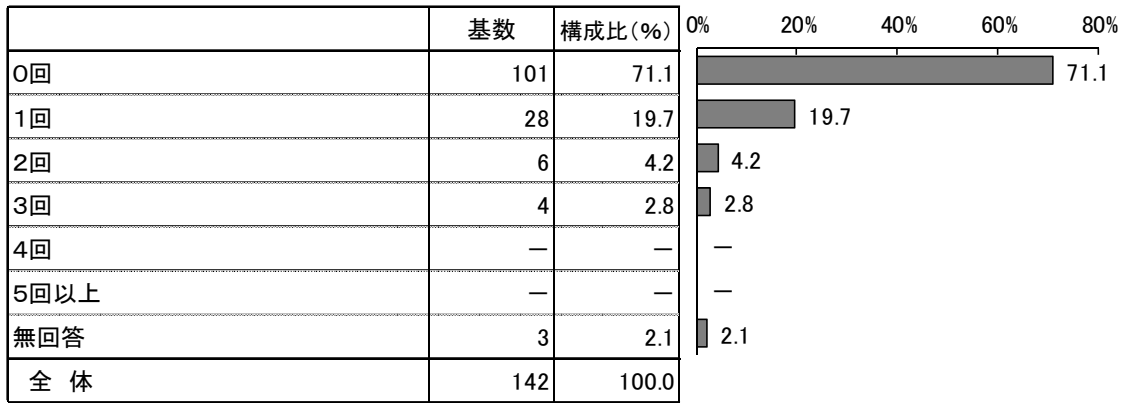
<当該職種の従事年数>



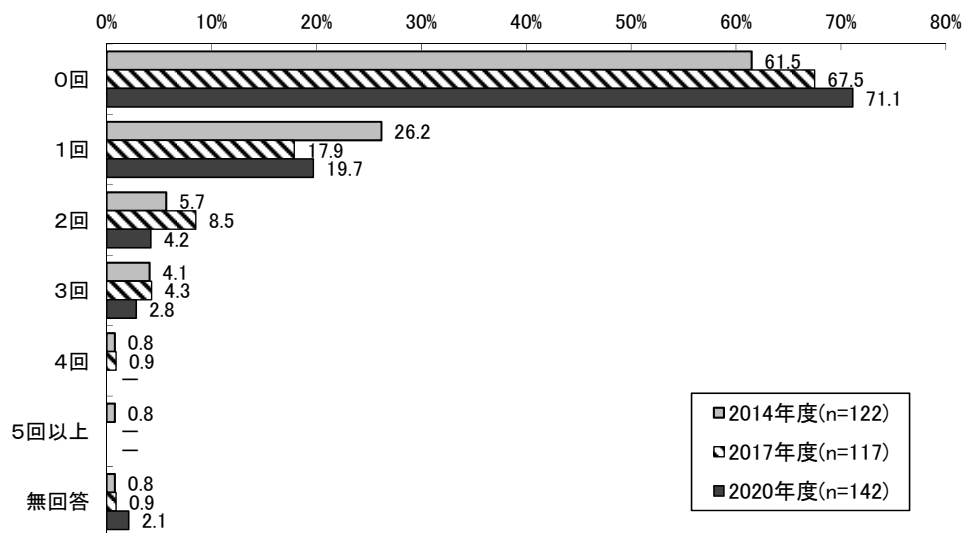
【経年比較】当該職種の従事年数



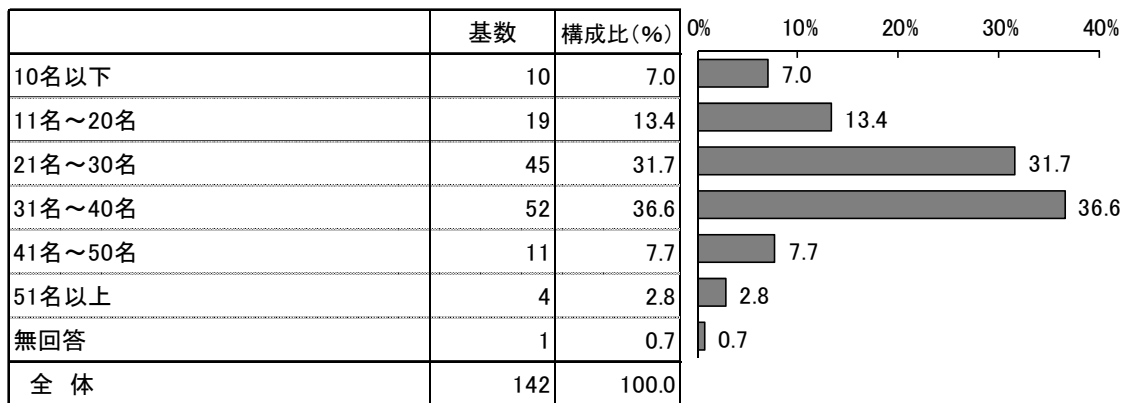
1.6. 過去3年間で、所属事業所を変った回数



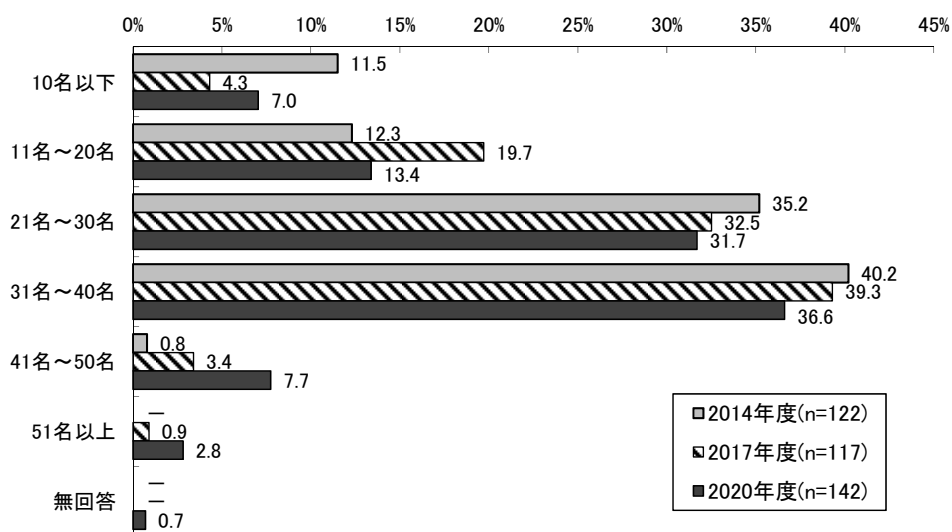
【経年比較】過去3年間で、所属事業所を変った回数



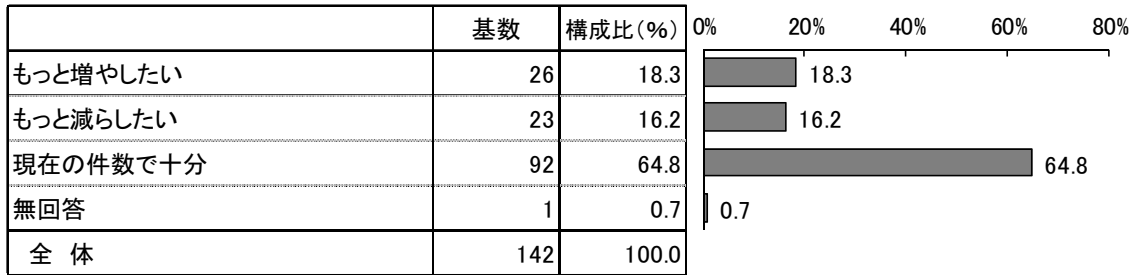
1.7. 居宅サービス計画の作成人数



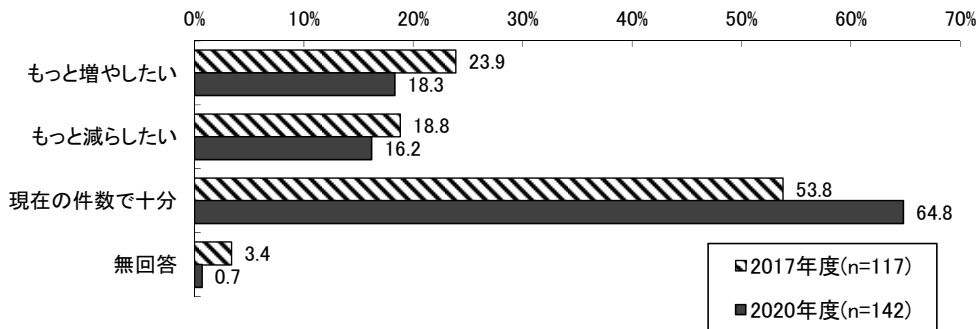
【経年比較】居宅サービス計画の作成人数



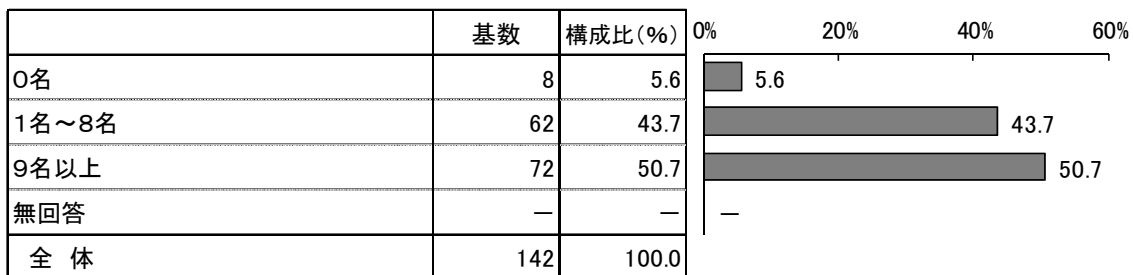
1.8. 作成する居宅サービス計画の件数



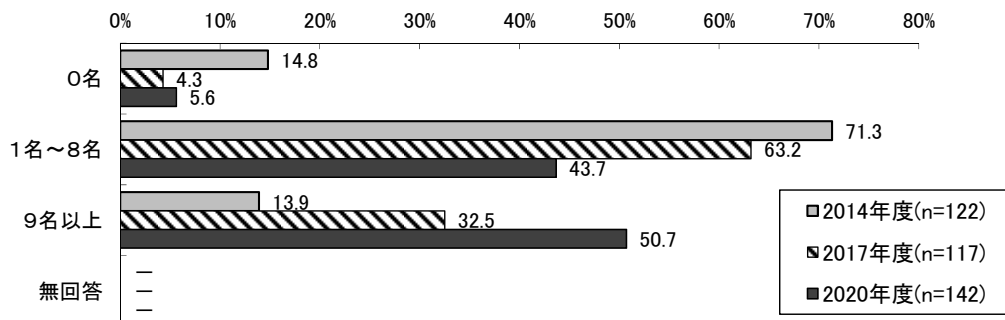
【経年比較】作成する居宅サービス計画の件数



1.9. 介護予防サービス計画の受託または作成人数



【経年比較】介護予防サービス計画の受託または作成人数



2. ケアプラン・介護予防について

2.1. 作成するケアプランの件数について

◆「現在の件数で十分」と「もっと減らしたい」がいずれも4割台半ば

問 10 受託または作成する介護予防サービス計画の件数について、次の中から選んでください。
(○は1つ)

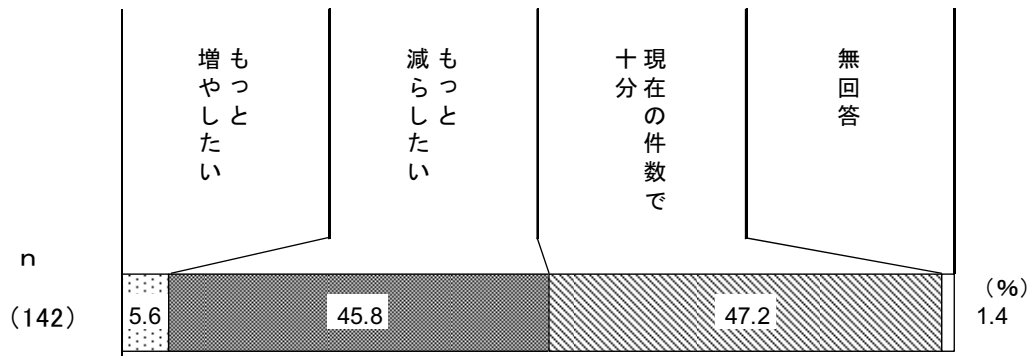
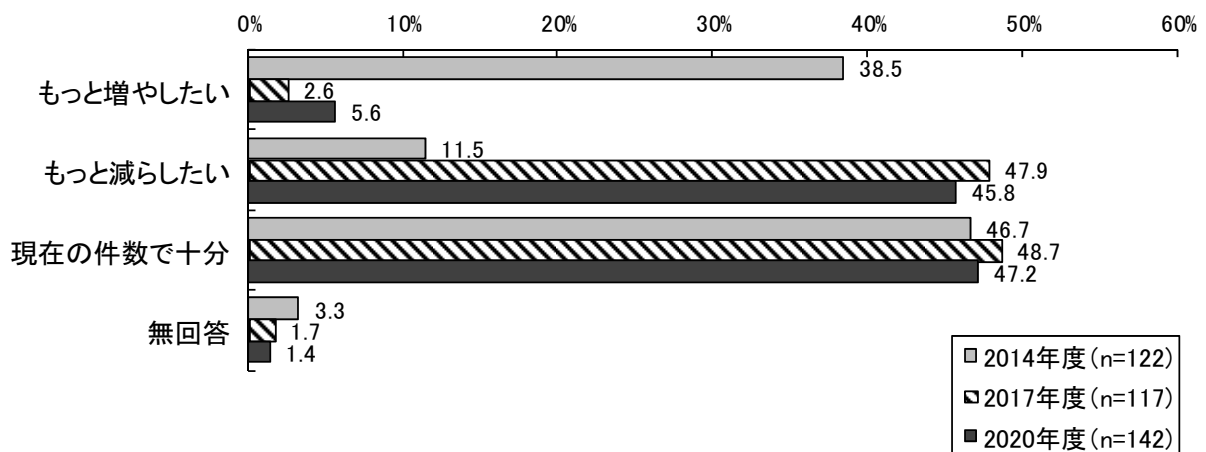


図 2-1 作成するケアプランの件数について



※2014年度、2017年度は複数回答の設問 (○は2つ)。

図 2-2 【経年比較】作成するケアプランの件数について

2.2. 現行の介護サービスが要介護者等の自立支援に果たす役割

◆「ある程度果たしている」が7割台半ば

問 11 介護保険制度は要介護者等の自立支援を目的の一つとしていますが、現行の介護サービスはその役割を十分果たしていると思いますか。(○は1つ)

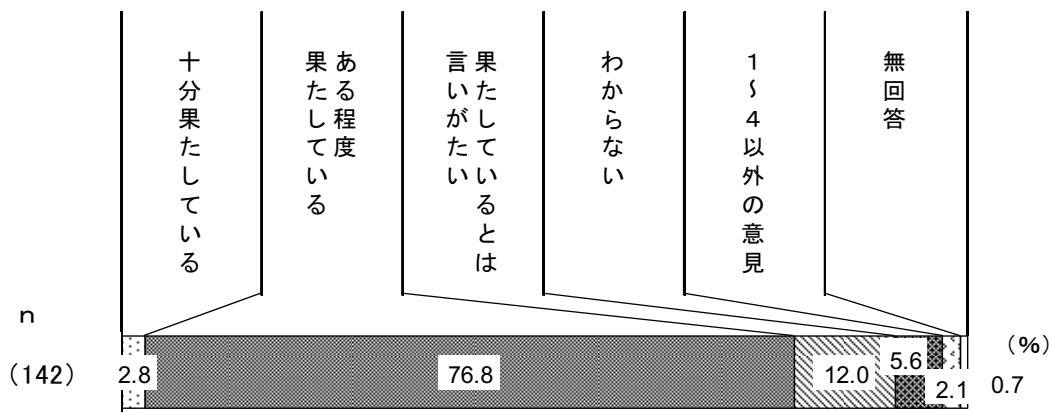


図 2-3 現行の介護サービスが要介護者等の自立支援に果たす役割

「ある程度果たしている」が7割台半ばと特に高くなっている。

【1～4以外の意見】

- ・自立支援型ケアマネジメントについて、サービス事業所の理解が薄い。もう少し勉強して欲しい。
- ・認知症と肢体的に介護が必要な人では支援のありかたが違うと思うが、すべて同じプログラムになっているように感じる。
- ・サービスの使い方による

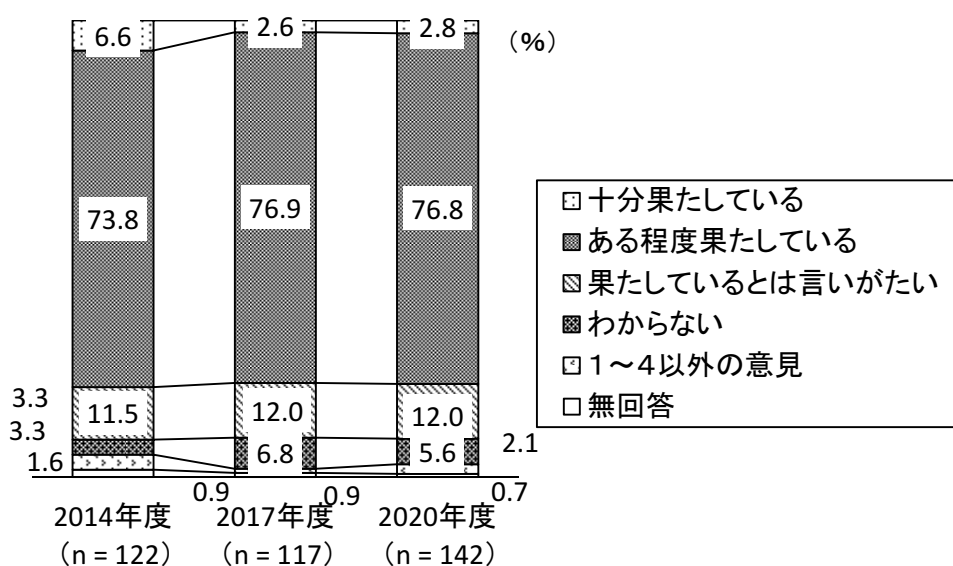
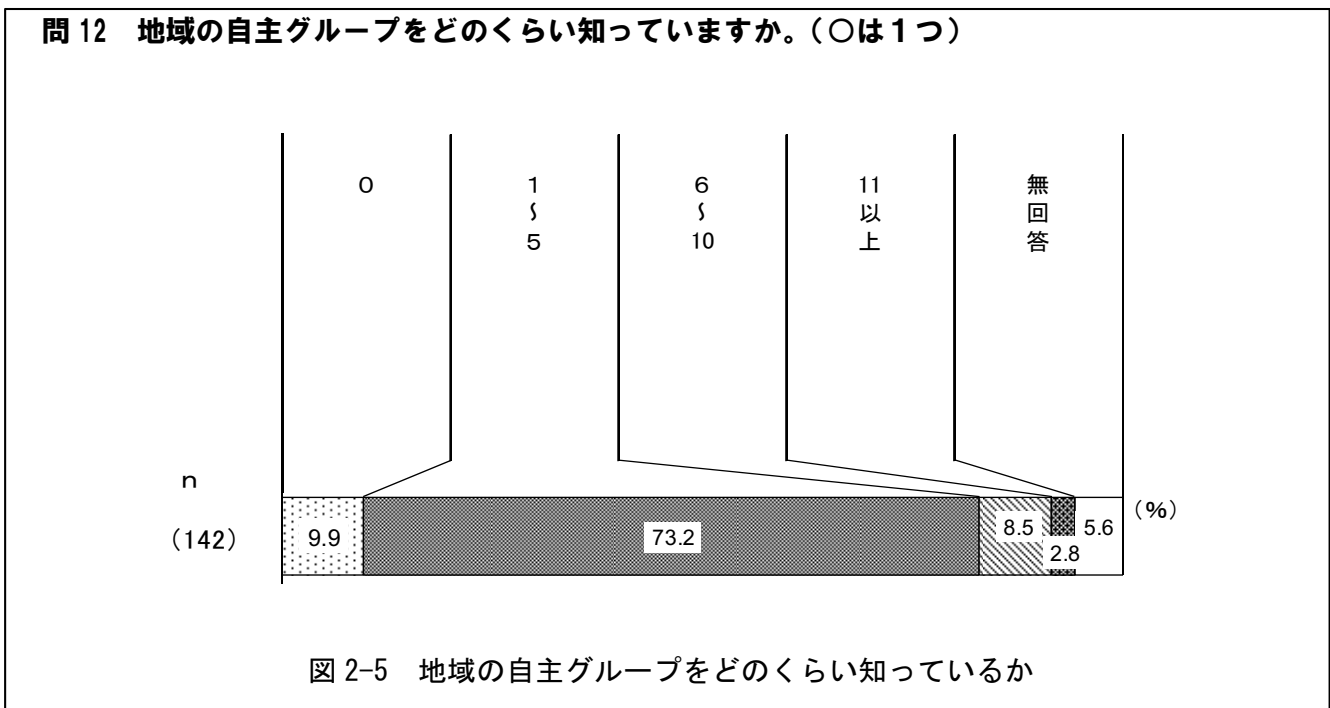


図 2-4 【経年比較】 現行の介護サービスが要介護者等の自立支援に果たす役割

経年比較でみると、大きな差異はみられない。

2.3. 地域の自主グループをどのくらい知っているか

◆「1～5」グループが7割台前半



地域の自主グループは、「1～5」グループを知っているが7割台前半と高くなっている。

2.4. ケアプランに地域資源を盛り込んでいるか

◆「はい」が9割台半ば

問 13 ケアプランに介護保険外のボランティアや地域活動等の地域資源を盛り込んでいますか。

(○は1つ)

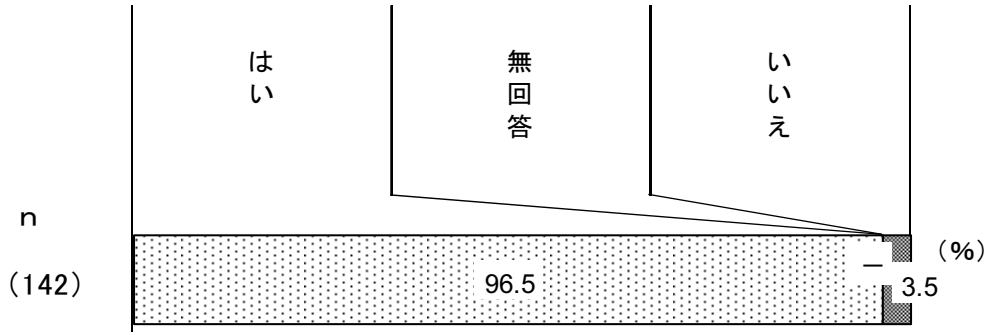


図 2-6 ケアプランに地域資源を盛り込んでいるか

「はい」が9割台半ばで高くなっている。

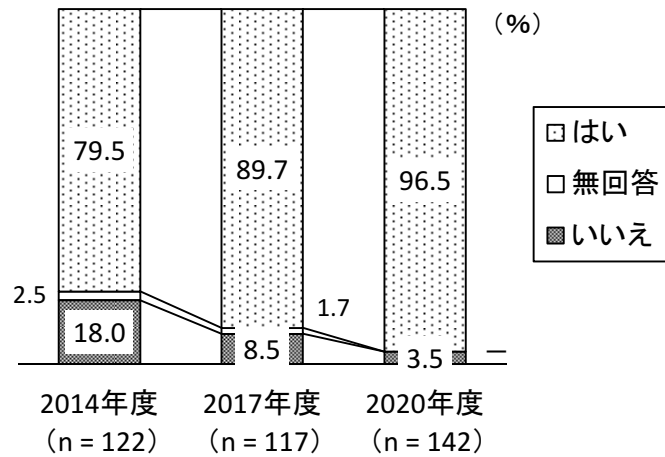


図 2-7 【経年比較】ケアプランに地域資源を盛り込んでいるか

経年比較では、2014年度と比べて「はい」が17.0ポイント増加している。

2.5. ケアプランに盛り込んでいる地域資源

◆「民間の配食サービス」が8割台後半

(問13で「はい」と回答した方に)

問13A 具体的にケアプランに盛り込んでいる地域資源はなんですか。

(あてはまるものすべてに○)

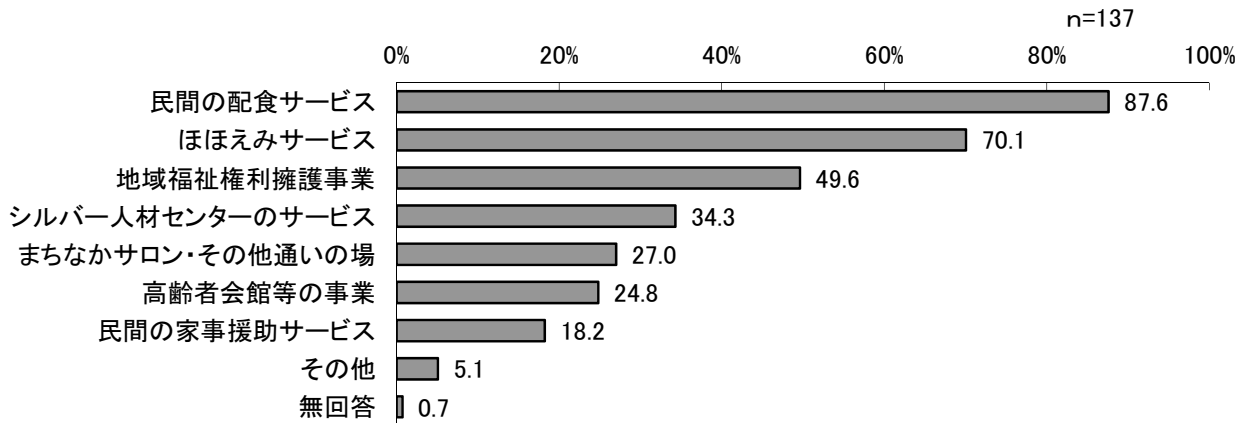


図2-8 ケアプランに盛り込んでいる地域資源

「民間の配食サービス」が最も高くなっており、次いで「ほほえみサービス」「地域福祉権利擁護事業」「シルバー人材センターのサービス」となっている。

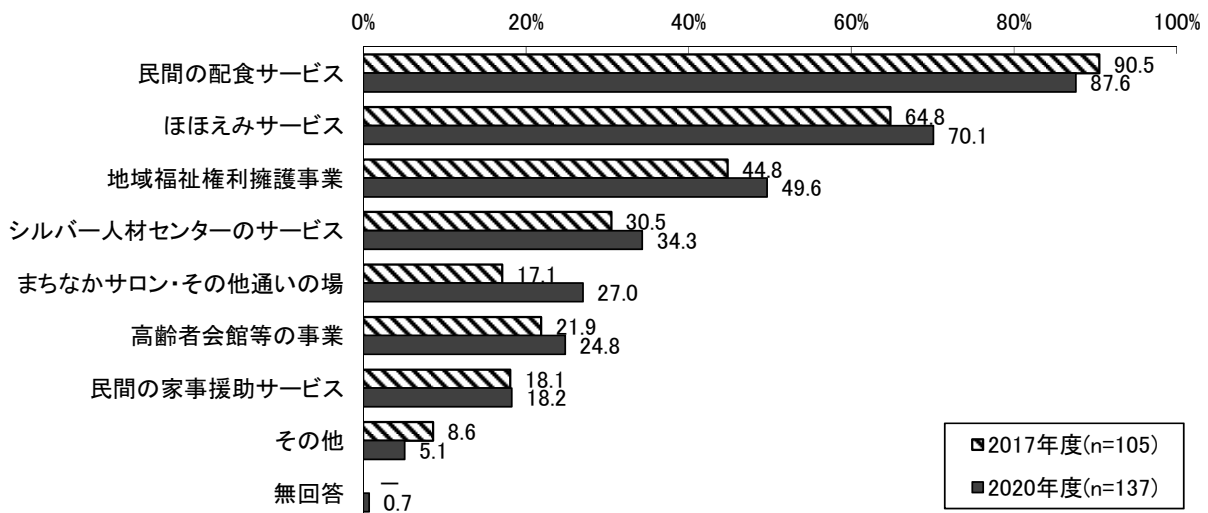


図2-9 【経年比較】ケアプランに盛り込んでいる地域資源

経年比較でみると、「民間の配食サービス」「その他」を除くすべての項目で割合が増加している。

2.6. ケアプランに地域資源を盛り込む上での課題（自由回答）

問 14 ケアプランに地域資源を盛り込む上での課題は何だと思えますか。ご自由にお書きください。

ケアプランに地域資源を盛り込む上での課題を自由に記入していただいたところ、96 人の方から回答があった。ここでは、その中から代表的な意見を掲載する。

- 地域資源について情報や知識が乏しい。
- 地域資源にバラつきがある。
- まちなかサロン、高齢者会館へ行かせたくても一人で行けない利用者がいる。有料では経済的負担になり行けない。認知症があるとまわりの人達の理解が得られない。
- 介護保険のサービスばかりになり、地域との交流が少なくならないよう気をつけている。
- いかにレスパイトの効果をもり込むか。
- 地域の情報を常に収集して、各利用者に適切なサービスを紹介して満足していただく。生活の質が向上していく為には各ケアマネが地域を知り、利用者のニーズをきちんと把握すること。大人数を担当していたら難しい。
- 要介護度が重度になるほど、社会参加が困難になってしまう。重度の方も参加できる社会資表、リストのようなものがあるとプランに盛り込み参加できるよう担当者会議等で話し合う機会が作れる。
- 報酬に反映されない。
- 地域でのこれまでの暮らしぶりをお聞きし、ご本人様が望む暮らしや取り戻した生活を引き出し、それを「目標」とする。それをめざしていくために地域に存在する地域資源の情報を収集していく。そしてその人に合った資源を活用していく。理想ですが、なかなかむすびついていかない現状があります。
- 身近でご本人への援助体制は広がりますが、個人情報流出もともなう為、地域の方々にもそういう点について周知する必要があると思います。ご家族の情報も知られてしまうので、十分な注意が必要です。
- 盛り込むことで支援者が義務的に思ってしまったたり、強制されているように考えてしまったたりする心配がある。友人や知人、近隣住人はあくまで善意の協力者なので、必ずやってくれるわけではない。協力者の負担になるような形はとりたくない。
- 利用開始に時間を要することが多い。
- サービス実施の確実性が低いこと。
- 通うサービスは送迎の問題がクリアできず難しい。行けていた人もコロナ禍で中止になり場がなくなってしまった。

2.7. 供給不足のため、利用者に提供できないサービス

◆供給不足のため利用者に提供できないサービスは「介護老人保健施設」が5割台後半

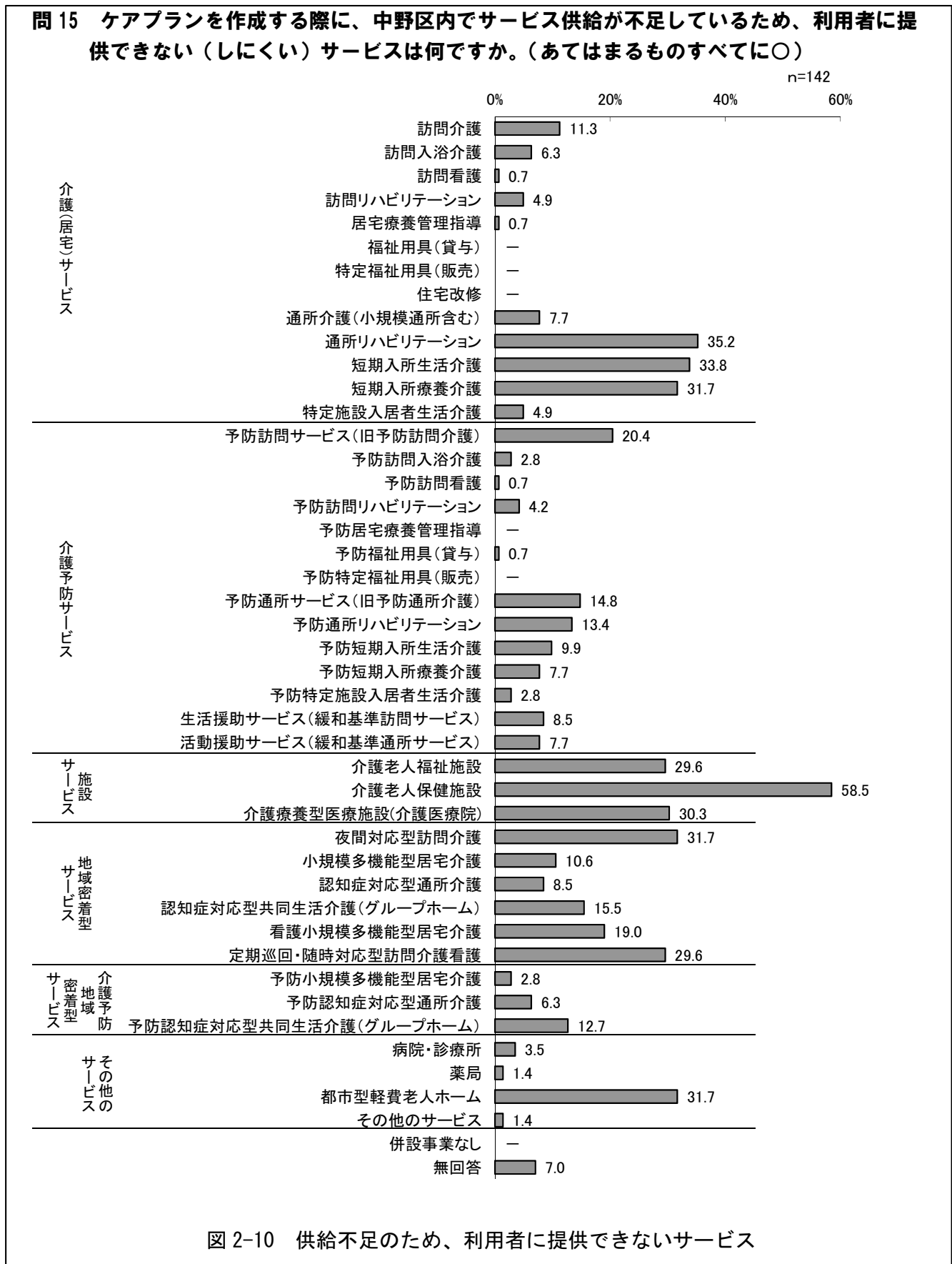
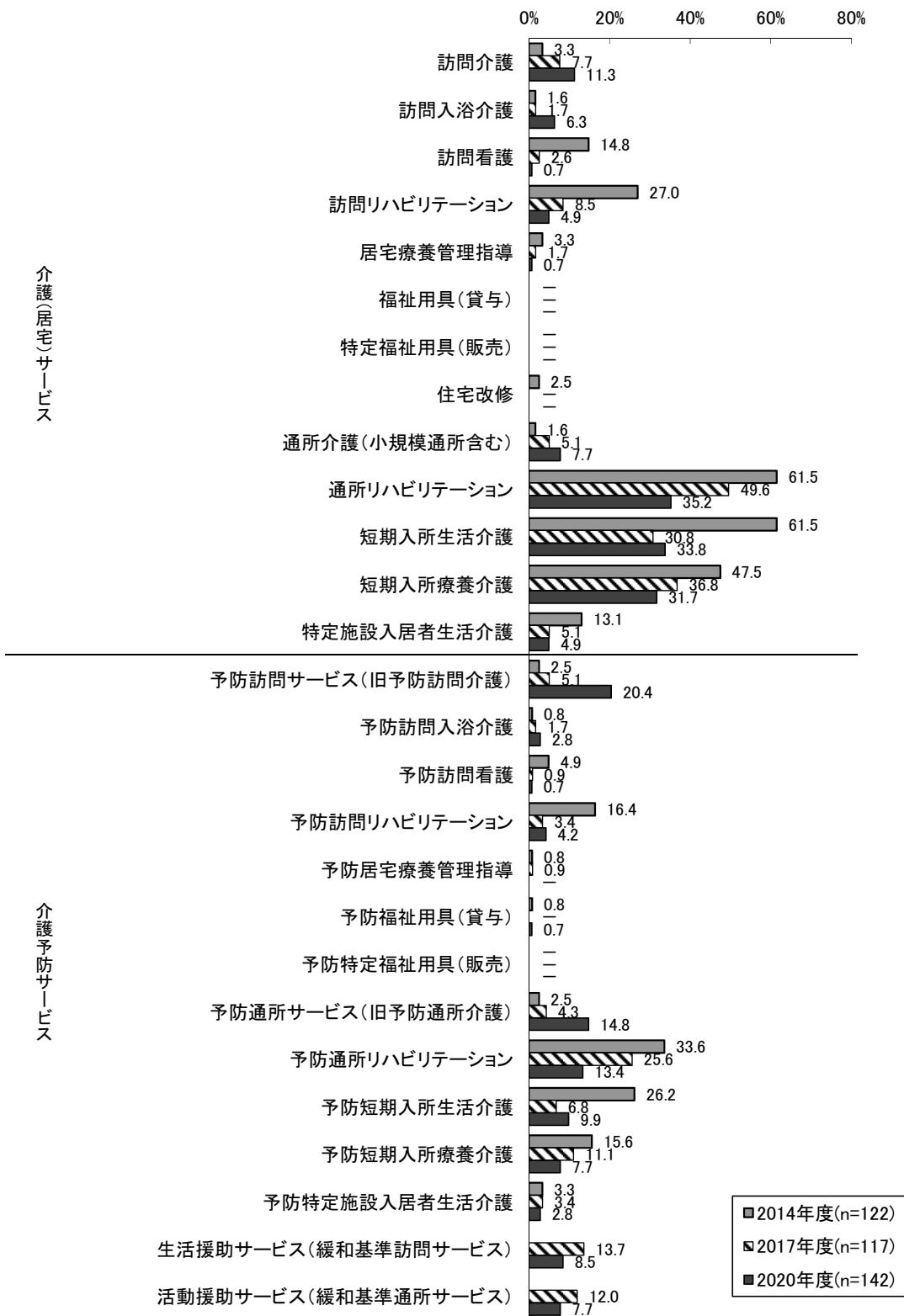


図 2-10 供給不足のため、利用者に提供できないサービス



※2014年度は、「生活援助サービス(緩和基準訪問サービス)」「活動援助サービス(緩和基準通所サービス)」の選択肢はない。

図 2-11 【経年比較】供給不足のため、利用者に提供できないサービス

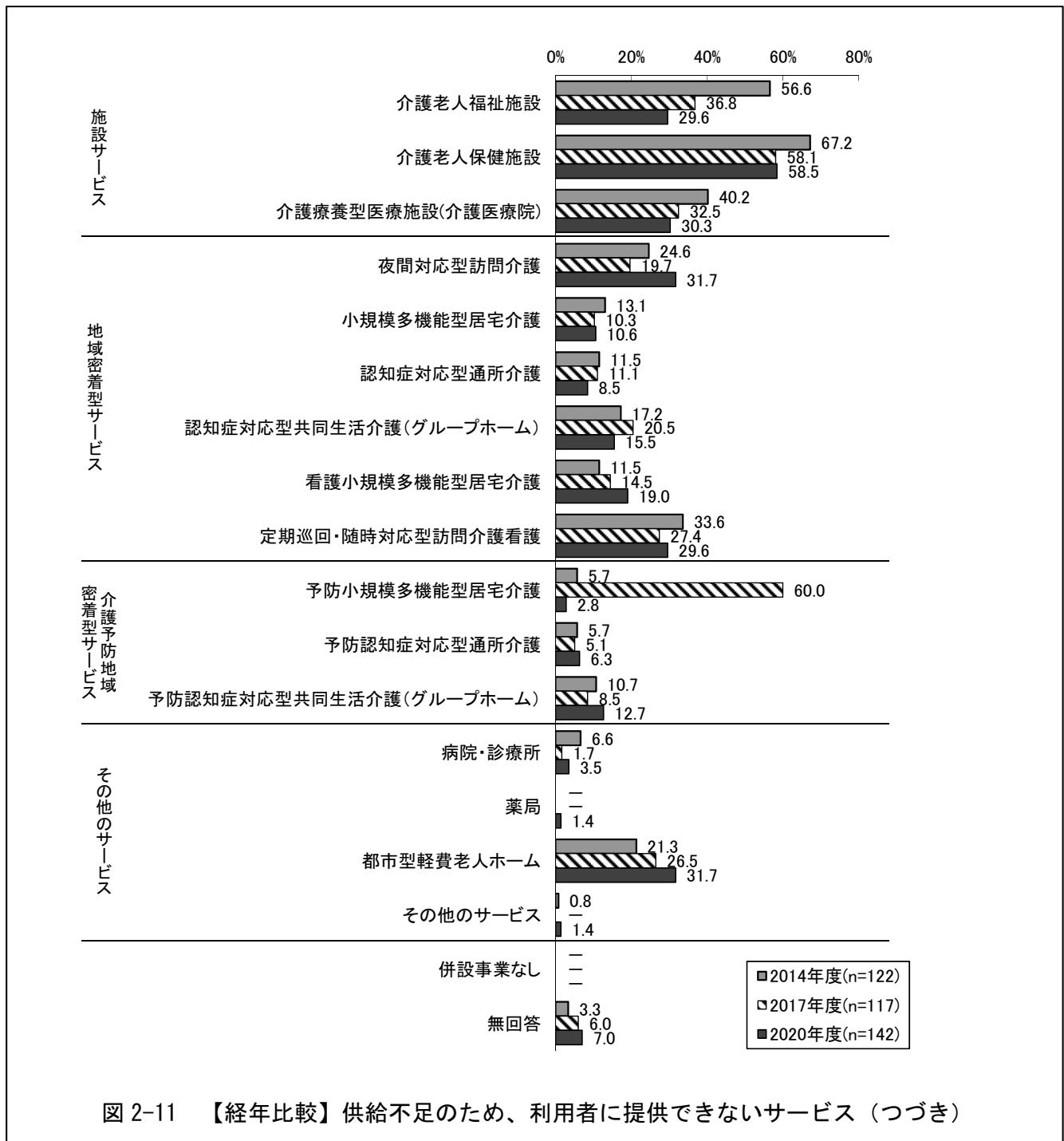


図 2-11 【経年比較】供給不足のため、利用者に提供できないサービス (つづき)

ケアプランを作成する際に、中野区内でサービス供給が不足しているため、利用者に提供できない(しにくい)サービスは、「介護老人保健施設」が最も高くなっており、次いで「通所リハビリテーション」「短期入所生活介護」「短期入所療養介護」「夜間対応型訪問介護」「都市型軽費老人ホーム」などとなっている。

経年比較でみると、「訪問介護」「予防訪問サービス(旧予防訪問介護)」「予防通所サービス(旧予防通所介護)」「夜間対応型訪問介護」「看護小規模多機能型居宅介護」「都市型軽費老人ホーム」などは増加傾向となっている。

2.8. 供給不足以外に必要なサービスが提供できない場合

◆「経済的事情により費用負担が困難」が5割台前半

問 16 供給不足以外に必要なサービスが提供（調整）出来ないのはどのような場合ですか。

(○は1つ)

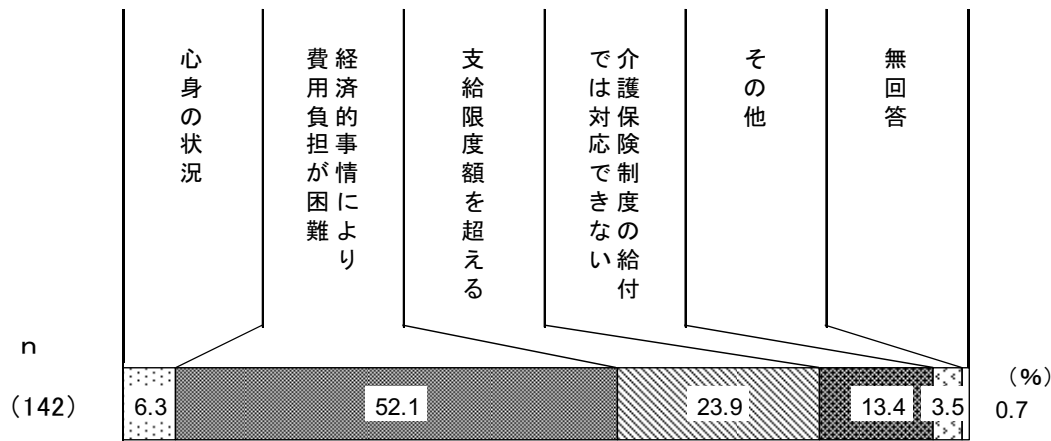


図 2-12 供給不足以外に必要なサービスが提供できない場合

「経済的事情により費用負担が困難」が5割台前半と高くなっている。

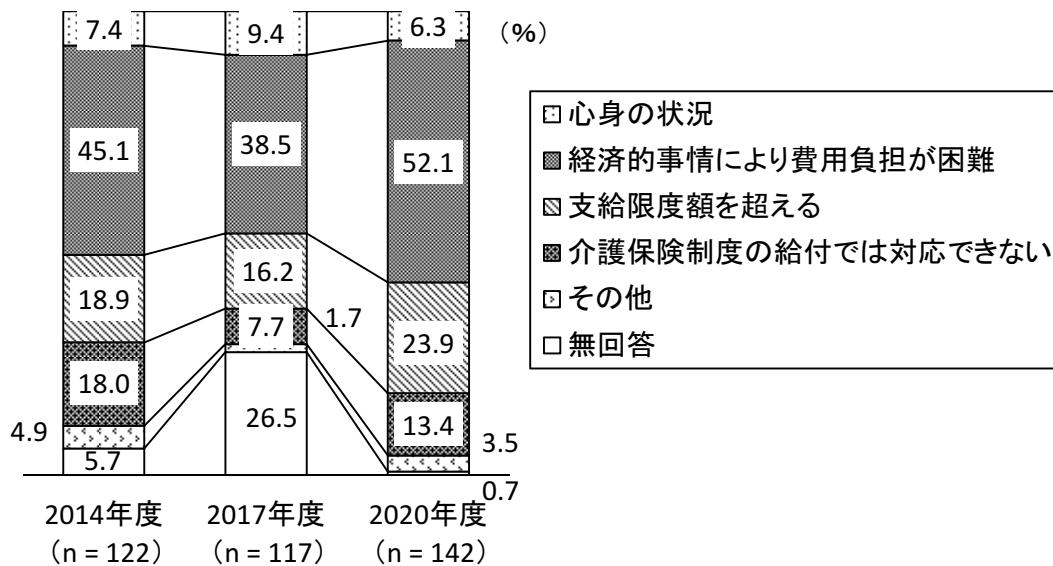
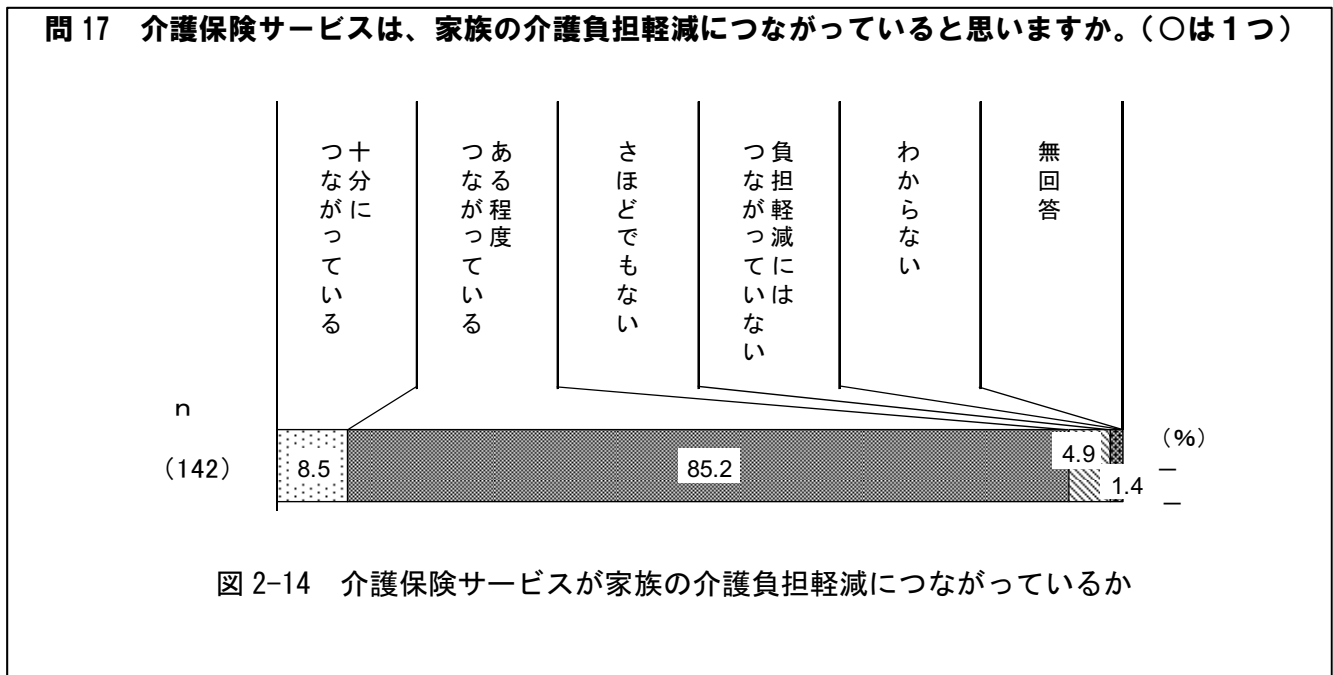


図 2-13 【経年比較】供給不足以外に必要なサービスが提供できない場合

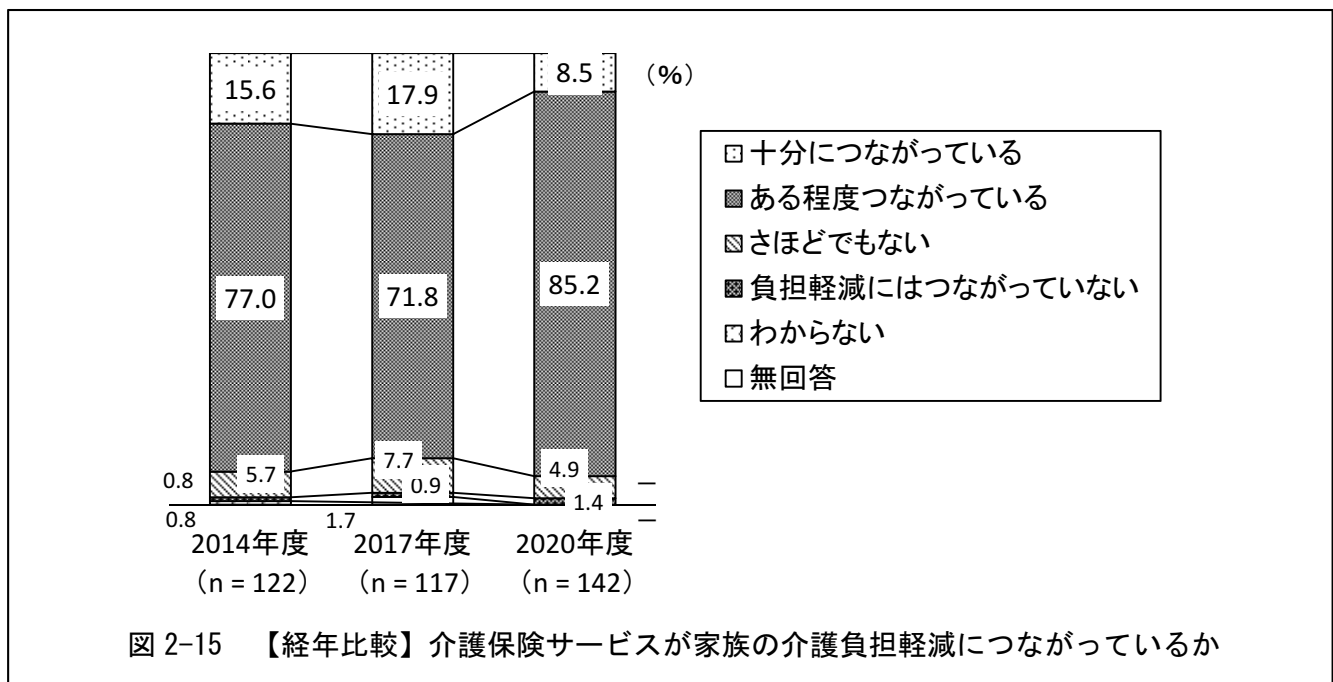
経年比較でみると、2014年度と比べて「経済的事情により費用負担が困難」が7.0ポイント増加している。

2.9. 介護保険サービスが家族の介護負担軽減につながっているか

◆「ある程度つながっている」が8割台半ば



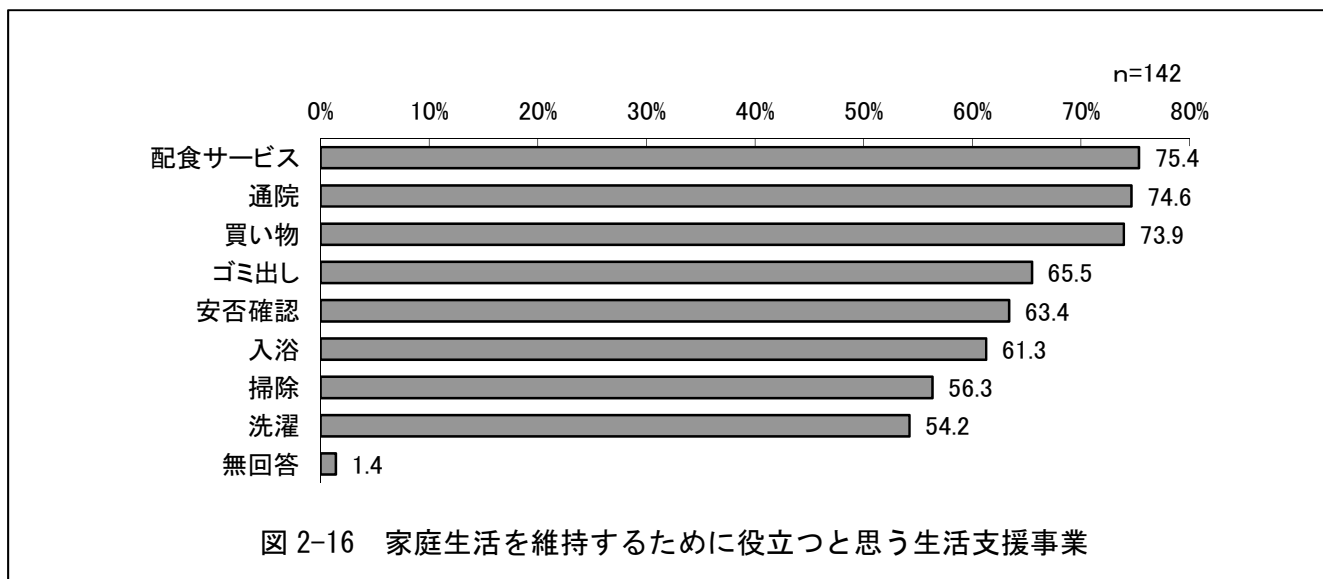
「ある程度つながっている」が8割台半ばと高くなっている。



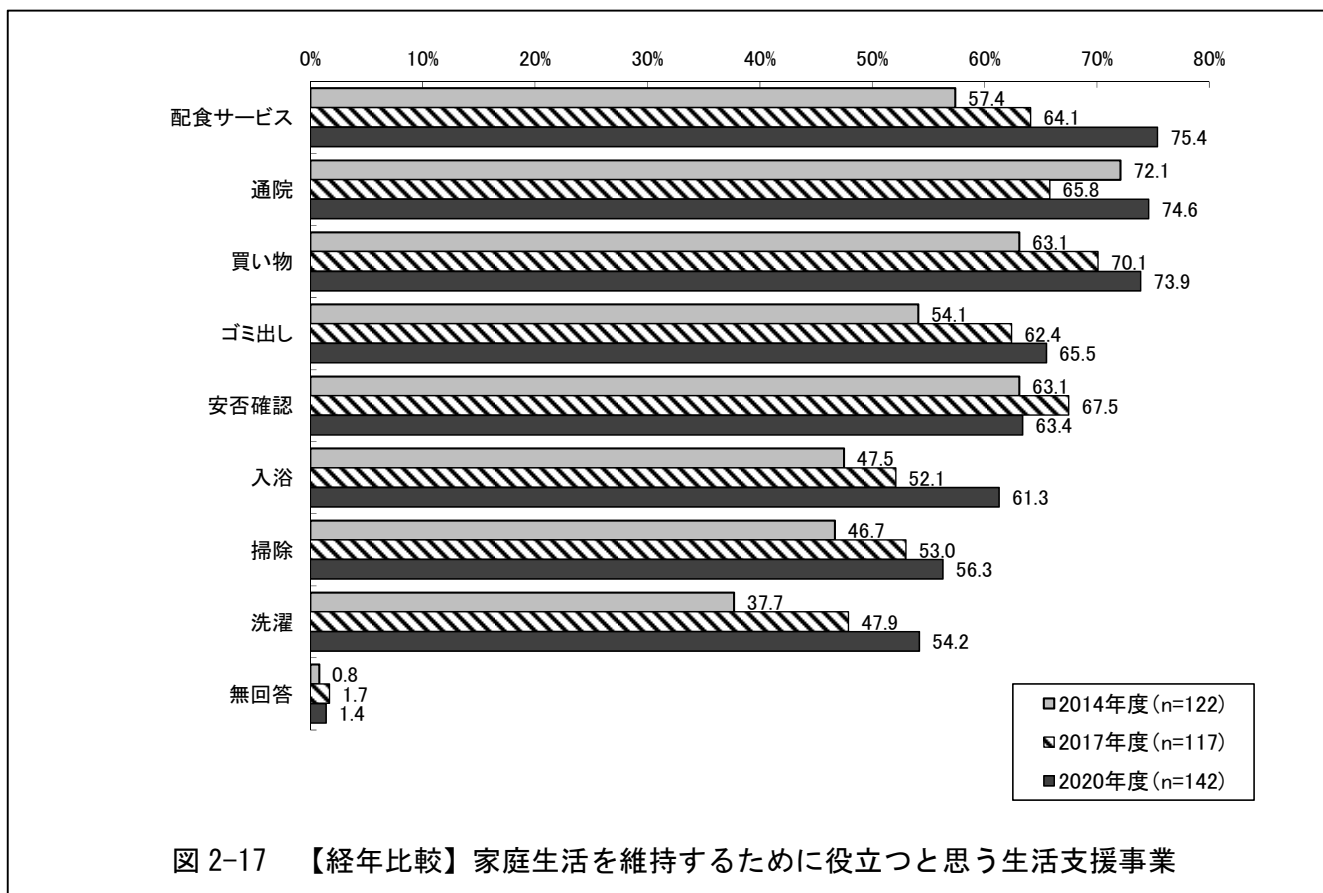
経年比較でみると、2014年度と比べて「十分につながっている」は減少傾向となっているものの、「ある程度つながっている」は8.2ポイント増加している。

2.10. 家庭生活を維持するために役立つと思う生活支援事業

◆「配食サービス」が7割台半ば



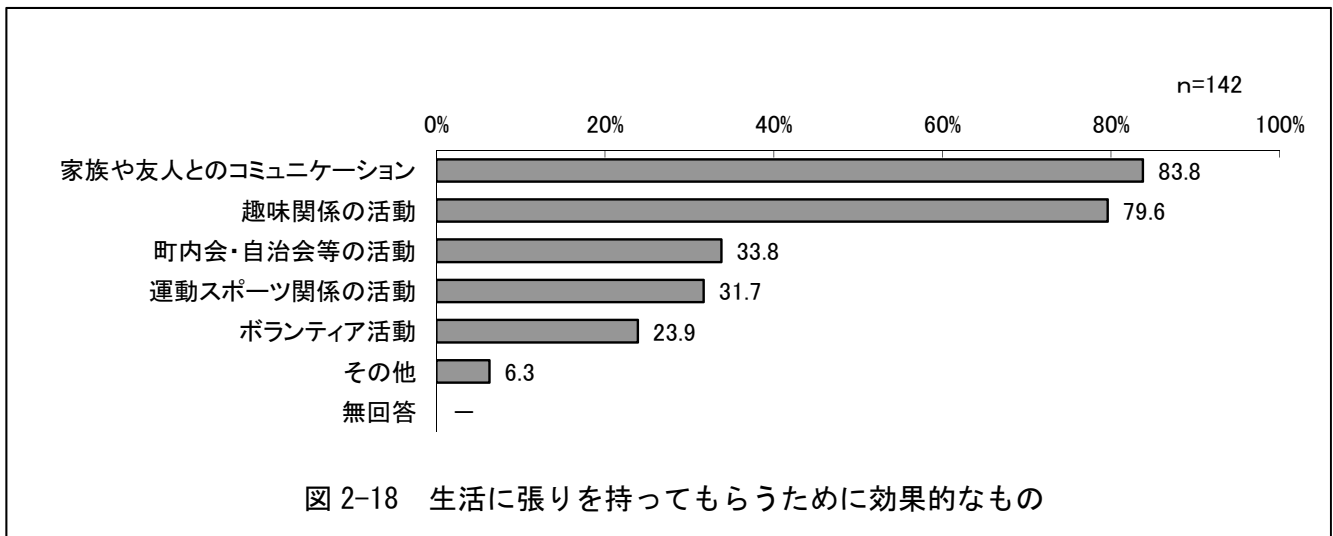
「配食サービス」が7割台半ばと最も高く、次いで「通院」「買い物」などとなっている。



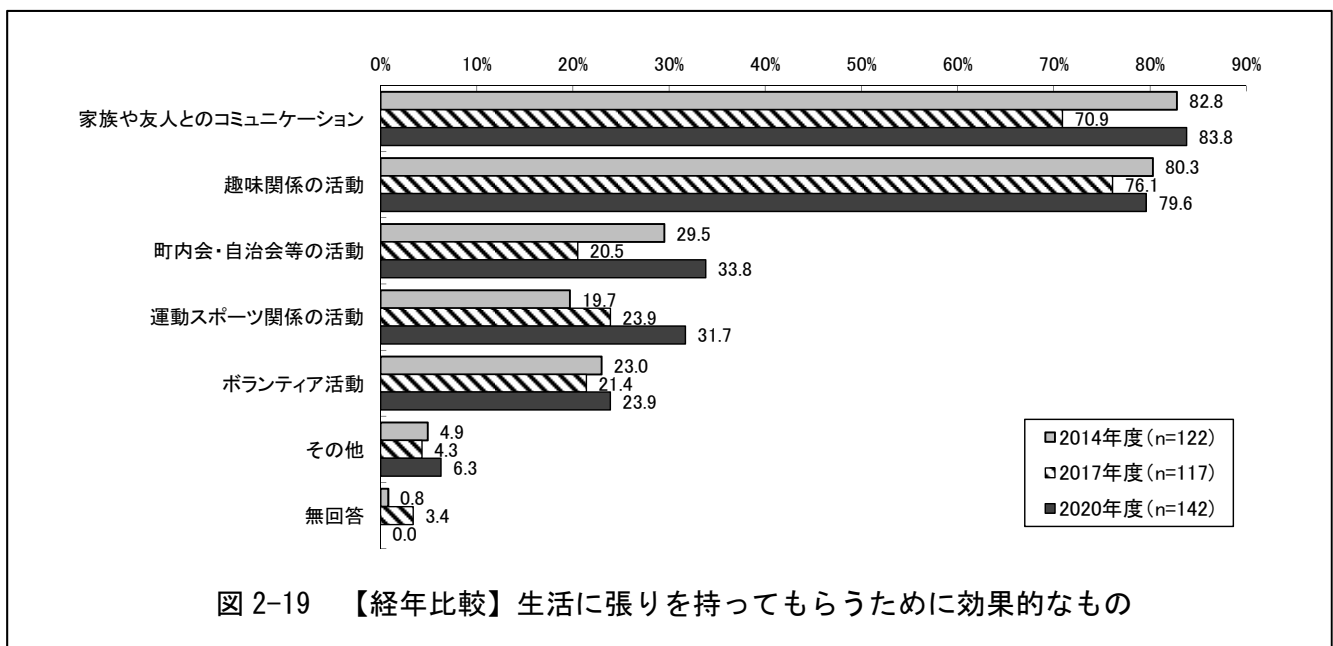
経年比較でみると、2014年度と比べてすべての項目で増加傾向となっており、特に「配食サービス」は18.0ポイント増加している。

2.11. 生活に張りを持ってもらうために効果的なもの

◆「家族や友人とのコミュニケーション」が8割台前半



「家族や友人とのコミュニケーション」が最も高く、次いで「趣味関係の活動」となっている。



経年比較でみると、「運動スポーツ関係の活動」は増加傾向となっており、2014年度と比較すると、12.0ポイント増加している。

2.12. ケアプランを作る際に工夫していること（自由回答）

問 20 ケアプランを作る際に工夫していることがありましたら、ご自由にお書きください。

ケアプランを作る際に工夫していることを自由に記入していただいたところ、85人の方から回答があった。ここでは、その中から代表的な意見を掲載する。

- 本人の目標を明確に、それに向け同じ方向で支援ができるようわかりやすく作成している。
- 本人の生活歴を把握する事によって本人の能力が活かせる事や本人の興味がどのようなものなのか等、なるべく本人が意欲的に活動出来る事をみつけるようにしている。
- 介護者の負担を軽減し、家族にしかできない部分を担っていただく。本人や家族が安心して希望する生活を送る事ができる。
- 利用者が社会で孤立しないようにすること（デイかヘルパーの活用）。
- 工夫の前に時間をかけて本人はもとより本人のまわりを囲む親族やその他関係者のアセスメントをおこなっています。
- 介護サービスに適用されない内容は、十分に本人、家族様には十分に理解して頂けるように説明する。また家族介護の協力はどこまで可能なのか把握し分担し、家族支援も含める。
- 本人ができることを奪わないようにする。
- 家族が望むサービスを言われるがままに提供せずに、じっくりアセスメントをして、何が一番困っているのか？介護サービスに何をあてはめるか、社会資源で通用できるものはそちらにまわす等の工夫をしている。
- 利用者の具体的目標をはっきりさせ、本人のやる気を引き出す事。
- 本人が実現可能な目標を入れる。本人にどんなことでもいいので役目、役割を入れる。
- 本人の生活歴、性格、好きなこと、得意なこと等を丁寧に聞きとってプランに反映させ、本人が「自分で決めた」「できて嬉しい」等の気持ちをもてるようにすること。関係事業所との連絡をこまめに行い、本人についての情報共有をまめに行うこと。
- 出来ない事のアセスメントだけでなく出来ることも収集する。若い頃に得意な事や性格面も確認したうえでプランを作成する。
- 生活すべてをフォローできるように医師と相談し医療ケアを充実させている。

2.13. 要介護者等が自宅や地域で暮らし続けるために必要な支援

◆「認知症高齢者の見守り」が8割台前半

問 21 要介護者等が住み慣れた自宅や地域で暮らし続けるため、近隣や地域の人々からどのような支援や手助けがあったらよいと思いますか。(あてはまるものすべてに○)

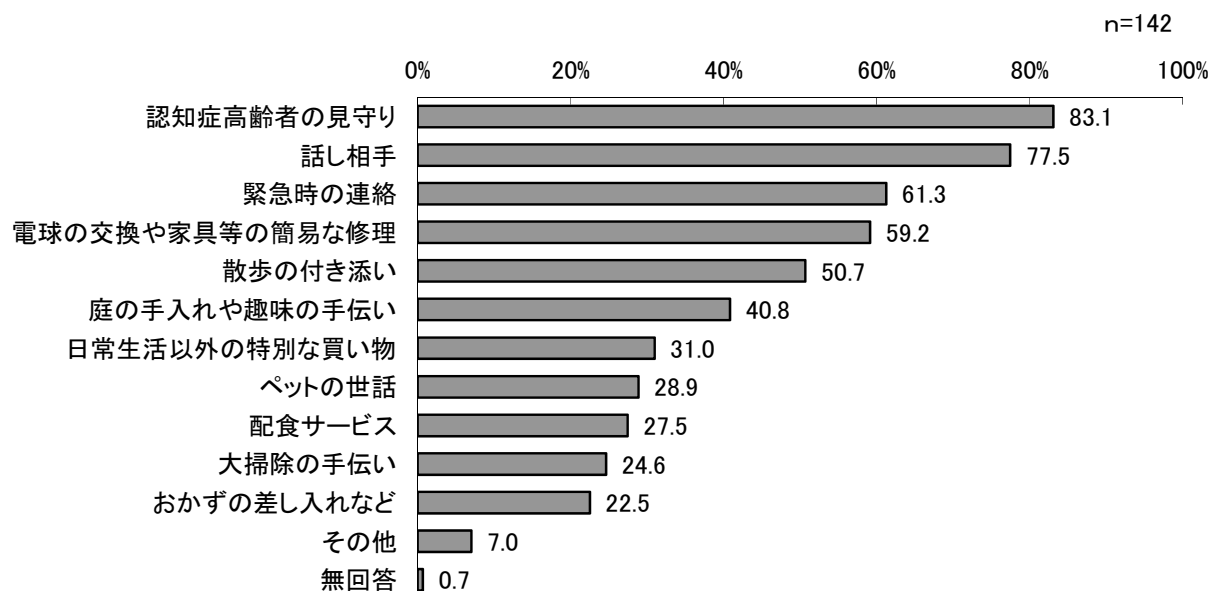
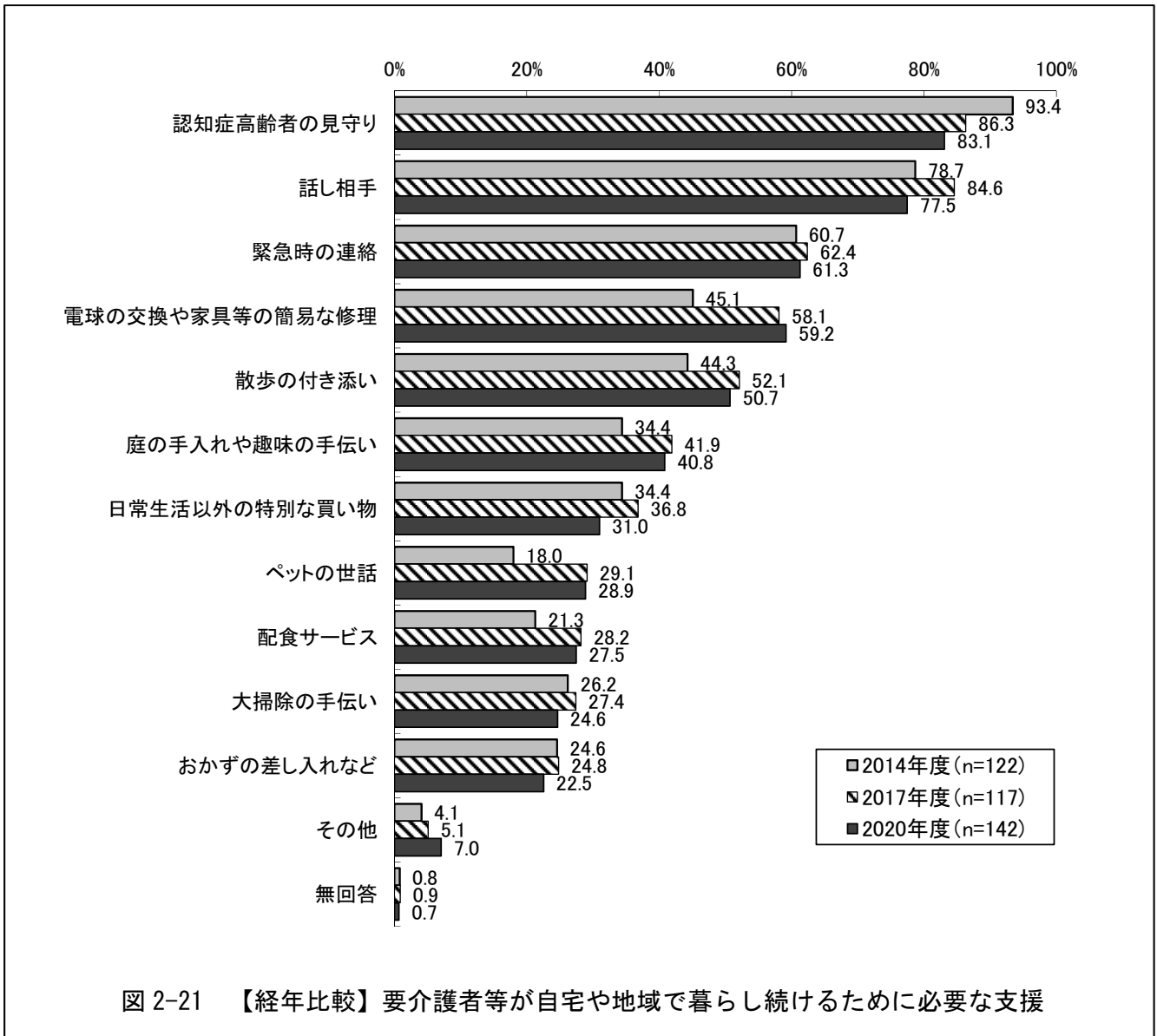


図 2-20 要介護者等が自宅や地域で暮らし続けるために必要な支援

「認知症高齢者の見守り」が8割台前半と最も高く、次いで「話し相手」「緊急時の連絡」などとなっている。



経年比較でみると、「電球の交換や家具等の簡易な修理」「ペットの世話」は2014年度と比べていずれも10ポイント以上増加している。

3. 連携について

3.1. 地域包括支援センターとの連携

◆「ある程度取れている」が7割前半

問 22 地域包括支援センターとの連携についてはどうですか。(〇は1つ)

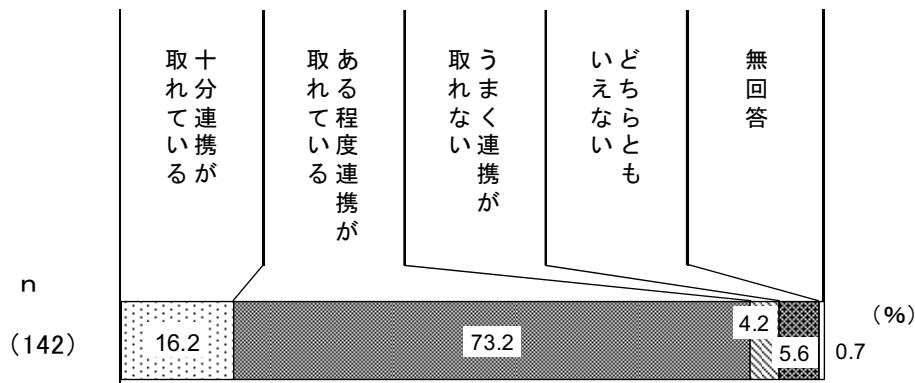


図 3-1 地域包括支援センターとの連携

「ある程度連携が取れている」が7割前半と最も高くなっており、次いで「十分連携が取れている」となっている。

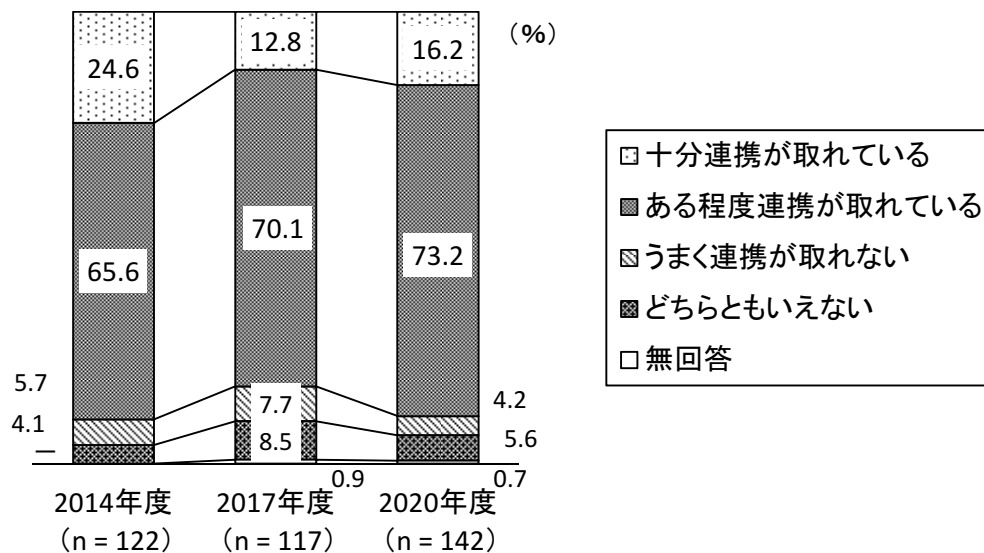


図 3-2 【経年比較】地域包括支援センターとの連携

経年比較でみると、「ある程度連携が取れている」が2014年度より7.6ポイント増加しているものの、「十分連携が取れている」は8.4ポイントの減少となっている。

3.2. 信頼できる地域包括支援センターの有無

◆「ある」が約7割

問 23 信頼できる地域包括支援センターはありますか。(○は1つ)

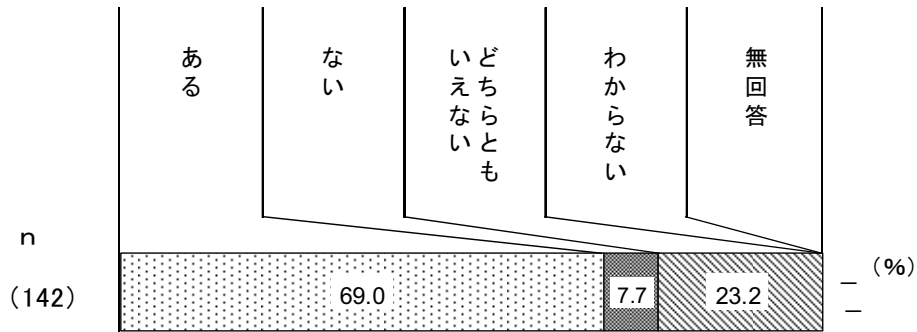


図 3-3 信頼できる地域包括支援センターの有無

「ある」が約7割で、「ない」を大きく上回っている。

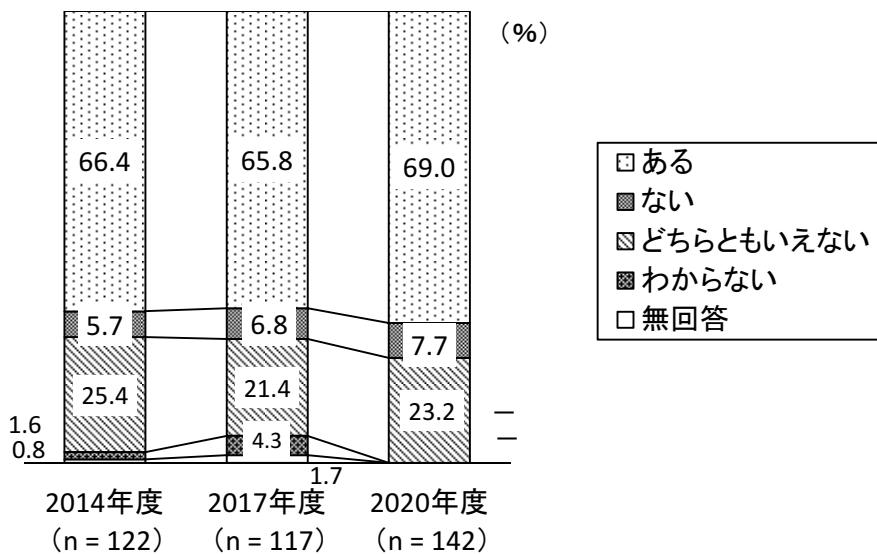
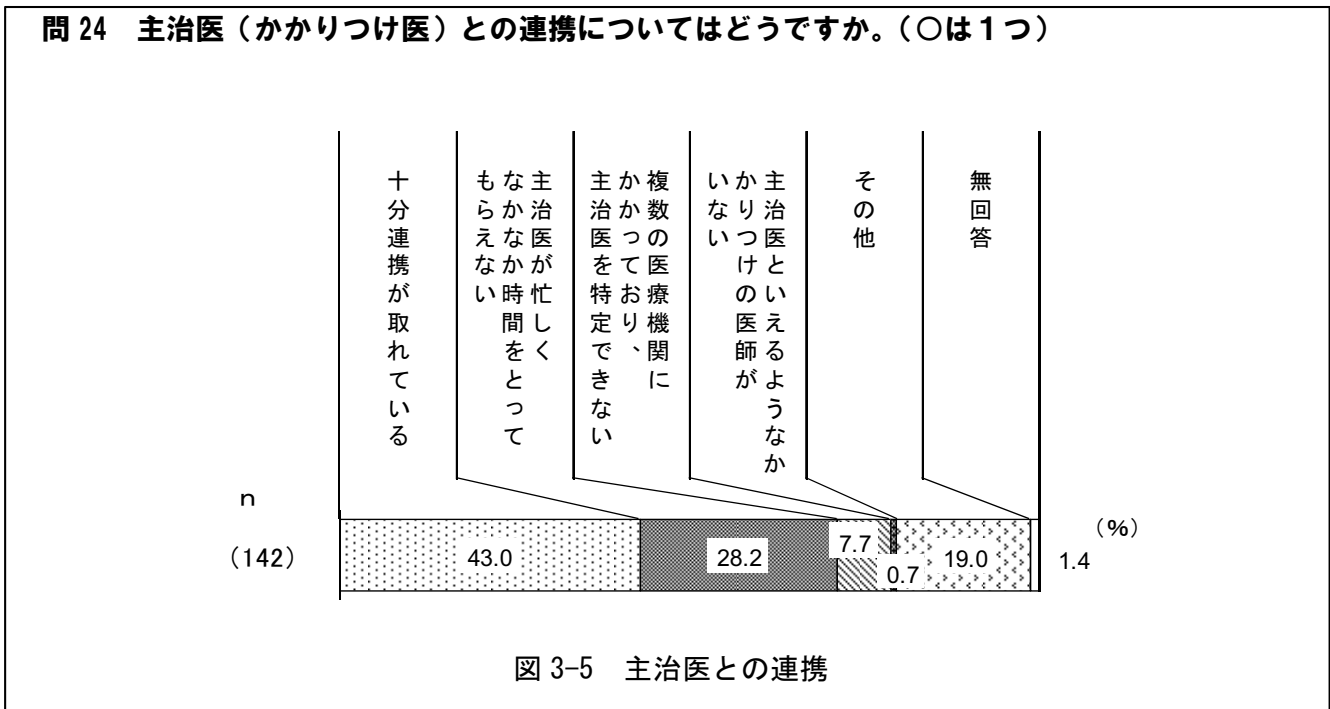


図 3-4 【経年比較】信頼できる地域包括支援センターの有無

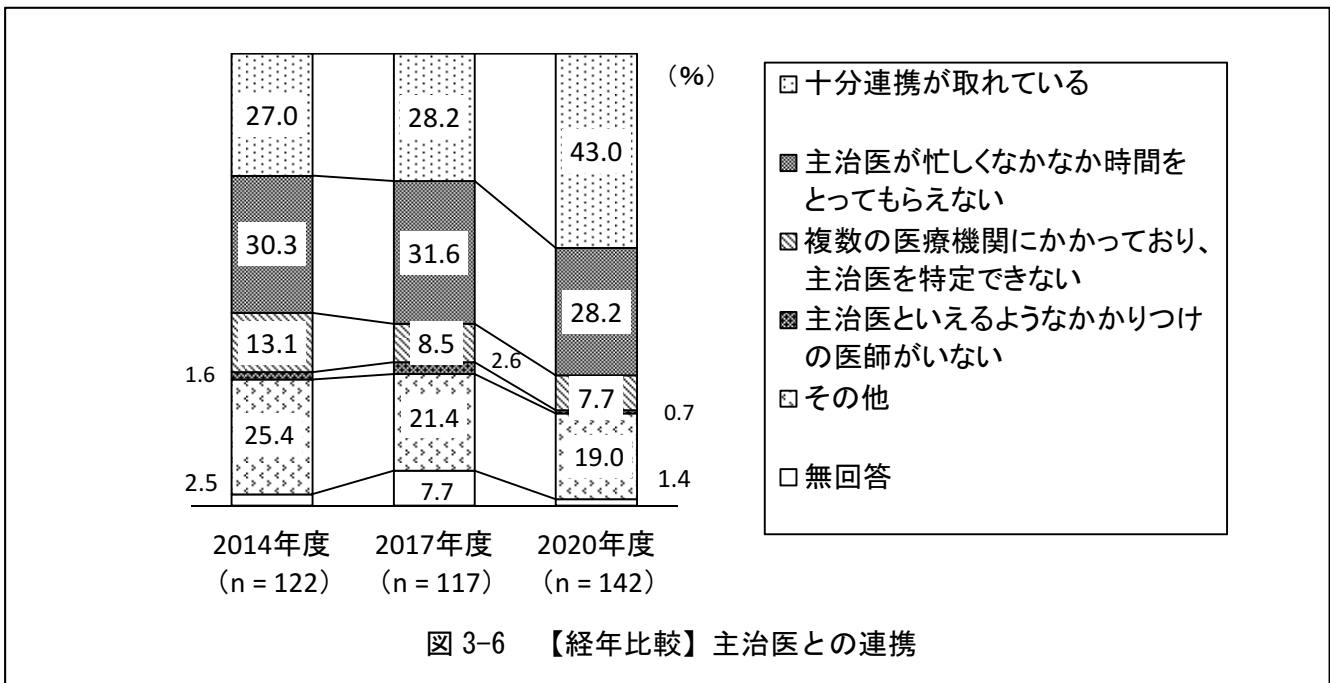
経年比較で見ると、「ある」は2.6ポイントの微増となっている。

3.3. 主治医との連携

◆「十分連携が取れている」が4割台前半



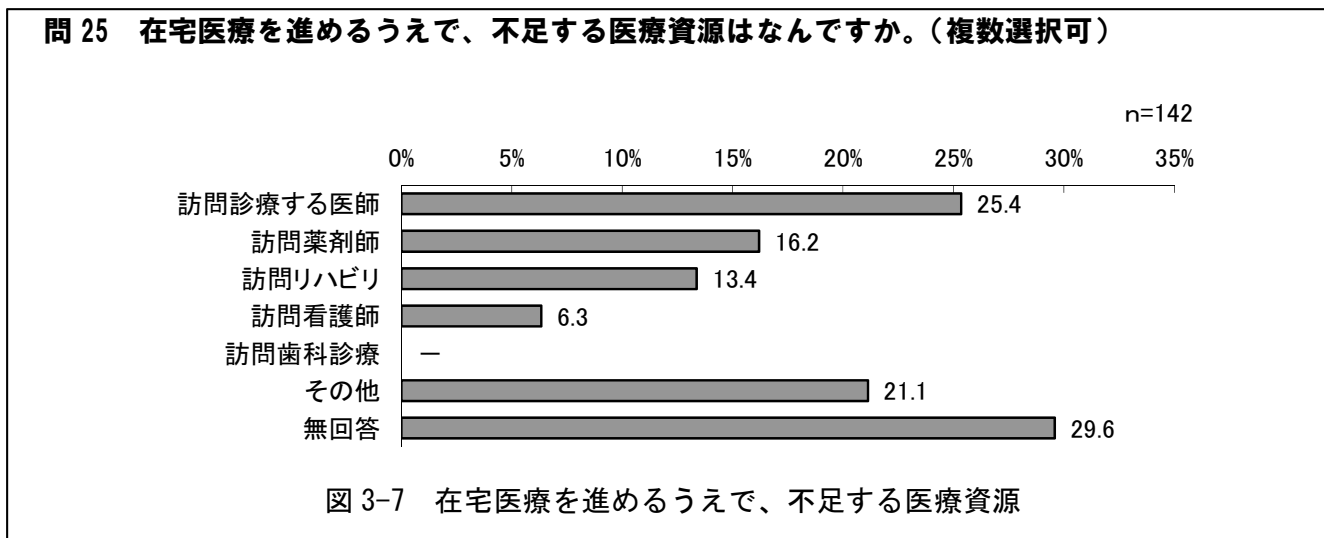
「十分連携が取れている」が最も高く、次いで「主治医が忙しくなかなか時間をとってもらえない」となっている。



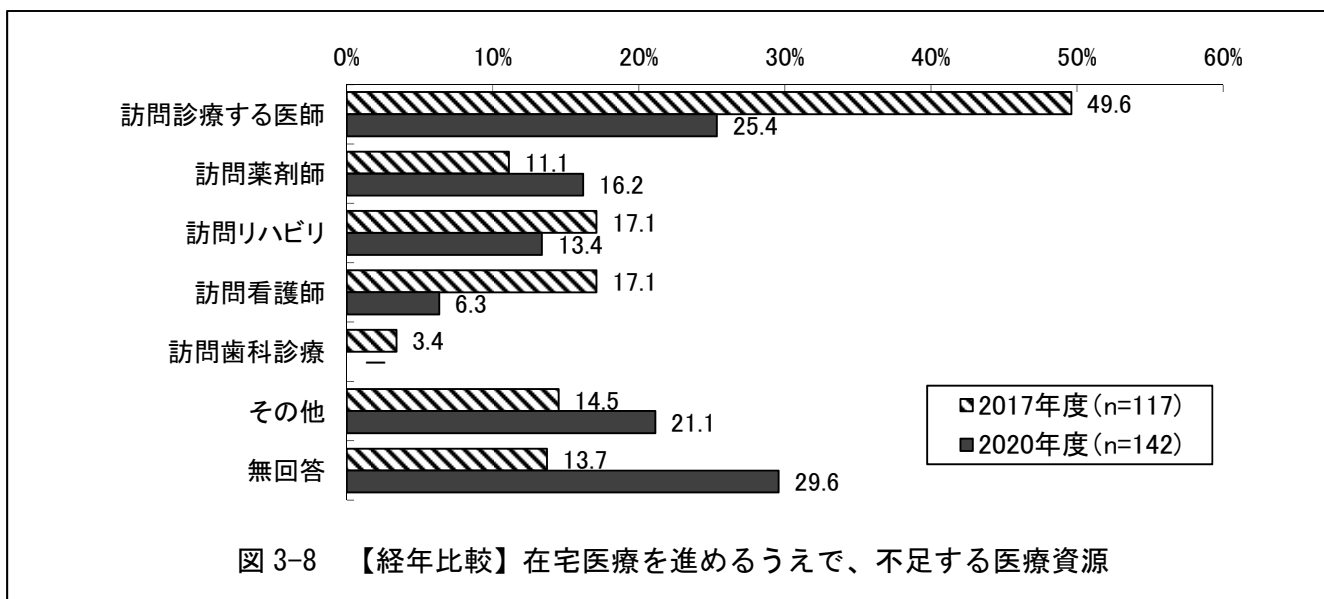
経年比較でみると、「十分連携が取れている」は増加傾向となっており、2014年度と比較すると、16.0ポイント増加している。

3.4. 在宅医療を進めるうえで、不足する医療資源

◆「訪問診療する医師」が2割台半ば



「訪問診療する医師」が最も高く、次いで「訪問薬剤師」「訪問リハビリ」などとなっている。



経年比較でみると、2017年度と同じく2020年度も「訪問診療する医師」が最も高くなっているものの、その割合は24.2ポイントと大幅に減少している。

3.5. 区の障害者施策の相談窓口とのサービス調整等の連携

◆「ある程度連携が取れている」が最も高い

問 26 障害者施策を利用できる利用者について、区の障害者施策の相談窓口とのサービス調整等の連携が取れていますか。(○は1つ)

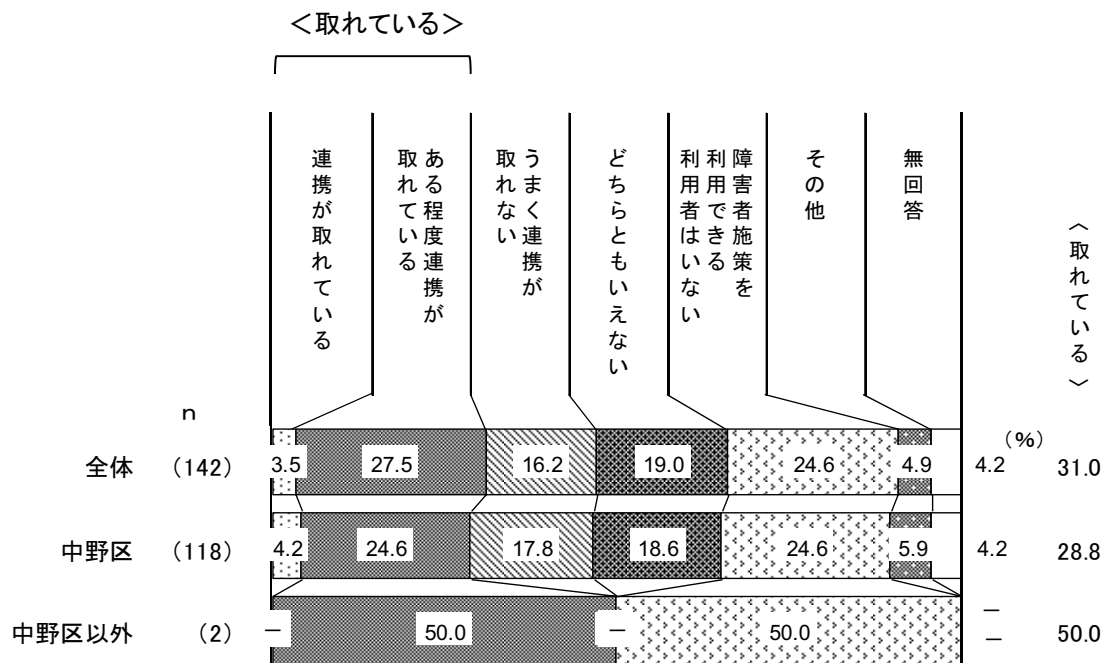


図 3-9 区の障害者施策の相談窓口とのサービス調整等の連携

区の障害者施策の相談窓口とのサービス調整等の連携は、「連携が取れている」と「ある程度連携が取れている」を合わせた＜取れている＞は約3割となっている。

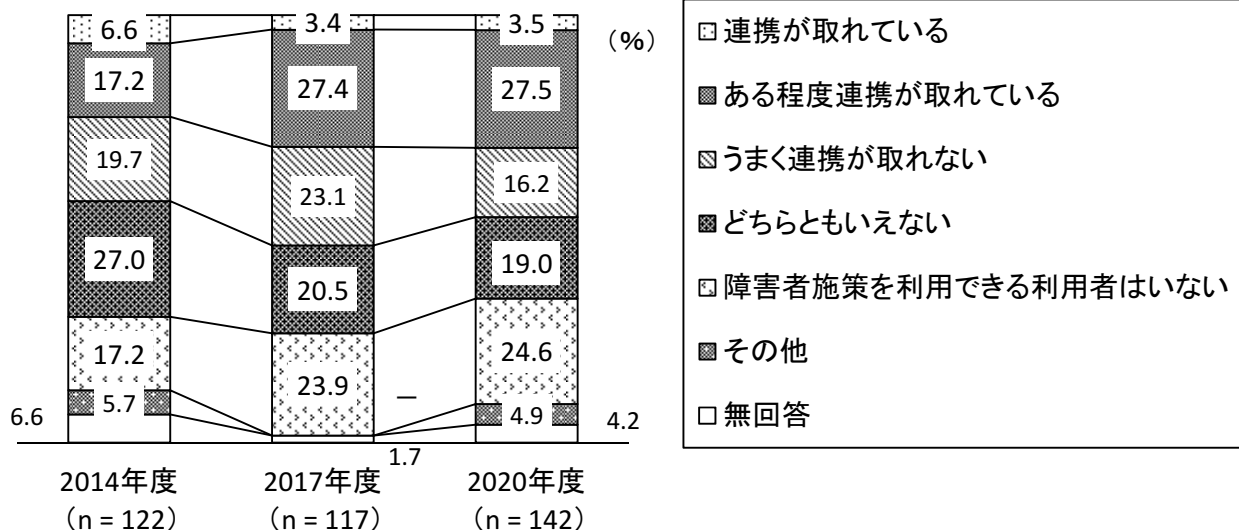
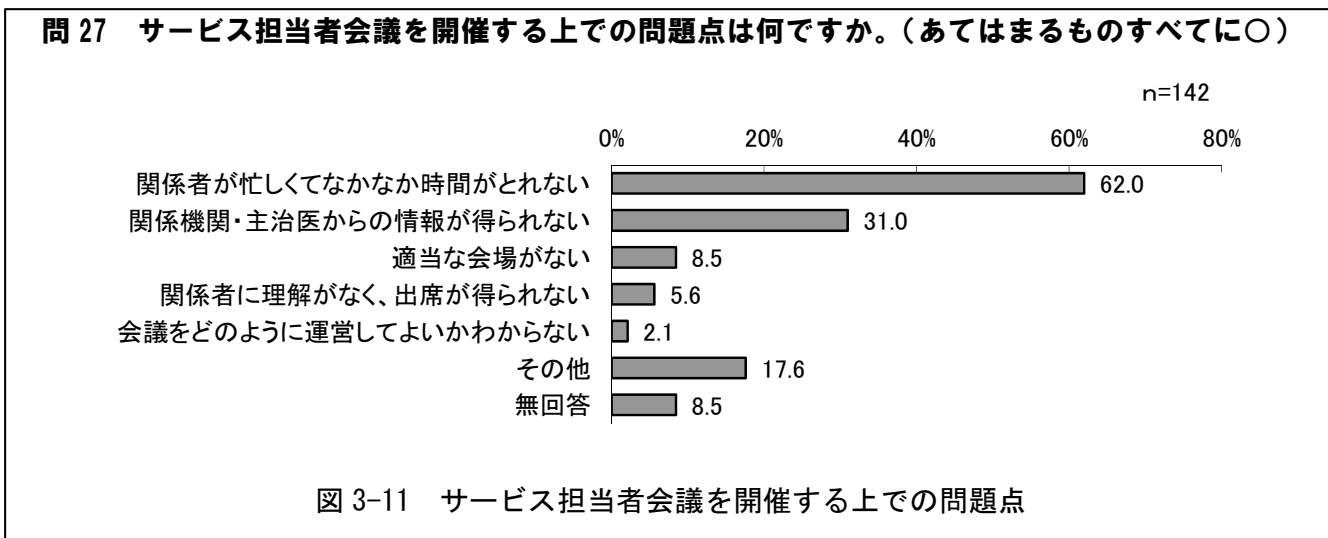


図 3-10 【経年比較】 区の障害者施策の相談窓口とのサービス調整等の連携

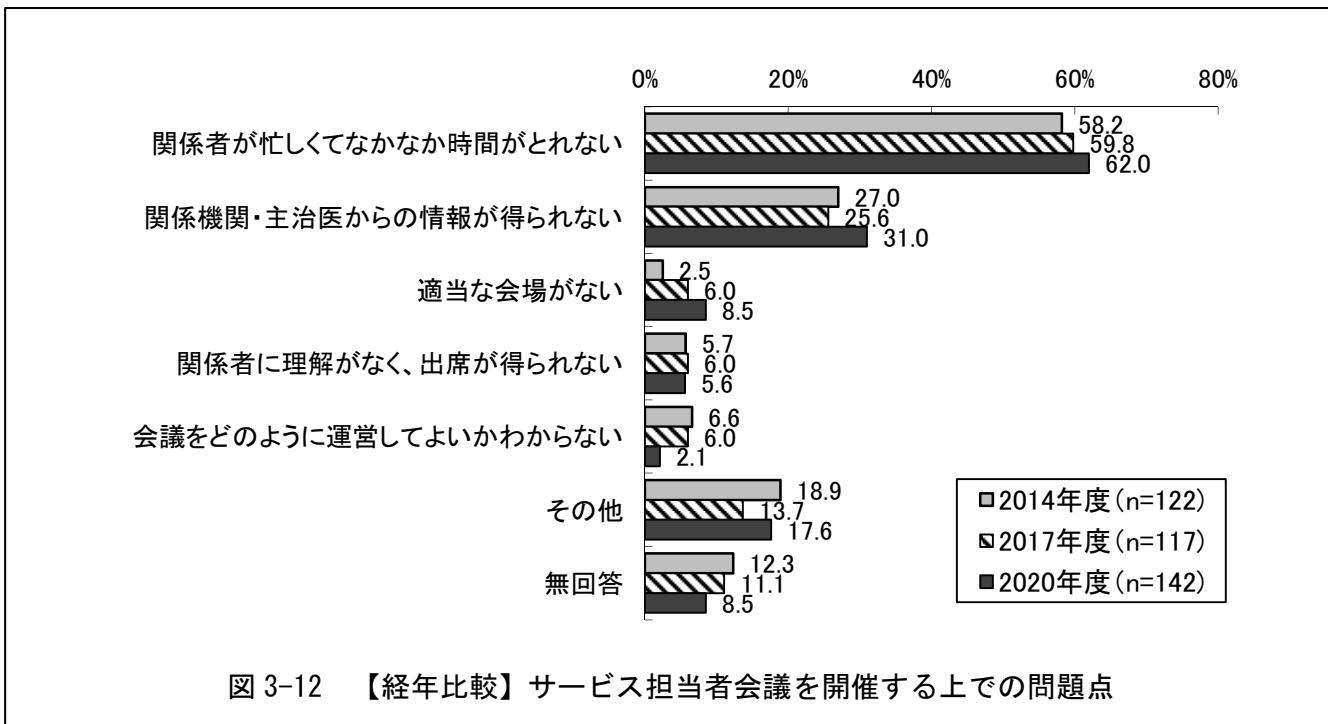
区の障害者施策の相談窓口とのサービス調整等の連携を、経年比較でみると、「ある程度連携が取れている」は増加傾向となっており、2014年度と比較すると、10.3ポイント増加している。

3.6. サービス担当者会議を開催する上での問題点

◆「関係者が忙しくてなかなか時間がとれない」が6割台前半



「関係者が忙しくてなかなか時間がとれない」が6割台前半で最も高くなっており、次いで「関係機関・主治医からの情報が得られない」となっている。

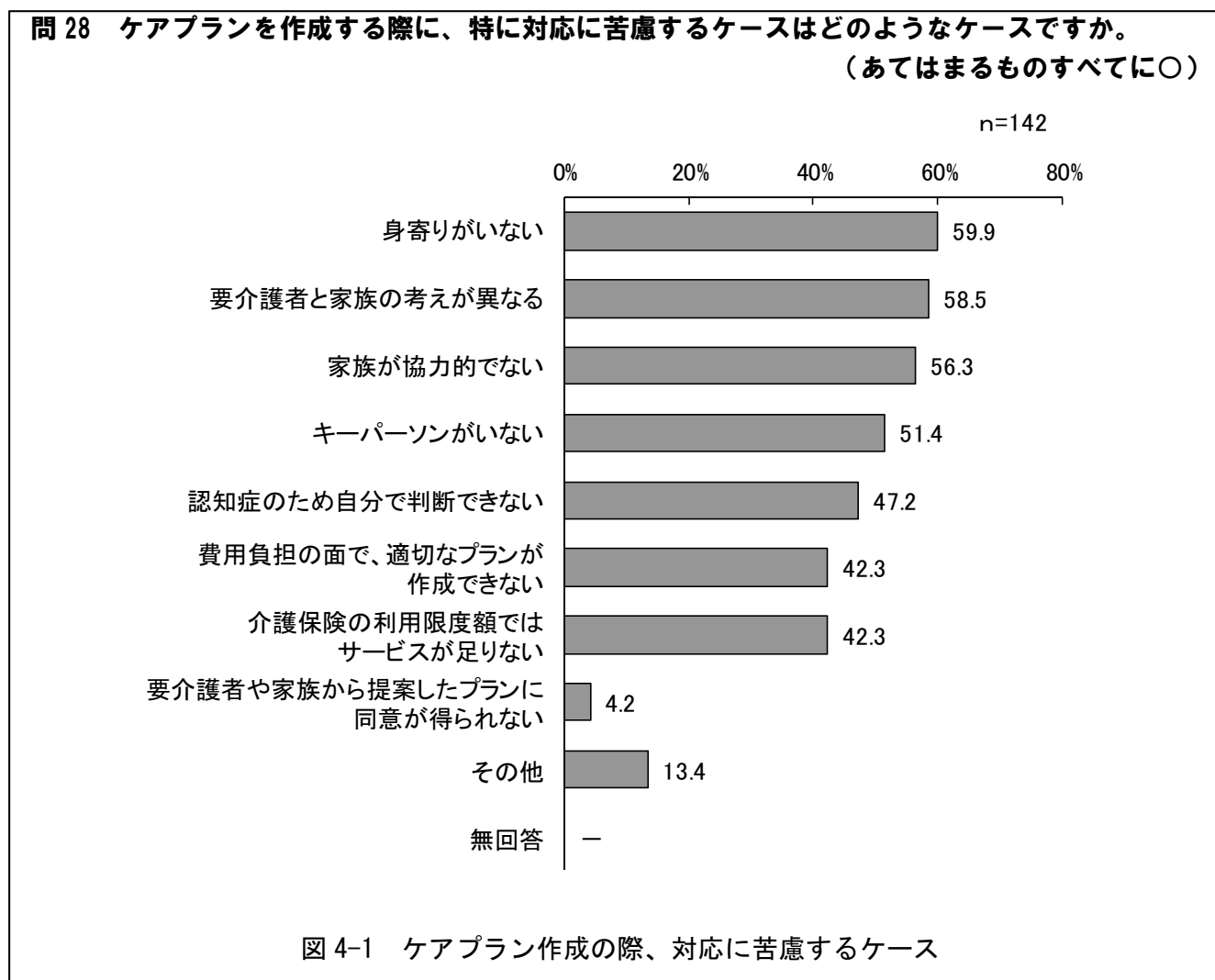


経年比較でみると、「関係者が忙しくてなかなか時間がとれない」は、2014年度と比較すると3.8ポイント増加している。

4. 困難な事例への対応について

4.1. ケアプラン作成の際、対応に苦慮するケース

◆「身寄りがいない」が約6割で最も高い



「身寄りがいない」が約6割で最も高くなっており、次いで「要介護者と家族の考えが異なる」「家族が協力的でない」などとなっている。

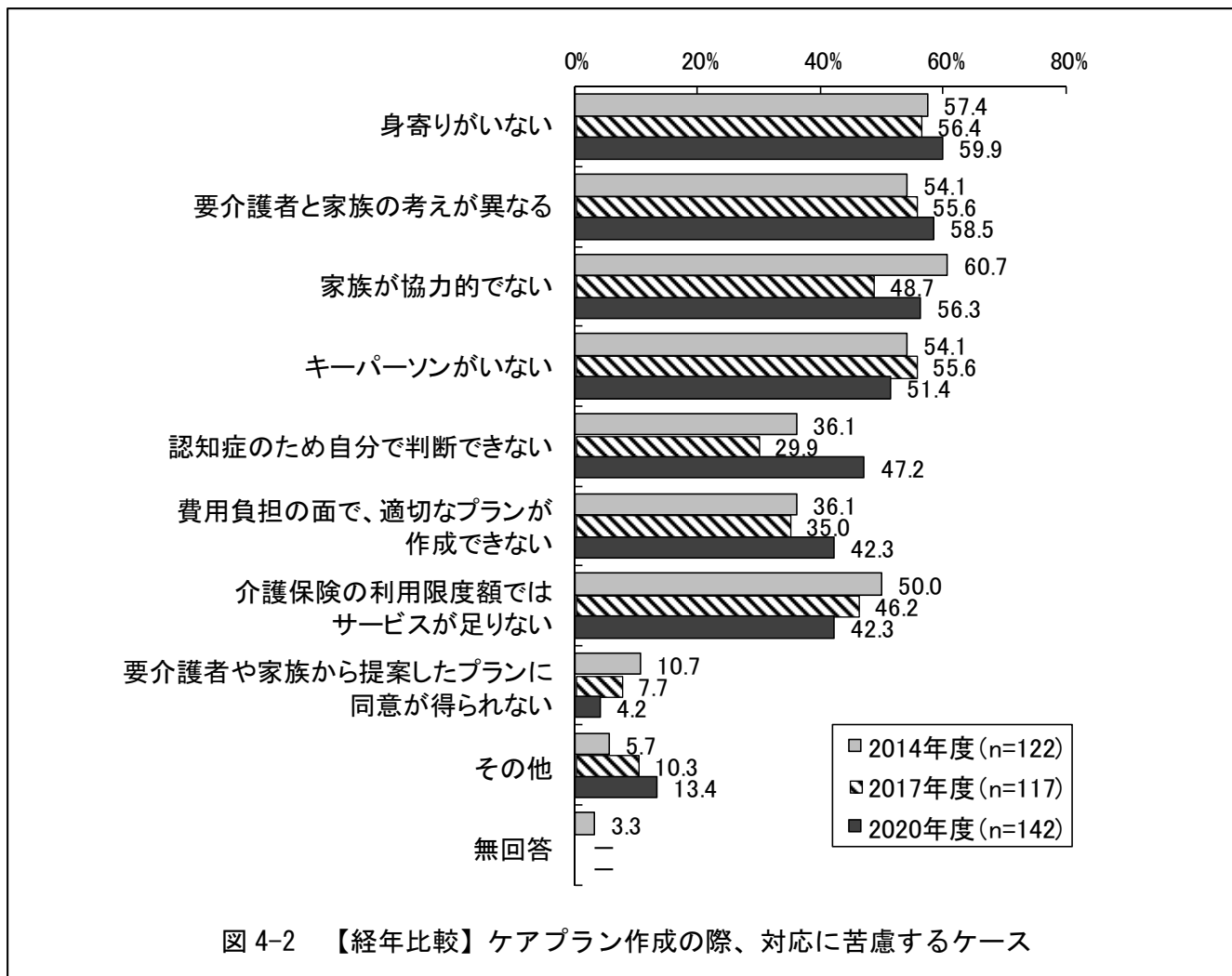
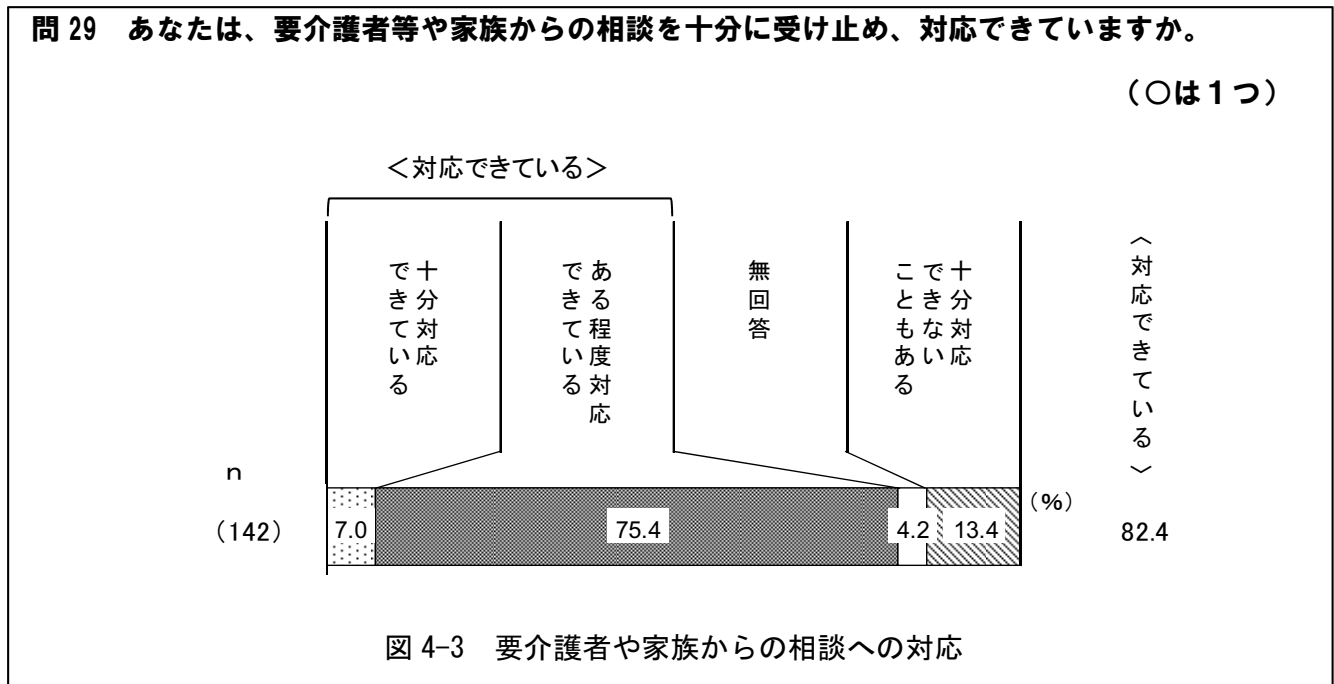


図 4-2 【経年比較】ケアプラン作成の際、対応に苦慮するケース

経年比較でみると、「認知症のため自分で判断できない」が2014年度と比較して11.1ポイントの増加となっている。

4.2. 要介護者や家族からの相談への対応

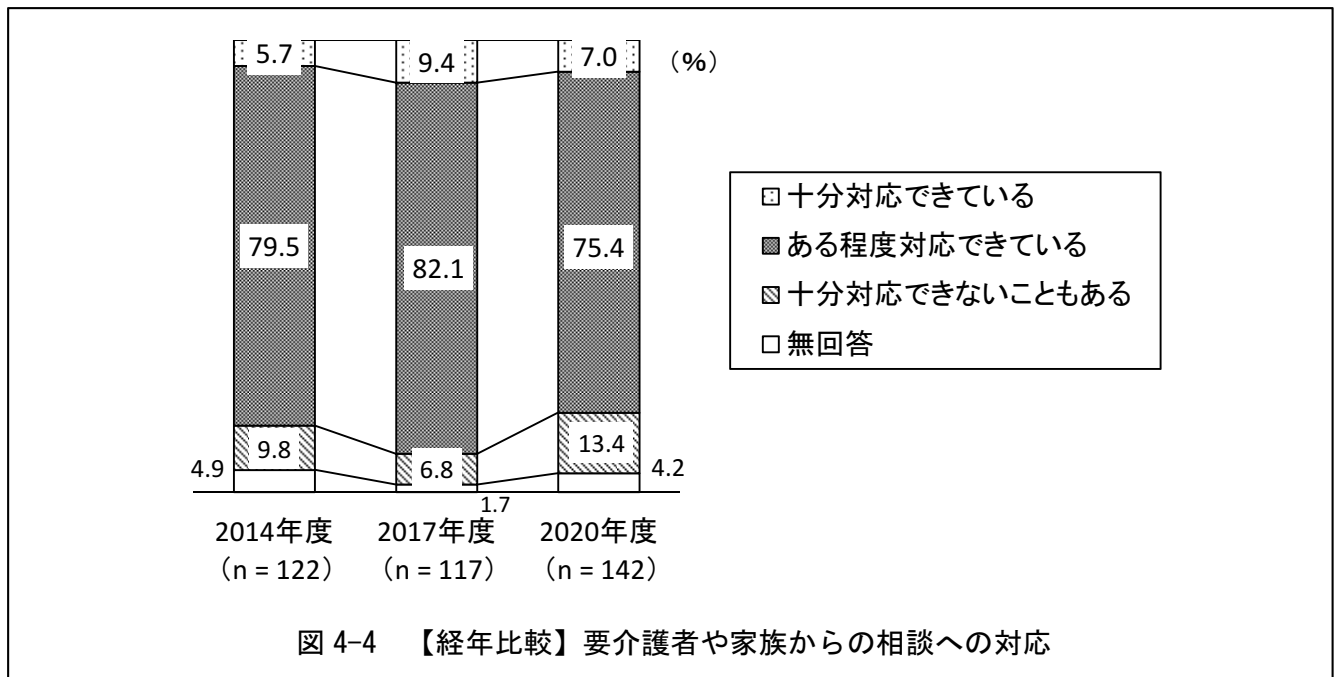
◆「ある程度対応できている」が7割台後半



「十分対応できている」「ある程度対応できている」を合わせた＜対応できている＞は、8割台前半となっている。

【対応できない具体的な理由】

- ・家族と利用者本人の考えが違って摩擦が大きい。
- ・家族等の求めるサービスに受け皿が不足している事も多い。
- ・経済面で、サービスが利用できない時があった。
- ・関係性がしっかりと構築できるまでは、完全に相談を十分に受け止められていない。 など



「十分対応できている」「ある程度対応ができていいる」を合わせた＜対応できている＞は、2014年度と比較すると、2.8ポイント減少している。

4.3. 相談への対応に苦慮した時の相談先

◆「同僚や上司」が7割台半ば

問 30 要介護者等や家族からの相談への対応に苦慮した場合、どこへ相談しますか。

(あてはまるものすべてに○)

n=142

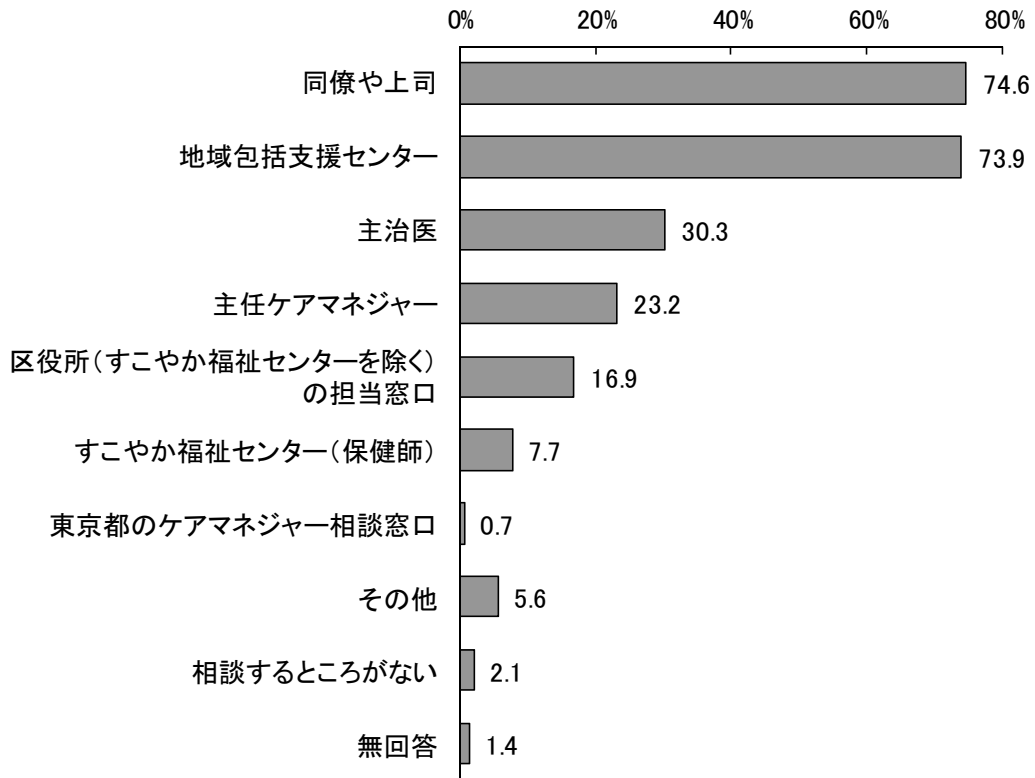
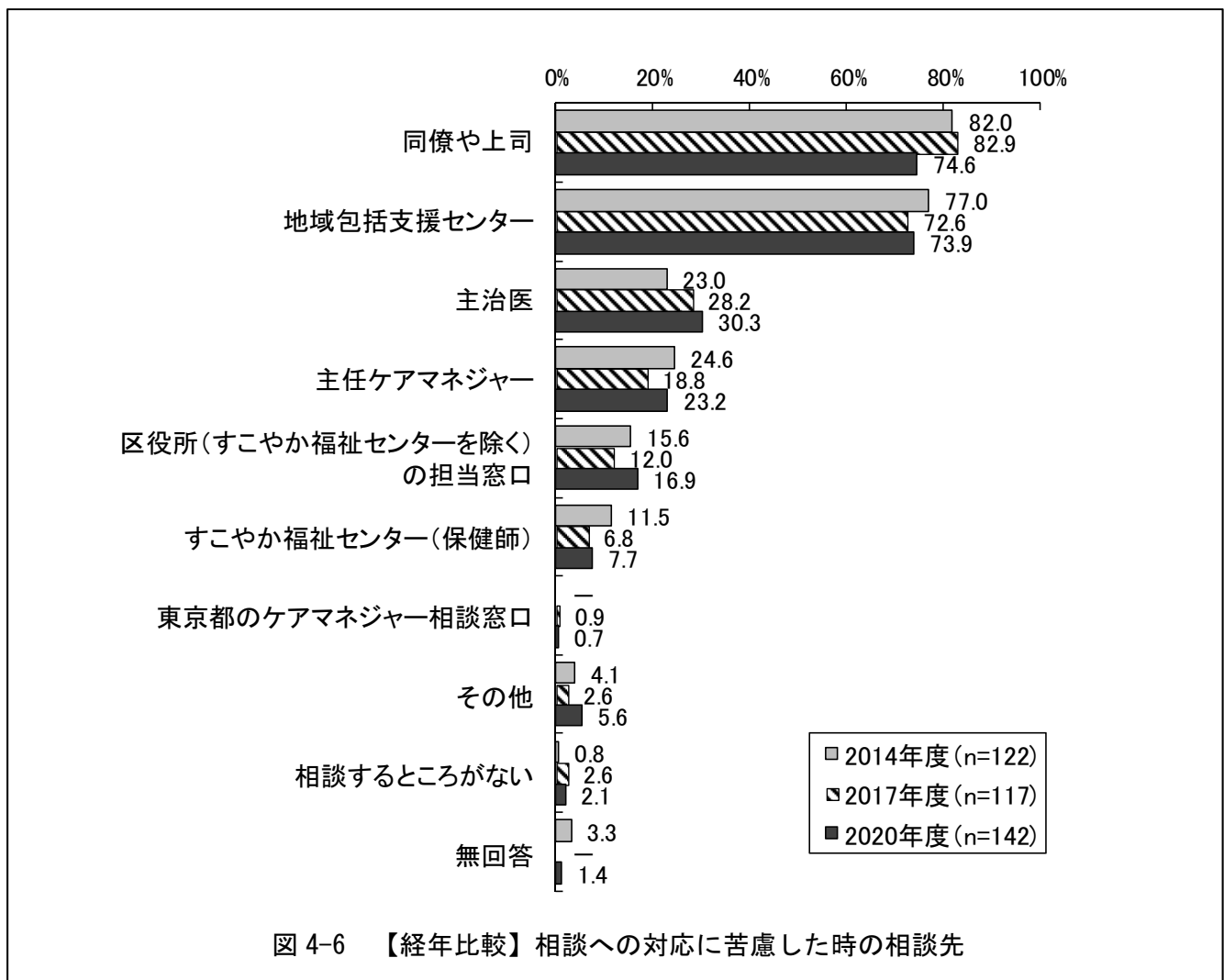


図 4-5 相談への対応に苦慮した時の相談先

「同僚や上司」が7割台半ばと最も高くなっており、次いで「地域包括支援センター」となっている。



経年比較でみると、2014年度と比較して「主治医」は7.3ポイント増加、「同僚や上司」は7.4ポイント減少している。

4.4. 高齢者等への虐待が疑われるケースの発見や相談の件数

◆「1件～9件」が8割台前半

問31 ケアマネジャーに従事して以来、高齢者等に対する虐待が疑われるようなケースを発見したり相談を受けたりしたことがどのくらいありますか。(〇は1つ)

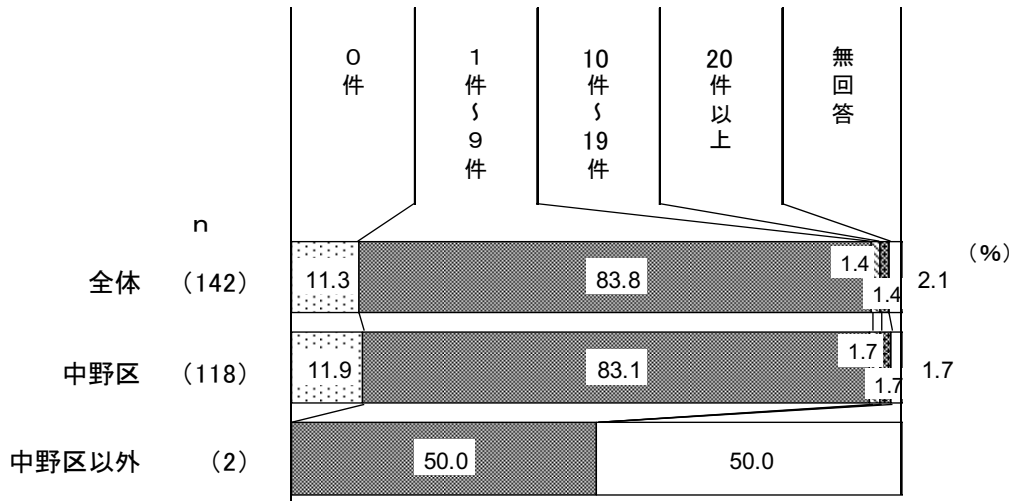


図4-7 高齢者等への虐待が疑われるケースの発見や相談の件数

「1件～9件」が8割台前半と最も高くなっている。

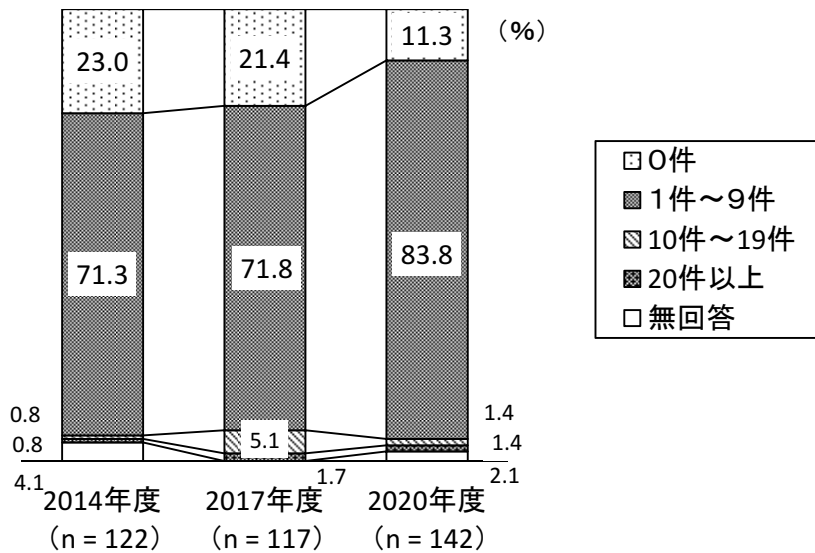


図4-8 【経年比較】 高齢者等への虐待が疑われるケースの発見や相談の件数

経年比較でみると、2014年度と比較して「1件～9件」は12.5ポイント増加している。

4.5. 高齢者虐待対応について強化すべきこと

◆「地域包括支援センターとの連携」が7割台前半

問 32 高齢者虐待対応について強化すべきと思うことは何ですか。(あてはまるものすべてに○)

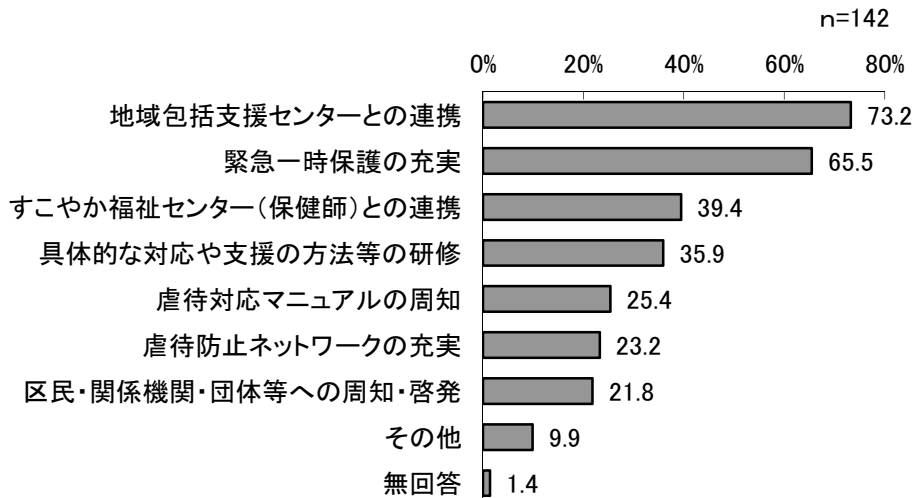


図 4-9 高齢者虐待対応について強化すべきこと

「地域包括支援センターとの連携」が7割前半と最も高く、次いで「緊急一時保護の充実」となっている。

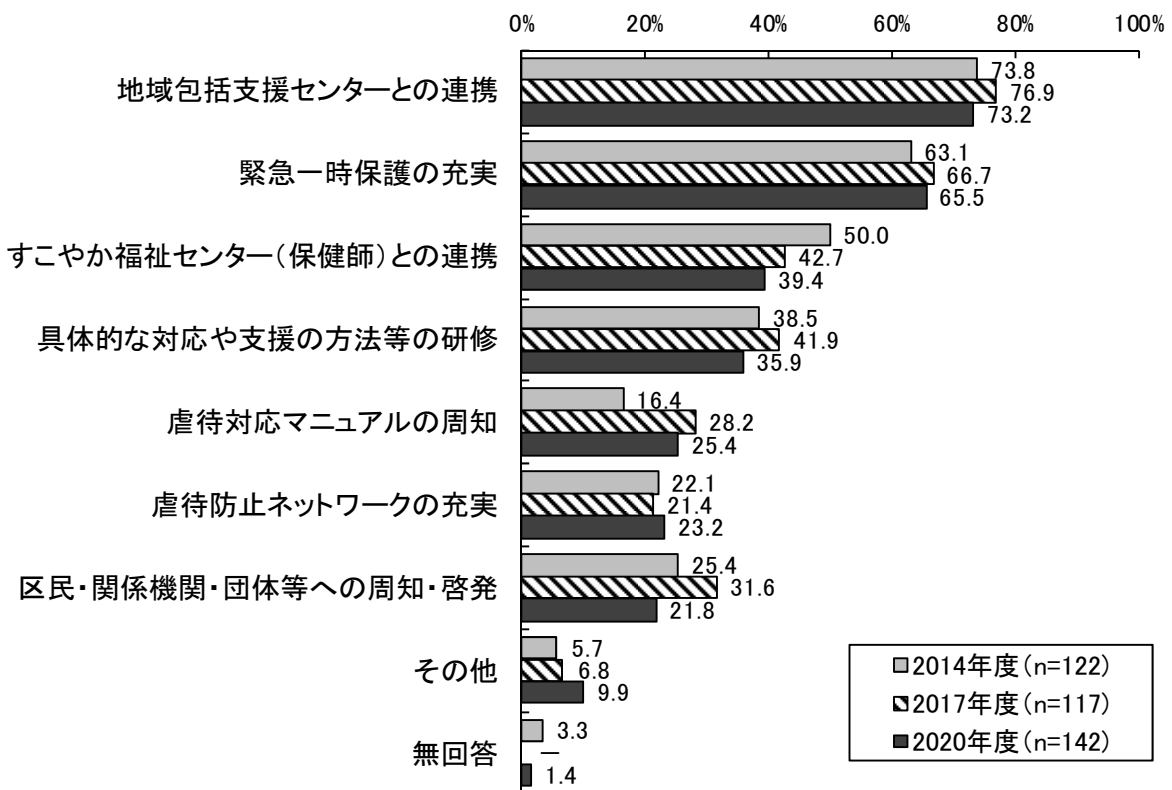


図 4-10 【経年比較】 高齢者虐待対応について強化すべきこと

経年比較でみると、2014年度と比較して「すこやか福祉センター(保健師)との連携」が10.6ポイントの減少、「虐待対応マニュアルの周知」が9.0ポイントの増加となっている。

5. 介護予防について

5.1. 充実すべき区の介護予防事業

◆「転倒予防教室」が5割台後半

問 33 区は介護予防事業として充実すべきと思われる事業を選んでください。

(○は主なもの3つまで)

n=142

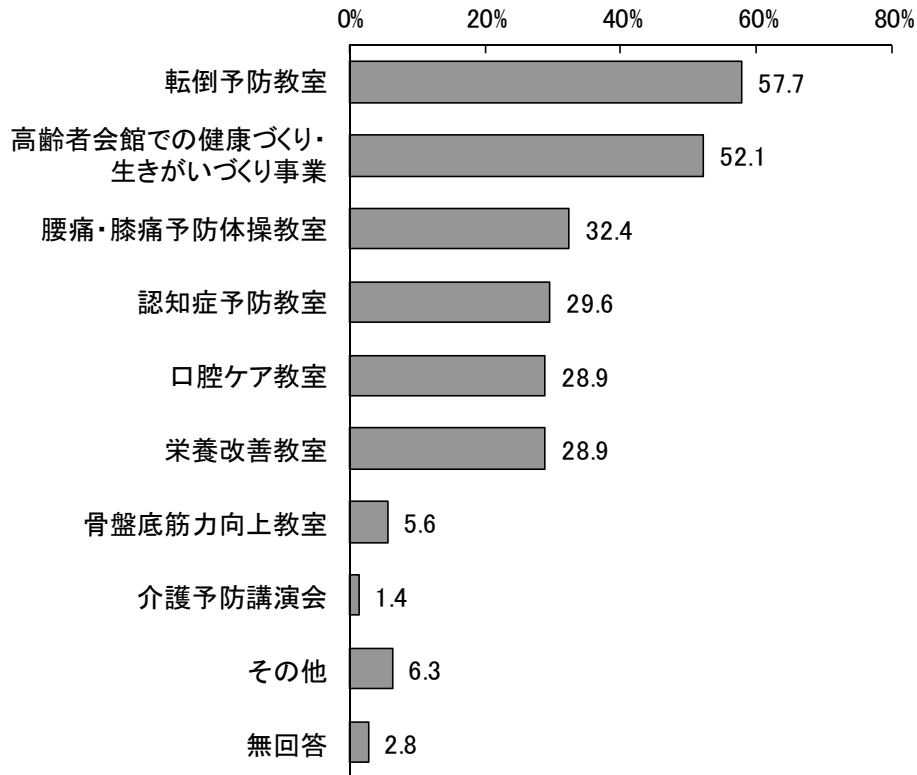


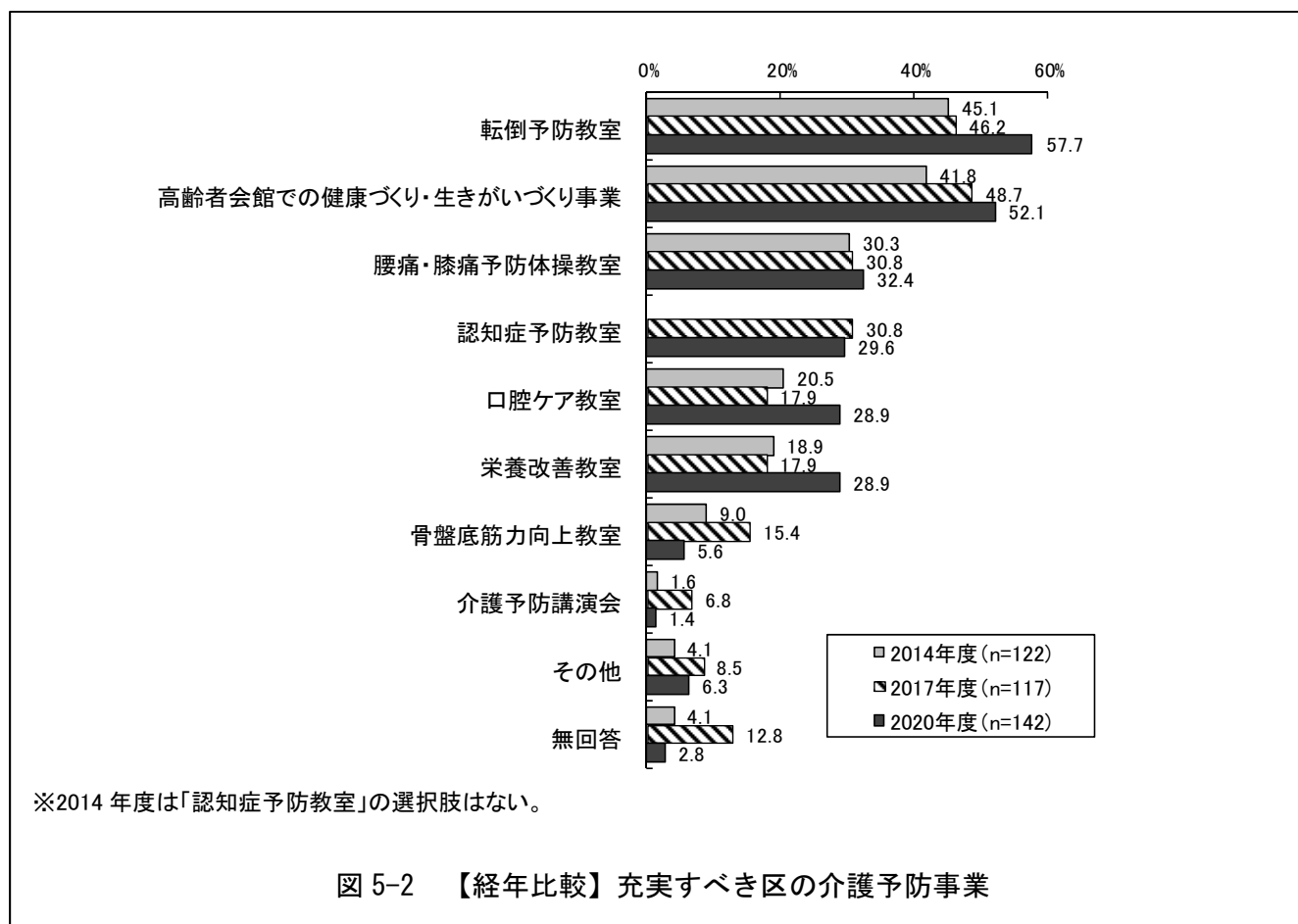
図 5-1 充実すべき区の介護予防事業

「転倒予防教室」が5割台後半と最も高くなっており、次いで「高齢者会館での健康づくり・生きがいつくり事業」となっている。

【区内外の別】充実すべき区の介護予防事業

単位: %

	有効回答数(件)	転倒予防教室	口腔ケア教室	腰痛・膝痛予防体操教室	骨盤底筋力向上教室	栄養改善教室	高齢者会館での健康づくり・生きがいつくり事業	介護予防講演会	認知症予防教室	その他	無回答
中野区	118	58.5	30.5	33.9	6.8	24.6	52.5	1.7	31.4	6.8	2.5
中野区以外	2	50.0	50.0	0.0	0.0	50.0	0.0	0.0	0.0	0.0	50.0



「転倒予防教室」「高齢者会館での健康づくり・生きがいきづくり事業」など、全体的に増加傾向となっている。

6. 成年後見制度について

6.1. 成年後見制度が必要と思われるが使っていない人数

◆「いない」が3割台前半

問 34 あなたの担当する認知症日常生活自立度Ⅱ以上の人で成年後見制度が必要と思われるが使っていない人は何名いますか。(○は1つ)

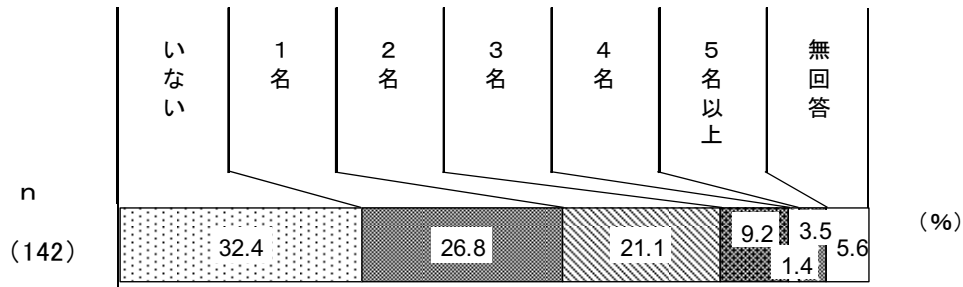
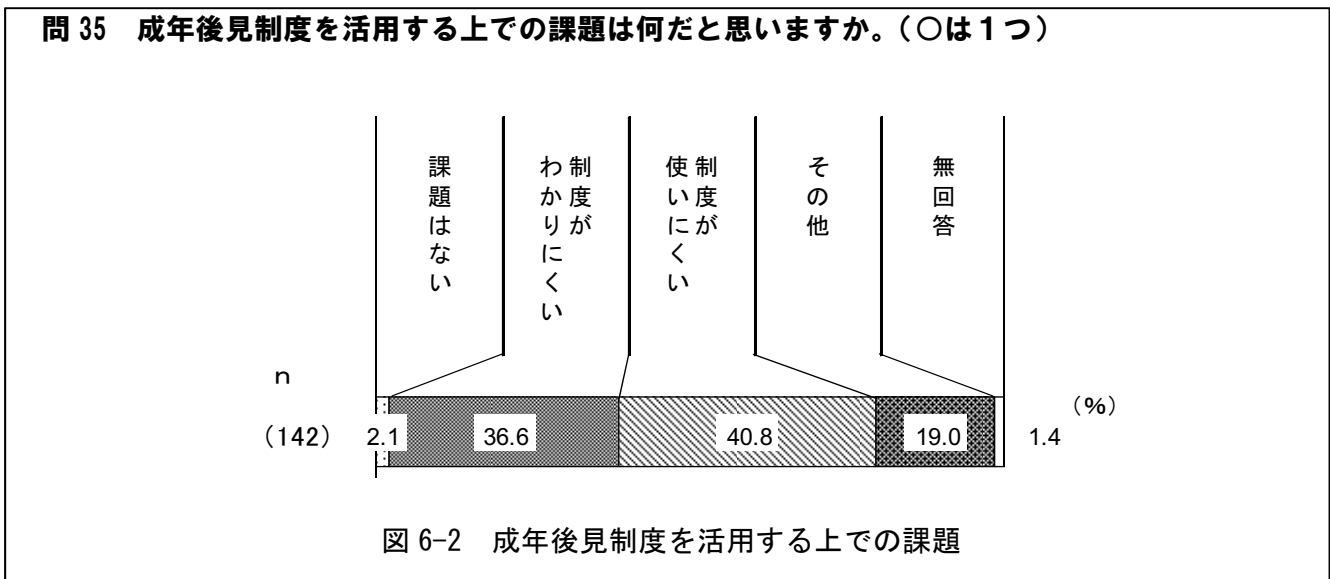


図 6-1 成年後見制度が必要と思われるが使っていない人数

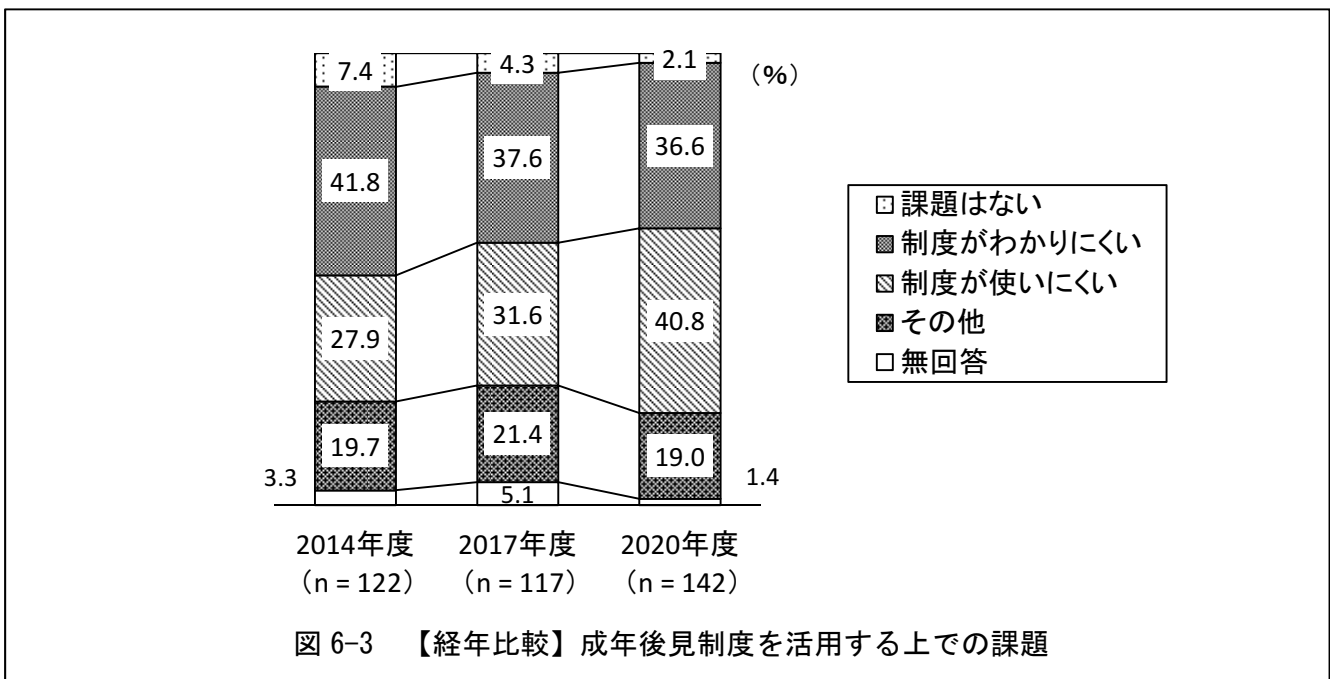
「いない」が3割台前半と最も高く、次いで「1名」、「2名」となっている。

6.2. 成年後見制度を活用する上での課題

◆「制度が使いにくい」が約4割



「制度が使いにくい」が約4割と最も高くなっており、次いで「制度がわかりにくい」となっている。



経年比較でみると、「制度が使いにくい」は増加する一方、「制度がわかりにくい」は減少している。

7. 認知症に関する課題について

7.1. 「認知症に関する家族介護教室」への参加のすすめ

◆「すすめたことがある」が6割台半ば

問 36 区は認知症の方を抱える家族を支援するために、認知症の方の特性や具体的な介護の仕方などについて学ぶ「認知症に関する家族介護教室」を開催していますが、あなたは家族に参加をすすめたことがありますか。(○は1つ)

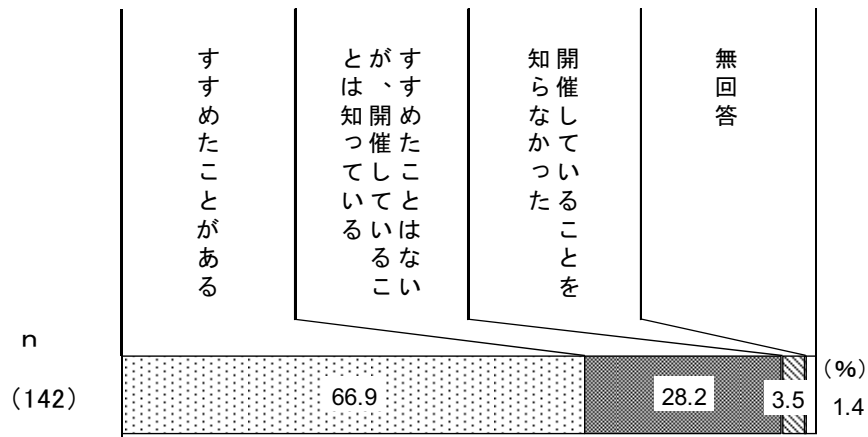
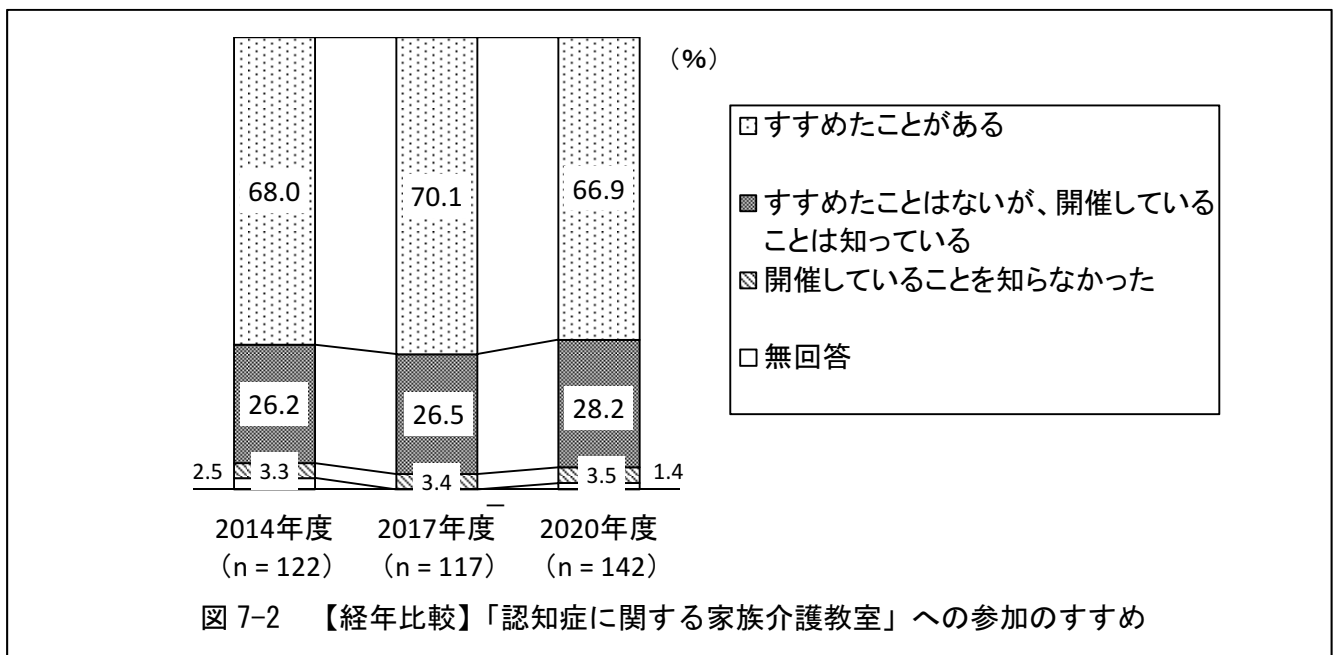


図 7-1 「認知症に関する家族介護教室」への参加のすすめ

「すすめたことがある」が6割台半ば、「すすめたことはないが、開催していることは知っている」は2割台後半となっている。

【広く周知するための具体的な方法】

- ・開催時期をチラシやケアマネ事業所宛に Fax してほしい。
- ・居宅介護支援事業所にパンフレットを郵送する。要介護認定や負担割証と一緒に同封する。
- ・区役所でのケアマネ研修の時などお知らせして頂くなど。
- ・講習会や研修会の時に広報するとか。 など



経年比較でみると、大きな差異はみられない。

7.2. 認知症高齢者に関して必要な施策

◆「家族への悩みの相談等の支援」が5割

問 37 認知症高齢者に関してどのような施策が特に必要だと考えますか。

(○は主なもの3つまで)

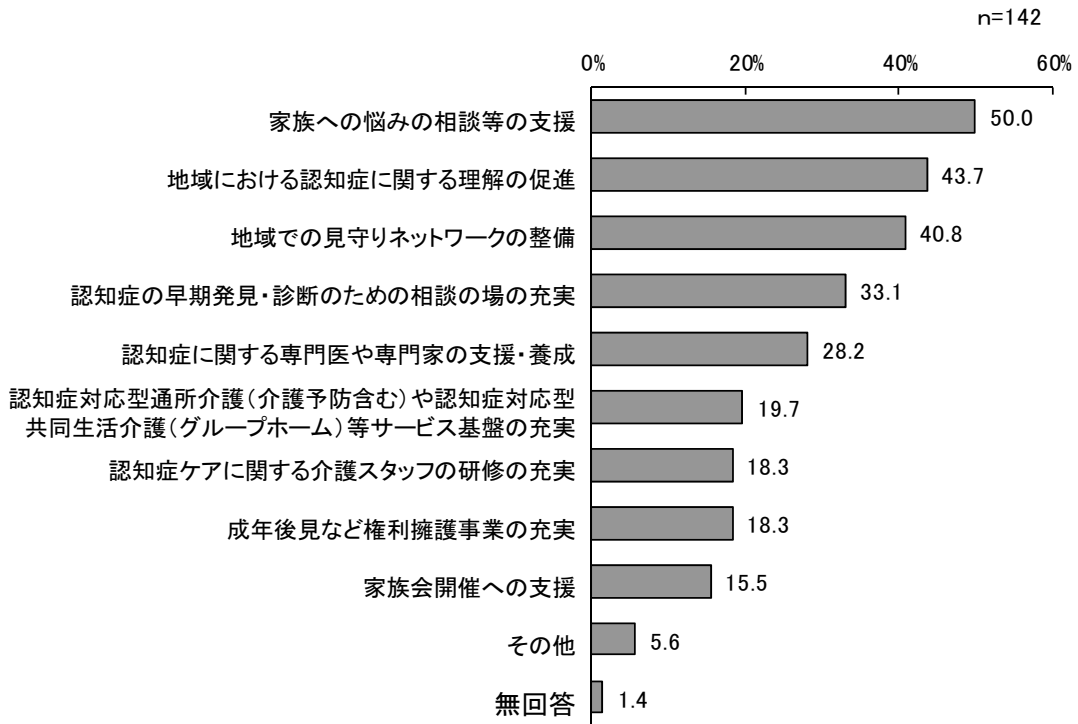


図 7-3 認知症高齢者に関して必要な施策

「家族への悩みの相談等の支援」が5割と最も高くなっており、次いで「地域における認知症に関する理解の促進」「地域での見守りネットワークの整備」などとなっている。

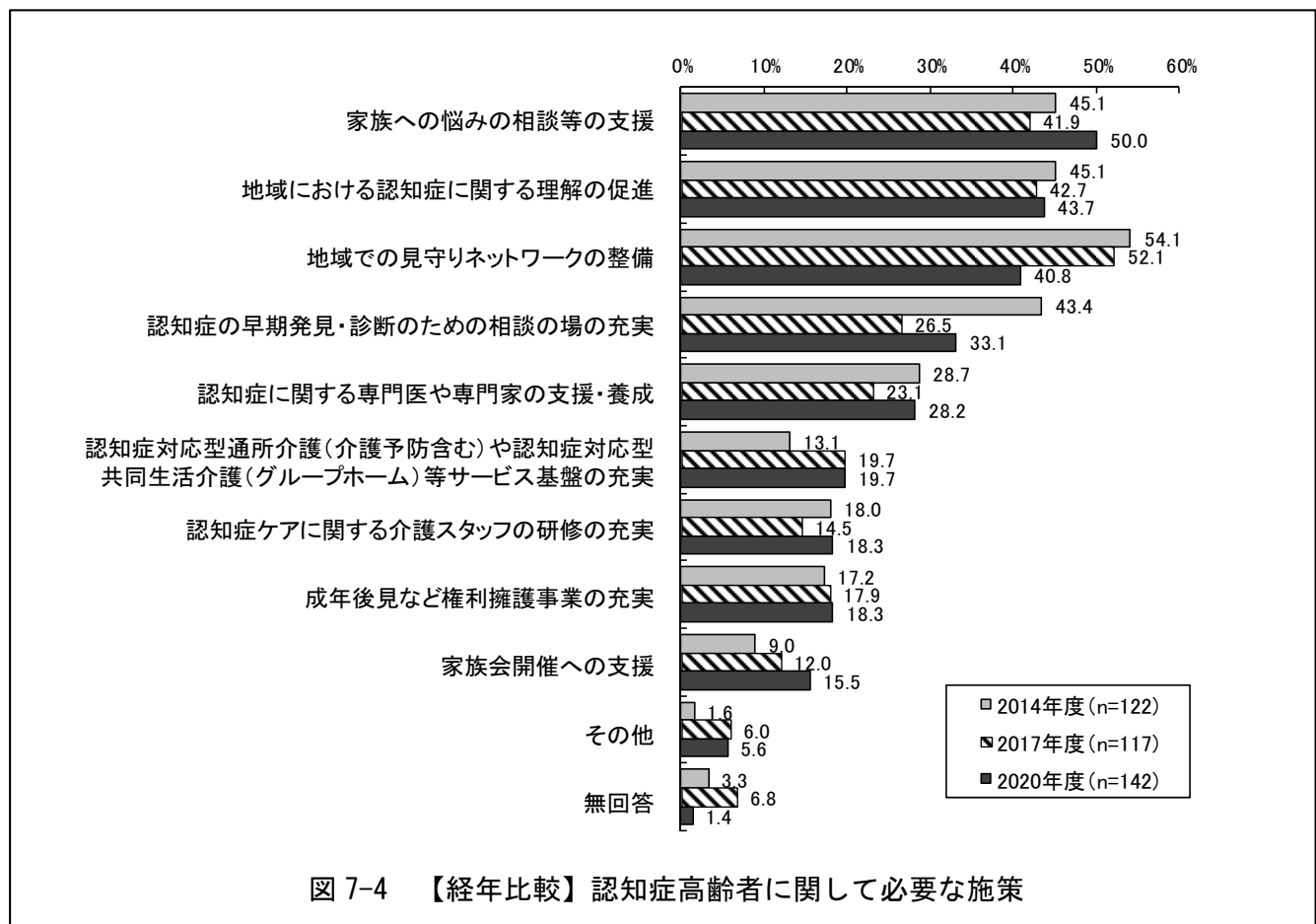


図 7-4 【経年比較】認知症高齢者に関して必要な施策

経年比較でみると、2014年度と比較して、「地域での見守りネットワークの整備」「認知症の早期発見・診断のための相談の場の充実」が大きく減少している。

8. 在宅介護の可能性の拡大について

8.1. 要介護者等が居宅や地域での生活をするために充実すべき点

◆「24時間の緊急時に即応できる体制の整備」が7割台半ば

問 38 要介護者等について、どのような点が充実すれば居宅や地域での生活をする事ができるとお考えですか。(あてはまるものすべてに○)

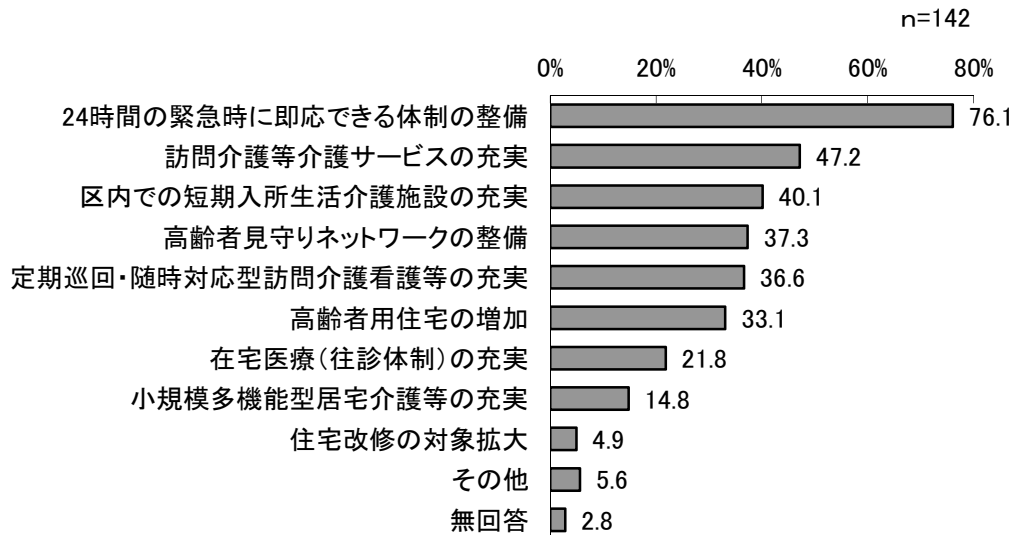
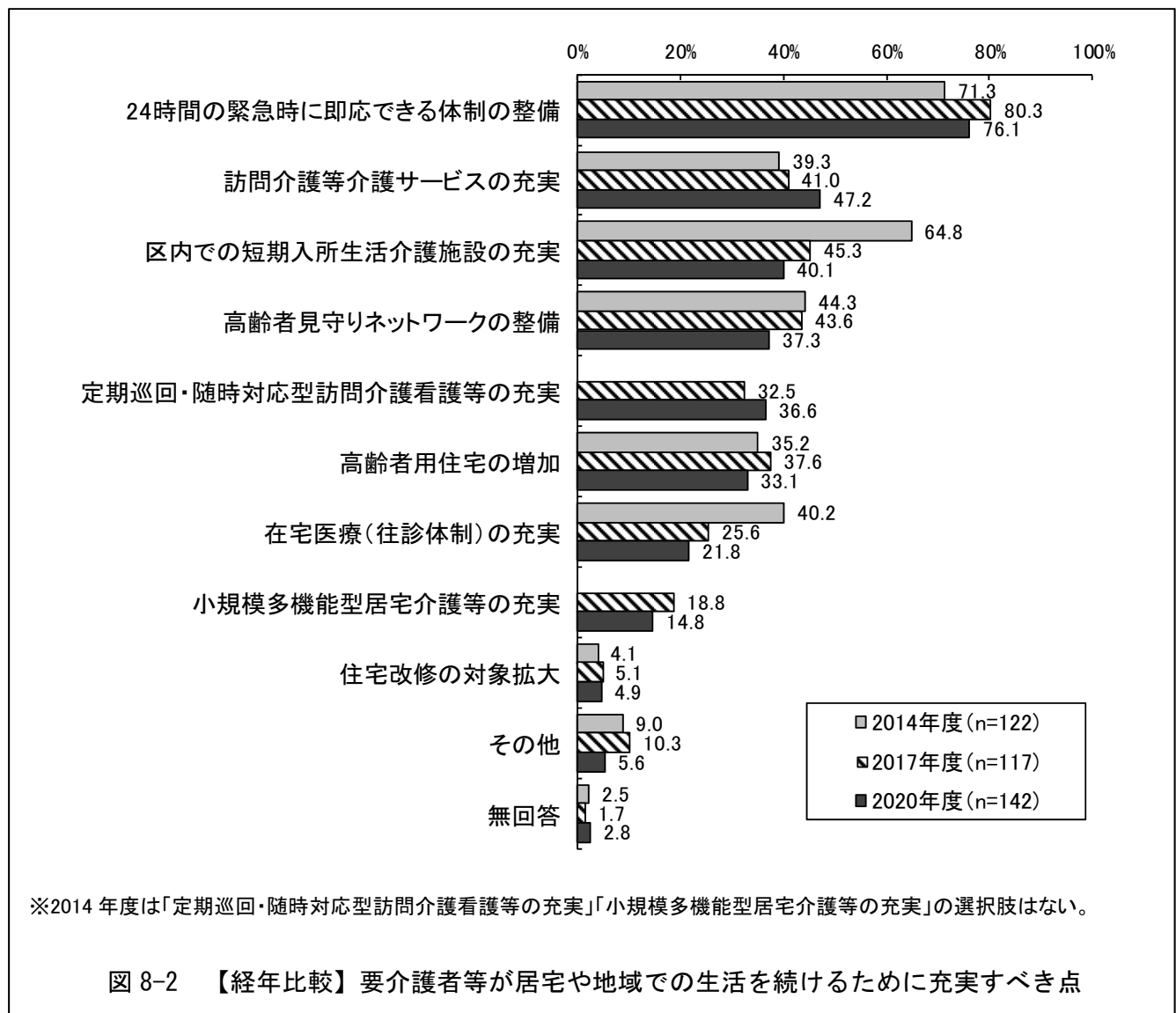


図 8-1 要介護者等が居宅や地域での生活をするために充実すべき点

「24時間の緊急時に即応できる体制の整備」が7割台半ばと最も高く、次いで「訪問介護等介護サービスの充実」「区内での短期入所生活介護施設の充実」などとなっている。



経年比較でみると、「24時間の緊急時に即応できる体制の整備」「訪問介護等介護サービスの充実」が増加傾向であるのに対し、「区内での短期入所生活介護施設の充実」「高齢者見守りネットワークの整備」「在宅医療（往診体制）の充実」は減少傾向となっている。

9. 業務遂行上の問題について

9.1. 業務遂行上の問題について

◆「文書の作成等事務処理に追われる」が7割台前半

問 39 業務遂行上、最も困っていることはどのようなことですか。(〇は主なもの3つまで)

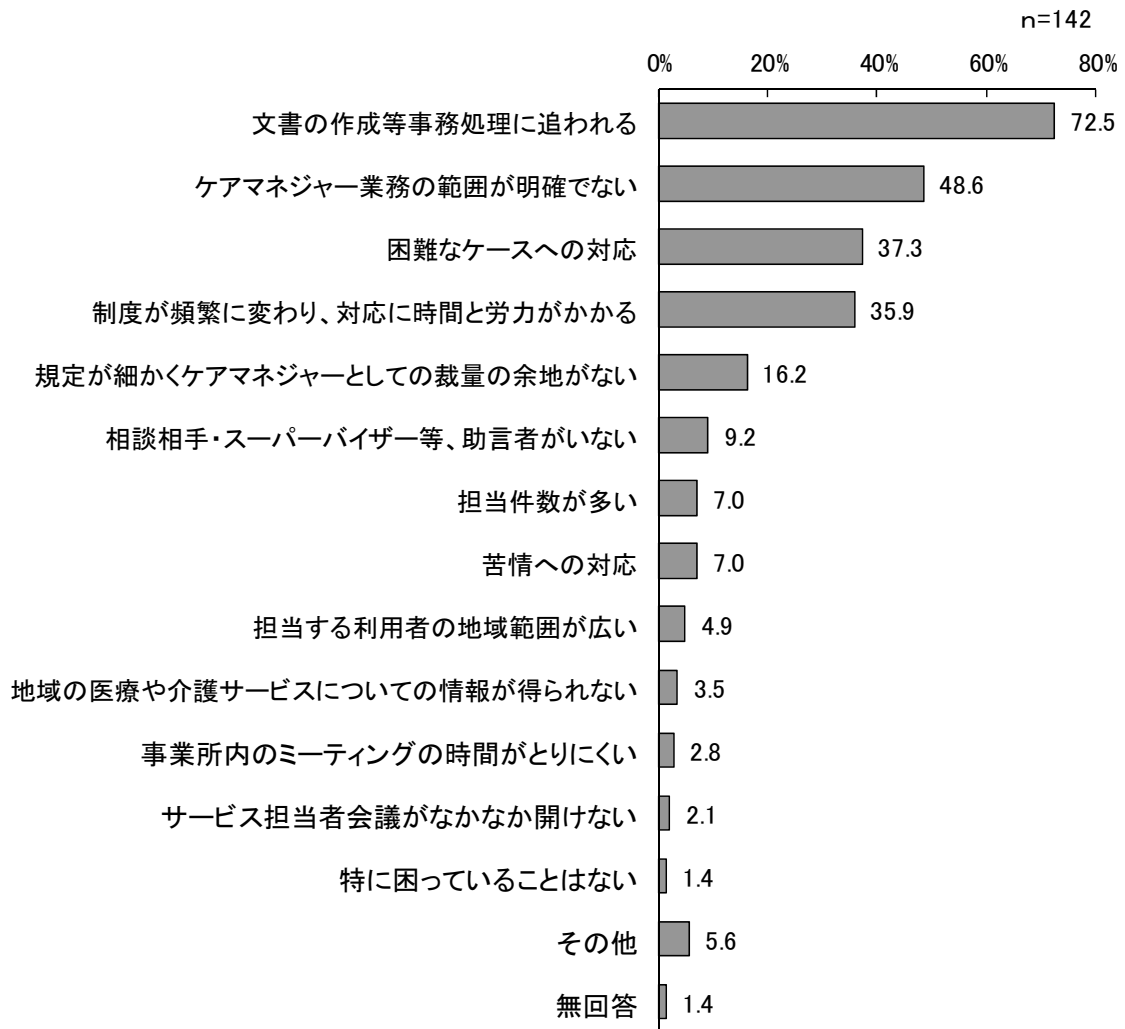
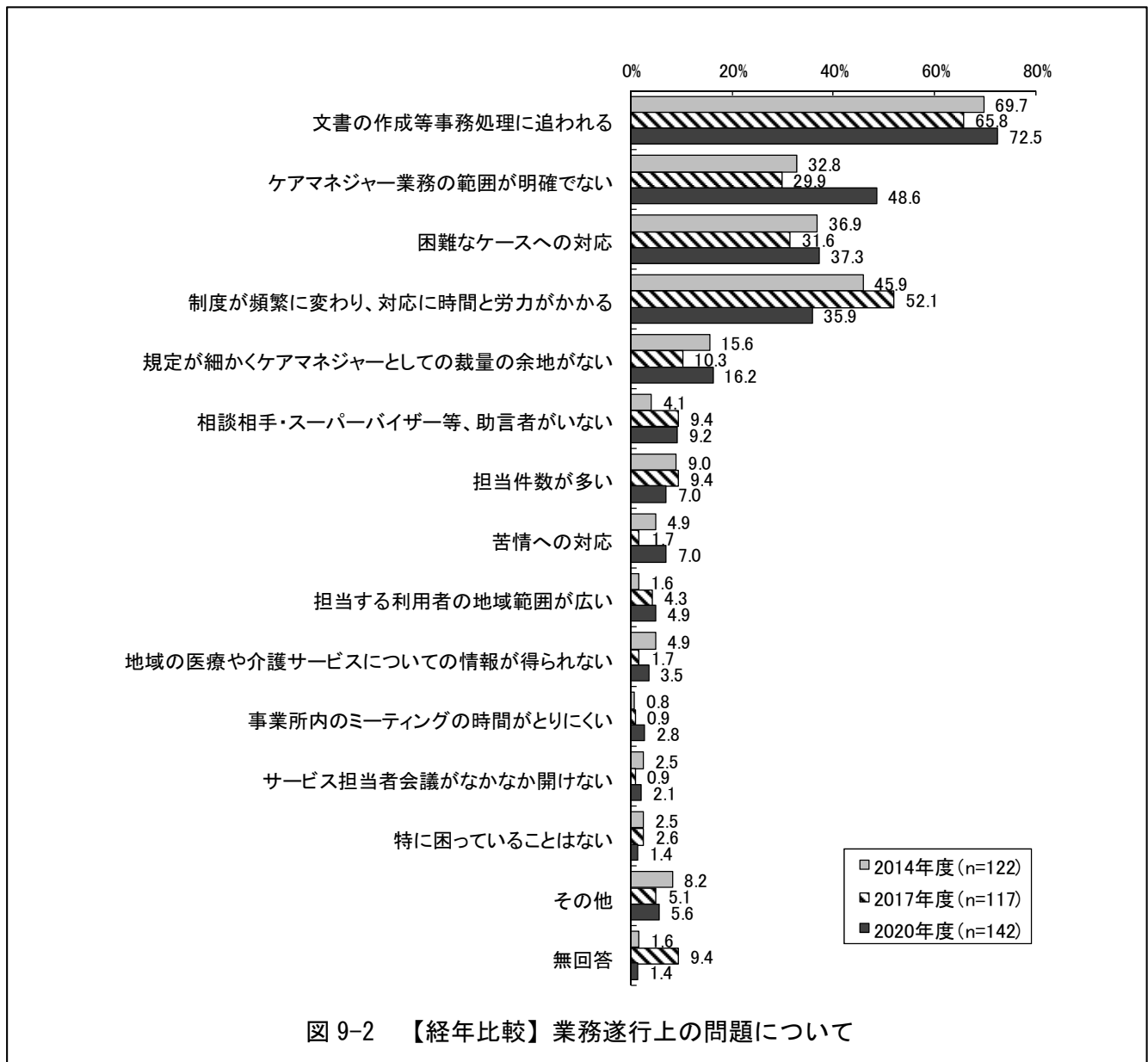


図 9-1 業務遂行上の問題について

「文書の作成等事務処理に追われる」が7割台前半で最も高くなっており、次いで「ケアマネジャー業務の範囲が明確でない」「困難なケースへの対応」「制度が頻繁に変わり、対応に時間と労力がかかる」などとなっている。



経年比較でみると、2014年と比較して「ケアマネジャー業務の範囲が明確でない」が15.8ポイントの増加、「制度が頻繁に変わり、対応に時間と労力がかかる」が10.0ポイントの減少と大きく変化している。

9.2. 小規模多機能型居宅介護サービスの活用しづらさについて

◆「ケアマネジャーを切り替えなければならない」が約5割

問 40 小規模多機能型居宅介護サービスの活用しづらさはどのようなことですか。

(あてはまるものすべてに○)

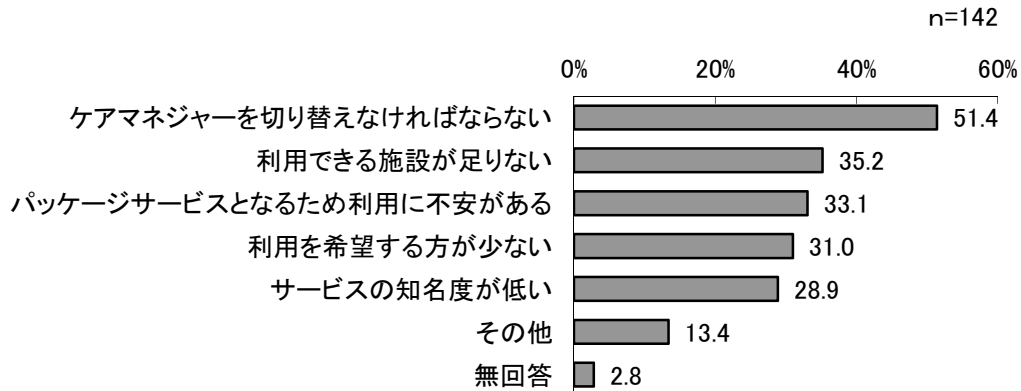


図 9-2 小規模多機能型居宅介護サービスの活用しづらさについて

「ケアマネジャーを切り替えなければならない」が約5割と最も高くなっており、次いで「利用できる施設が足りない」「パッケージサービスとなるため利用に不安がある」などとなっている。

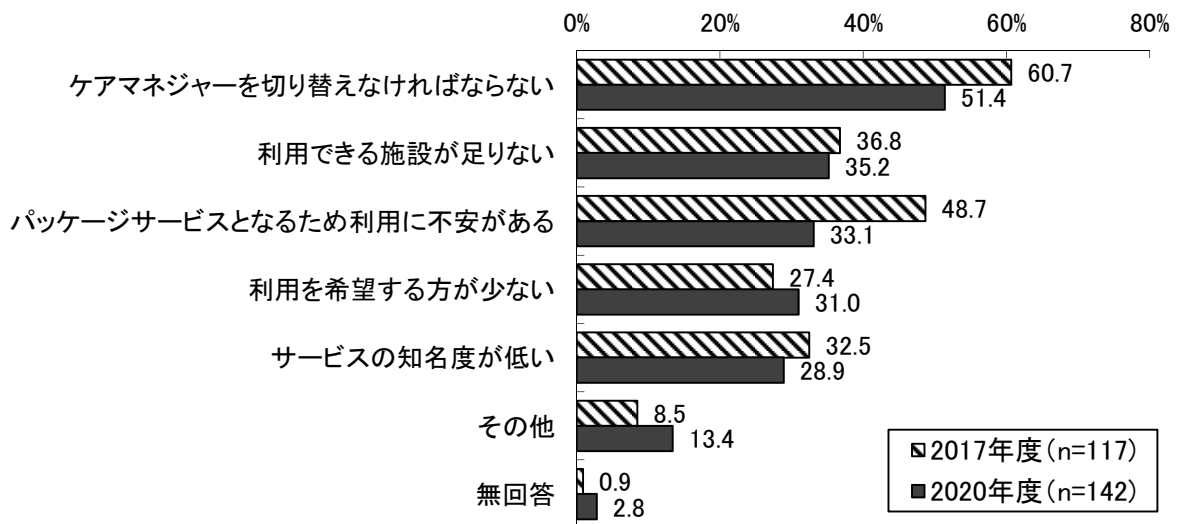


図 9-2 小規模多機能型居宅介護サービスの活用しづらさについて

経年比較でみると、2017年度と比較して「ケアマネジャーを切り替えなければならない」が9.3ポイント、「パッケージサービスとなるため利用に不安がある」が15.6ポイントと大幅に減少している。

10. 介護保険制度に関する意見について（自由回答）

問 41 介護保険制度に関してご意見等ありましたら、ご自由にお書きください。

介護保険制度に関する意見等を自由に記入していただいたところ、64人の方から回答があった。ここでは、その中から代表的な意見を掲載する。

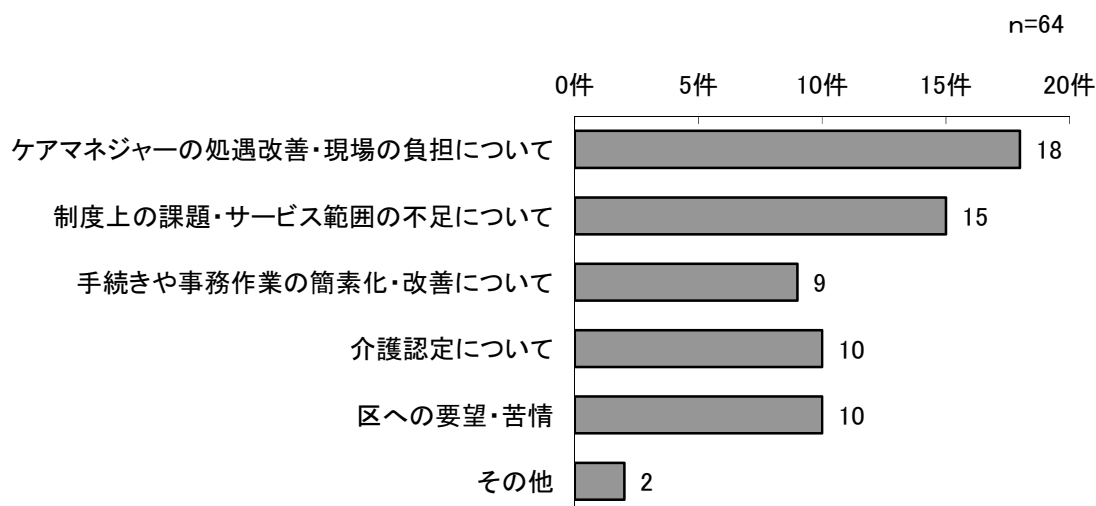


図 10-1 自由回答分類別件数

ケアマネジャーの処遇改善・現場の負担について 18 件

- ケアプランを含めてのケアマネジメントの有料化。
- ケアマネジャーの受験率が下がっており、若い方の意識としてもやりたい仕事なのかどうか、正直微妙なところなのではないでしょうか。介護職の処遇について取りあげられますが、ケアマネの処遇についても検討して頂ければと思います。
- 利用者の生活を支えるには、介護保険だけでは足りない部分がたくさんある。そのすきまをうめているのがケアマネです。命にかかわることに直面して、ケアマネ業務外なので出来ませんとは言えません。表面にはでない所でごんばっているケアマネは多くいます。研修を義務づけられているのですから国家資格にして欲しいと思います。
- 人材不足。AI化に期待大。

制度上の課題・サービス範囲の不足について 15 件

- 老々介護が多くなってきており、家族（別居）のサポートがない場合など全て訪問介護や看護でサポートする場合、単位数が足りず、多額の自費が出てしまいます。定期巡回サービスもヘルパーが変わるのは嫌ということになり、特に介護の重い方の単位数はもう少し増やしていただきたいです。
- 家族が遠方で独居生活が困難な方が、施設入所待ちの間居ることのできる場所がない。宿泊デイを利用せざるを得ない場合、基準を明確に利用しやすくしてほしい。虐待ケースや独居生活困難者の避難場所を考えてほしい。
- 身体介護に関しては必要を多く感じられトラブル少なくサービスが提供できるが、生活支援は問題が多くある。個々人の生活レベルは差が大きくあることからか、不満を持つ利用者が多い。出来ないことへの支援、支援を受けないと生活ができない事の見極めができていないことでトラブルがあり、プランに生活支援を入れるのは難しい。

- 今回コロナ禍で集団をさげ、デイサービスの利用をひかえ筋力、体力低下が目立つ方が多くいます。介護保険や独自サービスで散歩介助や趣味の場所への移動介助、要支援者の通院、院内介助などができるようになると自立支援につながっていくのではないかと切に思います。

手続きや事務作業の簡素化・改善について 9件

- ケアマネは対応に日々追われることが多く、もう少し書類の簡素化ができるといいと思う。
- 制度が分かりにくく、利用者に理解されにくい。特に予防、総合事業の制度がかわり、より複雑化してしまっている。簡略化が必要。料金設定、加算が複雑すぎる。

介護認定について 10件

- 更新や区変の認定結果が出るまでにとっても時間がかかったり、有効期間満了日ギリギリだったり、過ぎてしまうことがあるので、担当者会議等必須な調整が出来ず困る事があります。
- 介護度が多く分かれすぎていて手間が掛かりすぎる。前の様な5段階にして使い易い制度にして欲しい。本当に必要な人に必要な介護ができるように考えて欲しい。相談業務に費用が掛かる事の無いようお願いしたい。ありがとうございました。

区への要望・苦情 10件

- 在宅生活を継続していくには、主介護者が心身ともに健康でなければなりません。主介護者のレスパイトが図れるようなサービスの確保が必要かと思えます（ショートや通所系サービス）。
- 地域での集会に参加した時、メンバー（主に町会）の方々から「使うときはよろしく」と言われるが『元気で活躍されることが一番。介護保険はあくまでも保険サービス』というようなことを伝えます。介護保険のサービスは、本当に必要な方に、効果的に利用していただきたいと思うので、区で予防事業の励行をお願いしたい。新型コロナで家にいることが長くなった高齢者の方の心身の状態が心配です。

その他 2件

- 特養待ちの利用者が多く、家族の負担が長く続いてしまう。

Ⅲ 調査票と単純集計

令和2年度（2020年度）
高齢福祉・介護保険サービス意向調査
《高齢者調査》

【調査のご記入にあたってのお願い】

1. この調査は、できるかぎりあて名の方ご本人がお答えください。ご本人がお答えにならない場合には、ご家族や介護されている方が、ご本人の立場に立ってお答えください。
2. このアンケートは名前・住所を書いていただく必要はありません。
3. ご記入は、必ず黒又は青のボールペン又は鉛筆でお願いします。
4. 質問番号に沿って、できるかぎり全部の質問にお答えください。
5. お答えは、あてはまる回答の番号に○印をつけてください。
6. 「その他（ ）」に○印をつけられた方は、お手数ですが具体的にご記入ください。
7. ご記入いただきました調査票は、

令和2年5月29日（金曜日）までに

三つ折りにした上で、同封した返信用封筒（切手不要）に入れて郵送してください。

8. 調査報告書は、10月末から図書館、すこやか福祉センター、区ホームページなどでご覧になれます。
9. 調査の内容や記入の方法などについて、ご不明な点がございましたら、下記までお問合せください。

中野区地域支えあい推進部介護・高齢者支援課管理企画係

TEL. 03-3228-5629 FAX. 03-3228-8972

E-mail kaigokourei@city.tokyo-nakano.lg.jp

質問の上に（全員の方に）と記載のあるものは全員の方が、（～の方に）とその他の記載があるものはその条件に合う方のみお答えください。

（全員の方に）

問1 記入日

令和2年			月			日
------	--	--	---	--	--	---

（全員の方に）

問2 調査票を記入されたのはどなたですか。○をつけてください。（○は1つ）

＜回答者数：1,925＞

1. あて名のご本人が記入（87.2%）	2. ご家族が記入（6.0%）
3. その他（0.3%）	無回答（6.6%）

【個人情報の取り扱いについて】

<p>個人情報の保護及び活用目的は以下のとおりですので、ご確認ください。 なお、本調査票のご返送をもちまして、下記にご同意いただいたものと見なさせていただきます。</p>
<p>【個人情報の保護及び活用目的について】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・この調査は、効果的な介護予防政策の立案と効果評価のために行うものです。本調査で得られた情報につきましては、区による介護保険事業計画策定と効果評価の目的以外には利用いたしません。また当該情報については、区において適切に管理いたします。 ・ただし、介護保険事業計画策定時及び効果評価時に本調査で得られたデータを活用するにあたり、厚生労働省の管理する区外のデータベース内に情報を登録し、必要に応じて集計・分析をすることがあります。

1 あなた自身のことについておたずねします

（全員の方に）

問3 あなたがお住まいの地域はどこですか。（○は1つ）

＜回答者数：1,925＞

1. 上鷺宮（4.5%）	2. 鷺宮（4.6%）	3. 白鷺（3.7%）	4. 若宮（3.8%）
5. 大和町（4.4%）	6. 江原町（2.9%）	7. 江古田（4.1%）	8. 野方（5.6%）
9. 丸山（1.5%）	10. 沼袋（4.3%）	11. 松が丘（1.8%）	12. 新井（4.2%）
13. 上高田（7.1%）	14. 中野（8.5%）	15. 東中野（5.0%）	16. 中央（7.8%）
17. 本町（8.0%）	18. 弥生町（6.8%）	19. 南台（7.3%）	無回答（3.9%）

(全員の方に)

問4 丁目を記入してください

() 丁目

(全員の方に)

問5 あなたの性別はどちらですか。

<回答者数：1,925>

1. 男 (43.9%) 2. 女 (53.4%) 3. その他 (0.1%) 無回答 (2.6%)

(全員の方に)

問6 あなたの年齢は、次のどれにあてはまりますか。

<回答者数：1,925>

1. 65～69歳 (21.3%) 2. 70～74歳 (25.9%) 3. 75～79歳 (20.5%) 4. 80～84歳 (15.9%)
5. 85～89歳 (9.9%) 6. 90歳以上 (4.0%) 無回答 (2.5%)

2 あなたのご家族や生活状況について

(全員の方に)

問7 家族構成をお教えてください。(○は1つ)

<回答者数：1,925>

1. 1人暮らし (26.0%) 2. 夫婦2人暮らし (配偶者65歳以上) (35.0%)
3. 夫婦2人暮らし (配偶者64歳以下) (4.1%) 4. 息子・娘との2世帯 (13.9%)
5. その他 (18.1%) 無回答 (3.1%)

(全員の方に)

問8 あなたは要支援認定等を受けていますか。(○は1つ)

<回答者数：1,925>

1. 要支援認定等を受けていない (86.0%) 2. 要支援1 (4.6%)
3. 要支援2 (2.7%) 4. 介護予防・生活支援サービス事業対象者 (0.7%)
5. わからない (2.4%) 無回答 (3.5%)

(全員の方に)

問8-1 あなたは、普段の生活でどなたかの介護・介助が必要ですか。(○は1つ)

<回答者数：1,925>

- | |
|---|
| 1. 介護・介助は必要ない (85.1%) |
| 2. 何らかの介護・介助は必要だが、現在は受けていない (7.1%) |
| 3. 現在、何らかの介護を受けている (介護認定を受けずに家族などの介護を受けている場合も含む) (6.0%) |
| 無回答 (1.8%) |

(問8-1において「2」「3」に○をつけた方に)

問8-2 介護・介助が必要になった主な原因はなんですか。(あてはまるものすべてに○)

<回答者数：251>

- | | |
|---------------------------|----------------------------|
| 1. 脳卒中 (脳出血・脳梗塞等) (11.2%) | 2. 心臓病 (15.9%) |
| 3. がん (悪性新生物) (6.8%) | 4. 呼吸器の病気 (肺気腫・肺炎等) (6.4%) |
| 5. 関節の病気 (リウマチ等) (8.0%) | 6. 認知症 (アルツハイマー病等) (6.0%) |
| 7. パーキンソン病 (4.0%) | 8. 糖尿病 (10.4%) |
| 9. 腎疾患 (透析) (0.4%) | 10. 視覚・聴覚障害 (8.8%) |
| 11. 骨折・転倒 (17.5%) | 12. 脊椎損傷 (8.0%) |
| 13. 高齢による衰弱 (26.3%) | 14. その他 (18.3%) |
| 15. 不明 (2.0%) | 無回答 (9.6%) |

(問8-1において「3」に○をつけた方に)

問8-3 主にどなたの介護、介助を受けていますか。(あてはまるものすべてに○)

<回答者数：115>

- | | | |
|------------------------|----------------|-----------------|
| 1. 配偶者 (夫・妻) (23.5%) | 2. 息子 (18.3%) | 3. 娘 (20.9%) |
| 4. 子の配偶者 (7.0%) | 5. 孫 (4.3%) | 6. 兄弟・姉妹 (5.2%) |
| 7. 介護サービスのヘルパー (32.2%) | 8. その他 (17.4%) | 無回答 (8.7%) |

(全員の方に)

問9 あなたの世帯の昨年の合計収入はいくらですか。(○は1つ)

<回答者数：1,925>

- | | |
|-------------------------|---------------------------|
| 1. 収入なし (8.5%) | 2. 200万円未満 (22.5%) |
| 3. 200～500万円未満 (41.9%) | 4. 500～700万円未満 (9.4%) |
| 5. 700～1,000万円未満 (5.9%) | 6. 1,000～1,500万円未満 (2.8%) |
| 7. 1,500万円以上 (2.3%) | 無回答 (6.6%) |

(全員の方に)

問9-1 あなたの現在の預貯金はいくらですか。(○は1つ) 回答者数：1,925>

- | | | |
|----------------------------|--------------------------|------------|
| 1. 貯蓄なし (12.7%) | 2. 50万円未満 (7.4%) | |
| 3. 50~300万円未満 (18.1%) | 4. 300~1,000万円未満 (22.5%) | |
| 5. 1,000~3,000万円未満 (22.4%) | 6. 3,000万円以上 (11.1%) | 無回答 (5.7%) |

(全員の方に)

問9-2 現在の暮らしの状況を経済的にみてどう感じていますか。(○は1つ)
<回答者数：1,925>

- | | | |
|---------------------|--------------------|----------------|
| 1. 大変苦しい (8.6%) | 2. やや苦しい (22.9%) | 3. ふつう (52.4%) |
| 4. ややゆとりがある (11.4%) | 5. 大変ゆとりがある (2.5%) | 無回答 (2.2%) |

(全員の方に)

問10 お住まいは一戸建て、または集合住宅のどちらですか。(○は1つ)
<回答者数：1,925>

- | | |
|-------------------------|------------------------|
| 1. 持家(一戸建て) (56.3%) | 2. 持家(集合住宅) (19.7%) |
| 3. 公営賃貸住宅 (4.4%) | 4. 民間賃貸住宅(一戸建て) (0.9%) |
| 5. 民間賃貸住宅(集合住宅) (12.8%) | 6. 借家 (2.3%) |
| 7. その他 (2.5%) | 無回答 (1.0%) |

3 からだを動かすことについて

(全員の方に)

問11 階段を手すりや壁をつたわずに昇っていますか。(○は1つ) <回答者数：1,925>

- | | | |
|----------------------|----------------------|-----------------|
| 1. できるし、している (61.4%) | 2. できるけどしてない (20.8%) | 3. できない (16.8%) |
| | | 無回答 (1.0%) |

(全員の方に)

問12 椅子に座った状態から何もつかまらずに立ち上がっていますか。(○は1つ)
<回答者数：1,925>

- | | | |
|----------------------|----------------------|-----------------|
| 1. できるし、している (76.6%) | 2. できるけどしてない (12.0%) | 3. できない (10.8%) |
| | | 無回答 (0.7%) |

(全員の方に)

問 13 15分位続けて歩いていますか。(○は1つ) <回答者数 : 1,925>

1. できるし、している (78.8%) 2. できるけどしてない (13.0%) 3. できない (6.4%) 無回答 (1.8%)

(全員の方に)

問 14 過去1年間に転んだ経験がありますか。(○は1つ) <回答者数 : 1,925>

1. 何度もある (9.5%) 2. 1度ある (21.4%) 3. ない (68.1%) 無回答 (1.1%)

(全員の方に)

問 15 転倒に対する不安は大きいですか。(○は1つ) <回答者数 : 1,925>

1. とても不安である (15.2%) 2. やや不安である (36.9%)
3. あまり不安でない (25.0%) 4. 不安でない (21.8%) 無回答 (1.1%)

(全員の方に)

問 16 週に1回以上は外出していますか。(○は1つ) <回答者数 : 1,925>

1. ほとんど外出しない (7.6%) 2. 週1回 (11.1%)
3. 週2~4回 (44.8%) 4. 週5回以上 (35.3%) 無回答 (1.2%)

(全員の方に)

問 17 昨年と比べて外出の回数が減っていますか。(○は1つ) <回答者数 : 1,925>

1. とても減っている (11.5%) 2. 減っている (32.9%)
3. あまり減っていない (26.8%) 4. 減っていない (26.7%) 無回答 (2.0%)

(問17で「1」「2」に○をつけた方に)

問 17-1 外出が減っている理由は次のどれですか。(あてはまるものすべてに○)

<回答者数 : 856>

1. 病気 (7.1%)	2. 障害 (脳卒中の後遺症など) (1.2%)
3. 足腰などの痛み (30.0%)	4. トイレの心配 (失禁など) (6.9%)
5. 耳の障害 (聞こえの問題など) (4.3%)	6. 目の障害 (3.2%)
7. 外での楽しみがない (11.4%)	8. 経済的に出られない (4.6%)
9. 交通手段がない (2.0%)	10. 同行してくれる人がいない (4.1%)
11. 家族等から止められている (3.6%)	12. その他 (51.1%) 無回答 (5.8%)

(全員の方に)

問 18 外出する際の移動手段は何ですか。(あてはまるものすべてに○) <回答者数 : 1,925>

1. 徒歩 (82.1%)	2. 自転車 (37.6%)
3. バイク (2.0%)	4. 自動車 (自分で運転) (16.1%)
5. 自動車 (人に乗せてもらう) (11.6%)	6. 電車 (55.1%)
7. 路線バス (53.5%)	8. 病院や施設のバス (1.2%)
9. 車いす (1.0%)	10. 電動車いす (カート) (0.1%)
11. 歩行器・シルバーカー (1.7%)	12. タクシー (18.2%)
13. その他 (0.9%)	無回答 (1.3%)

4 食べることについて

(全員の方に)

問 19 身長・体重

①身長 () c m	②体重 () k g
-------------	-------------

(全員の方に)

問 20 半年前に比べて固いものが食べにくくなりましたか。(○は1つ) <回答者数 : 1,925>

1. はい (28.5%)	2. いいえ (70.2%)	無回答 (1.2%)
---------------	----------------	------------

(全員の方に)

問 21 お茶や汁物等でむせることがありますか。(○は1つ) <回答者数 : 1,925>

1. はい (28.4%)	2. いいえ (70.6%)	無回答 (1.0%)
---------------	----------------	------------

(全員の方に)

問 22 口の渇きが気になりますか。(○は1つ) <回答者数 : 1,925>

1. はい (28.4%)	2. いいえ (70.3%)	無回答 (1.3%)
---------------	----------------	------------

(全員の方に)

問 23 歯磨き (人にやってもらう場合を含む) を毎日していますか。(○は1つ) <回答者数 : 1,925>

1. はい (93.0%)	2. いいえ (5.9%)	無回答 (1.0%)
---------------	---------------	------------

(全員の方に)

問 24 歯の数と入れ歯の利用状況をお教えてください。(成人の歯の総本数は、親知らずを含めて 32 本です) (○は 1 つ) <回答者数 : 1,925>

- | | |
|----------------------------------|------------|
| 1. 自分の歯は 20 本以上、かつ入れ歯を利用 (16.6%) | |
| 2. 自分の歯は 20 本以上、入れ歯の利用なし (38.2%) | |
| 3. 自分の歯は 19 本以下、かつ入れ歯を利用 (31.7%) | |
| 4. 自分の歯は 19 本以下、入れ歯の利用なし (10.1%) | 無回答 (3.4%) |

(全員の方に)

問 24-1 噛み合わせは良いですか。(○は 1 つ) <回答者数 : 1,925>

- | | | |
|---------------|----------------|-------------|
| 1. はい (71.3%) | 2. いいえ (15.0%) | 無回答 (13.8%) |
|---------------|----------------|-------------|

(問 24 で「1」「3」に○をつけた方に)

問 24-2 毎日入れ歯の手入れをしていますか。(○は 1 つ) <回答者数 : 930>

- | | | |
|---------------|---------------|------------|
| 1. はい (87.8%) | 2. いいえ (6.5%) | 無回答 (5.7%) |
|---------------|---------------|------------|

(全員の方に)

問 25 6 か月間で 2 ~ 3 kg 以上の体重減少がありましたか。(○は 1 つ) <回答者数 : 1,925>

- | | | |
|---------------|----------------|------------|
| 1. はい (11.9%) | 2. いいえ (86.2%) | 無回答 (1.9%) |
|---------------|----------------|------------|

(全員の方に)

問 26 どなたかと食事をとる機会がありますか。(○は 1 つ) <回答者数 : 1,925>

- | | |
|--------------------|--------------------|
| 1. 毎日ある (52.4%) | 2. 週に何度かある (10.0%) |
| 3. 月に何度かある (13.9%) | 4. 年に何度かある (10.1%) |
| 5. ほとんどない (11.8%) | 無回答 (1.7%) |

5 毎日の生活について

(全員の方に)

問 27 物忘れが多いと感じますか。(○は1つ) <回答者数 : 1,925>

1. はい (44.2%)	2. いいえ (54.4%)	無回答 (1.4%)
---------------	----------------	------------

(全員の方に)

問 28 周りの人から「いつも同じことを聞く」などの物忘れがあるとされますか。(○は1つ)
<回答者数 : 1,925>

1. はい (13.6%)	2. いいえ (85.2%)	無回答 (1.2%)
---------------	----------------	------------

(全員の方に)

問 29 自分で電話番号を調べて、電話をかけることをしていますか。(○は1つ)
<回答者数 : 1,925>

1. はい (86.8%)	2. いいえ (12.1%)	無回答 (1.1%)
---------------	----------------	------------

(全員の方に)

問 30 今日が何月何日かわからない時がありますか。(○は1つ) <回答者数 : 1,925>

1. はい (22.2%)	2. いいえ (76.8%)	無回答 (1.0%)
---------------	----------------	------------

(全員の方に)

問 31 バスや電車を使って1人で外出していますか。(自家用車でも可)(○は1つ)
<回答者数 : 1,925>

1. できるし、している (85.6%)	2. できるけどしてない (9.1%)	3. できない (4.3%)	無回答 (1.0%)
----------------------	---------------------	----------------	------------

(全員の方に)

問 32 自分で食品・日用品の買物をしていますか。(○は1つ) <回答者数 : 1,925>

1. できるし、している (86.3%)	2. できるけどしてない (9.5%)	3. できない (3.3%)	無回答 (0.9%)
----------------------	---------------------	----------------	------------

(全員の方に)

問 33 自分で食事の用意をしていますか。(○は1つ) <回答者数 : 1,925>

1. できるし、している (75.7%)	2. できるけどしてない (17.0%)	3. できない (6.4%)	無回答 (0.8%)
----------------------	----------------------	----------------	------------

(全員の方に)

問 34 自分で請求書の支払いをしていますか。(○は1つ) <回答者数 : 1,925>

1. できるし、している (81.4%) 2. できるけどしてない (11.9%) 3. できない (3.8%) 無回答 (2.8%)

(全員の方に)

問 35 自分で預貯金の出し入れをしていますか。(○は1つ) <回答者数 : 1,925>

1. できるし、している (83.9%) 2. できるけどしてない (10.2%) 3. できない (3.6%) 無回答 (2.2%)

(全員の方に)

問 36 年金などの書類(役所や病院などに出す書類)が書けますか。(○は1つ) <回答者数 : 1,925>

1. はい (89.8%) 2. いいえ (7.8%) 無回答 (2.3%)

(全員の方に)

問 37 新聞を読んでいますか。(○は1つ) <回答者数 : 1,925>

1. はい (77.1%) 2. いいえ (20.5%) 無回答 (2.4%)

(全員の方に)

問 38 本や雑誌を読んでいますか。(○は1つ) <回答者数 : 1,925>

1. はい (76.4%) 2. いいえ (21.2%) 無回答 (2.4%)

(全員の方に)

問 39 健康についての記事や番組に関心がありますか。(○は1つ) <回答者数 : 1,925>

1. はい (87.2%) 2. いいえ (10.4%) 無回答 (2.3%)

(全員の方に)

問 40 友人の家を訪ねていますか。(○は1つ) <回答者数 : 1,925>

1. はい (35.6%) 2. いいえ (61.6%) 無回答 (2.8%)

(全員の方に)

問 41 家族や友人の相談にのっていますか。(○は1つ) <回答者数 : 1,925>

1. はい (70.6%) 2. いいえ (26.4%) 無回答 (2.9%)

(全員の方に)

問 42 病人を見舞うことができますか。(○は1つ)

<回答者数 : 1,925>

1. はい (82.9%)

2. いいえ (14.1%)

無回答 (3.0%)

(全員の方に)

問 43 若い人に自分から話しかけることがありますか。(○は1つ)

<回答者数 : 1,925>

1. はい (74.1%)

2. いいえ (23.4%)

無回答 (2.5%)

(全員の方に)

問 44 趣味はありますか。(○は1つ)

<回答者数 : 1,925>

1. 趣味あり (76.5%)

2. 思いつかない (20.0%)

無回答 (3.5%)

(全員の方に)

問 45 生きがいがありますか。(○は1つ)

<回答者数 : 1,925>

1. 生きがいあり (66.6%)

2. 思いつかない (28.8%)

無回答 (4.6%)

6 地域での活動について

(全員の方に)

問 46 以下のような会・グループ等にどのくらいの頻度で参加していますか。

※①-⑧それぞれに回答してください。(それぞれ○は1つ)

① ボランティアのグループ

<回答者数 : 1,925>

1. 週4回以上 (0.7%)	2. 週2~3回 (1.9%)	3. 週1回 (2.0%)
4. 月1~3回 (5.8%)	5. 年1~2回 (3.7%)	6. 参加していない(79.4%) 無回答(6.4%)

② スポーツ関係のグループやクラブ

<回答者数 : 1,925>

1. 週4回以上 (3.9%)	2. 週2~3回 (8.3%)	3. 週1回 (7.5%)
4. 月1~3回 (4.9%)	5. 年1~2回 (2.7%)	6. 参加していない(66.7%) 無回答(6.0%)

③ 趣味関係のグループ

<回答者数 : 1,925>

1. 週4回以上 (1.7%)	2. 週2~3回 (4.2%)	3. 週1回 (6.4%)
4. 月1~3回 (13.2%)	5. 年1~2回 (6.6%)	6. 参加していない(62.9%) 無回答(4.9%)

④ 学習・教養サークル

<回答者数 : 1,925>

1. 週4回以上 (0.5%)	2. 週2~3回 (1.5%)	3. 週1回 (3.0%)
4. 月1~3回 (4.9%)	5. 年1~2回 (4.4%)	6. 参加していない(79.3%) 無回答(6.5%)

⑤ 体操や軽運動など介護予防のための通いの場

<回答者数 : 1,925>

1. 週4回以上 (2.8%)	2. 週2~3回 (6.7%)	3. 週1回 (5.7%)
4. 月1~3回 (2.5%)	5. 年1~2回 (1.2%)	6. 参加していない(75.8%) 無回答(5.2%)

⑥ 老人クラブ

<回答者数 : 1,925>

1. 週4回以上 (0.1%)	2. 週2~3回 (0.5%)	3. 週1回 (0.5%)
4. 月1~3回 (1.9%)	5. 年1~2回 (1.6%)	6. 参加していない(90.0%) 無回答(5.4%)

⑦ 町内会・自治会

<回答者数 : 1,925>

1. 週4回以上 (0.2%)	2. 週2~3回 (0.4%)	3. 週1回 (0.7%)
4. 月1~3回 (3.8%)	5. 年1~2回 (7.7%)	6. 参加していない(81.9%) 無回答(5.3%)

⑧ 収入のある仕事

<回答者数 : 1,925>

1. 週4回以上 (17.9%)	2. 週2~3回 (7.6%)	3. 週1回 (1.5%)
4. 月1~3回 (2.5%)	5. 年1~2回 (3.0%)	6. 参加していない(62.7%) 無回答(4.7%)

(問 46①~⑧で「6」に○をつけた方に)

問 46-1 地域での活動に参加していない理由はなんですか。(あてはまるものすべてに○)
 <回答者数 : 1,823>

- | | |
|-------------------------|------------------------------|
| 1. 地域活動の情報がないので (18.9%) | 2. 知り合いがないので (21.1%) |
| 3. やりたい活動がないので (12.6%) | |
| 4. 費用が掛かるので (3.1%) | 5. 近所での活動には参加したくないので (17.3%) |
| 6. その他 (33.8%) | 無回答 (13.1%) |

(全員の方に)

問 47 地域住民の有志によって、健康づくり活動や趣味等のグループ活動を行って、いきいきした地域づくりを進めるとしたら、あなたはその活動に参加者として参加してみたいと思いますか。(○は1つ)
 <回答者数 : 1,925>

- | | | |
|--------------------|--------------------|--------------------|
| 1. 是非参加したい (7.0%) | 2. 参加してもよい (45.5%) | 3. 参加したくない (38.5%) |
| 4. 既に参加している (4.4%) | | 無回答 (4.7%) |

(全員の方に)

問 48 地域住民の有志によって、健康づくり活動や趣味等のグループ活動を行って、いきいきした地域づくりを進めるとしたら、あなたはその活動に企画・運営(お世話役)として参加してみたいと思いますか。(○は1つ)
 <回答者数 : 1,925>

- | | | |
|--------------------|--------------------|--------------------|
| 1. 是非参加したい (2.9%) | 2. 参加してもよい (31.9%) | 3. 参加したくない (55.9%) |
| 4. 既に参加している (3.2%) | | 無回答 (6.1%) |

(全員の方に)

問 49 あなたは、お住まいの地域のひとから何らかの役割を期待されたり、頼りにされたりしていると思いますか。(自分なりにできること、会・グループでの役、隣近所のちょっとしたこと、お手伝いやお願いごとなど)(○は1つ)。
 <回答者数 : 1,925>

- | | | |
|----------------------|---------------------|-------------------|
| 1. とてもそう思う (2.0%) | 2. そう思う (10.3%) | 3. ややそう思う (15.3%) |
| 4. あまりそう思わない (33.8%) | 5. 全くそう思わない (34.0%) | 無回答 (4.6%) |

7 たすけあいについて

あなたとまわりの人の「たすけあい」についておうかがいします

(全員の方に)

問 50 あなたの心配事や愚痴(ぐち)を聞いてくれる人(あてはまるものすべてに○)

<回答者数: 1,925>

1. 配偶者 (46.1%)	2. 同居の子ども (17.4%)
3. 別居の子ども (31.1%)	4. 兄弟姉妹・親戚・親・孫 (30.0%)
5. 近隣 (7.9%)	6. 友人 (46.1%)
7. その他 (3.7%)	8. そのような人はいない (6.8%) 無回答 (5.0%)

(全員の方に)

問 51 反対に、あなたが心配事や愚痴(ぐち)を聞いてあげる人(あてはまるものすべてに○)

<回答者数: 1,925>

1. 配偶者 (44.2%)	2. 同居の子ども (16.7%)
3. 別居の子ども (30.4%)	4. 兄弟姉妹・親戚・親・孫 (32.5%)
5. 近隣 (11.1%)	6. 友人 (48.1%)
7. その他 (2.8%)	8. そのような人はいない (8.7%) 無回答 (5.3%)

(全員の方に)

問 52 あなたが病気で数日間寝込んだときに、看病や世話をしてくれる人

(あてはまるものすべてに○)

<回答者数: 1,925>

1. 配偶者 (50.2%)	2. 同居の子ども (22.6%)
3. 別居の子ども (29.5%)	4. 兄弟姉妹・親戚・親・孫 (15.0%)
5. 近隣 (2.2%)	6. 友人 (7.5%)
7. その他 (2.6%)	8. そのような人はいない (9.5%) 無回答 (4.7%)

(全員の方に)

問 53 反対に、あなたが看病や世話をしてあげる人(あてはまるものすべてに○)

<回答者数: 1,925>

1. 配偶者 (52.8%)	2. 同居の子ども (19.9%)
3. 別居の子ども (25.2%)	4. 兄弟姉妹・親戚・親・孫 (22.9%)
5. 近隣 (4.5%)	6. 友人 (11.4%)
7. その他 (2.5%)	8. そのような人はいない (14.0%) 無回答 (5.7%)

(全員の方に)

問 54 家族や友人・知人以外で、何かあったときに相談する相手を教えてください。

(あてはまるものすべてに○)

<回答者数 : 1,925>

- | | |
|---------------------------|------------------------|
| 1. 自治会・町内会・老人クラブ (4.8%) | 2. 社会福祉協議会・民生委員 (5.8%) |
| 3. ケアマネジャー (6.3%) | 4. 医師・歯科医師・看護師 (30.8%) |
| 5. 地域包括支援センター・区役所 (17.5%) | 6. その他 (7.2%) |
| 7. そのような人はいない (39.5%) | 無回答 (8.8%) |

(全員の方に)

問 55 友人・知人と会う頻度はどれくらいですか。(○は1つ)

<回答者数 : 1,925>

- | | | |
|--------------------|--------------------|--------------------|
| 1. 毎日ある (4.9%) | 2. 週に何度かある (20.6%) | 3. 月に何度かある (27.0%) |
| 4. 年に何度かある (25.4%) | 5. ほとんどない (16.6%) | 無回答 (5.5%) |

(全員の方に)

問 56 この1か月間、何人の友人・知人と会いましたか。同じ人には何度会っても1人と数えることとします。(○は1つ)

<回答者数 : 1,925>

- | | | |
|---------------------|------------------|-----------------|
| 1. 0人 (いない) (28.4%) | 2. 1～2人 (26.9%) | 3. 3～5人 (21.2%) |
| 4. 6～9人 (6.0%) | 5. 10人以上 (10.3%) | 無回答 (7.1%) |

(全員の方に)

問 57 よく会う友人・知人はどんな関係の人ですか。(あてはまるものすべてに○)

<回答者数 : 1,925>

- | | |
|-----------------------|--------------------------|
| 1. 近所・同じ地域の人 (36.4%) | 2. 幼なじみ (7.3%) |
| 3. 学生時代の友人 (23.5%) | 4. 仕事での同僚・元同僚 (30.3%) |
| 5. 趣味や関心が同じ友人 (35.0%) | 6. ボランティア等の活動での友人 (6.8%) |
| 7. その他 (7.4%) | 8. いない (9.6%) |
| | 無回答 (5.6%) |

8 健康について

(全員の方に)

問 58 現在のあなたの健康状態はいかがですか。(○は1つ) <回答者数 : 1,925>

- | | | |
|--------------------|-----------------|------------|
| 1. とてもよい (14.6%) | 2. まあよい (65.4%) | |
| 3. あまりよくない (14.2%) | 4. よくない (2.5%) | 無回答 (3.3%) |

(全員の方に)

問 59 あなたは、現在どの程度幸せですか。(○は1つ)

(「とても不幸」を0点、「とても幸せ」を10点として、ご記入ください)

<回答者数 : 1,925>

とても不幸										とても幸せ	
0点	1点	2点	3点	4点	5点	6点	7点	8点	9点	10点	
(0.4%)	(0.5%)	(0.7%)	(1.9%)	(2.6%)	(17.7%)	(7.6%)	(15.1%)	(23.8%)	(10.4%)	(14.8%)	
											無回答 (4.5%)

(全員の方に)

問 60 ここ2週間、毎日の生活に充実感がない気がしましたか。(○は1つ)

<回答者数 : 1,925>

- | | | |
|---------------|----------------|------------|
| 1. はい (35.9%) | 2. いいえ (60.2%) | 無回答 (3.9%) |
|---------------|----------------|------------|

(全員の方に)

問 61 ここ2週間、これまで楽しんでやれていたことが楽しめない気がしましたか。(○は1つ)

<回答者数 : 1,925>

- | | | |
|---------------|----------------|------------|
| 1. はい (33.0%) | 2. いいえ (62.3%) | 無回答 (4.7%) |
|---------------|----------------|------------|

(全員の方に)

問 62 ここ2週間、以前は楽にできていたことが今ではおっくうに感じられることがありましたか。(○は1つ)

<回答者数 : 1,925>

- | | | |
|---------------|----------------|------------|
| 1. はい (34.1%) | 2. いいえ (62.4%) | 無回答 (3.5%) |
|---------------|----------------|------------|

(全員の方に)

問 63 ここ2週間、自分が役に立つ人間だとは思えない気がしましたか。(○は1つ)

<回答者数 : 1,925>

- | | | |
|---------------|----------------|------------|
| 1. はい (21.5%) | 2. いいえ (73.8%) | 無回答 (4.8%) |
|---------------|----------------|------------|

(全員の方に)

問 64 ここ2週間、わけもなく疲れたような感じがしましたか。(○は1つ)

<回答者数 : 1,925>

1. はい (30.7%)	2. いいえ (65.2%)	無回答 (4.1%)
---------------	----------------	------------

(全員の方に)

問 65 この1か月間、気分が沈んだり、ゆううつな気持ちになったりすることがありましたか。

(○は1つ)

<回答者数 : 1,925>

1. はい (41.0%)	2. いいえ (55.1%)	無回答 (3.9%)
---------------	----------------	------------

(全員の方に)

問 66 この1か月間、どうしても物事に対して興味がわかない、あるいは心から楽しめない感じがよくありましたか。(○は1つ)

<回答者数 : 1,925>

1. はい (29.9%)	2. いいえ (66.0%)	無回答 (4.1%)
---------------	----------------	------------

(全員の方に)

問 67 お酒は飲みますか。(○は1つ)

<回答者数 : 1,925>

1. ほぼ毎日飲む (24.7%)	2. 時々飲む (20.5%)	
3. ほとんど飲まない (24.3%)	4. もともと飲まない (27.6%)	無回答 (2.9%)

(全員の方に)

問 68 タバコは吸っていますか。(○は1つ)

<回答者数 : 1,925>

1. ほぼ毎日吸っている (10.1%)	2. 時々吸っている (2.2%)	
3. 吸っていたがやめた (28.3%)	4. もともと吸っていない (56.5%)	無回答 (3.0%)

(全員の方に)

問 69 現在治療中、または後遺症のある病気はありますか。(あてはまるものすべてに○)

<回答者数 : 1,925>

1. ない (16.6%)	2. 高血圧 (37.4%)
3. 脳卒中 (脳出血・脳梗塞等) (4.1%)	4. 心臓病 (11.6%)
5. 糖尿病 (13.1%)	6. 高脂血症 (脂質異常) (10.9%)
7. 呼吸器の病気 (肺炎や気管支炎等) (5.6%)	8. 胃腸・肝臓・胆のうの病気 (5.7%)
9. 腎臓・前立腺の病気 (6.5%)	10. 筋骨格の病気 (骨粗しょう症、関節症等) (9.8%)
11. 外傷 (転倒・骨折等) (3.3%)	12. がん (悪性新生物) (5.1%)
13. 血液・免疫の病気 (2.0%)	14. うつ病 (1.1%)
15. 認知症 (アルツハイマー病等) (1.5%)	16. パーキンソン病 (0.5%)
17. 目の病気 (16.6%)	18. 耳の病気 (4.8%)
19. その他 (10.3%)	無回答 (7.2%)

9 認知症にかかる相談窓口の把握について

(全員の方に)

問 70 認知症の症状がある、又は家族に認知症の症状がある人がいますか (○は1つ)。

<回答者数 : 1,925>

1. はい (10.8%)	2. いいえ (85.0%)	無回答 (4.2%)
---------------	----------------	------------

問 71 認知症に関する相談窓口を知っていますか (○は1つ)。

<回答者数 : 1,925>

1. はい (23.9%)	2. いいえ (71.9%)	無回答 (4.2%)
---------------	----------------	------------

10 成年後見制度について

(全員の方に)

問 72 あなたは成年後見制度についてどの程度知っていますか。(○は1つ)

<回答者数 : 1,925>

- | | |
|-----------------------|----------------------|
| 1. 知っている (14.2%) | 2. だいたい知っている (28.6%) |
| 3. あまりよくわからない (32.6%) | 4. 全くわからない (18.6%) |
| 5. その他 (0.3%) | 無回答 (5.7%) |

(問 72 で「1」「2」に○をつけた方に)

問 72-1 今後、成年後見制度を利用したいと思いますか。(○は1つ) <回答者数 : 824>

- | | | |
|----------------|------------------|------------|
| 1. したい (13.5%) | 2. したくない (84.9%) | 無回答 (1.9%) |
|----------------|------------------|------------|

(問 72-1 で「2」に○をつけた方に)

問 72-2 利用したくない理由をおしえてください。(○は2つ)

<回答者数 : 697>

- | | |
|--|------------|
| 1. 後見人でなくても家族がいるから (83.9%) | |
| 2. 他人(家族・親族を含む)に財産などを任せることに不安があるから (13.1%) | |
| 3. 後見人になってほしい人が見あたらないから (9.5%) | |
| 4. 家族・親族の信頼関係が壊れる恐れがあるから (3.6%) | |
| 5. 手続きが大変そうだから (3.2%) | |
| 6. 費用がどのくらいかかるか心配だから (2.7%) | |
| 7. 家庭裁判所に申立てることに抵抗があるから (2.0%) | |
| 8. どういうときに利用していいかわからないから (4.2%) | |
| 9. その他 (11.6%) | 無回答 (1.7%) |

《その他》

(全員の方に)

問 73 健康福祉行政全体について、ご要望やご意見等ありましたら、ご自由にお書きください。

ご協力ありがとうございました

令和2年度（2020年度） 高齢福祉・介護保険サービス意向調査 《介護サービス利用調査》

【調査のご記入にあたってのお願い】

1. この調査は、できるかぎりあて名の方ご本人がお答えください。ご本人がお答えにならない場合には、ご家族や介護されている方が、ご本人の立場に立ってお答えください。
2. このアンケートは名前・住所を書いていただく必要はありません。
3. ご記入は、必ず黒又は青のボールペン又は鉛筆でお願いします。
4. 質問番号に沿って、できるかぎり全部の質問にお答えください。
5. お答えは、あてはまる回答の番号に○印をつけてください。
6. 「その他（ ）」に○印をつけられた方は、お手数ですが具体的にご記入ください。
7. ご記入いただきました調査票は、

令和2年5月29日（金曜日）までに

三つ折りにした上で、同封した返信用封筒（切手不要）に入れて郵送してください。

8. 調査報告書は、10月末から図書館、すこやか福祉センター、区ホームページなどでご覧になれます。
9. 調査の内容や記入の方法などについて、ご不明な点がございましたら、下記までお問合せください。

中野区地域支えあい推進部介護・高齢者支援課管理企画係

TEL. 03-3228-5629 FAX. 03-3228-8972

E-mail kaigokourei@city.tokyo-nakano.lg.jp

【個人情報の取り扱いについて】

個人情報の保護及び活用目的は以下のとおりですので、ご確認ください。
なお、本調査票のご返送をもちまして、下記にご同意いただいたものと見なさせていただきます。

【個人情報の保護及び活用目的について】

- ・この調査は、効果的な介護予防政策の立案と効果評価のために行うものです。本調査で得られた情報につきましては、区による介護保険事業計画策定と効果評価の目的以外には利用いたしません。また当該情報については、区において適切に管理いたします。
- ・ただし、介護保険事業計画策定時及び効果評価時に本調査で得られたデータを活用するにあたり、厚生労働省の管理する区外のデータベース内に情報を登録し、必要に応じて集計・分析をすることがあります。

質問の上に（全員の方に）と記載のあるものは全員の方が、（～の方に）とその他の記載があるものはその条件に合う方のみお答えください。

（全員の方に）

問1 現在、この調査票にご回答を頂いているのは、どなたですか。（複数選択可）

<回答者数：1,519>

- | | |
|-------------------------|-----------------------------|
| 1. 調査対象者本人 (26.1%) | 2. 主な介護者となっている家族・親族 (64.9%) |
| 3. 主な介護者以外の家族・親族 (5.3%) | 4. その他 (2.2%) |
| | 無回答 (6.7%) |

A票 ご本人について、お伺いします

（全員の方に）

問2 あなたがお住まいの地域はどこですか。（1つを選択）

<回答者数：1,519>

- | | | | |
|----------------|----------------|----------------|---------------|
| 1. 上鷺宮 (4.6%) | 2. 鷺宮 (5.1%) | 3. 白鷺 (4.7%) | 4. 若宮 (3.8%) |
| 5. 大和町 (4.3%) | 6. 江原町 (2.0%) | 7. 江古田 (3.8%) | 8. 野方 (6.3%) |
| 9. 丸山 (1.6%) | 10. 沼袋 (4.5%) | 11. 松が丘 (1.4%) | 12. 新井 (4.2%) |
| 13. 上高田 (7.4%) | 14. 中野 (9.2%) | 15. 東中野 (5.9%) | 16. 中央 (9.3%) |
| 17. 本町 (6.8%) | 18. 弥生町 (6.9%) | 19. 南台 (6.4%) | 無回答 (1.7%) |

《丁目を記入してください》

() 丁目

（全員の方に）

問3 家族構成について、ご回答ください。（1つを選択）

<回答者数：1,519>

- | | | | | |
|-----------------|-------------------|----------------|--------|------------|
| 1. 単身世帯 (28.1%) | 2. 夫婦のみ世帯 (21.9%) | 3. その他 (47.2%) | → 問3Cへ | 無回答 (2.8%) |
|-----------------|-------------------|----------------|--------|------------|

（問3で「3」と回答した方に）

問3A ご本人を含めて何人で暮らしていますか。（1つを選択）

<回答者数：717>

- | | | |
|---------------|----------------|---------------|
| 1. 2人 (30.5%) | 2. 3人 (35.7%) | 3. 4人 (14.2%) |
| 4. 5人 (8.4%) | 5. 6人以上 (7.7%) | 無回答 (3.5%) |

問3B 同居されている方はどなたですか。（複数選択可）

<回答者数：717>

- | | | |
|-----------------|------------------|--------------|
| 1. 子 (78.5%) | 2. 子の配偶者 (27.5%) | 3. 孫 (22.3%) |
| 4. 兄弟・姉妹 (3.8%) | 5. その他 (11.7%) | 無回答 (3.9%) |

(問3で「2」「3」と回答した方に)

問3C 日中ひとりになることがありますか。(1つを選択) <回答者数: 1050>

1. よくある (22.4%) 2. たまにある (40.8%) 3. ない (25.6%) 無回答 (11.2%)

(全員の方に)

問4 ご本人の性別について、ご回答ください。(1つを選択) <回答者数: 1,519>

1. 男性 (32.5%) 2. 女性 (65.6%) 無回答 (1.8%)

(全員の方に)

問5 ご本人の年齢について、ご回答ください。(1つを選択) <回答者数: 1,519>

1. 65歳未満 (0.4%) 2. 65~69歳 (2.9%) 3. 70~74歳 (5.9%)
 4. 75~79歳 (8.5%) 5. 80~84歳 (19.0%) 6. 85~89歳 (27.8%)
 7. 90歳以上 (34.3%) 無回答 (1.2%)

(全員の方に)

問6 ご本人の要介護度について、ご回答ください。(1つを選択) <回答者数: 1,519>

1. 要支援1 (3.0%) 2. 要支援2 (2.2%) 3. 要介護1 (24.7%)
 4. 要介護2 (26.1%) 5. 要介護3 (16.6%) 6. 要介護4 (12.7%)
 7. 要介護5 (9.8%) 8. わからない (2.4%) 無回答 (2.5%)

(問6で「5」「6」「7」と回答した方に)

問6A 介護・介助が必要となった主な原因はなんですか。(複数選択可)

<回答者数: 594>

1. 脳卒中 (脳出血、脳梗塞等) (22.9%) 2. 心臓病 (9.3%)
 3. がん (悪性新生物) (4.5%) 4. 呼吸器の病気 (肺気腫・肺炎) (6.2%)
 5. 糖尿病 (7.7%) 6. パーキンソン病 (5.9%)
 7. 関節の病気 (リウマチ等) (3.2%) 8. 骨折・転倒 (23.6%)
 9. 視覚・聴覚障害 (4.0%) 10. 認知症 (アルツハイマー病等) (41.2%)
 11. 脊椎損傷 (4.2%) 12. 高齢による衰弱 (24.1%)
 13. その他 (15.8%) 14. わからない (0.3%) 無回答 (1.5%)

(全員の方に)

問7 お住まいは次のどれにあたりますか。(1つを選択) <回答者数: 1,519>

- | | |
|----------------------------------|------------|
| 1. 持ち家 (一戸建て) (60.0%) | |
| 2. 持ち家 (分譲マンションなどの集合住宅) (16.7%) | |
| 3. 公営の賃貸住宅 (区営・都営住宅、公社など) (5.0%) | |
| 4. 民営の賃貸住宅 (9.6%) | |
| 5. 社宅・社員寮・公務員住宅 (0.1%) | |
| 6. その他 (6.6%) | 無回答 (1.8%) |

(全員の方に)

問7A お住まい(主に生活する部屋)は2階以上にありますか。(1つを選択) <回答者数: 1,519>

- | | | |
|---------------|----------------|------------|
| 1. はい (47.7%) | 2. いいえ (49.6%) | 無回答 (2.7%) |
|---------------|----------------|------------|

(問7Aで「1」と回答した方に)

問7B お住まいの建物にエレベーターは設置されていますか。(1つを選択) <回答者数: 725>

- | | | |
|---------------|----------------|------------|
| 1. はい (45.5%) | 2. いいえ (53.7%) | 無回答 (0.8%) |
|---------------|----------------|------------|

(全員の方に)

問8 ご本人はどこで介護を受けたいと思っていますか。(1つを選択) <回答者数: 1,519>

- | | |
|-------------------------------------|------------|
| 1. 自宅 (61.9%) | |
| 2. 自宅近くのサービス付き高齢者住宅 (4.5%) | |
| 3. 自宅近くの入所施設 (12.1%) | |
| 4. 自宅から遠くても、出身地等、好きな土地の住宅や施設 (1.3%) | |
| 5. その他 (4.4%) | |
| 6. わからない (11.1%) | 無回答 (4.7%) |

(全員の方に)

問8A 現時点での、施設等への入所・入居の検討状況について、ご回答ください。(1つを選択)

※「施設等」とは、特別養護老人ホーム、老人保健施設、介護療養型医療施設(介護医療院)、特定施設(有料老人ホーム等)、グループホーム、地域密着型特定施設、地域密着型特別養護老人ホームを指します。

<回答者数: 1,519>

- | | |
|------------------------------|-------------------------|
| 1. 入所・入居は検討していない (54.9%) | 2. 入所・入居を検討している (16.2%) |
| 3. すでに入所・入居申し込みをしている (20.3%) | 無回答 (8.6%) |

問8Bへ

(問8Aで「2」「3」と回答した方に)

問8B 施設等への入所・入居を検討した理由はなんですか。(複数選択可)

<回答者数 : 555>

- | | |
|--------------------------------------|------------|
| 1. 介護する家族の心身の負担が大きい (62.2%) | |
| 2. 介護をする家族・親族がいない (16.0%) | |
| 3. 在宅に戻るための専門的なりハビリ等が必要となっている (9.2%) | |
| 4. 現在入院している病院を退院しなければならない (7.7%) | |
| 5. 認知症の症状があり、在宅での介護が難しい (48.5%) | |
| 6. 在宅サービスの利用による経済的な負担が大きい (6.7%) | |
| 7. 現在の住まいの機能上、在宅での介護が難しい (28.1%) | |
| 8. その他 (11.5%) | 無回答 (1.8%) |

(全員の方に)

問9 ご本人(調査対象者)が、現在抱えている傷病について、ご回答ください。(複数選択可)

<回答者数 : 1,519>

- | | |
|------------------------------------|-----------------------------------|
| 1. 脳血管疾患(脳卒中) (13.7%) | 2. 心疾患(心臓病) (16.2%) |
| 3. 悪性新生物(がん) (6.1%) | 4. 呼吸器疾患 (8.0%) |
| 5. 腎疾患(透析) (2.8%) | 6. 筋骨格系疾患(骨粗しょう症、脊柱管狭窄症等) (14.4%) |
| 7. 膠原病(関節リウマチ含む) (2.0%) | 8. 変形性関節疾患 (7.0%) |
| 9. 認知症 (46.0%) | 10. パーキンソン病 (5.3%) |
| 11. 難病(パーキンソン病を除く) (1.8%) | 12. 糖尿病 (13.6%) |
| 13. 眼科・耳鼻科疾患(視覚・聴覚障害を伴うもの) (16.1%) | |
| 14. その他 (17.2%) | 15. なし (4.6%) |
| 16. わからない (2.0%) | 無回答 (4.4%) |

(全員の方に)

問10 以下の介護保険サービスでサービス内容を知らない又はわからないサービスはどれですか。(複数選択可)

<回答者数 : 1,519>

- | | |
|----------------------------|-------------------------------|
| 1. 訪問介護(ホームヘルプサービス) (5.7%) | 2. 訪問入浴介護 (6.6%) |
| 3. 訪問看護 (5.9%) | 4. 訪問リハビリテーション (7.0%) |
| 5. 通所介護(デイサービス) (4.3%) | 6. 通所リハビリテーション(デイケア) (5.4%) |
| 7. 夜間対応型訪問介護 ※ (19.3%) | 8. 定期巡回・随時対応型訪問介護看護 ※ (22.6%) |
| 9. 小規模多機能型居宅介護 ※ (28.9%) | 10. 看護小規模多機能型居宅介護 ※ (31.9%) |
| 11. ショートステイ (7.2%) | 12. 居宅療養管理指導 ※ (26.8%) |
| | 無回答 (51.2%) |

※7 夜間対応型訪問介護：夜間にホームヘルパーが定期的に利用者の居宅を訪問して介護を行うサービス

※8 定期巡回・随時対応型訪問介護看護：ホームヘルパーによる訪問介護と看護師による訪問看護を、定期的又は随時に24時間365日の体制で必要なサービスを提供するサービス

※9 小規模多機能型居宅介護：小規模な施設ですが、利用者のニーズに応じて訪問介護、通所介護、短期入所など多種類の居宅介護サービスを提供するサービス

※10 看護小規模多機能型居宅介護：小規模多機能型居宅介護に、看護師による訪問看護を加えたサービス

※12 居宅療養管理指導：医師・歯科医師・薬剤師などが居宅を訪問し、薬の飲み方、食事などの管理・指導を行うサービス

(全員の方に)

問 11 令和2年4月の1か月の間に、(住宅改修、福祉用具貸与・購入以外の)介護保険サービスを利用しましたか。(1つを選択) <回答者数：1,519>

1. 利用した (60.9%) → 問 12A Bへ 2. 利用していない (33.0%) → 問 12Cへ 無回答 (6.1%)

(問 11 で「1」と回答した方に)

問 12A 以下の介護保険サービスについて、令和2年4月の1か月間の利用状況をご回答ください。対象の介護保険サービスをご利用になっていない場合は、「利用していない(0回、1. 利用していない、0日)」を選択してください。(それぞれ1つを選択)

<回答者数：925>

	1週間あたりの利用回数(それぞれ1つに○)						
	利用していない	週1回程度	週2回程度	週3回程度	週4回程度	週5回以上	無回答
(※回答例) ●●●サービス	0回	1回	2回	3回	4回	5回以上	
A 訪問介護 (ホームヘルプサービス)	19.9%	6.9%	7.4%	4.5%	2.8%	13.4%	45.1%
B 訪問入浴介護	28.8%	5.7%	8.8%	1.9%	0.5%	0.1%	54.2%
C 訪問看護	22.9%	15.8%	4.3%	2.2%	1.0%	1.4%	52.4%
D 訪問リハビリテーション	25.8%	11.5%	7.6%	2.3%	1.4%	0.9%	50.6%
E 通所介護 (デイサービス)	18.3%	7.2%	15.4%	13.2%	5.3%	9.1%	31.6%
F 通所リハビリテーション (デイケア)	30.7%	3.5%	4.3%	1.3%	1.1%	1.2%	57.9%
G 夜間対応型訪問介護 ※ (訪問のあった回数を回答)	36.2%	0.3%	0.1%	0.2%	0.0%	0.8%	62.4%

※G 夜間対応型訪問介護：夜間にホームヘルパーが定期的に利用者の居宅を訪問して介護を行うサービス

	利用の有無(それぞれ1つに○)		
	1. 利用していない	2. 利用した	無回答
H 定期巡回・随時対応型訪問介護看護 ※	1. 利用していない (66.2%)	2. 利用した (9.4%)	無回答 (24.4%)
I 小規模多機能型居宅介護 ※	1. 利用していない (67.2%)	2. 利用した (5.8%)	無回答 (26.9%)
J 看護小規模多機能型居宅介護 ※	1. 利用していない (68.8%)	2. 利用した (3.6%)	無回答 (27.7%)

※H 定期巡回・随時対応型訪問介護看護：ホームヘルパーによる訪問介護と看護師による訪問看護を、定期的又は随時に24時間365日の体制で必要なサービスを提供するサービス

※I 小規模多機能型居宅介護：小規模な施設ですが、利用者のニーズに応じて訪問介護、通所介護、短期入所など多種類の居宅介護サービスを提供するサービス

※J 看護小規模多機能型居宅介護：上記I、小規模多機能型居宅介護に、看護師による訪問看護を加えたサービス

	1か月あたりの利用日数（1つに○）					
	利用して いない	月1～7日 程度	月8～14日 程度	月15～21日 程度	月22日 以上	無回答
K ショートステイ	61.2%	9.0%	3.5%	1.2%	1.2%	24.0%

	1か月あたりの利用回数（1つに○）					
	利用して いない	月1回 程度	月2回 程度	月3回 程度	月4回 程度	無回答
L 居宅療養管理指導※	60.9%	3.7%	6.9%	0.4%	2.2%	25.9%

※L 居宅療養管理指導：医師・歯科医師・薬剤師などが居宅を訪問し、薬の飲み方、食事などの管理・指導を行うサービス

（問11で「1」と回答した方に）

問12B あなたが、ケアプランについて不満と思うことを次の中から選んでください。（複数選択可）
 <回答者数：925>

- | | |
|---|------------|
| 1. 希望するサービスが利用できない（5.0%） | |
| 2. 希望しないサービスがケアプランに含まれている（1.0%） | |
| 3. 希望する事業者が利用できない（2.4%） | |
| 4. サービスの利用回数や時間が少ない（6.2%） | |
| 5. サービスの利用料金が低い（10.7%） | |
| 6. 要介護認定による給付の枠内では使いたいサービスが十分に受けられない（10.3%） | |
| 7. 介護保険制度の導入以前は使えていたサービスが使えなくなった（1.2%） | |
| 8. レンタル用品に利用したい物品がない（1.0%） | |
| 9. ケアマネジャーから説明がない、もしくは説明がよくわからない（3.9%） | |
| 10. その他（9.2%） | |
| 11. 不満な点はない（54.3%） | 無回答（12.1%） |

（問11で「2」と回答した方に）

問12C 介護保険サービスを利用していない理由は何ですか。（複数選択可）
 <回答者数：501>

- | | |
|-----------------------------------|--------------------------|
| 1. まだ必要でない（17.4%） | 2. 家族の介護で間に合っている（14.6%） |
| 3. 医療サービスを受けているため（13.0%） | 4. 他人を家に入れたくない（3.8%） |
| 5. 利用したいサービスがない（2.8%） | 6. サービスの利用方法がわからない（3.8%） |
| 7. 他人に介護してもらいたくない（4.4%） | 8. 利用料の負担が大きい（2.6%） |
| 9. ケアマネジャーへの依頼方法がわからない（2.4%） | |
| 10. 利用したいサービスの日・時間帯などが合わない（2.0%） | |
| 11. 住宅改修、福祉用具貸与・購入のみを利用するため（2.6%） | |
| 12. その他（32.1%） | |
| 13. 特別な理由はない（5.2%） | 無回答（22.0%） |

(全員の方に)

問 13 現在、利用している、「介護保険サービス以外」の支援・サービスについて、ご回答ください。(複数選択可)

※総合事業に基づく支援・サービスは、「介護保険サービス」に含めます。

<回答者数：1,519>

1. 配食 (9.7%)	2. 調理 (3.9%)
3. 掃除・洗濯 (8.8%)	4. 買い物 (宅配は含まない) (5.8%)
5. ゴミ出し (4.5%)	6. 外出同行 (通院、買い物など) (6.0%)
7. 移送サービス (介護・福祉センター等) (5.5%)	8. 見守り、声かけ (3.8%)
9. サロンなどの定期的な通いの場 (1.5%)	10. 金銭管理や生活面に必要な諸手続き (2.8%)
11. その他 (4.4%)	12. 利用していない (53.9%)
	無回答 (18.0%)

(全員の方に)

問 14 今後の在宅生活の継続に必要と感じる支援・サービス (現在利用しているが、さらなる充実が必要と感じる支援・サービスを含む) について、ご回答ください。(複数選択可)

※介護保険サービス、介護保険以外の支援・サービスともに含みます。

<回答者数：1,519>

1. 配食 (13.4%)	2. 調理 (8.6%)
3. 掃除・洗濯 (12.8%)	4. 買い物 (宅配は含まない) (10.4%)
5. ゴミ出し (8.5%)	6. 外出同行 (通院、買い物など) (15.3%)
7. 移送サービス (介護・福祉センター等) (16.8%)	8. 見守り、声かけ (13.2%)
9. サロンなどの定期的な通いの場 (6.6%)	10. 金銭管理や生活面に必要な諸手続き (5.8%)
11. その他 (6.0%)	12. 利用していない (32.1%)
	無回答 (21.7%)

(全員の方に)

問 15 ご本人(調査対象者)は、現在、訪問診療を利用していますか。(1つを選択)

※訪問歯科診療や居宅療養管理指導等は含みません。

<回答者数: 1,519>

- | | | |
|-------------------|--------------------|------------|
| 1. 利用している (28.5%) | 2. 利用していない (65.4%) | 無回答 (6.1%) |
|-------------------|--------------------|------------|

(全員の方に)

問 16 ご本人(調査対象者)は、現在、その他の訪問診療を利用していますか。(1つを選択)

<回答者数: 1,519>

- | | |
|-----------------------------|------------------------|
| 1. 訪問歯科診療を利用している (9.3%) | 2. 訪問薬剤師を利用している (3.9%) |
| 3. 「1」と「2」の両方を利用している (4.1%) | 4. 利用していない (72.6%) |
| 無回答 (10.0%) | |

(全員の方に)

問 17 地域包括支援センターに相談したことはありますか。(1つを選択)

<回答者数: 1,519>

- | |
|--|
| 1. 相談したことがある (56.9%) |
| 2. 地域包括支援センターを知っているが、相談したことはない (28.2%) |
| 3. 地域包括支援センターを知らなかった (6.5%) |
| 無回答 (8.3%) |

(全員の方に)

問 18 ご家族やご親族の方からの介護は、週にどのくらいありますか。(同居していない子どもや親族等からの介護を含む)(1つを選択)

<回答者数: 1,519>

- | | |
|-----------------------------------|----------------------|
| 1. ない (29.0%) | → アンケートは終了です。 |
| 2. 家族・親族の介護はあるが、週に1日よりも少ない (6.7%) | → B票(次のページ)にお進みください。 |
| 3. 週に1~2日ある (8.0%) | |
| 4. 週に3~4日ある (3.9%) | |
| 5. ほぼ毎日ある (43.1%) | |
| 無回答 (9.3%) | |

(A票問18で「2～5」を回答した方に)

B票 主な介護者の方について、お伺いします

問1 ご家族やご親族の中で、ご本人（調査対象者）の介護を主な理由として、過去1年の間に仕事を辞めた方はいますか。（現在働いているかどうかや、現在の勤務形態は問いません）
（複数選択可）

※ 自営業や農林水産業のお仕事を辞めた方を含みます。

<回答者数：937>

- | | |
|-------------------------------------|------------|
| 1. 主な介護者が仕事を辞めた（転職除く）（12.1%） | |
| 2. 主な介護者以外の家族・親族が仕事を辞めた（転職除く）（1.7%） | |
| 3. 主な介護者が転職した（2.3%） | |
| 4. 主な介護者以外の家族・親族が転職した（0.5%） | |
| 5. 介護のために仕事を辞めた家族・親族はいない（60.8%） | |
| 6. わからない（5.3%） | 無回答（17.7%） |

問2 主な介護者の方は、どなたですか。（1つを選択）<回答者数：937>

- | | | |
|---------------|----------------|----------------|
| 1. 配偶者（23.7%） | 2. 子（58.7%） | 3. 子の配偶者（7.7%） |
| 4. 孫（0.4%） | 5. 兄弟・姉妹（2.3%） | 6. その他（4.9%） |
| | | 無回答（2.2%） |

問3 主な介護者の方の性別について、ご回答ください。（1つを選択）<回答者数：937>

- | | | |
|--------------|--------------|-----------|
| 1. 男性（30.0%） | 2. 女性（65.2%） | 無回答（4.8%） |
|--------------|--------------|-----------|

問4 主な介護者の方の年齢について、ご回答ください。（1つを選択）<回答者数：937>

- | | | |
|----------------|-----------------|----------------|
| 1. 20歳未満（0.1%） | 2. 20代（0.3%） | 3. 30代（1.2%） |
| 4. 40代（6.1%） | 5. 50代（26.7%） | 6. 60代（30.2%） |
| 7. 70代（19.1%） | 8. 80歳以上（12.4%） | 9. わからない（0.5%） |
| | | 無回答（3.4%） |

問5 現在、主な介護者の方が行っている介護等について、ご回答ください。（複数選択可）

<回答者数：937>

《身体介護》

- | | |
|--------------------------------|-----------------------|
| 1. 日中の排泄（25.5%） | 2. 夜間の排泄（19.5%） |
| 3. 食事の介助（食べる時）（26.9%） | 4. 入浴・洗身（28.0%） |
| 5. 身だしなみ（洗顔・歯磨き等）（34.5%） | 6. 衣服の着脱（39.1%） |
| 7. 屋内の移乗・移動（26.7%） | 8. 外出の付き添い、送迎等（63.0%） |
| 9. 服薬（58.6%） | 10. 認知症状への対応（44.3%） |
| 11. 医療面での対応（経管栄養、ストーマ等）（12.7%） | |

《生活援助》

- | | |
|-----------------------------|-------------------------------|
| 12. 食事の準備（調理等）（71.6%） | 13. その他の家事（掃除、洗濯、買い物等）（79.3%） |
| 14. 金銭管理や生活面に必要な諸手続き（76.9%） | |

《その他》

- | | | |
|----------------|-----------------|-----------|
| 15. その他（10.0%） | 16. わからない（0.0%） | 無回答（2.9%） |
|----------------|-----------------|-----------|

問6 現在の生活を継続していくにあたって、主な介護者の方が不安に感じる介護等について、ご回答ください。(現状で行っているか否かは問いません)(3つまで選択可)

<回答者数：937>

《身体介護》

- | | |
|--------------------------------|------------------------|
| 1. 日中の排泄 (15.8%) | 2. 夜間の排泄 (21.9%) |
| 3. 食事の介助(食べる時) (5.9%) | 4. 入浴・洗身 (16.5%) |
| 5. 身だしなみ(洗顔・歯磨き等) (4.8%) | 6. 衣服の着脱 (3.0%) |
| 7. 屋内の移乗・移動 (9.5%) | 8. 外出の付き添い、送迎等 (17.1%) |
| 9. 服薬 (9.0%) | 10. 認知症状への対応 (36.3%) |
| 11. 医療面での対応(経管栄養、ストーマ等) (5.4%) | |

《生活援助》

- | | |
|------------------------------|--------------------------------|
| 12. 食事の準備(調理等) (16.3%) | 13. その他の家事(掃除、洗濯、買い物等) (13.8%) |
| 14. 金銭管理や生活面に必要な諸手続き (13.3%) | |

《その他》

- | | |
|-------------------------------|-----------------------------|
| 15. その他 (10.1%) | 16. 不安に感じていることは、特におい (8.9%) |
| 17. 主な介護者に確認しないと、わからない (0.4%) | 無回答 (8.9%) |

問7 主な介護者の方の現在の勤務形態について、ご回答ください。(1つを選択)

※「パートタイム」とは、「1週間の所定労働時間が、同一の事業所に雇用される通常の労働者に比べて短い方が該当します。いわゆる「アルバイト」、「嘱託」、「契約社員」等の方を含みます。自営業・フリーランス等の場合も、就労時間・日数等から「フルタイム」・「パートタイム」のいずれかを選択してください。

<回答者数：937>

- | | |
|------------------------|---|
| 1. フルタイムで働いている (25.2%) | 2. パートタイムで働いている (21.5%) |
| 3. 働いていない (44.3%) | 4. 主な介護者に確認しないと、わからない (1.4%) 無回答 (7.7%) |

(B票問7で「1」「2」と回答した方に)

問8 主な介護者の方は、介護をするにあたって、何か働き方についての調整等をしてしていますか(複数選択可)

<回答者数：437>

- | |
|---|
| 1. 特に行っていない (28.6%) |
| 2. 介護のために、「労働時間を調整(残業免除、短時間勤務、遅出・早帰・中抜け等)しながら、働いている (40.5%) |
| 3. 介護のために、「休暇(年休や介護休暇等)」を取りながら、働いている (22.4%) |
| 4. 介護のために、「在宅勤務」を利用しながら、働いている (9.2%) |
| 5. 介護のために、「2」～「4」以外の調整をしながら、働いている (18.1%) |
| 6. 主な介護者に確認しないと、わからない (0.7%) 無回答 (1.6%) |

(B票問7で「1」「2」と回答した方に)

問9 主な介護者の方は、勤め先からどのような支援があれば、仕事と介護の両立に効果があると思いますか。(3つまで選択可) <回答者数：437>

- | | |
|-------------------------------------|-------------|
| 1. 自営業・フリーランス等のため、勤め先はない (19.0%) | |
| 2. 介護休業・介護休暇等の制度の充実 (25.2%) | |
| 3. 制度を利用しやすい職場づくり (19.7%) | |
| 4. 労働時間の柔軟な選択 (フレックスタイム制など) (23.1%) | |
| 5. 働く場所の多様化 (在宅勤務・テレワークなど) (15.6%) | |
| 6. 仕事と介護の両立に関する情報の提供 (7.8%) | |
| 7. 介護に関する相談窓口・相談担当者の設置 (9.6%) | |
| 8. 介護をしている従業員への経済的な支援 (19.0%) | |
| 9. その他 (3.0%) | |
| 10. 特にない (13.5%) | |
| 11. 主な介護者に確認しないと、わからない (2.1%) | 無回答 (11.4%) |

問10 主な介護者の方は、今後も働きながら介護を続けていけそうですか。(1つを選択) <回答者数：437>

- | | |
|------------------------------|-----------------------------|
| 1. 問題なく、続けていける (9.8%) | 2. 問題はあるが、何とか続けていける (56.8%) |
| 3. 続けていくのはやや難しい (14.2%) | 4. 続けていくのはかなり難しい (9.4%) |
| 5. 主な介護者に確認しないと、わからない (2.3%) | 無回答 (7.6%) |

ご協力ありがとうございました

令和2年度（2020年度） 高齢福祉・介護保険サービス意向調査 《ケアマネジャー》

【調査のご記入にあたってのお願い】

1. このアンケートは匿名です。名前・住所を書いていただく必要はありません。
2. ご記入は、必ず黒又は青のボールペン又は鉛筆でお願いします。
3. 質問番号に沿って、できるかぎり全部の質問にお答えください。
4. お答えは、あてはまる回答の番号に○印をつけてください。
5. 「その他（ ）」に○印をつけられた方は、お手数ですが具体的に記入してください。
6. ご記入いただきました調査票は、

令和2年5月29日（金曜日）までに

三つ折りにした上で、同封した返信用封筒（切手不要）に入れて郵送してください。

7. 調査報告書は、10月末から図書館、すこやか福祉センター、区ホームページなどでご覧になれます。
8. 調査の内容や記入の方法などについてご不明な点がございましたら、下記までお問合せください。

中野区地域支えあい推進部介護・高齢者支援課管理企画係

TEL. 03-3228-5629 FAX. 03-3228-8972

E-mail kaigokourei@city.tokyo-nakano.lg.jp

《基本的事項について》

(全員の方に)

問1 あなたの所属する事業所の所在地は次のどれですか。(○は1つ) <回答者数: 142>

- | | | |
|----------------|-----------------|-------------|
| 1. 中野区 (83.1%) | 2. 中野区以外 (1.4%) | 無回答 (15.5%) |
|----------------|-----------------|-------------|

(全員の方に)

問2 あなたの所属する事業所はどのような介護サービス等を行っていますか。

(あてはまるものすべてに○)

<回答者数: 142>

《居宅サービス》

- | | |
|---------------------------|------------------------|
| 1. 訪問介護 (55.6%) | 2. 訪問入浴介護 (0.7%) |
| 3. 訪問看護 (15.5%) | 4. 訪問リハビリテーション (6.3%) |
| 5. 居宅療養管理指導 (3.5%) | 6. 福祉用具 (貸与) (6.3%) |
| 7. 特定福祉用具 (販売) (2.1%) | 8. 住宅改修 (2.8%) |
| 9. 通所介護 (小規模通所含む) (31.0%) | 10. 通所リハビリテーション (7.0%) |
| 11. 短期入所生活介護 (13.4%) | 12. 短期入所療養介護 (3.5%) |
| 13. 特定施設入居者生活介護 (2.1%) | |

《介護予防サービス》

- | | |
|----------------------------------|--------------------------------|
| 14. 予防訪問サービス (旧予防訪問介護) (40.1%) | 15. 予防訪問入浴介護 (1.4%) |
| 16. 予防訪問看護 (12.7%) | 17. 予防訪問リハビリテーション (6.3%) |
| 18. 予防居宅療養管理指導 (2.1%) | 19. 予防福祉用具 (貸与) (5.6%) |
| 20. 予防特定福祉用具 (販売) (1.4%) | 21. 予防通所サービス (旧予防通所介護) (18.3%) |
| 22. 予防通所リハビリテーション (4.2%) | 23. 予防短期入所生活介護 (8.5%) |
| 24. 予防短期入所療養介護 (1.4%) | 25. 予防特定施設入居者生活介護 (0.7%) |
| 26. 生活援助サービス (緩和基準訪問サービス) (4.2%) | |
| 27. 活動援助サービス (緩和基準通所サービス) (0.7%) | |

《施設サービス》

- | | |
|------------------------------|---------------------|
| 28. 介護老人福祉施設 (12.7%) | 29. 介護老人保健施設 (3.5%) |
| 30. 介護療養型医療施設 (介護医療院) (0.0%) | |

《地域密着型サービス (小規模通所除く)》

- | | |
|--------------------------|-----------------------------------|
| 31. 夜間対応型訪問介護 (0.0%) | 32. 小規模多機能型居宅介護 (9.2%) |
| 33. 認知症対応型通所介護 (10.6%) | 34. 認知症対応型共同生活介護 (グループホーム) (0.7%) |
| 35. 看護小規模多機能型居宅介護 (2.1%) | 36. 定期巡回・随時対応型訪問介護看護 (3.5%) |

《介護予防地域密着型サービス》

- | | |
|-------------------------------------|-------------------------|
| 37. 予防小規模多機能型居宅介護 (4.9%) | 38. 予防認知症対応型通所介護 (2.1%) |
| 39. 予防認知症対応型共同生活介護 (グループホーム) (0.0%) | |

《その他のサービス》

- | | |
|-----------------------|---------------------|
| 40. 病院・診療所 (4.9%) | 41. 薬局 (0.0%) |
| 42. 都市型軽費老人ホーム (2.8%) | 43. その他のサービス (0.7%) |
| 44. 併設事業なし (4.9%) | 無回答 (18.3%) |

(全員の方に)

問3 あなたの現在の勤務体系を次の中から選んでください。(○は1つ) <回答者数: 142>

- | | |
|------------------|------------|
| 1. 常勤で専従 (66.9%) | |
| 2. 常勤で兼務 (21.1%) | |
| 3. 非常勤 (9.9%) | 無回答 (2.1%) |

(全員の方に)

問4 あなたはケアマネジャーとして、何年間従事していますか。(○は1つ)

<回答者数: 142>

- | | | |
|---------------------|---------------------|------------|
| 1. 1年未満 (4.2%) | 2. 1年以上3年未満 (13.4%) | |
| 3. 3年以上5年未満 (15.5%) | 4. 5年以上 (64.8%) | 無回答 (2.1%) |

(全員の方に)

問5 あなたのケアマネジャー受験資格と当該職種の従事期間を教えてください。

(1) 受験資格 (○は1つ)

<回答者数: 142>

- | | | |
|-------------------|-----------------------|------------|
| 1. 社会福祉士 (6.3%) | 2. 薬剤師 (0.7%) | |
| 3. 介護福祉士 (80.3%) | 4. 理学療法士・作業療法士 (0.0%) | |
| 5. 看護師・保健師 (4.2%) | 6. ホームヘルパー (2.8%) | |
| 7. 医師・歯科医師 (0.0%) | 8. その他 (3.5%) | 無回答 (2.1%) |

(2) 従事年数(ケアマネジャーになる前の従事年数で複数の受験資格を持つ場合は通算してください) (○は1つ) <回答者数: 142>

- | | | |
|-----------------------|-----------------------|------------|
| 1. 5年未満 (4.2%) | 2. 5年以上10年未満 (41.5%) | |
| 3. 10年以上15年未満 (17.6%) | 4. 15年以上20年未満 (18.3%) | |
| 5. 20年以上 (15.5%) | | 無回答 (2.8%) |

(全員の方に)

問6 過去3年間で、所属事業所が変わった回数は何回ですか。(○は1つ)

<回答者数: 142>

- | | | | |
|---------------|---------------|----------------|------------|
| 1. 0回 (71.1%) | 2. 1回 (19.7%) | 3. 2回 (4.2%) | |
| 4. 3回 (2.8%) | 5. 4回 (0.0%) | 6. 5回以上 (0.0%) | 無回答 (2.1%) |

(全員の方に)

問7 あなたは現在、何名の居宅サービス計画を作成していますか。(○は1つ)

<回答者数: 142>

- | | | | |
|--------------------|--------------------|--------------------|------------|
| 1. 10名以下 (7.0%) | 2. 11名~20名 (13.4%) | 3. 21名~30名 (31.7%) | |
| 4. 31名~40名 (36.6%) | 5. 41名~50名 (7.7%) | 6. 51名以上 (2.8%) | 無回答 (0.7%) |

(全員の方に)

問8 作成する居宅サービス計画の件数について、次の中から選んでください。(○は1つ)

<回答者数: 142>

- | | | | |
|---------------------|---------------------|---------------------|------------|
| 1. もっと増やしたい (18.3%) | 2. もっと減らしたい (16.2%) | 3. 現在の件数で十分 (64.8%) | 無回答 (0.7%) |
|---------------------|---------------------|---------------------|------------|

(全員の方に)

問9 あなたは現在、何名の介護予防サービス計画の受託または作成をしていますか。

(○は1つ)

<回答者数: 142>

- | | | | |
|--------------|------------------|-----------------|------------|
| 1. 0名 (5.6%) | 2. 1名~8名 (43.7%) | 3. 9名以上 (50.7%) | 無回答 (0.0%) |
|--------------|------------------|-----------------|------------|

《ケアプラン・介護予防について》

(全員の方に)

問10 受託または作成する介護予防サービス計画の件数について、次の中から選んでください。

(○は1つ)

<回答者数: 142>

- | | | | |
|--------------------|---------------------|---------------------|------------|
| 1. もっと増やしたい (5.6%) | 2. もっと減らしたい (45.8%) | 3. 現在の件数で十分 (47.2%) | 無回答 (1.4%) |
|--------------------|---------------------|---------------------|------------|

(全員の方に)

問11 介護保険制度は要介護者等の自立支援を目的の一つとしていますが、現行の介護サービスはその役割を十分果たしていると思いますか。(○は1つ)

<回答者数: 142>

- | | |
|--------------------------|-----------------------|
| 1. 十分果たしている (2.8%) | 2. ある程度果たしている (76.8%) |
| 3. 果たしているとは言いがたい (12.0%) | |
| 4. わからない (5.6%) | |
| 5. 1~4以外の意見 (2.1%) | 無回答 (0.7%) |

(全員の方に)

問12 地域の自主グループをどのくらい知っていますか。(○は1つ)

<回答者数: 142>

- | | | | | |
|-------------|----------------|----------------|----------------|------------|
| 1. 0 (9.9%) | 2. 1~5 (73.2%) | 3. 6~10 (8.5%) | 4. 11以上 (2.8%) | 無回答 (5.6%) |
|-------------|----------------|----------------|----------------|------------|

(全員の方に)

問13 ケアプランに介護保険外のボランティアや地域活動等の地域資源を盛り込んでいますか。

(○は1つ)

<回答者数: 142>

1. はい (96.5%)

2. いいえ (3.5%)

無回答 (0.0%)

(問13で「1. はい」と回答した方に)

問13A 具体的にケアプランに盛り込んでいる地域資源はなんですか

(あてはまるものすべてに○)

<回答者数: 137>

1. ほほえみサービス (70.1%)

2. 地域福祉権利擁護事業 (49.6%)

3. シルバー人材センターのサービス (34.3%)

4. 民間の配食サービス (87.6%)

5. 民間の家事援助サービス (18.2%)

6. 高齢者会館等の事業 (24.8%)

7. まちなかサロン・その他通いの場 (27.0%)

8. その他 (5.1%) 無回答 (0.7%)

(全員の方に)

問14 ケアプランに地域資源を盛り込む上での課題は何だと思えますか。ご自由にお書きください。

(全員の方に)

問 15 ケアプランを作成する際に、中野区内でサービス供給が不足しているため、利用者に提供できない(しにくい)サービスは何ですか。(あてはまるものすべてに○)

<回答者数:142>

《居宅サービス》

- | | |
|-------------------------|-------------------------|
| 1. 訪問介護 (11.3%) | 2. 訪問入浴介護 (6.3%) |
| 3. 訪問看護 (0.7%) | 4. 訪問リハビリテーション (4.9%) |
| 5. 居宅療養管理指導 (0.7%) | 6. 福祉用具(貸与) (0.0%) |
| 7. 特定福祉用具(販売) (0.0%) | 8. 住宅改修 (0.0%) |
| 9. 通所介護(小規模通所含む) (7.7%) | 10. 通所リハビリテーション (35.2%) |
| 11. 短期入所生活介護 (33.8%) | 12. 短期入所療養介護 (31.7%) |
| 13. 特定施設入居者生活介護 (4.9%) | |

《介護予防サービス》

- | | |
|---------------------------------|-------------------------------|
| 14. 予防訪問サービス(旧予防訪問介護) (20.4%) | 15. 予防訪問入浴介護 (2.8%) |
| 16. 予防訪問看護 (0.7%) | 17. 予防訪問リハビリテーション (4.2%) |
| 18. 予防居宅療養管理指導 (0.0%) | 19. 予防福祉用具(貸与) (0.7%) |
| 20. 予防特定福祉用具(販売) (0.0%) | 21. 予防通所サービス(旧予防通所介護) (14.8%) |
| 22. 予防通所リハビリテーション (13.4%) | 23. 予防短期入所生活介護 (9.9%) |
| 24. 予防短期入所療養介護 (7.7%) | 25. 予防特定施設入居者生活介護 (2.8%) |
| 26. 生活援助サービス(緩和基準訪問サービス) (8.5%) | |
| 27. 活動援助サービス(緩和基準通所サービス) (7.7%) | |

《施設サービス》

- | | |
|------------------------------|----------------------|
| 28. 介護老人福祉施設 (29.6%) | 29. 介護老人保健施設 (58.5%) |
| 30. 介護療養型医療施設(介護医療院) (30.3%) | |

《地域密着型サービス(小規模通所除く)》

- | | |
|---------------------------|-----------------------------------|
| 31. 夜間対応型訪問介護 (31.7%) | 32. 小規模多機能型居宅介護 (10.6%) |
| 33. 認知症対応型通所介護 (8.5%) | 34. 認知症対応型共同生活介護(グループホーム) (15.5%) |
| 35. 看護小規模多機能型居宅介護 (19.0%) | 36. 定期巡回・随時対応型訪問介護看護 (29.6%) |

《介護予防地域密着型サービス》

- | | |
|-------------------------------------|-------------------------|
| 37. 予防小規模多機能型居宅介護 (2.8%) | 38. 予防認知症対応型通所介護 (6.3%) |
| 39. 予防認知症対応型共同生活介護(グループホーム) (12.7%) | |

《その他のサービス》

- | | |
|------------------------|---------------------|
| 40. 病院・診療所 (3.5%) | 41. 薬局 (1.4%) |
| 42. 都市型軽費老人ホーム (31.7%) | 43. その他のサービス (1.4%) |
| 44. 併設事業なし (0.0%) | 無回答 (7.0%) |

(全員の方に)

問 16 供給不足以外に必要なサービスが提供(調整)出来ないのはどのような場合ですか。
(○は1つ) <回答者数: 142>

1. 心身の状況 (6.3%)	2. 経済的事情により費用負担が困難 (52.1%)
3. 支給限度額を超える (23.9%)	4. 介護保険制度の給付では対応できない (13.4%)
5. その他 (3.5%)	無回答 (0.7%)

(全員の方に)

問 17 介護保険サービスは、家族の介護負担軽減につながっていると思いますか。(○は1つ)
<回答者数: 142>

1. 十分につながっている (8.5%)	2. ある程度つながっている (85.2%)
3. さほどでもない (4.9%)	4. 負担軽減にはつながっていない (1.4%)
5. わからない (0.0%)	無回答 (0.0%)

(全員の方に)

問 18 家庭生活を維持するために役立つと思う生活支援事業は何だと思いますか。
(あてはまるものすべてに○) <回答者数: 142>

1. 配食サービス (75.4%)	2. 買物 (73.9%)	3. 通院 (74.6%)	4. 掃除 (56.3%)
5. 洗濯 (54.2%)	6. ゴミ出し (65.5%)	7. 安否確認 (63.4%)	8. 入浴 (61.3%)
無回答 (1.4%)			

(全員の方に)

問 19 生活に張りを持ってもらうために効果的なものは何だと思いますか。
(あてはまるものすべてに○) <回答者数: 142>

1. 町内会・自治会等の活動 (33.8%)	2. ボランティア活動 (23.9%)
3. 運動スポーツ関係の活動 (31.7%)	4. 趣味関係の活動 (79.6%)
5. 家族や友人とのコミュニケーション (83.8%)	6. その他 (6.3%)
無回答 (0.0%)	

(全員の方に)

問 20 ケアプランを作る際に工夫していることがありましたら、ご自由にお書きください。

(全員の方に)

問 21 要介護者等が住み慣れた自宅や地域で暮らし続けるため、近隣や地域の人々からどのような支援や手助けがあったらよいと思いますか。(あてはまるものすべてに○)

<回答者数 : 142>

- | | | |
|--------------------------|----------------------------|------------|
| 1. 話し相手 (77.5%) | 2. 認知症高齢者の見守り (83.1%) | |
| 3. 散歩の付き添い (50.7%) | 4. 電球の交換や家具等の簡易な修理 (59.2%) | |
| 5. 日常生活以外の特別な買い物 (31.0%) | 6. 大掃除の手伝い (24.6%) | |
| 7. ペットの世話 (28.9%) | 8. 緊急時の連絡 (61.3%) | |
| 9. 庭の手入れや趣味の手伝い (40.8%) | 10. おかずの差し入れなど (22.5%) | |
| 11. 配食サービス (27.5%) | 12. その他 (7.0%) | 無回答 (0.7%) |

《連携について》

(全員の方に)

問 22 地域包括支援センターとの連携についてはどうですか。(○は1つ) <回答者数 : 142>

- | | | |
|-----------------------|-------------------------|------------|
| 1. 十分連携が取れている (16.2%) | 2. ある程度連携が取れている (73.2%) | |
| 3. うまく連携が取れない (4.2%) | 4. どちらともいえない (5.6%) | 無回答 (0.7%) |

(全員の方に)

問 23 信頼できる地域包括支援センターはありますか。(○は1つ) <回答者数 : 142>

- | | | | |
|---------------|--------------|----------------------|-----------------|
| 1. ある (69.0%) | 2. ない (7.7%) | 3. どちらともいえない (23.2%) | 4. わからない (0.0%) |
| 無回答 (0.0%) | | | |

(全員の方に)

問 24 主治医 (かかりつけ医) との連携についてはどうですか。(○は1つ)

<回答者数 : 142>

- | | |
|-------------------------------------|------------|
| 1. 十分連携が取れている (43.0%) | |
| 2. 主治医が忙しくなかなか時間をとってもらえない (28.2%) | |
| 3. 複数の医療機関にかかっており、主治医を特定できない (7.7%) | |
| 4. 主治医といえるようなかかりつけの医師がいない (0.7%) | |
| 5. その他 (19.0%) | 無回答 (1.4%) |

(全員の方に)

問 25 在宅医療を進めるうえで、不足する医療資源はなんですか。(複数選択可)

<回答者数 : 142>

- | | | |
|---------------------|------------------|-------------|
| 1. 訪問診療する医師 (25.4%) | 2. 訪問看護師 (6.3%) | |
| 3. 訪問歯科診療 (0.0%) | 4. 訪問薬剤師 (16.2%) | |
| 5. 訪問リハビリ (13.4%) | 6. その他 (21.1%) | 無回答 (29.6%) |

(全員の方に)

問 26 障害者施策を利用できる利用者について、区の障害者施策の相談窓口とのサービス調整等の連携が取れていますか。(○は1つ) <回答者数:142>

- | | |
|-------------------------------|--------------------------|
| 1. 連携が取れている (3.5%) | 2. ある程度連携が取れている (27.5%) |
| 3. うまく連携が取れない (16.2%) | 4. どちらともいえない (19.0%) |
| 5. 障害者施策を利用できる利用者はいない (24.6%) | 6. その他 (4.9%) 無回答 (4.2%) |

(全員の方に)

問 27 サービス担当者会議を開催する上での問題点は何ですか。(あてはまるものすべてに○) <回答者数:142>

- | | |
|--------------------------------|------------|
| 1. 関係者が忙しくてなかなか時間がとれない (62.0%) | |
| 2. 関係機関・主治医からの情報が得られない (31.0%) | |
| 3. 関係者に理解がなく、出席が得られない (5.6%) | |
| 4. 会議をどのように運営してよいかわからない (2.1%) | |
| 5. 適当な会場がない (8.5%) | |
| 6. その他 (17.6%) | 無回答 (8.5%) |

《困難な事例への対応について》

(全員の方に)

問 28 ケアプランを作成する際に、特に対応に苦慮するケースはどのようなケースですか。(あてはまるものすべてに○) <回答者数:142>

- | | |
|-------------------------------------|----------------------------|
| 1. 身寄りがいない (59.9%) | 2. キーパーソンがいない (51.4%) |
| 3. 家族が協力的でない (56.3%) | 4. 認知症のため自分で判断できない (47.2%) |
| 5. 要介護者と家族の考えが異なる (58.5%) | |
| 6. 要介護者や家族から提案したプランに同意が得られない (4.2%) | |
| 7. 費用負担の面で、適切なプランが作成できない (42.3%) | |
| 8. 介護保険の利用限度額ではサービスが足りない (42.3%) | |
| 9. その他 (13.4%) | 無回答 (0.0%) |

(全員の方に)

問 29 あなたは、要介護者等や家族からの相談を十分に受け止め、対応できていますか。

(○は1つ)

<回答者数 : 142>

- | | |
|--------------------------|------------------------|
| 1. 十分対応できている (7.0%) | 2. ある程度対応できている (75.4%) |
| 3. 十分対応できないこともある (13.4%) | |

【3に○をつけた方に】対応できない具体的な内容をあげてください。

()

無回答 (4.2%)

(全員の方に)

問 30 要介護者等や家族からの相談への対応に苦慮した場合、どこへ相談しますか。

(あてはまるものすべてに○)

<回答者数 : 142>

- | | |
|--------------------------------------|----------------------------|
| 1. 同僚や上司 (74.6%) | 2. 主任ケアマネジャー (23.2%) |
| 3. 地域包括支援センター (73.9%) | 4. すこやか福祉センター (保健師) (7.7%) |
| 5. 主治医 (30.3%) | 6. 東京都のケアマネジャー相談窓口 (0.7%) |
| 7. 区役所 (すこやか福祉センターを除く) の担当窓口 (16.9%) | |
| 8. その他 (5.6%) | |
| 9. 相談するところがない (2.1%) | 無回答 (1.4%) |

(全員の方に)

問 31 ケアマネジャーに従事して以来、高齢者等に対する虐待が疑われるようなケースを発見したり相談を受けたりしたことがどのくらいありますか。(○は1つ)

<回答者数 : 142>

- | | | | | |
|---------------|------------------|-------------------|-----------------|------------|
| 1. 0件 (11.3%) | 2. 1件~9件 (83.8%) | 3. 10件~19件 (1.4%) | 4. 20件以上 (1.4%) | 無回答 (2.1%) |
|---------------|------------------|-------------------|-----------------|------------|

(全員の方に)

問 32 高齢者虐待対応について強化すべきと思うことは何ですか。

(あてはまるものすべてに○)

<回答者数 : 142>

- | | |
|-------------------------------|----------------------------------|
| 1. 地域包括支援センターとの連携 (73.2%) | 2. すこやか福祉センター (保健師) との連携 (39.4%) |
| 3. 緊急一時保護の充実 (65.5%) | 4. 虐待防止ネットワークの充実 (23.2%) |
| 5. 虐待対応マニュアルの周知 (25.4%) | 6. 具体的な対応や支援の方法等の研修 (35.9%) |
| 7. 区民・関係機関・団体等への周知・啓発 (21.8%) | |
| 8. その他 (9.9%) | 無回答 (1.4%) |

《介護予防について》

(全員の方に)

問 33 区は介護予防事業として充実すべきと思われる事業を選んでください。

(○は主なもの3つまで)

<回答者数 : 142>

- | | |
|-----------------------------------|---------------------|
| 1. 転倒予防教室 (57.7%) | 2. 口腔ケア教室 (28.9%) |
| 3. 腰痛・膝痛予防体操教室 (32.4%) | 4. 骨盤底筋力向上教室 (5.6%) |
| 5. 栄養改善教室 (28.9%) | |
| 6. 高齢者会館での健康づくり・生きがいつくり事業 (52.1%) | |
| 7. 介護予防講演会 (1.4%) | |
| 8. 認知症予防教室 (29.6%) | |
| 9. その他 (6.3%) | 無回答 (2.8%) |

《成年後見制度について》

(全員の方に)

問 34 あなたの担当する認知症日常生活自立度Ⅱ以上の人で成年後見制度が必要と思われるが使っていない人は何名いますか。(○は1つ)

<回答者数 : 142>

- | | | |
|----------------|---------------|----------------|
| 1. いない (32.4%) | 2. 1名 (26.8%) | 3. 2名 (21.1%) |
| 4. 3名 (9.2%) | 5. 4名 (1.4%) | 6. 5名以上 (3.5%) |
| 無回答 (5.6%) | | |

(全員の方に)

問 35 成年後見制度を活用する上での課題は何だと思えますか。(○は1つ)

<回答者数 : 142>

- | | |
|---------------------|----------------------|
| 1. 課題はない (2.1%) | 2. 制度がわかりにくい (36.6%) |
| 3. 制度が使いにくい (40.8%) | 4. その他 (19.0%) |
| 無回答 (1.4%) | |

《認知症に関する課題について》

(全員の方に)

問 36 区は認知症の方を抱える家族を支援するために、認知症の方の特性や具体的な介護の仕方などについて学ぶ「認知症に関する家族介護教室」を開催していますが、あなたは家族に参加をすすめたことがありますか。(○は1つ) <回答者数 : 142>

1. すすめたことがある (66.9%)
2. すすめたことはないが、開催していることは知っている (28.2%)
3. 開催していることを知らなかった (3.5%)

↓
【3に○をつけた方に】広く周知されるには、どのような方法が必要だと思いますか。

()
無回答 (1.4%)

(全員の方に)

問 37 認知症高齢者に関してどのような施策が特に必要だと考えますか。
(○は主なもの3つまで) <回答者数 : 142>

1. 地域における認知症に関する理解の促進 (43.7%)
 2. 地域での見守りネットワークの整備 (40.8%)
 3. 家族への悩みの相談等の支援 (50.0%)
 4. 家族会開催への支援 (15.5%)
 5. 認知症ケアに関する介護スタッフの研修の充実 (18.3%)
 6. 認知症の早期発見・診断のための相談の場の充実 (33.1%)
 7. 認知症に関する専門医や専門家の支援・養成 (28.2%)
 8. 成年後見など権利擁護事業の充実 (18.3%)
 9. 認知症対応型通所介護(介護予防含む)や認知症対応型共同生活介護(グループホーム)等サービス基盤の充実 (19.7%)
 10. その他 (5.6%)
- 無回答 (1.4%)

《その他》

(全員の方に)

問 38 要介護者等について、どのような点が充実すれば居宅や地域での生活を続けることができると思われますか。(あてはまるものすべてに○) <回答者数：142>

- | | |
|---------------------------------|------------|
| 1. 訪問介護等介護サービスの充実 (47.2%) | |
| 2. 24時間の緊急時に即応できる体制の整備 (76.1%) | |
| 3. 区内での短期入所生活介護施設の充実 (40.1%) | |
| 4. 高齢者見守りネットワークの整備 (37.3%) | |
| 5. 住宅改修の対象拡大 (4.9%) | |
| 6. 高齢者用住宅の増加 (33.1%) | |
| 7. 在宅医療(往診体制)の充実 (21.8%) | |
| 8. 定期巡回・随時対応型訪問介護看護等の充実 (36.6%) | |
| 9. 小規模多機能型居宅介護等の充実 (14.8%) | |
| 10. その他 (5.6%) | 無回答 (2.8%) |

(全員の方に)

問 39 業務遂行上、最も困っていることはどのようなことですか。(○は主なもの3つまで) <回答者数：142>

- | | |
|---------------------------------------|---------------------------|
| 1. 担当件数が多い (7.0%) | 2. 担当する利用者の地域範囲が広い (4.9%) |
| 3. 困難なケースへの対応 (37.3%) | 4. 苦情への対応 (7.0%) |
| 5. 相談相手・スーパーバイザー等、助言者がいない (9.2%) | |
| 6. 事業所内のミーティングの時間がとりにくい (2.8%) | |
| 7. サービス担当者会議がなかなか開けない (2.1%) | |
| 8. 制度が頻繁に変わり、対応に時間と労力がかかる (35.9%) | |
| 9. 地域の医療や介護サービスについての情報が得られない (3.5%) | |
| 10. ケアマネジャー業務の範囲が明確でない (48.6%) | |
| 11. 文書の作成等事務処理に追われる (72.5%) | |
| 12. 規定が細かくケアマネジャーとしての裁量の余地がない (16.2%) | |
| 13. 特に困っていることはない (1.4%) | |
| 14. その他 (5.6%) | 無回答 (1.4%) |

(全員の方に)

問 40 小規模多機能型居宅介護サービスの活用しづらさはどのようなことですか。

(あてはまるものすべてに○)

<回答者数 : 142>

- | |
|-----------------------------------|
| 1. ケアマネジャーを切り替えなければならない (51.4%) |
| 2. サービスの知名度が低い (28.9%) |
| 3. 利用できる施設が足りない (35.2%) |
| 4. パッケージサービスとなるため利用に不安がある (33.1%) |
| 5. 利用を希望する方が少ない (31.0%) |
| 6. その他 (13.4%) |

無回答 (2.8%)

(全員の方に)

問 41 介護保険制度に関してご意見等ありましたら、ご自由にお書きください。

ご協力ありがとうございました

令和2年度（2020年度）
高齢福祉・介護保険サービス意向調査
報告書

発行日／令和2年（2020年）9月

印刷登録番号／2中健福第973号

発行／中野区健康福祉部 福祉推進課 健康福祉企画係

中野区地域支えあい推進部 介護・高齢者支援課 管理企画係

〒164-8501

東京都中野区中野 4-8-1

電話 03-3228-5629（直通）

編集分析／株式会社アイアールエス

〒160-0004

東京都新宿区四谷 3-1-3 第1富澤ビル7F

電話 03-3357-7181（代表）